

年齢別補助表【7つの区分】目次

- ◆ おおむね6ヶ月未満 P . 3 ~ P . 6

2ヶ月~3ヶ月頃	4ヶ月~5ヶ月
----------	---------

- ◆ おおむね6ヶ月 ~ 1歳3ヶ月未満 P . 7 ~ P . 13

6ヶ月~7ヶ月	8ヶ月~9ヶ月	10ヶ月~11ヶ月
1歳~1歳1ヶ月	1歳2ヶ月	

- ◆ おおむね1歳3ヶ月~2歳 未満 P . 14 ~ P . 18

1歳3ヶ月~1歳5ヶ月	1歳6ヶ月~1歳8ヶ月
1歳9ヶ月~1歳11ヶ月	

- ◆ おおむね2歳児 P . 19 ~ P . 32

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

- ◆ おおむね3歳児 P . 33 ~ P . 46

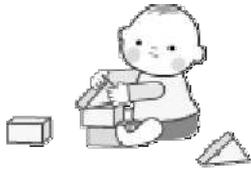
4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

- ◆ 4歳児 P . 47 ~ P . 60

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

- ◆ 5歳児 P . 61 ~ P . 74

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月



指導計画の関係



それぞれの計画は単独のものではなく、つながりをもって作成されます。長期の見通しをもって、子どもの実態に合わせてつねに修正していくことが求められます。

国レベル・・・

保育所保育指針 【保育園（所）】
幼稚園教育要領 【幼稚園】



市レベル・・・

津山市における
就学前教育・保育カリキュラム



園レベル・・・

保育課程 【保育園（所）】
教育課程 【幼稚園】



クラスレベル・・・

長期指導計画
（期間計画 月間計画）
短期指導計画
（週案 日案）

参考文献 「これで安心 保育指導案の書き方」 関仁志編著 北大路書房

津山市における就学前教育・保育

カリキュラム作業部会作成にあたって

留 意 点

1. おおむね2歳児から5歳児は「月ごと」の補助表を作成しています。

子どもの育ちは、なだらかな中にも育ちの節目が感じられます。月で区切ることは適当でないかもしれませんが、子どもの姿を具体的にとらえたカリキュラムを作成するために、あえて月ごとに発達を捉える作業をしました。

2. おおむね2歳児までの補助表の5領域は、総合的に展開するものです。

保育所保育指針に表記されているように、5領域は、3歳未満児については、その発達の特性からみて各領域を明確に区分することが困難な面が多いことに配慮して、領域の間で相互に関連をもちながら総合的に展開していくことを申し合わせています。

3. 補助表は、活用、検証、修正をして、さらに作っていくものです。

作業部会員は各保育園（所）・幼稚園の写真・事例・指導案などを持ち寄り、実践に基づいた話し合い等により、最善の努力で補助表を作成しました。子どもの育ちの姿、保育者の願い、保育者の在り方などが具体的に示されていますので、「津山市の子どもを育てる」という意識の下、保育者の皆様が、保育課程や教育課程、指導案を作成する際に、是非参考にしていきたいと思います。不足の部分などは、検証して、追加修正しながら、さらに作りあげていきたいと願っています。

4. 年齢共通の記載（「家庭地域との連携」欄）について

全保育園（所）・幼稚園と小学校・中学校とが連携し、取り組んでいる「津山市人権教育研究会」での情報交換や「中学生の職場体験」の受け入れは、全年齢共通事項です。

作業部会【おおむね6ヶ月未満】

勢渡 基子（二宮幼稚園教諭）

可児 昌恵（東津山保育園主任）



仁木 彰子（高野保育園保育士）

小林 正佳（久米保育所 所長）

松永 光代（津山乳児保育園主任）

おもな発達の特徴 おおむね 6 ヶ月未満



睡眠時
SIDSの
予防

理念	保育内容（5領域）		おもな発達の特徴
健康な心と体	健康	身体・運動機能	<ul style="list-style-type: none"> ○首がすわる。 ○寝返り、腹ばいになる。 ○上下左右に動くものを追視する。 ○目の前の物をつかもうとする。 ○手に触れたものを握る。
		基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ○空腹になると、泣いてミルクをほしがる。 ○おしめが汚れていると、泣いて知らせる。 ○4ヶ月頃から、昼と夜の睡眠パターンができる。
自信と信頼	人間関係	人とかかわる力 自立心 協同 規範意識など	<p style="text-align: center;">愛着関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特定の大人にあやしてもらおうと、顔をじっと見たり、声を出して笑ったりする。 ○特定の大人とのスキンシップを喜ぶ。 <p style="text-align: center;">だっこだいすき</p>
	環境	好奇心 探究心 生活に取り入れる力など	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの物を見たり、音を聞いたり、触れたりする。
命と自然	言葉	話す力 聞く力 言葉で表現する力 など	<p style="text-align: center;">アー アー ウー ウー</p> <ul style="list-style-type: none"> ○機嫌の良い時に、人や物に反応して、「アーアー」「ウーウー」など喃語を発する。
	表現	豊かな感性や表現力 想像力 描く 作る リズム など	<ul style="list-style-type: none"> ○快・不快を笑ったり泣いたりして、表情の変化や体の動きで表現する。

おおむね6ヶ月未満 2ヶ月～3ヶ月頃

<p>発達の主な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空腹になったり、おむつが汚れたりすると、泣いて知らせる。 ・一日のうち、睡眠と目覚めを何度も繰り返し、だんだん目を覚ます時間が長くなる。 ・1～2ヶ月の赤ちゃんは、原始反射といわれる、ピクと動く驚愕運動や口唇探索反射、吸つき反射が見られる。2ヶ月すぎると消失する。 ・2か月頃、大人があやすと、「あ～う～」などクーイングを言ったり、上下、左右に動く物を追視したりする。 ・首がすわりつつあり、腹ばいになると、手をつき、体を支えている。 ・保育者の声や顔を覚えて、反応しつつある。 ・機嫌の良い時に「あー、うー、おー」などの喃語を言う。 ・物音に敏感で、寝ていても目が覚めて、泣いたりする。 ・話し声が聞こえたり、近くを歩いたりすると、そちらの方へ頭を向けて追視する。 ・保育者が話かけたりするとじっと見つめたり、保育者の姿を追うように目や首、体を動かしている ・手を口に持っていったり、指を口に入れようとする。 ・だっこすると安心して機嫌よくなる。 ・だっこやおんぶをしないと眠らない子どもがいる。 										
<p>養育・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の保育者とふれあいながら安心して過ごす。 ・あやしたり、優しく語りかけたりして、見たり聞いたりする感覚を豊かにする。 ・一人一人の生活リズムを大切に、生理的要求を満たし、安心して安全に過ごせるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="255 683 295 862"> <p>健康な心と体</p> </td> <td data-bbox="295 683 1436 862"> <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お腹いっぱいミルクを飲み、安心して眠り、心地よい生活リズムで過ごす。 ・沐浴をしたり顔や手を拭いてもらい、気持ちよく過ごす。 ・優しく声をかけてもらいながら、おむつ交換をしてもらい、気持ちよさを感じる。 ・腹ばいや左右の足を交互に軽く屈伸させたり、両手を上にあげ半円を描くなど、赤ちゃん体操をしてもらい、体を動かす心地よさを感じる。 ・一人一人の不安な気持ちを受け止め、かかわってもらい安心して過ごす。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 862 295 952"> <p>人間関係</p> </td> <td data-bbox="295 862 1436 952"> <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の保育者に親しく声をかけてもらったり、スキンシップをしてもらったりして、心地良さを感じる。 ・抱っこしてもらい、ゆったりとした揺れを感じながら安心して過ごす。 ・「いいいいいいばあ」などのふれあい遊びをしてもらい、保育者とのかかわりを喜ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 952 295 1086"> <p>自信と信頼</p> </td> <td data-bbox="295 952 1436 1086"> <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抱っこ・腹ばい・支えられて座るなど、体位を変えてもらうことで、視野が広がり周囲に関心を示す。 ・天気のよい日は、日光浴や外気浴をし、心地良さを感じる。 ・目の前のおもちゃをつかもうとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1086 295 1220"> <p>命と自然</p> </td> <td data-bbox="295 1086 1436 1220"> <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体に優しく触れてもらったり、語りかけてもらったりして喃語を発する。 ・名前を呼んでもらったり、ゆったりと抱いてもらうことを喜ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1220 295 1332"> <p>豊かな表情</p> </td> <td data-bbox="295 1220 1436 1332"> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快・不快の気持ちの表現に伝えてもらうことで、感情が豊かになる。 ・動くものや音の出るものを目で追ったり耳で聞いたりして喜ぶ。 ・手のひらにふれたものは何でも握り、少しの間握って遊ぶ。 ・口に入れたりなめたりして、物の形を確かめる。 </td> </tr> </table>	<p>健康な心と体</p>	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お腹いっぱいミルクを飲み、安心して眠り、心地よい生活リズムで過ごす。 ・沐浴をしたり顔や手を拭いてもらい、気持ちよく過ごす。 ・優しく声をかけてもらいながら、おむつ交換をしてもらい、気持ちよさを感じる。 ・腹ばいや左右の足を交互に軽く屈伸させたり、両手を上にあげ半円を描くなど、赤ちゃん体操をしてもらい、体を動かす心地よさを感じる。 ・一人一人の不安な気持ちを受け止め、かかわってもらい安心して過ごす。 	<p>人間関係</p>	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の保育者に親しく声をかけてもらったり、スキンシップをしてもらったりして、心地良さを感じる。 ・抱っこしてもらい、ゆったりとした揺れを感じながら安心して過ごす。 ・「いいいいいいばあ」などのふれあい遊びをしてもらい、保育者とのかかわりを喜ぶ。 	<p>自信と信頼</p>	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抱っこ・腹ばい・支えられて座るなど、体位を変えてもらうことで、視野が広がり周囲に関心を示す。 ・天気のよい日は、日光浴や外気浴をし、心地良さを感じる。 ・目の前のおもちゃをつかもうとする。 	<p>命と自然</p>	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体に優しく触れてもらったり、語りかけてもらったりして喃語を発する。 ・名前を呼んでもらったり、ゆったりと抱いてもらうことを喜ぶ。 	<p>豊かな表情</p>	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快・不快の気持ちの表現に伝えてもらうことで、感情が豊かになる。 ・動くものや音の出るものを目で追ったり耳で聞いたりして喜ぶ。 ・手のひらにふれたものは何でも握り、少しの間握って遊ぶ。 ・口に入れたりなめたりして、物の形を確かめる。
<p>健康な心と体</p>	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お腹いっぱいミルクを飲み、安心して眠り、心地よい生活リズムで過ごす。 ・沐浴をしたり顔や手を拭いてもらい、気持ちよく過ごす。 ・優しく声をかけてもらいながら、おむつ交換をしてもらい、気持ちよさを感じる。 ・腹ばいや左右の足を交互に軽く屈伸させたり、両手を上にあげ半円を描くなど、赤ちゃん体操をしてもらい、体を動かす心地よさを感じる。 ・一人一人の不安な気持ちを受け止め、かかわってもらい安心して過ごす。 										
<p>人間関係</p>	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の保育者に親しく声をかけてもらったり、スキンシップをしてもらったりして、心地良さを感じる。 ・抱っこしてもらい、ゆったりとした揺れを感じながら安心して過ごす。 ・「いいいいいいばあ」などのふれあい遊びをしてもらい、保育者とのかかわりを喜ぶ。 										
<p>自信と信頼</p>	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抱っこ・腹ばい・支えられて座るなど、体位を変えてもらうことで、視野が広がり周囲に関心を示す。 ・天気のよい日は、日光浴や外気浴をし、心地良さを感じる。 ・目の前のおもちゃをつかもうとする。 										
<p>命と自然</p>	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体に優しく触れてもらったり、語りかけてもらったりして喃語を発する。 ・名前を呼んでもらったり、ゆったりと抱いてもらうことを喜ぶ。 										
<p>豊かな表情</p>	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快・不快の気持ちの表現に伝えてもらうことで、感情が豊かになる。 ・動くものや音の出るものを目で追ったり耳で聞いたりして喜ぶ。 ・手のひらにふれたものは何でも握り、少しの間握って遊ぶ。 ・口に入れたりなめたりして、物の形を確かめる。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に十分かかわりながら、安心して過ごせるように環境を整える。 ・色彩や光量に配慮し、調節していく。 ・情緒的・身体的な発達に合わせて環境を整えながら発達を助長させていく。 ・室内の温度・換気・明るさ、ベッドの配置などに配慮し、快適な中で過ごせるようにする。 ・保育室や使用する遊具や用具を清潔にし、衛生的な環境にする。 ・見る・聞く・体を動かすなどの楽しさを伝えるために、揺れて動くおもちゃや、音の出るもの、メリーなどを用意する。 ・見る、聞く、触れるなどの経験が豊かになるように、安全な遊具を提供し、さまざまな感覚が楽しめるようにする。 ・健康状態を把握し、異常を早期発見し、適切に対応していく。 ・個々の健康状態や家庭での生活について知り、食欲・睡眠など保護者と確認し合い、一人一人に応じたかかわりをする。 ・授乳は、ゆったりとした気持ちで目を合わせながら、一人一人の速さに合わせて、ゆっくりと落ち着いて飲めるようにする。 ・睡眠にあたっては、保育室から離れることなく、環境条件や寝具のかけ方に注意するとともに、呼吸や顔色、嘔吐の有無など、睡眠時の状態をきめ細かに観察し、記録する。また、SIDS（乳幼児突然死症候群）の予防をする。 ・抱いたりあやしたりして相手となり、情緒や運動機能の発達を促す。 ・子どもが泣いて訴える時には、すぐに対応することで信頼関係を築くとともに、スキンシップを図る。 ・保育者は、豊かな表情で微笑みかけ、子どもの発した喃語にゆったりと語りかけるようにし、一対一のかかわりを大切にする。 ・声や仕草、動き等、発する欲求を察知してタイミングよく答え、言葉にしてあやす。 										
<p>家庭・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な環境と家庭との一貫した生活リズムの中で、安心して園生活が過ごせるようにする。 ・直接話をする時間を作ったり、連絡帳で伝えたりして、家庭との連絡を密にとり、信頼関係を築く。 ・子育ての大変さを共感したり、理解したりしながら、保護者自身が子育ての喜びを感じられるようにする。 ・お迎えの時には、必ず一言添え、安心感を与えるようにする。 ・乳児連絡帳に子どもの記録を丁寧に書きとめ、園と家庭とが、子どもの育ちについて見通しがもてるようにする。 ・地域の方に、話や写真などで情報を開示して、関心をもってもらう。 ・SIDS（乳幼児突然死症候群）の予防についてなど、子育てに関する情報を提供する。 										

おおむね6ヶ月未満 4ヶ月～5ヶ月

発達 こと の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・眠っている時と目覚めている時がはっきり分かれ、生活のリズムが一定になり、夜と昼の睡眠パターンができる。 ・空腹や眠い時は、泣いたりぐずったりして知らせる。 ・首がすわり、うつぶせにすると両手で支え上半身をそらす。 ・寝返りをしようとする。 ・哺乳量が一定し、授乳時間がほぼ決まってくる。 ・家庭では、離乳食（1回食）（つぶものやどろどろのおかゆ状のもの）を食べ始める。 ・人や玩具に向かって喃語で盛んに話しかけるようになり、動くものを目で追ったり、あやしてもらえると声をだして笑ったりする。また、目が合うと、相手にほほ笑みかけたり、声を出して笑ったりする。 ・手につかんだものを握り、離すのは苦手で、落とすように手から離す。 ・「いないいないばあー」などのふれあい遊びをしてもらい、喜んで笑う。 	
（教育・養育）	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の保育者とふれあいながら安心して、機嫌よく過ごす。 ・安全で活動しやすい環境の下で、寝返りや腹ばいなど、運動的な活動を促す。 ・一人一人の生活リズムに応じて、食欲・睡眠・排泄などの生理的欲求を満たし、快適に過ごせるようにする。 ・ゆったりとした雰囲気の中で、一人一人の子どもの依存欲求を満たして、安心して過ごせるようにする。 	
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・授乳、食事の前後や汚れたときは、顔や手を拭いてもらいきれいになった心地よさを感じる。 ・一人一人の欲求に応じて、授乳したり、おしめ替えをしてもらったり、気持ちよさを感じたりする。 ・おんぶやだっこをもらったり、側にいてもらったりして安心して眠る。 ・体調のよい時に沐浴をもらい、心地よさを感じる。 ・機嫌のよい時は腹ばいになって遊んだり、寝返りをしようとして体を動かしたりする。 ・赤ちゃんマッサージをもらいながら、立てて抱かれたり、仰向けからうつ伏せになったり、ひざのうえに座らせてもらったりなど、やさしく体位を変えてもらい、全身の動きを楽しむ。
	人間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・優しく語りかけてもらったり、目を合わせて泣き声や喃語に応えてもらったりすることで、保育者とのかかわりを喜ぶ。 ・特定の保育者とのスキンシップを楽しみ心地よくなる。 ・おしめ交換時など声をかけてもらい、自分のこれからの行動を予測するようになっていく。
	自信 と 信 頼	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に合わせて短時間の外気浴をし、気持ちよく過ごす。 ・毎日同じ場所で遊んだり授乳してもらい、安心して過ごす。 ・保育者に見守られながら、聞いたり見たり触れたりする。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・優しく声かけをもらったり、あやされたり名前を呼んでもらい喜ぶ。 ・大人の語りかけに対して、喃語で応えたり、声をだして笑ったりする。
	豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の保育者とのかかわりの中で、快、不快などの心の動きを表情や泣き声で表す。 ・自分で見つけたものを視線や声で伝えようとする。 ・握る、つかむ、しゃぶるなどの動きを十分にさせる。 ・保育者にいろいろな歌を歌ってもらいながら、楽しい雰囲気を楽しむ。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に十分かかわりながら、安心して過ごせるように環境を整える。 ・情緒的・身体的な発達に合わせて環境を整えながら、発達を助長させていく。 ・室内の温度・換気・色彩・明るさ・ベッドの配置などに配慮し、快適な環境を整える。 ・保育室や使用する遊具用具を清潔にし、衛生的な環境を整える。 ・見る・聞く・体を動かすなどの楽しさを伝えるために、揺れて動くおもちゃや音の出るもの、メリーなどを用意する。 ・健康状態を把握し、異常を早期発見し、適切に対応していく。 ・授乳はゆったりとした気持ちで、目を合わせてゆっくりと落ち着いて飲めるようにする。 ・睡眠にあたっては、保育室から離れることなく、環境条件や寝具のかけ方に注意すると共に呼吸や顔色、嘔吐の有無など睡眠時の状態をきめ細やかに観察し記録する。また、乳幼児突然死症候群の予防をする。 ・特定の保育者が、抱いたり微笑みかけたりして、甘えなどの依存欲求を満たし、ゆっくりかかわり愛着心を育んだり、運動機能の発達を促す。 ・子どもが泣いて訴える時には、すぐに応えることで信頼関係を築く。 ・保育者は、豊かな表情で微笑みかけ、子どもの発した喃語にゆったりと話しかけるようにし、一対一のかかわりを大切にしている。 ・クッションを使って腹這いの姿勢を楽しんだり、寝返ろうとする力を十分に発揮できるよう、子どもの状態に合わせて援助していく。 ・身近な人とそうでない人の顔がわかるようになる時期なので、なるべく担当の保育者がかかわりをもつようにし、安心して過ごせるようにする。 ・身近にいろいろなおもちゃを置き、振ったり握らせたりして興味をもてるようにし、目と手の協応を促す。 ・わらべうた、ふれあい遊び（おはしゃぎ遊び）などでスキンシップを大切に、保育者との親しみが深まるようにする。 ・子どもの出すサインや表現を見逃さず、さまざまな欲求を適切に満たし、子どもとの信頼関係を築くようにする。 	
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種の時期やスケジュールなどについて知らせ合い、共有する。 ・子育ての悩みや問題などに対して、情報提供や相談などの支援をしていくようにする。 ・園でふれあい遊びをした様子を伝えたり、参観日などでふれあい遊びの機会をもち、家庭でも親子で遊ぶヒントとなるようなかかわり方を知らせていく。 ・保育者は、保護者の悩みを受け止め、共感したり子どもの成長の様子を喜び合ったりして、育児へのエネルギーになるようにする。 	

作業部会【おおむね6ヶ月～1歳3ヶ月未満】

頭士 恵子（田町保育園 保育士）

齋藤 恵（高田幼稚園 教諭）

常藤 幸枝（作陽保育園 保育士）



藤野 玲子（大崎保育園 副主任）

小倉 真理（加茂保育園 主任）

おもな発達の特徴 おおむね6ヶ月～1歳3ヶ月未満

理念	保育内容（5領域）		おもな発達の特徴
健康な心と体	健康	身体・運動機能	<ul style="list-style-type: none"> ○座る、はう、つかまり立ち、伝い歩きなど全身を動かす。 ○両手に物を持ったり、引っぱったり、つまんだりする。 ○口の中に玩具を入れ、なめたり、噛んだりする。
	健康	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳食を食べる。 ○いろいろな味に慣れる。 ○自分でつまんで食べようとする。
自信と信頼	人間関係	人とかかわる力 自立心 協同 規範意識など	<ul style="list-style-type: none"> ○特定の大人とのかかわりができる。 ○後追いをして泣く。 人見知りをする。 <p style="text-align: center;">もぐもぐごっくん おいしいね</p> <p style="text-align: right;">人見知り</p>
	環境	好奇心 探究心 生活に取り入れる力など	<ul style="list-style-type: none"> ○好きな玩具で一人遊びをする。
命と自然	言葉	話す力 聞く力 言葉で表現する力 など	<ul style="list-style-type: none"> ○簡単な言葉の意味がわかるようになる。 ○喃語が盛んになる。 ○指差し、身振りなどで気持ちや欲求を表す。 ○好きな絵本を読んでもらい、真似して言葉を発する。 <p style="text-align: center;">まんま プープー</p>
豊かな情操と賢さ	表現	豊かな感性や表現力 想像力 描く 作る リズム など	<ul style="list-style-type: none"> ○興味をもった身近な素材に触れて、感触を楽しむ。 ○歌や手遊びに合わせて、喜んで手や体を動かそうとする。 <p style="text-align: center;">バイバイ ちょうだい</p>

おおむね1歳3ヶ月未満 6ヶ月～7ヶ月

発達 の 主 な 特 徴		<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食が始まり、おかゆやたんぱく質（白身魚）が食べられるようになる。舌で押し出したり、味を確かめたり飲み込んだり、口をモグモグ動かしてみたりする。お座りができるようになると、ベビーラックなどに座り、食べさせてもらう。舌でつぶせる固さのものが食べられるようになる。個人差により、食後にミルクを飲んでいる。離乳食が始まるが、栄養が足りないので、午前睡と午後睡の前にミルクを飲む。おやつは、果汁などで、いろいろな味を知っていく。 ・離乳食の進み具合により、便の色や形、量も変わってくる。おしめを交換してもらい、きれいにしてもらって、気持ち良さを感じることができる。 ・お腹が満たされると、満腹感を感じ、ぐっすり眠る。哺乳瓶をくわえながら、眠る子どももいる。午前睡は、30分から、1時間ほどで起こし、リズムを整えていく。光や音に反応したり、抱かれたりして起きる。 ・首が座り、うつぶせ姿勢で、顔をあげられるようになり、寝返りもできる。機嫌がよいと、腹ばいで頭をあげ、手足をバタバタと動かしたり、近くの玩具に手を伸ばして、つかもうとする。つかんだものを確かめようとするのか、口に持って行きやすい。両脇で支えられて、膝の上に立たせてもらうと、足をピンピン弾ませる。母体免疫が弱まり、感染症にかかりやすくなる。（突発性発疹、RSウイルスなど） ・特定の大人が分かるようになり、人見知りをすることもある。何となく、自分の名前が呼ばれているのが、わかる気がする。 ・機嫌よく遊んだり、保育者が声を掛けたりすると、「あーあー」などの喃語を言う。大人との関わり（手遊びや歌）で、嬉しそうにする。
ねらい (教育・ 養育)		<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ離乳食を食べ、いろいろな味に慣れる。 ・喃語や身ぶり、手指や体の動きなどに対して応答的にかかわり、探索活動の意欲が高まるようにする。 ・安心できる特定の大人とのかかわりの中で、快適に過ごせるようにする。
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食を開始し舌でつぶせる固さの物を食べたり、乳以外のいろいろな味のものを食べる。 ・おしめを定期的に替えてもらい、気持ちよさを味わう。 ・満腹感を感じ、個々のリズムで気持ち良く安心して眠る。 ・着替えの時には、動作を一つ一つ言葉にしなが、替えてもらい、心地よさを感じる。 ・手を洗ったり、鼻水をとってもらったりすることで、気持ちよさを感じる。 ・寝返り、腹ばい、うつぶせなど、それぞれの状態に合ったかかわりをする中で、のびのびと手足を動かして遊ぶ。 ・腹ばいで目の前にある物をつかもうとする。 ・泣きの理由を受け止めてもらい、安心して過ごす。
	人間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・抱っこされたり、優しく声をかけてもらったりしながら、ゆったりとした雰囲気の中で保育者との1対1の触れ合いの楽しさを味わう。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外に出て外気に触れ、いろいろな生き物や景色を見て楽しむ。 ・安心できる環境の下で機嫌よく過ごす。
	言 葉	<ul style="list-style-type: none"> ・名前の呼びかけや子守唄、あやし歌に反応して、喃語を発したり大人の声ややりとりを心地よいと感じたりする。
	豊 か な 情 操 と 賢 さ	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人の声や動きを見たり聞いたりして手足を盛んに動かしたり声を出したりする。 ・空腹や眠たいときに泣いて保育者に伝えようとする。
環 境 構 成 と 援 助		<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食が始まるので、保育者・栄養士・保護者と連携をとって進めていく。食事の前には感染症防止の為に、個々にアルコール消毒を行う。一人一人の発達に応じたベビーラックや卓上椅子を準備する。 ・大便の始末をする場合は、感染防止の為に手袋をつける。おしめマットは、清潔を保つためにこまめに交換する。 ・一人一人の生活リズムに合った眠りと目覚めが保障できるように、ベビーベッドやカーテンを利用していき。午前睡は、生活のリズムを整えていくために、30分から1時間で起こすようにする。睡眠中の突然死を防ぐために、保育者が顔色・呼吸などを観察し、個々の睡眠チェック表をつける。 ・健康状態を把握するために、定期的に検温をする。 ・つまんだり、握ったりできるものや、音の鳴るもの、固さや感触の違うものなど、いろいろな玩具を用意しておく。 ・床に布を敷いたりうつぶせ姿勢をフォローするためにタオルを挟んだり、クッションを利用したりして安全に過ごせるようにする。 ・寝返りやハイハイを始めるので、上下分かれた動きやすい衣服にする。 ・泣きの理由を受け止め、タイミングよく対応していくことで、信頼関係が深まるようにする。 ・優しい声で、名前を呼び掛けたり歌をうたったり、喃語に回答して子どもとの1対1のかかわりを十分もつようにする。 ・戸外に出る時には、ベビーカーを用意したり、泣いた時に対応できるようにおんぶ紐を携帯したりしておく。 ・園庭の特定のコーナーに敷物やマットを敷いて、安心して安全に腹ばいなどになって遊べるようにする。 ・使用した遊具は、消毒して清潔しておく。
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携		<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食は、保護者と連絡を取り合い、形状や量を話し合って進めていく。 ・ミルクの名柄を尋ね、家庭と同じミルクを準備する。 ・アレルギーの有無を尋ね、医師の診断の下、除去食を準備する。 ・連絡ノートを毎日交換し合い、ミルクを飲む時間や大便の量など詳細に様子を伝え合うようにする。 ・38度以上の発熱や嘔吐などの異常が見られた場合は早急に連絡する。 ・6カ月を過ぎると母体免疫が弱まり、感染症にかかりやすくなるので、クラス便りや口頭、掲示板で感染症などについて、保護者が安心して対応できるように早急に知らせる。

おおむね1歳3ヶ月未満 8ヶ月～9ヶ月

発達 の 主な 特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食（固めのおかゆ、みじんぎりのおかず）の量が増え、離乳食での栄養を摂ることが主となるので、一日のトータルで飲むミルクの量が減ってくる。いろいろな味に慣れてくる。手の動きも自由になってきて、形あるものは親指と人差し指でつまんで食べようとする。 ・一定の時間におしめ交換をしてもらい喜ぶ。食事の手拭きや食後の口ふきなどをしてもらおう。 ・はいはい、つかまり立ちなどをして、全身の動きが活発になる。 ・身近な大人との関係の中で、自分の意志や要求を身振りや「マンマ」など意味のある言葉で伝えようとする。喃語が盛んになる。 ・特定の大人とのかかわりができて甘えたり、後追いをしたりするようになる。 ・いつも一緒にいる人の顔をよく覚え、知らない人を見ると、人見知りをして泣くことが多くなる。 ・名前を呼ばれると笑ったり、振り向いたりして反応を示す。 ・歯が生えだし、よだれが多くなる子どももいる。 	
ねらい (教育・ 養育)	<ul style="list-style-type: none"> ・全身を使った遊びやふれあい遊びを保育者と十分楽しむ。 ・一人一人の子どもの生理的欲求を満ち、安定した生活リズムの中で、気持ちのよい生活が送れるようにする。 ・特定の大人が喃語や身振りに優しく繰り返し応答することで、愛着心や信頼感を育む。 	
経験 させ たい 内容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食に慣れ、意欲的に手づかみで食べようとし、食べることを楽しむ。 ・おしめが濡れたら、泣いたり、声に出して知らせ、保育者に替えてもらって気持ちよさを感じる。 ・午前と午後に、一定時間安心して眠る。 ・気温や体調に応じて衣服の調節をしてもらい、気持ちよく過ごす。 ・沐浴で肌を清潔にしてもらい、気持ちよく過ごす。 ・食事の手拭きや食後の口拭きなどをしてもらい気持ちよさを感じる。 ・周囲の人や物に興味をもち、はいはいやつかまり立ちなど、手足を使って探索活動をする。 ・応答的な環境の中で、特定の大人との絆を深める。
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の大人や友達に関心をもち、あやしてもらおうと喜んだり、模倣して遊んだりする。 ・保育者とのふれあい遊び（たかいたがい、いないいないばあ、一本橋こちょこちょなど）やかかわりを喜ぶ。
	自信 と 信頼	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生的で安全な環境の中でゆったり過ごす。 ・戸外遊びや散歩を通して、四季の自然や身近な小動物などを見たり、触れたりしながら、興味の幅を広げていく。 ・広い空間でのびのびと動き、聞く、見る、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の動きを豊かにする。 ・好きなおもちゃ（引っ張るおもちゃ、動くおもちゃなど）や遊具に興味をもってかかわり、さまざまな遊びをする。
	命 と 自然	<ul style="list-style-type: none"> ・喃語が盛んになり、気持ちや意欲を「アーアー」「ウーウー」と声を出したり、表情や身振りで伝えようとする。 ・「まんま」と意味ある片言を話し、相手に伝えようとする。 ・特定の大人にゆっくり、やさしく、はっきりと語りかけてもらい喜ぶ。
	豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> ・あやしてもらったり、手遊びをしてもらったり、歌をうたってもらったりすることを喜び、一緒に手足を動かしたり、体を揺らしたりする。 ・音が出る玩具を振ったり、たたいたりして、音を出すことを喜ぶ。
環境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・何でも口に入れる頃なので、小さいものや危ないものがないか点検をする。 ・座る、はう、立つ、つたい歩くなどの運動機能の発達が順調に進んでいくように、広くて安全な場所の準備をし、ベビーカーでの散歩や戸外、室内でのさまざまな遊びを取り入れる。 ・玩具の日光消毒、室内外の遊具の安全点検をこまめにし、探索活動が存分に楽しめるようにする。 ・オルゴール曲や童謡、子守唄などさまざまなBGMを用意し、状況に応じて流す。 ・季節の行事が感じられる壁画やディスプレイを飾り、視覚的に楽しめるようにする。 ・視診、触診を丁寧におこなって、一人一人の健康状態を把握し、体調に変化がある場合は速やかに対処する。 ・離乳食は一人一人の進み具合に応じて、おかゆの固さやおかずの刻みの大きさを変えたものを与えられるよう、栄養士、保育者、家庭と連絡をこまめにとる。 ・夏場はこまめに沐浴をし、あせもやかぶれを予防する。 ・一対一のスキンシップを図りながら、保育者との信頼関係を築いていく。 ・人見知りをして泣く子どもには、すぐそばに行ったり、抱っこしたりして、安心できるようにする。 ・人見知りや不安、甘え、怒りなど一人一人の感情表現を大切に受け止め、応答やスキンシップなどで保育者との親しみが深まるようにする。 ・触ると音の出るものや、やわらかい素材の物など興味をもちそうな玩具を手の届くところに用意しておく。 	
家庭・ 地域 との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相互の連絡帳（検温、食事、睡眠、排排便、投薬の有無など）や送迎時を通して、子どもの様子を伝え合い、状態を把握し、共通理解をする。 ・日頃から保護者と子育てについての思いを共感し、信頼関係を築き、安心して子育てできるようにする。 ・流行性疾患についての特徴や情報を伝え、疾患の早期発見、早期治療に努める。 ・離乳食の進め方や体調不良の食事内容について連絡を取り合い、子どもの状態に合わせておかゆやおかずの形態を変えたり、食材を増やしたりする。 ・人見知りをして、特定の保育者と関係を深めていることを伝え、保護者が安心できるようにする。 ・子どもの体に合った動きやすい衣服を用意してもらおう。 	

おおむね1歳3ヶ月未満 10ヶ月～11ヶ月

<p>発達の子どもの主な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食は後期になり、やや粗い大きさ（歯茎でつぶれる固さ）の物が食べられるようになる。自分で食べたいという気持ちがあり、手づかみで食べたり、スプーンやフォークやコップを持とうとする。「いただきます」や「ちょうだい」の時には、両手を合わせる素振りをする。午後睡前にミルクを欲しがり、フォローアップミルクを100cc程飲んでから眠る子どももいる。 ・一定の時間におしめ交換をしてもらい喜ぶ。 ・午前睡の時間が短くなり、午後睡の時間が長くなる。 ・はいはいがしっかりし移動範囲が広がる。緩やかな斜面をはいはいで登る。くぐったり、マットを登ったりする。つかまり立ちからつたい歩きをしたり、短時間の宙立ちもでき始める。机の上に登ろうとしたり、机の上の玩具を見つけて立ち上がり、手を伸ばして玩具を取ろうとする。ロッカーの引き出しを開けて、服を引っ張り出す。お座りの姿勢でチェーンを引っ張ったり、箱からボールを出したり、ペットボトルのガラガラを振ったりなど、一人遊びを楽しめるようになる。友達を少し意識したり、同じ玩具で遊ぼうとする時もある。「ないないしようね」と言うと、お片付けをしようとしカゴを近づけると玩具を入れる。絵本をペラペラめくる。 ・「まてまて」と追うと、喜んで笑いながら逃げようとする。特定の大人とのかかわりができて甘えたり、後追いをして泣く事が多くなる。人見知りをして、泣く事がある。 ・バイバイに手を振って応える。名前を呼ばれると、手を挙げて笑う。「いないいないばあー」を喜び、「ばあ」と言う。「まんま」など、意味のある言葉が始められる。手遊びや絵本を見せると、保育者の方に注目したり喜んで体を揺らしたりする。「ちょうだい」と言うと、手に持っているものを渡そうとする。拍手などの身振りを真似る。目の前のおもちゃを隠すと探す。 										
<p>ねらい（教育）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を十分に動かして（はう・登る・降りる・押す・引っ張る）、安全な環境の中で探索活動を楽しむ。 ・自分で食べたい気持ちを大切に、食べる意欲が高まるようにする。 ・模倣しやすい言葉や動作で応答することにより、安心して過ごし、表情や感性が豊かになるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="228 701 284 992"> <p>健康な心と体</p> </td> <td data-bbox="284 701 1441 992"> <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食後期になり、やや粗く刻んだものを食べさせてもらい、手づかみで食べられるものは自分から進んで食べようとする。 ・コップを両手でしっかり持ったり、自分で持って食べたりして、さまざまな味や食品に慣れる。 ・活動の合間に定期的におしめを替えてもらい、気持ちよく過ごす。 ・自分の布団の中で、一定時間安心して眠る。 ・保育者の膝の上に乗ってズボンをはかせてもらうなど、声をかけられながら、落ち着いて着替える。 ・生活リズムが整い、睡眠・食事・排泄・着脱など保育者からの誘いに応じる。 ・誘いかけに応じて、保育者と一緒に手を洗ったり鼻水をためたりすることで気持ち良さを感じる。 ・運動機能が発達し、自由に両手を使い周囲の人や物に興味をもち、くぐる・掘む・登る・降りるなどいろいろな動きをしながら、探索行動を楽しむ。 ・興味のある物を親指と他の指を向かい合わせて指でつかもうとする。（拇指対向性） ・動作1つ1つや気持ちなどを言葉にしてもらう事で安心して過ごす。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 992 284 1081"> <p>関人関係</p> </td> <td data-bbox="284 992 1441 1081"> <ul style="list-style-type: none"> ・あやしてもらおうと喜んだり身振りを真似たり顔を見合わせるなどして、生活や遊びの中で身近な人に興味をもち、身近な大人とのやりとりをする。 ・担当保育者に十分に接してもらい、安心して園生活を過ごす。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1081 284 1193"> <p>自信と信頼</p> </td> <td data-bbox="284 1081 1441 1193"> <ul style="list-style-type: none"> ・つかまり立ちやつたい歩きがしやすいような柵や手すりなどを使って十分動く。 ・素足で過ごす気持ちよさを味わう。 ・気に入った玩具を手にして遊んだり、色々な素材の遊具で遊んだりする。（チェーン・ロープ・穴落とし・はがす・引っ張る・握る） ・戸外遊びを通じて、動植物に親しんだり、直接草花に触れたりして体験を広げていく。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1193 284 1305"> <p>命と自然</p> </td> <td data-bbox="284 1193 1441 1305"> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵本を繰り返し読んでもらうことを喜ぶ。 ・安心できる大人が、ゆっくり優しく語りかける事で、口元の動きを模倣し、声を出し言葉を真似しようとする。 ・行動一つ一つに言葉がけをしてもらい、その内容を徐々に理解していく。 ・名前を呼ばれたり、手遊びや歌を聞いたりして、保育者とのコミュニケーションを楽しむ。 ・保育者に気持ちをくみ取ってもらい、言葉にしてもらいながら、喃語や単語のやりとりをする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1305 284 1411"> <p>豊かな情緒</p> </td> <td data-bbox="284 1305 1441 1411"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の欲しいものやして欲しいことを、指差しや喃語で表す。 ・歌や手遊びに合わせて、体を揺らしたりリズムをとったりする。 ・興味をもった素材（タンポ・手形・シールはがしなど）に触れて、感触を楽しみながら遊ぶ。 </td> </tr> </table>	<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食後期になり、やや粗く刻んだものを食べさせてもらい、手づかみで食べられるものは自分から進んで食べようとする。 ・コップを両手でしっかり持ったり、自分で持って食べたりして、さまざまな味や食品に慣れる。 ・活動の合間に定期的におしめを替えてもらい、気持ちよく過ごす。 ・自分の布団の中で、一定時間安心して眠る。 ・保育者の膝の上に乗ってズボンをはかせてもらうなど、声をかけられながら、落ち着いて着替える。 ・生活リズムが整い、睡眠・食事・排泄・着脱など保育者からの誘いに応じる。 ・誘いかけに応じて、保育者と一緒に手を洗ったり鼻水をためたりすることで気持ち良さを感じる。 ・運動機能が発達し、自由に両手を使い周囲の人や物に興味をもち、くぐる・掘む・登る・降りるなどいろいろな動きをしながら、探索行動を楽しむ。 ・興味のある物を親指と他の指を向かい合わせて指でつかもうとする。（拇指対向性） ・動作1つ1つや気持ちなどを言葉にしてもらう事で安心して過ごす。 	<p>関人関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あやしてもらおうと喜んだり身振りを真似たり顔を見合わせるなどして、生活や遊びの中で身近な人に興味をもち、身近な大人とのやりとりをする。 ・担当保育者に十分に接してもらい、安心して園生活を過ごす。 	<p>自信と信頼</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・つかまり立ちやつたい歩きがしやすいような柵や手すりなどを使って十分動く。 ・素足で過ごす気持ちよさを味わう。 ・気に入った玩具を手にして遊んだり、色々な素材の遊具で遊んだりする。（チェーン・ロープ・穴落とし・はがす・引っ張る・握る） ・戸外遊びを通じて、動植物に親しんだり、直接草花に触れたりして体験を広げていく。 	<p>命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵本を繰り返し読んでもらうことを喜ぶ。 ・安心できる大人が、ゆっくり優しく語りかける事で、口元の動きを模倣し、声を出し言葉を真似しようとする。 ・行動一つ一つに言葉がけをしてもらい、その内容を徐々に理解していく。 ・名前を呼ばれたり、手遊びや歌を聞いたりして、保育者とのコミュニケーションを楽しむ。 ・保育者に気持ちをくみ取ってもらい、言葉にしてもらいながら、喃語や単語のやりとりをする。 	<p>豊かな情緒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の欲しいものやして欲しいことを、指差しや喃語で表す。 ・歌や手遊びに合わせて、体を揺らしたりリズムをとったりする。 ・興味をもった素材（タンポ・手形・シールはがしなど）に触れて、感触を楽しみながら遊ぶ。
<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食後期になり、やや粗く刻んだものを食べさせてもらい、手づかみで食べられるものは自分から進んで食べようとする。 ・コップを両手でしっかり持ったり、自分で持って食べたりして、さまざまな味や食品に慣れる。 ・活動の合間に定期的におしめを替えてもらい、気持ちよく過ごす。 ・自分の布団の中で、一定時間安心して眠る。 ・保育者の膝の上に乗ってズボンをはかせてもらうなど、声をかけられながら、落ち着いて着替える。 ・生活リズムが整い、睡眠・食事・排泄・着脱など保育者からの誘いに応じる。 ・誘いかけに応じて、保育者と一緒に手を洗ったり鼻水をためたりすることで気持ち良さを感じる。 ・運動機能が発達し、自由に両手を使い周囲の人や物に興味をもち、くぐる・掘む・登る・降りるなどいろいろな動きをしながら、探索行動を楽しむ。 ・興味のある物を親指と他の指を向かい合わせて指でつかもうとする。（拇指対向性） ・動作1つ1つや気持ちなどを言葉にしてもらう事で安心して過ごす。 										
<p>関人関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あやしてもらおうと喜んだり身振りを真似たり顔を見合わせるなどして、生活や遊びの中で身近な人に興味をもち、身近な大人とのやりとりをする。 ・担当保育者に十分に接してもらい、安心して園生活を過ごす。 										
<p>自信と信頼</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・つかまり立ちやつたい歩きがしやすいような柵や手すりなどを使って十分動く。 ・素足で過ごす気持ちよさを味わう。 ・気に入った玩具を手にして遊んだり、色々な素材の遊具で遊んだりする。（チェーン・ロープ・穴落とし・はがす・引っ張る・握る） ・戸外遊びを通じて、動植物に親しんだり、直接草花に触れたりして体験を広げていく。 										
<p>命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵本を繰り返し読んでもらうことを喜ぶ。 ・安心できる大人が、ゆっくり優しく語りかける事で、口元の動きを模倣し、声を出し言葉を真似しようとする。 ・行動一つ一つに言葉がけをしてもらい、その内容を徐々に理解していく。 ・名前を呼ばれたり、手遊びや歌を聞いたりして、保育者とのコミュニケーションを楽しむ。 ・保育者に気持ちをくみ取ってもらい、言葉にしてもらいながら、喃語や単語のやりとりをする。 										
<p>豊かな情緒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の欲しいものやして欲しいことを、指差しや喃語で表す。 ・歌や手遊びに合わせて、体を揺らしたりリズムをとったりする。 ・興味をもった素材（タンポ・手形・シールはがしなど）に触れて、感触を楽しみながら遊ぶ。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手づかみで、自分で食べようとする気持ちを大切に見守りながら、スプーンの持ちやすい握り方やコップの持ち方など丁寧に見守りをしていくようにする。離乳食について、給食室と連絡をとりあい、形状や量を話し合っ進められるようにする。 ・健康状態を把握するために、定期的に検温する。 ・探索活動が活発になるので、危険な物は取り除き安全な環境を整える。発達や興味に合わせて、体を使って遊べるようにマットや功技台や手作り用具を組み合わせる。 ・一対一の関わりを大切にしながら、スキンシップをはかるようにし、信頼関係を築いていく。 ・戸外に出て、安全な環境の中で遊んだり、自然に触れることができるようにする。 ・玩具の消毒・室内外の遊具の安全点検をこまめにする。 ・子どもから出た言葉や要求に対しては、見逃さず受け止め対応し、気持ちをくみ取り、優しく接することで満足感を味わえるようにする。 ・子どもが興味を示すような、いろいろな色や形・音・材質の違う手作り玩具を用意するなどして、見たり聞いたり触ったりして、感覚を楽しめるようにする。 ・興味のある曲を用意したり、保育者が優しい声で手遊びをしたりしながら、リズムや言葉・身振りを真似ることを楽しむことができるようにする。 ・保育者間で一人一人の子どもに対して共通した対応ができるよう連携をもつ。 										
<p>家庭・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での生活の流れや離乳食の進め具合、量、切り方、寝かせ方、好きな絵本などを聞き、家庭に近い受け入れや過ごし方ができるように把握する。 ・園で気を付けている環境について知らせ、家庭でも子どもの手が届く所には危険な物を置かないようにしたり、段差や硬い床などに気を付けてもらったりし、安全面の配慮について伝えていく。 ・子どもが出来るようになった事や楽しく過ごせた場面など、連絡ノートや送迎時を利用して伝え、保護者が安心できるようにする。 ・予防接種や既往症の有無を再確認する。 										

おおむね1歳3ヶ月未満 1歳～1歳1ヶ月

<p>発達の子どもの主な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児食に移行していき、普通のご飯や大人と同じおかずを刻んだものが食べられるようになるが、好き嫌いが出てきて、嫌なものや固い物は吐き出すことがある。自分で手づかみやスプーンを持って食べようとするが、上手くすくえない。 ・コップを持って、こぼしながらも少しずつ飲めるようになる。 ・保育者が食事前後に「いただきます」「ごちそうさま」と挨拶をすると、頭を一緒に下げようとする。 ・午前睡をしなくても午後まですごせる。 ・宙立ちが増える。全身をよく動かし、はいはいや伝い歩きで探索を楽しむ。 ・名前を呼ばれると手をあげる。 ・特定の大人とのかかわりの中で、歌や手遊びに喜んで反応し、まねをしようとする。 ・「いないいないばあー」「プープー」と意味のある言葉をしきりに言う。 ・散歩車（ベビーカー）に乗って園周辺に散歩に出かけ、いろいろな物を見て「ワンワン」「ニャーニャー」と言う。 ・他児のしていること、持っている物に興味をもち、近寄ったり、他児に触ったり、持っている物を取ろうとしたりする。 ・自分の思いが通じないと首を横に振ったり、手を振り払ったり、泣いたりする。 										
<p>ねらい (教育・保育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全身を使った遊びを楽しみながら、歩行への興味をもつ。 ・特定の大人が優しく繰り返し応答することで、愛着心や信頼関係を深めていく。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="220 663 268 842"> <p>健康な心と体</p> </td> <td data-bbox="268 663 1418 842"> <ul style="list-style-type: none"> ・徐々に幼児食に慣れ、自分で食べたいものを食べようとしたり、スプーンですくおうとしたりして、意欲的によくかんで食べる。 ・機嫌の良い時には、保育者に誘われてオマールに座ってみる。 ・保育者に見守られて、一定時間、午後睡をする。 ・着脱してもらう時に、保育者の誘いに応じて、手足を動かそうとする。 ・保育者と一緒に手洗いをすることに慣れる。 ・ひとり立ちでバランスを取ったり、身近な大人に促してもらい、歩こうする。 ・マットや滑り台などの遊具で、登る、すべる、転がるなど、さまざまな動きをする。 ・思いや表現を受け止めてもらったり、優しく応答してもらったりすることで安心して過ごす。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 842 268 969"> <p>人間関係</p> </td> <td data-bbox="268 842 1418 969"> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の大人や友達への関心が強くなり、自分からかかわったり、模倣して遊んだりする。 ・いろいろな活動に参加し、興味が広がる。 ・保育者の膝の上で絵本を見たり、手遊びをしったりしてふれあいの楽しさを味わう。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 969 268 1075"> <p>環境</p> </td> <td data-bbox="268 969 1418 1075"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守ってもらいながら、自分の興味をもった遊びや好きな玩具を見つけて、積極的に遊ぶ。 ・生活や遊びの中で、自分の周りの物に興味をもち、見る、聞く、触れるなどする。 ・戸外遊びや散歩を通して、四季の自然や身近な小動物を見たり触れたりしながら、興味をもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1075 268 1202"> <p>命と自然</p> </td> <td data-bbox="268 1075 1418 1202"> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な絵本を読んでもらい、知っている物を指さしたり、声に出したりする。 ・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉がわかり、反応する。 ・特定の大人の言葉をまねて、「ワーワー」「プープー」「パーパー」などの言葉が増えたり、喃語や片言で相手に気持ちを伝えようとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1202 268 1290"> <p>豊かな情操</p> </td> <td data-bbox="268 1202 1418 1290"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に、歌や手遊びに合わせて手や体を動かしたり、音を出したり、模倣したりすることを喜ぶ。 ・意志や要求を身振りや片言で表現する。 </td> </tr> </table>	<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々に幼児食に慣れ、自分で食べたいものを食べようとしたり、スプーンですくおうとしたりして、意欲的によくかんで食べる。 ・機嫌の良い時には、保育者に誘われてオマールに座ってみる。 ・保育者に見守られて、一定時間、午後睡をする。 ・着脱してもらう時に、保育者の誘いに応じて、手足を動かそうとする。 ・保育者と一緒に手洗いをすることに慣れる。 ・ひとり立ちでバランスを取ったり、身近な大人に促してもらい、歩こうする。 ・マットや滑り台などの遊具で、登る、すべる、転がるなど、さまざまな動きをする。 ・思いや表現を受け止めてもらったり、優しく応答してもらったりすることで安心して過ごす。 	<p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の大人や友達への関心が強くなり、自分からかかわったり、模倣して遊んだりする。 ・いろいろな活動に参加し、興味が広がる。 ・保育者の膝の上で絵本を見たり、手遊びをしったりしてふれあいの楽しさを味わう。 	<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守ってもらいながら、自分の興味をもった遊びや好きな玩具を見つけて、積極的に遊ぶ。 ・生活や遊びの中で、自分の周りの物に興味をもち、見る、聞く、触れるなどする。 ・戸外遊びや散歩を通して、四季の自然や身近な小動物を見たり触れたりしながら、興味をもつ。 	<p>命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な絵本を読んでもらい、知っている物を指さしたり、声に出したりする。 ・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉がわかり、反応する。 ・特定の大人の言葉をまねて、「ワーワー」「プープー」「パーパー」などの言葉が増えたり、喃語や片言で相手に気持ちを伝えようとする。 	<p>豊かな情操</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に、歌や手遊びに合わせて手や体を動かしたり、音を出したり、模倣したりすることを喜ぶ。 ・意志や要求を身振りや片言で表現する。
<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々に幼児食に慣れ、自分で食べたいものを食べようとしたり、スプーンですくおうとしたりして、意欲的によくかんで食べる。 ・機嫌の良い時には、保育者に誘われてオマールに座ってみる。 ・保育者に見守られて、一定時間、午後睡をする。 ・着脱してもらう時に、保育者の誘いに応じて、手足を動かそうとする。 ・保育者と一緒に手洗いをすることに慣れる。 ・ひとり立ちでバランスを取ったり、身近な大人に促してもらい、歩こうする。 ・マットや滑り台などの遊具で、登る、すべる、転がるなど、さまざまな動きをする。 ・思いや表現を受け止めてもらったり、優しく応答してもらったりすることで安心して過ごす。 										
<p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の大人や友達への関心が強くなり、自分からかかわったり、模倣して遊んだりする。 ・いろいろな活動に参加し、興味が広がる。 ・保育者の膝の上で絵本を見たり、手遊びをしったりしてふれあいの楽しさを味わう。 										
<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守ってもらいながら、自分の興味をもった遊びや好きな玩具を見つけて、積極的に遊ぶ。 ・生活や遊びの中で、自分の周りの物に興味をもち、見る、聞く、触れるなどする。 ・戸外遊びや散歩を通して、四季の自然や身近な小動物を見たり触れたりしながら、興味をもつ。 										
<p>命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な絵本を読んでもらい、知っている物を指さしたり、声に出したりする。 ・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉がわかり、反応する。 ・特定の大人の言葉をまねて、「ワーワー」「プープー」「パーパー」などの言葉が増えたり、喃語や片言で相手に気持ちを伝えようとする。 										
<p>豊かな情操</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に、歌や手遊びに合わせて手や体を動かしたり、音を出したり、模倣したりすることを喜ぶ。 ・意志や要求を身振りや片言で表現する。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的で落ち着いた環境づくりを心掛け、安心して過ごせるようにする。 ・衛生的で安全な環境づくりに常に心がける。 ・子どもの目線から室内外の安全点検をし、拾って口に入れるものがないか確認する。 ・歩行が不安定な時なので、周囲につまずいたり、転んでぶつかったりするものがないように、室内外の危険箇所、遊具をチェックしておく。 ・手先を使う遊びのできる手作り遊具を用意する。(ポットン落とし、マジックテープはがしなど) ・季節や行事を感じられる壁画やディスプレイを飾り、視覚的に楽しめるようにする。 ・離乳食が順調に進んでいるか一人一人を注意深く見て、丸飲み、吸い食べ、口の中への溜め込み、咀嚼が弱いなどがみられる場合は、どこの段階でつまずいているかを見極めて個別に対応する。 ・意欲的に食べる姿を見守り、食べにくい物、持ちにくい物には手を添えていく。 ・好き嫌いの出てきた子どもには、量や大きさを加減したり、好きなものに混ぜたりして工夫を凝らしながら、無理なく食べられるようにする。 ・滑り台やマットを利用して、登る、すべる、転がるなどのさまざまな動きが楽しめるようにし、保育者はすぐに支えられる位置につき、安全に遊べるように配慮する。 ・保育者が手を添えて移動したり、園庭を歩いたりして、体を動かす楽しさが味わえるようにする。 ・保育者も子どもと一緒に遊びを楽しみながら、友達への興味関心がもてるように働きかける。 ・喃語や片言、動作から欲求や興味に気づき、気持ちを代弁しながら、発語につながる言葉かけやかかわりを大切にしていく。 ・保育者は、子どもにわかりやすく、ゆっくりはっきりとやさしく語りかけるようにする。 										
<p>家庭・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が悩みを相談したいと思えるように、ゆったりと接し、個々に合わせた対応を心がける。 ・連絡帳や送迎時に子どもの様子を伝え合い、お互いの状態を把握し、共通理解ができるようにする。 ・保護者と子育てについての思いを共感し、子育ての喜びが感じられるよう園生活を通しての子どもの様子をこまめに知らせいきながら、信頼関係を築いていく。 ・流行性疾患についての特徴や情報を伝え、疾患の早期発見、早期治療につなげていく。 ・生活リズムが安定してくるので、早寝早起きの大切さを知らせ、子どもの生活リズムに合わせて無理なく過ごせるように話し合っていく。(保護者にあった伝え方をする。) ・園外保育で出会った人に保育者から声をかけ、相手に気づいて、見たり、手を振ったりし、地域のかかわりを広げていく。 										

おおむね1歳3ヶ月未満 1歳2ヶ月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児食になり、手づかみやスプーンで意欲的に食べようとするが、こぼす事が多い。好んでいた食べ物を嫌がったり、好き嫌いがはっきりし、嫌いな食べ物や固いものは吐き出すことがある。 ・オマルに慣れ、嫌がらずに座り、タイミングが合えば、オマルで出ることある。おしめを自分で上へ持ち上げようとする子どももいる。 ・午前睡をしないで、午後1回の昼寝になる。午前中に眠くなったり昼食中に眠くなることもある。自分の布団に落ち着いて入り、一定時間眠れる。同じ部屋の先生が側にいると、安心して眠る。哺乳瓶をくわえて眠ることは、なくなってくる。 ・保育者と一緒に喜んで手洗いをする。 ・落ちている物を、つまんで拾えるようになる。一人歩きをするようになり、盛んに探索する。靴を履いて外で遊ぶことを喜ぶ。つかまらずに歩けたり、一人で立ち上がって歩いたりもできる。また、うしろへ転びそうになると、両手を後ろへついて体を支えようとすることもある。 ・歌や手遊びが始まると、立って手拍子したり、体を揺らしたりする。手遊びやふれあい遊びを喜んだり、一緒に遊ぶというのではないが、友達と同じ玩具を触って、遊んだりする事もある。 ・砂場で砂に触れて遊ぶ事を喜ぶ。 ・言葉の意味が少しずつ分かり始め、保育者からの「ごはんだよ」「ねんねしようね」などの誘いかけに反応するようになる。「ちょうだい」と言うと、手渡ししてくれるようになる。絵本にも興味を示すようになり、よく見つめるようになる。「バイバイ」「ありがとう」「ちょうだい」などの身振りを活発にする。 										
<p>養育 （園） ・ わら い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られて、応答してもらいながら、安心して自分の思いをしぐさや片言で表す。 ・安定したリズムの中で、食事や排泄などの身の回りの事に少しずつ意欲がもてるようになる。 ・子どもの興味関心を優しく受け止め、共感し、満足感を得られるようにする。 ・指先を使った遊びや全身を動かす遊びなどが十分楽しめるように環境を整え、探究心を高めていく。 										
<p>経験 させ たい 内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="252 622 319 772">健康な心と体</td> <td data-bbox="319 622 1428 772"> <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児食に慣れ、意欲的に手づかみやスプーンを使って食べたりする。 ・保育者に見守られ、自分の布団を見ると安心して寝ころび、一定時間落ち着いて眠る。 ・保育者に見守られ、オマルに座り、タイミングが合えば排泄できる。 ・保育者に促してもらい、着脱に応じて、手足を動かしていく。 ・保育者と一緒に手洗いをすることに慣れ、自分でも手を動かして洗う。 ・歩いて探索活動をする。 ・思いや表現を受け止めもらったり、優しく応答してもらうことで安心して過ごす。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 772 319 862">人間関係</td> <td data-bbox="319 772 1428 862"> <p>自信と信頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に抱っこやひざに座らせてもらい、甘えを満たしてもらう。 ・身近な大人や友達への関心が強くなり、自分から関わっていったり、模倣して遊んだりする。 ・友達の側に行くと触ったり、友達の持っている玩具を取ろうとするなど、友達とかがわろうとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 862 319 952">環境</td> <td data-bbox="319 862 1428 952"> <p>命と自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広々として安全な空間の中で安心できる大人と一緒に落ち着いて過ごす。 ・戸外遊びや散歩を通して、身近な小動物や身の周りの自然を見たり触れたり聞いたりする。 ・砂や水に触れて、感触を楽しむ。 ・保育者に見守ってもらいながら、自分の興味を持った遊びや好きな玩具を見つけて積極的に遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 952 319 1064">言葉</td> <td data-bbox="319 952 1428 1064"> <p>豊かな表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本を繰り返し読んでもらう事を楽しみ、知っている物や関心のある物を指差して知らせたり「プー」「バイバイ」など片言で話そうとする。 ・「いただきます」や「さようなら」など言葉の意味が分かり、身振りで示そうとする。 ・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉が分かり、反応したり行動したりしようとする。 ・名前を呼ばれると反応したり手をあげたりする。 ・身近な大人の言葉をまねて、片言が増えたり、喃語や片言で相手に気持ちを伝えようとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 1064 319 1191">豊かな表現</td> <td data-bbox="319 1064 1428 1191"> <p>豊かな表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玩具を取られると「あー」と叫んで怒ったり、他児の方へ手を伸ばそうとしたりする時など、保育者に気持ちを言葉で表してもらい、満足感を味わう。 ・音楽を聞き、リズムによって体や手を動かしたり、音がなる玩具をならしたりする。 ・保育者と一緒に、歌や手遊びに合わせて、手や体を動かしたり、模倣したりする。 ・意思や欲求を表情や身ぶり、片言で表現する。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児食に慣れ、意欲的に手づかみやスプーンを使って食べたりする。 ・保育者に見守られ、自分の布団を見ると安心して寝ころび、一定時間落ち着いて眠る。 ・保育者に見守られ、オマルに座り、タイミングが合えば排泄できる。 ・保育者に促してもらい、着脱に応じて、手足を動かしていく。 ・保育者と一緒に手洗いをすることに慣れ、自分でも手を動かして洗う。 ・歩いて探索活動をする。 ・思いや表現を受け止めもらったり、優しく応答してもらうことで安心して過ごす。 	人間関係	<p>自信と信頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に抱っこやひざに座らせてもらい、甘えを満たしてもらう。 ・身近な大人や友達への関心が強くなり、自分から関わっていったり、模倣して遊んだりする。 ・友達の側に行くと触ったり、友達の持っている玩具を取ろうとするなど、友達とかがわろうとする。 	環境	<p>命と自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広々として安全な空間の中で安心できる大人と一緒に落ち着いて過ごす。 ・戸外遊びや散歩を通して、身近な小動物や身の周りの自然を見たり触れたり聞いたりする。 ・砂や水に触れて、感触を楽しむ。 ・保育者に見守ってもらいながら、自分の興味を持った遊びや好きな玩具を見つけて積極的に遊ぶ。 	言葉	<p>豊かな表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本を繰り返し読んでもらう事を楽しみ、知っている物や関心のある物を指差して知らせたり「プー」「バイバイ」など片言で話そうとする。 ・「いただきます」や「さようなら」など言葉の意味が分かり、身振りで示そうとする。 ・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉が分かり、反応したり行動したりしようとする。 ・名前を呼ばれると反応したり手をあげたりする。 ・身近な大人の言葉をまねて、片言が増えたり、喃語や片言で相手に気持ちを伝えようとする。 	豊かな表現	<p>豊かな表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玩具を取られると「あー」と叫んで怒ったり、他児の方へ手を伸ばそうとしたりする時など、保育者に気持ちを言葉で表してもらい、満足感を味わう。 ・音楽を聞き、リズムによって体や手を動かしたり、音がなる玩具をならしたりする。 ・保育者と一緒に、歌や手遊びに合わせて、手や体を動かしたり、模倣したりする。 ・意思や欲求を表情や身ぶり、片言で表現する。
健康な心と体	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児食に慣れ、意欲的に手づかみやスプーンを使って食べたりする。 ・保育者に見守られ、自分の布団を見ると安心して寝ころび、一定時間落ち着いて眠る。 ・保育者に見守られ、オマルに座り、タイミングが合えば排泄できる。 ・保育者に促してもらい、着脱に応じて、手足を動かしていく。 ・保育者と一緒に手洗いをすることに慣れ、自分でも手を動かして洗う。 ・歩いて探索活動をする。 ・思いや表現を受け止めもらったり、優しく応答してもらうことで安心して過ごす。 										
人間関係	<p>自信と信頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に抱っこやひざに座らせてもらい、甘えを満たしてもらう。 ・身近な大人や友達への関心が強くなり、自分から関わっていったり、模倣して遊んだりする。 ・友達の側に行くと触ったり、友達の持っている玩具を取ろうとするなど、友達とかがわろうとする。 										
環境	<p>命と自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広々として安全な空間の中で安心できる大人と一緒に落ち着いて過ごす。 ・戸外遊びや散歩を通して、身近な小動物や身の周りの自然を見たり触れたり聞いたりする。 ・砂や水に触れて、感触を楽しむ。 ・保育者に見守ってもらいながら、自分の興味を持った遊びや好きな玩具を見つけて積極的に遊ぶ。 										
言葉	<p>豊かな表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本を繰り返し読んでもらう事を楽しみ、知っている物や関心のある物を指差して知らせたり「プー」「バイバイ」など片言で話そうとする。 ・「いただきます」や「さようなら」など言葉の意味が分かり、身振りで示そうとする。 ・大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉が分かり、反応したり行動したりしようとする。 ・名前を呼ばれると反応したり手をあげたりする。 ・身近な大人の言葉をまねて、片言が増えたり、喃語や片言で相手に気持ちを伝えようとする。 										
豊かな表現	<p>豊かな表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玩具を取られると「あー」と叫んで怒ったり、他児の方へ手を伸ばそうとしたりする時など、保育者に気持ちを言葉で表してもらい、満足感を味わう。 ・音楽を聞き、リズムによって体や手を動かしたり、音がなる玩具をならしたりする。 ・保育者と一緒に、歌や手遊びに合わせて、手や体を動かしたり、模倣したりする。 ・意思や欲求を表情や身ぶり、片言で表現する。 										
<p>環境 構成 と 援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びによって、スペースを区切ったり、立った姿勢で遊べる物を用意したりと集中して遊べる環境構成をする。 ・自分のやりたいという気持ちを大切に、保育者は根気よく待つやめる事を忘れない。 ・食事の際には、足元に台を置くなどして、足が宙に浮かぬような工夫をし、落ち着いて食べられるようにする。 ・自分でスプーンを使って食べようとする姿を大切に見守りながら、スプーンの使い方を優しく知らせていくようにする。 ・自分から食べようとする意欲を大切に、一人一人の量や食べ方に合わせて介助していく。 ・意欲的に食べる姿を見守り、必要に応じて食べにくい物、持ちにくい物は、手を支えて援助していく。好き嫌いが出てきた子どもには、量や大きさを加減したり、好きな物に混ぜたりと工夫を凝らしながら、無理なく食べられるようにする。 ・午睡時にはカーテンを引くなどして部屋を少し暗くし安心して眠れるようにしたり、目覚めの時には、無理やり起こすのではなく自然の目覚めを待つようにしたりする。一人一人のリズムを大切にしながら、安心して午睡ができるようにする。 ・歩けるようになり、活動範囲が広がるので、周囲につまづいたり、転んでぶつかったりする危険物がなければ確認し、安全に活動できるようにする。 ・子どもの目線から室内外の安全点検をし、拾って口に入れるようなものがないか確認する。 ・手先を使った遊びが多様に行えるよう、さまざまな形や素材、大きさの玩具や手作り玩具を用意していく。 ・排泄のタイミングや機嫌を見て誘いながら、一人一人に合った方法や言葉がけでおしめ交換をしていく。 ・食事前、外出後など、手洗いをする習慣をつけるようにし、感染症予防や清潔にする習慣が身につくようにする。 ・玩具をとられると「あー！」と叫んで怒ったり、他児の方へ手を伸ばそうとしたりする時など、保育者に気持ちを言葉で表現してもらい、満足感を味わえるようにする。 ・保育者と好きな遊びを一緒に楽しみながら、友達への興味やかかわりの仲立ちをしていく。 ・他児にも関心を示すよう、遊びの場面などで子ども同士を近くにできるような工夫をしていく。 ・一人一人の興味や好きな遊びを把握し、興味をもって遊びに集中し一人遊びが満足してできるように、スペースや時間や玩具を整える。 ・自然を感じたり、自然物を見たり、触れたりできるような散歩コースを事前に確認する。子どもたちが自ら発見していく楽しさを感じたり、興味や関心を高めたりするために、散歩に出かける時には、十分時間をとったり、指をさした物と一緒に発見を共有したりする。 ・季節や行事を感じられる壁面やディスプレイを飾り、視覚的に楽しめるようにする。 ・思いを言葉にできず、かみつくこともあるが、保育者が思いをくみ取り、安定した気持ちで過ごせるようにする。 ・喃語や片言、動作から欲求に気が付き、気持ちを代弁しながら、発語につながる言葉がけやかかわりを大切にしていく。 ・保育者は、子どもの言葉や表現を受け止め、分かりやすく、ゆっくり、はっきりとやさしく受容した言葉を返していく。 ・子どもの好きな手遊びや曲を用意し、身体を揺すったり踊ったりする事が楽しめるようにする。 										
<p>家庭 ・ 地 域 と の 連 携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や送迎時に子どもの様子を伝え合い、お互いの状態を把握し、共通理解が出来るようにする。 ・保護者と子育てについて思いを共感し、子育ての喜びが感じられるよう園生活を通して子どもの成長をこまめに知らせていきながら、信頼関係を築いていく。 ・流行性疾患について特徴や情報を伝え、疾患の早期発見、早期治療につなげていく。 ・生活リズムが安定してくるので、早寝、早起きの大切さを知らせ、子どもの生活リズムに合わせて無理なく過ごせるように話し合っていく。（保護者にあつた伝え方をする） ・歩行ができることにより、動きやすい服装や足に合った靴の準備をしてもらう。 ・園外保育で出会った人に、保育者から声をかけ、相手に気付いて見たり、手を振ったりする。 										

作業部会【おおむね1歳3ヶ月～2歳未満】

萬代 芳子（福岡保育園 主任 / 松本 亨枝園長代理）

中江 圭子（鶴山幼稚園 主任）

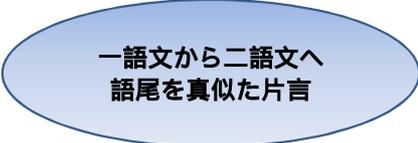


福嶋 直美（一宮保育所 副主任）

藤本 真澄（二宮保育園 保育士）

前田 敦子（やよい保育園 保育士）

おもな発達の特徴 おおむね1歳3ヶ月～2歳未満

理念	保育内容（5領域）		おもな発達の特徴
健康な心と体	健康	身体・運動機能	○歩けるようになり、探索活動が活発になる。 ○体のバランスのとり方が上手になる。（しゃがむ、ぶら下がる、跳ぶなど） ○積む、つまむ、転がす、はがすなど手や指を使って遊ぶ。 <div style="text-align: center;">  <p>探索活動</p> </div>
		基本的な生活習慣	○離乳が完了し、幼児食を食べる。 ○スプーンやフォークを使って食べる。 ○食べ物の好き嫌いが出てくる。 ○身振りや簡単な言葉で排泄を知らせる。 ○ズボンや紙パンツを自分で脱ぐ。 ○手洗い、鼻かみなど自分でしようとする。 <div style="text-align: right;">  </div>
自信と信頼	人間関係	人とかかわる力 自立心 協同 規範意識など	○保育者や友達のすることに関心を持ち、真似をする。 ○大人の反応を感じながら、よいこと悪いことに気づく。 ○一人遊びをする。
		好奇心 探究心 生活に取り入れる力など	○水、土、砂などの感触を楽しむ。 ○自分の物と友達のものとの区別がつきにくい。
命と自然	言葉	話す力 聞く力 言葉で表現する力など	○指差し、身振り、片言、二語文で思いを伝える。 ○興味のある絵本を読んでもらい、言葉を繰り返し言おうとする。 <div style="text-align: center;">  <p>一語文から二語文へ 語尾を真似た片言</p> </div>
		豊かな感性や表現力 想像力 描く 作る リズム など	○いろいろな材料で感覚遊びをする。 ○腕を左右、上下、丸く動かしてなぐり描きをする。 ○リズムに合わせて、体を動かして遊ぶ。 <div style="text-align: right;">  <p>ぐるぐるかくの おもしろい</p> </div>

おおむね2歳未満 1歳3ヶ月～1歳5ヶ月

発達 の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンやフォークなどに興味をもち、持とうとするが、手づかみになる。こぼしながら自分で食べようとする。 ・排泄は「ちー」と言って知らせることもあるが、まだ、ほとんどの子どもがおしめである。周りの子どもがトイレに行く様子を見て、自分も行ってみたい、おしめに出ないタイミングで保育者に促されると、行ってみようとする。 ・ほとんどの子どもは一人で立ち上がり、歩けるようになる。歩行の発達に伴い、探索活動が活発になる。何でも触りたがり、つまんだり、落としたり、引き出しを開けたりして遊ぶことを楽しむ。散歩の途中で草や石や風に触れ、溝などに落ちてみたりする。狭い所に潜りこんで遊ぶ。 ・友達をしていることをニコニコ見ている子どももいる。友達を指さし、友達の名前がわかる。身振りや片言で表わそうとし、保育者に応答してもらうことを喜び、欲しい物や知っている物を指さして「ワンワン」「あっち」などの一語文の使用が始まる。身近な動物や果物、身の回りのものなどの絵本やペープサートを喜び繰り返して見る。 ・保育者に見守られ、目の前におもちゃで遊び、探索活動をしながら一人遊びを楽しむ。なんとなくゴロンとしたくなることがある。他の子どもが保育者に甘えている様子を見ると独占しようとし、他の子どもを押しつけて抱かれようとする。満たされると安心する。しかし、思うようにならないと泣いたり怒ったりする。 	
(教育・養育)	<ul style="list-style-type: none"> ・応答してもらう喜びを味わい、自らの思いをしぐさや片言で伝える。 ・「自分で。」という気持ちの表れに丁寧に応えていきながら、食事や排泄などの身の回りのことを自分なりにしようとする気持ちが満たされるようにする。 ・ゆったりとした家庭的な雰囲気大切に、一人一人の甘えや欲求が十分に満たされるようにする。 ・身の回りにあるものへの関心や好奇心を大切に受け止めながら、探究心が十分満たされるようにする。 	
経験 させ たい 内容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、手づかみやスプーンやフォークをもって意欲的に食べようとする。 ・おしめ交換をしてもらい気持ちよさを感じるとともに無理なく便器に慣れる。 ・徐々に1回寝のリズムになる。 ・保育者に手や顔を拭いてもらい気持ちよさを感じる。自分でも手や顔を拭こうとする。 ・衣服の脱ぎ着の時、保育者に手伝ってもらいながら、自ら手足を動かそうとする。 ・歩いて探索活動を楽しむ。
	人間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られながら、安心していろいろな活動を楽しむ。 ・保育者に抱っこして、膝にのせてもらいスキンシップを楽しむ。 ・保育者や周りの子どもがしていることを見たりまねたりして、自分もしようとする。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や戸外遊びを通して、虫や草花などの身の回りの自然物を見たり触れたりする。 ・水や砂に触れて、感触を楽しむ。 ・探索活動の中で様々な物を見たり触れたり、試したりしてかかわろうとする。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・知っているものや関心のあるもの、見つけたものを指さして知らせたり、片言で話したりする。 ・自分のしたいことやしてほしいことを指さしたり、片言で伝えようとしたりする。 ・「だめ」「危ない」がわかり、「だめ」「いや」を言う。 ・尋ねると動作で目・耳・口がわかる。 ・絵本を読んでもらうことを楽しみ、知っているものや興味あるものの名前を言おうとする。
	豊 か な 情 操 と	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な手遊びをしたり、歌に合わせてリズムをとり、喜んで身体を動かす。 ・好きな場所に行ったり、段を登ったりくぐったりして、全身を使った遊びを楽しみ体を動かす喜びを味わう。 ・タンゴやクレヨンでトントンしながら、色がつく面白さを味わう。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から食べようとする意欲を大切に、一人一人の量や食べ方に合わせて介助していく。 ・食事の椅子は足が床に着くように固定され、姿勢が安定しやすいように高さを調節する。 ・一日3回食になるが、摂食できにくい栄養分はおやつで補うようにする。 ・排泄時のタイミングをみて誘いながら、一人一人の思いを汲み取り、無理強いをせずオマルやトイレに慣れていけるようにする。 ・一人一人の子どもの生活リズムを大切にしながら、安心して午睡や適切な休息ができるようにする。 ・ゴロンと寝転がっている子どもの気持ちを汲み取り、寄り添う。 ・散歩は少人数で出かけることで、探索がしやすく自然現象や事柄に触れやすいようにする。 ・歩くこと自体が遊びなので、歩き回りながら遊べるように室内を広く見守ったりする。 ・行動範囲が広がるので、「探索活動」と呼ばれる「いたずら」ができる環境（つまんだり、引っ張ったりするおもちゃや降りたり上ったりする遊びができるような遊具）を選んだり作ったりする。 ・狭い所や潜り込める所が好きなので、環境を工夫し落ち着ける空間を大切に作る。 ・いろいろな場所に興味を示し歩こうとするので、転倒や誤飲などに留意する。 ・振り向いたときに保育者がいてくれると感じられるように見守り、一人一人の動きや思いを受けとめて応答していく。 ・戸外に出て、安全な環境の中で自然に触れることができるようにする。 ・安心できる保育室の環境を整え、遊具などは十分数を用意し、一人一人が満足できるようにする。 ・一語文には二語文で応答したり、わかりやすい具体的な言葉に置き換えて言葉をかけるようにする。 ・自我の芽生えから自立に向かう時期なので、一人一人の育ちをしっかりと受け止め理解して対応する。 ・落ち着いた雰囲気の中で絵本を読んだり、子どものしぐさや片言を受けとめ、言葉を添えながら丁寧にかかわるようにする。 ・子どもの好きな手遊びや歌を繰り返し歌い、リズムや言葉、身振りを楽しむことができるようにする。 ・連絡ノートや送迎の時間を利用して、園での様子を伝え安心感をもってもらう。 	
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての喜びや悩み等に共感しながら信頼関係を築いていく。 ・友達と同じことがしたくなり、物の取り合いやトラブルも見られ出すので、そのことも成長の段階であることを伝える。また、ゆったりとした生活ができるよう配慮していることをたよりなどで知らせていく。 ・家庭や保育所の様子を伝え合いながら、食事・睡眠・排泄・遊びなどの生活リズムを整えることが心身共に安定した生活に繋がることを理解し合う。 ・散歩や行事などを通して地域の方とふれ合いをもつことができるようにする。 	

*片言期に入り、発声しやすい音声と他人の言葉とを対応させて、一語文を使っていくようになる。擬音語（ワンワン）、擬態語（コロコロ）等の言葉が多くなることを理解し対応する。

おおむね 2 歳未満 1歳6ヶ月～1歳8ヶ月

発達 の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は手づかみになることもあるが、こぼしながらも自分でスプーンやフォークを上から握り、食べられるようになる。 ・食べ物の好き嫌いが出てきて、口から出したり首を振るなどして嫌がる。 ・保育者に促されてトイレに行き、タイミングが合えば便器に排尿する。排尿した後、しぐさや簡単な言葉で出たことを知らせることもある。 ・一定時間安定して眠れるようになり、1回の昼寝になる。 ・手洗いは蛇口をひねって出そうとしたり、手をこすり合わせて洗おうとするが袖口が濡れてしまう。 ・着脱は保育者にしてもらい子ども、上手にできないものの自分でやってみたい気持ちをもせ、簡単なズボンや紙パンツを脱ごうとする子どもがいる。 ・歩行が安定し探索活動が活発になり、保育者に追いかけることを楽しむ。 ・ごっこないがジャンプのまねをしたり、斜面を登ったりする。 ・保育者への愛着が深まり、保育者に甘えてスキンシップを求めて膝に座り、安心して遊ぶことができる。 ・自分で試したいやってみようという気持ちをもせ、「自分で」と言い、十分にできないが自分でしたが。 ・保育者に見守られながら一人遊びを楽しんだり、友だちのしていることに興味を持ち、同じことをして遊ぼうとする。 ・自分の物と友だちの物の区別がまだつかないため、思い込みによるトラブルが頻繁に起きる。 ・遊びは興味や好奇心が広がり、いろいろなものに興味をもつため、部屋中散らかして遊ぶ。 ・見た手遊びや日常生活を再現する遊びが始まる。 ・積んだり、転がしたりはがしたりして遊ぶ。 ・保育者と簡単な言葉のやりとりができるようになり、身振りや片言で意思を表そうとする。 ・くり返しのある絵本や言葉のくり返しなどに興味を示す。 ・気に入った絵本を眺んでもらったり一人で見たりする。 ・一語文が盛んになり、「～た」など語尾だけ真似た片言を話す。 ・好きな音楽が流れると、手を叩いたり体を揺らしたりして喜んだり、保育者の動きをまねたりする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びの中で、知っている言葉を使って、思いを伝えようとする。 ・「自分で」という気持ちが強くなるので、丁寧に応えていながら、食事や排泄などの身のまわりのことを自分なりにしようとする気持ちが満たされるようにする。 ・ゆったりとした家庭的な雰囲気や関心を大切に、一人一人の甘えや欲求が十分に満たされるようにする。 ・身の回りにある物への関心や好奇心を大切に受け止めながら、探究心が十分満たされるようにする。 	
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、時には手づかみになることもあるが、スプーンやフォークを使って食べる。 ・おしめやオムルに排泄したあと、しぐさや言葉で知らせたり、便器での排泄を試みる。 ・促されて布団に入り、一定時間睡眠や休息をとる。 ・自分で顔や手を拭こうとし気持ちよさを感じる。 ・ズボンや靴下など簡単な衣服を脱いだり、時にははいてみようとする。 ・盛んに歩いて探索活動を楽しみ、登ったり、くぐったり、すべったり、押したりして全身を使って遊ぶ。 ・積む、つまむ、転がす、はがすなど手や指を使って遊ぶ。 ・「自分で」という気持ちを受け止めてもらいながら、自分でやってみようとする。
	人 間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られて安心して好きな遊びを楽しんだり、かかわってもらいたいことを喜ぶ。 ・友だちや保育者のしている事に興味を持ち、真似したり一緒にやってみようとする。 ・まわりの大人の反応を感じながら、良い事と悪い事があることに気づく。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・探索活動の中で様々な物を見たり触れたり、試したりしてかかわろうとする。 ・園庭のいろいろな場所を探索して、気に入った場所で遊ぶ。 ・散歩や戸外遊びを通して虫や草花など自然に親しむ。 ・水、砂などの自然物に触れて感覚を楽しむ。 ・食べ物の絵本や栽培している野菜を見たり触れて楽しむ。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたいことやして欲しいことを指さし、片言や身振りで知らせようとする。 ・名前を呼ばれて返事をしたり、保育者の言葉をまねて言おうとする。 ・保育者にくり返しのある絵本を何度も眺んでもらう中で、簡単な言葉のくり返しや模倣遊びを楽しむ。 ・意に添わないと首を振ったりして意思表示をする。
	操 作 と 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な手遊びをしたり、歌に合わせてリズムをとり喜んで体を動かしたりする。 ・いろいろな素材を使って感覚遊びを楽しむ。(フィンガーペイント、小麦粉・片栗粉・米粉粘土、スライム、砂、土など) ・腕を横や上下に動かしたりして、なぐり描きをする。
	環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から食べようとする意欲を大切に、苦手なものでもてくれるので、一人一人の量や食べ方に合わせて介助していく。 ・膀胱に尿がたまった感覚が持て意思表示ができる個々の時期に添って誘いかけ、排泄が成功したときには次の意欲へと繋ぐようにする。 ・一人一人の子どもの生活リズムを大切にしながら、安心して午睡や休息ができるようにする。 ・生活習慣は自分でしようとするのを励まし、うまくできたときはほめるなどして、自分でしようとする気持ちを大切に。 ・保育者の予期せぬ危険が待っている可能性があるため、事故が発生することが無いよう十分注意する。 ・歩いたり、走ったり、体を動かすことが楽しめるよう、保育者も一緒に遊ぶようにする。 ・くぐったり、登ったり、すべったり、転がしたり、全身を使う道具や、つまんだり、入れたり、はがしたりする手先を使うおもちゃや素材を用意する。 ・安心できる保育室の環境を整え、道具などは十分数を用意し、一人一人が満足できるようにする。 ・自我の芽生えから自立に向かう時期なので、一人一人の育ちをしっかりと受け止め理解して対応する。 ・一人一人の気持ちを十分受け止め、保育者との信頼関係を築いていく。 ・自己主張のない子には注目しておき、生活や遊びの場面を通して意が出せるようにしていく。 ・友だちに興味や関心をもちだしたことを認めながら、道具の取り合いの時などは、言語化できない気持ちを受け止め言葉にして返したり、子どもと子どもを繋ぐような仲立ちを繰り返したりする。 ・保育者は子どもをよく見守り、できごとに対して表情や言葉でわかりやすく良い事悪い事を伝えていく。 ・安全面に配慮しながら遊びの中で可塑性のある素材や物を用意し、身近な物に興味をもったり、感覚を楽しめるようにする。 ・一語文から二語文への移行期や語尾を真似た片言時期なので、子どもの言葉に含まれている気持ちを丁寧にくみ取り言葉に置き換えていく。 ・繰り返しの言葉がある話や絵本を何度も楽しみなが、子どもが繰り返す言葉を一緒に言ったりする。 ・保育者は生活や遊びの中で子どもの好きな手遊びや歌を繰り返し歌い、リズムや言葉、身振りを楽しむことができるようにする。 ・一人一人の発達過程や生活の姿に個人差が大きい時期であることを十分に理解しておく。
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートや送迎の時間を利用して、園での様子を伝え、安心感をもってもらう。 ・子育ての喜びや悩み等に共感しながら信頼関係を築いていく。 ・友達と同じことがたくなり、物の取り合いやトラブルも見られ出すので、そのことも成長の段階であることを伝える。また、ゆったりとした生活ができるよう配慮していることをたよりなどで知らせていく。 ・家庭、保育所の様子を伝え合いながら、食事、睡眠、排泄、遊びなどの生活リズムを整えることが心身共に安定した生活に繋がることを理解し合う。 ・散歩や行事などを通して地域の方とふれ合いをもつことができるようにする。 ・自分でやりたがることは成長の印であることを伝え、気持ちを受け止め、時には待つことの大切さを知ってもらう。 ・友だちへの関心が芽生えることにより、トラブルが起きやすいため、トラブルが起きた時にはその原因や状況を伝えて理解してもらおう。 	

おおむね 2 歳未満 1歳9ヶ月～1歳11ヶ月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事はスプーンを上から握ったり、促されて下から握って食べるようになる。 ・友達と一緒に楽しく食事ができだし、好き嫌いがはっきり出てくるが、苦手なものでも促されて食べようとする。 ・保育者に促されて、トイレに行き、排泄する。出たことを知らせることが増えてくる。 ・午睡のリズムが安定する。 ・鼻汁が出ると、「ティッシュ」と言って、出たことを伝える。 ・手洗いや鼻かみなど、保育者や他の子どもをしているのを見て繰り返ししようとする。 ・保育者の援助を受けながら、自分で顔を拭いたり、手を洗ったりする。 ・自分でパンツやズボンを上げたり、簡単な着脱を保育者と一緒にしようとする。 ・身の回りのことを自分でやってみようとする気持ちが強くなり、保育者の援助を「いや」と拒んだりする。 ・身支度や生活の流れが少しずつわかってきて戸外へ出ると、帽子をかぶったり、靴を履こうとする。 ・体のバランスの取り方が上手になり、しゃがんだり、ぶら下がろうとしたり、ジャンプしようとする。 ・自分でしたい時期に入るが、まだしてもらいたい姿を見せたり、自分でしようとしてもできないためイライラの姿を見せたりする。 ・同じものではなく、特定した物や、特定の友達の持っている物をほしがり、玩具の取り合いをして、相手をかんだりたいたりする子どもがいる。 ・物の何かに見立てて渡したり、人形を”とんとん”してあやす仕草など見立て遊びをする。 ・戸外に出たときに見つけた小石や葉っぱ、虫などに興味をもち、しゃがんでじっと見たり触れたりする。 ・保育者や友達の名前が言えたり身近な物の名前を言う。 ・「これは何?」「ワンワン」など、簡単な質問に答えることができる。 ・貼ったりはがしたりして遊んだり、線のなぐり描きに加え、ぐるぐる回して丸く描くことも始まる。 ・簡単な歌やリズムに合わせて体をゆすったり動作を真似て楽しむ。 ・繰り返しのある絵本やお気に入りの絵本、ペープサートなどを喜んで見る。 										
<p>(教育・養育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・探索活動をする中で、身の回りのことにも興味をもちながら、一人遊びを十分楽しむ。 ・保育者や友達とのやりとりを通して、いろいろな言葉を獲得し、使うことを楽しむ。 ・安心できる保育者が見守る中で、周りの大人や友達に関心をもちかわって遊ぼうとする。 ・ゆったりとした家庭的な雰囲気大切に、一人一人の欲求が十分満たされるようにする。 ・「自分で」という気持ちや介助してもらいたいという気持ちを受け止め、少しずつ自分でできることへの喜びがもてるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="248 817 311 985">健康な心と体</td> <td data-bbox="311 817 1396 985"> <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプーン、フォークを下から持って食事をする。 ・苦手なものでも、少しは食べてみようとする。 ・排泄したくなると、仕草や言葉で知らせトイレで排泄しようとする。 ・自分から布団に入り、一定時間睡眠、休息をとる。 ・保育者と一緒に手を洗い、きれいになることを感じる。 ・ズボンや靴下など、簡単な衣服を脱いだり、時にははいてみようとする。 ・走ったり、跳んだり、しゃがんだり全身を使って遊ぶ。 ・「自分で」という気持ちと、うまくいかない気持ちから、自分でできたことを喜ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="248 985 311 1075">人間関係</td> <td data-bbox="311 985 1396 1075"> <p>自信と信頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られながら、安心して好きな遊びを楽しんだり、かわってもらふことを喜ぶ。 ・友達や保育者のしていることに関心をもち、真似したり一緒にやってみようとする。 ・友達との物の取り合いや、ぶつかり合いをしながら、次第に気になる友達と一緒にいることの楽しさを感じる。 ・保育者とやり取りしながら、良い悪いがあることに、気付いていく。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="248 1075 311 1164">環境</td> <td data-bbox="311 1075 1396 1164"> <p>命と自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩や戸外遊びを通して、虫や草花などを見たり触れたりする。 ・水、土、小石、砂などの自然物に触れて感触を楽しむ。 ・紙、粘土などの素材に触れて遊ぶ。 ・誕生会や季節の行事に参加して楽しんだり、雰囲気を楽しむ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="248 1164 311 1299">言葉</td> <td data-bbox="311 1164 1396 1299"> <p>豊かな情緒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたいことしてほしいことを、仕草や片言で伝えようとする。 ・単語の数が増え、2語文が出るようになる。 ・大人の語りかけや指示をほとんど理解して動かそうとする。 ・興味のある絵本を保育者と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しを楽しんだり、模倣したりして遊ぶ。 ・友達や保育者の名前を覚えて言おうとしたり、生活の中で使う言葉が言えるようになる。 ・身近なおもちゃを使って、保育者を見立てて再現遊びを楽しむ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="248 1299 311 1411">表現</td> <td data-bbox="311 1299 1396 1411"> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紐通し、洗濯ばさみ、型はめなど指先を使った遊びを楽しむ。 ・大きい紙に、ぐるぐる丸くなぐり描きをする。 ・歌を歌ったり、保育者とリズムに合わせて、体を動かして遊ぶ。 ・いろいろな素材を使って、感覚遊びを楽しむ。(フィンガーペイント、小麦粉・片栗粉・米粉粘土、スライム、砂、土など) </td> </tr> </table>	健康な心と体	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプーン、フォークを下から持って食事をする。 ・苦手なものでも、少しは食べてみようとする。 ・排泄したくなると、仕草や言葉で知らせトイレで排泄しようとする。 ・自分から布団に入り、一定時間睡眠、休息をとる。 ・保育者と一緒に手を洗い、きれいになることを感じる。 ・ズボンや靴下など、簡単な衣服を脱いだり、時にははいてみようとする。 ・走ったり、跳んだり、しゃがんだり全身を使って遊ぶ。 ・「自分で」という気持ちと、うまくいかない気持ちから、自分でできたことを喜ぶ。 	人間関係	<p>自信と信頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られながら、安心して好きな遊びを楽しんだり、かわってもらふことを喜ぶ。 ・友達や保育者のしていることに関心をもち、真似したり一緒にやってみようとする。 ・友達との物の取り合いや、ぶつかり合いをしながら、次第に気になる友達と一緒にいることの楽しさを感じる。 ・保育者とやり取りしながら、良い悪いがあることに、気付いていく。 	環境	<p>命と自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩や戸外遊びを通して、虫や草花などを見たり触れたりする。 ・水、土、小石、砂などの自然物に触れて感触を楽しむ。 ・紙、粘土などの素材に触れて遊ぶ。 ・誕生会や季節の行事に参加して楽しんだり、雰囲気を楽しむ。 	言葉	<p>豊かな情緒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたいことしてほしいことを、仕草や片言で伝えようとする。 ・単語の数が増え、2語文が出るようになる。 ・大人の語りかけや指示をほとんど理解して動かそうとする。 ・興味のある絵本を保育者と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しを楽しんだり、模倣したりして遊ぶ。 ・友達や保育者の名前を覚えて言おうとしたり、生活の中で使う言葉が言えるようになる。 ・身近なおもちゃを使って、保育者を見立てて再現遊びを楽しむ。 	表現	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紐通し、洗濯ばさみ、型はめなど指先を使った遊びを楽しむ。 ・大きい紙に、ぐるぐる丸くなぐり描きをする。 ・歌を歌ったり、保育者とリズムに合わせて、体を動かして遊ぶ。 ・いろいろな素材を使って、感覚遊びを楽しむ。(フィンガーペイント、小麦粉・片栗粉・米粉粘土、スライム、砂、土など)
健康な心と体	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプーン、フォークを下から持って食事をする。 ・苦手なものでも、少しは食べてみようとする。 ・排泄したくなると、仕草や言葉で知らせトイレで排泄しようとする。 ・自分から布団に入り、一定時間睡眠、休息をとる。 ・保育者と一緒に手を洗い、きれいになることを感じる。 ・ズボンや靴下など、簡単な衣服を脱いだり、時にははいてみようとする。 ・走ったり、跳んだり、しゃがんだり全身を使って遊ぶ。 ・「自分で」という気持ちと、うまくいかない気持ちから、自分でできたことを喜ぶ。 										
人間関係	<p>自信と信頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られながら、安心して好きな遊びを楽しんだり、かわってもらふことを喜ぶ。 ・友達や保育者のしていることに関心をもち、真似したり一緒にやってみようとする。 ・友達との物の取り合いや、ぶつかり合いをしながら、次第に気になる友達と一緒にいることの楽しさを感じる。 ・保育者とやり取りしながら、良い悪いがあることに、気付いていく。 										
環境	<p>命と自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩や戸外遊びを通して、虫や草花などを見たり触れたりする。 ・水、土、小石、砂などの自然物に触れて感触を楽しむ。 ・紙、粘土などの素材に触れて遊ぶ。 ・誕生会や季節の行事に参加して楽しんだり、雰囲気を楽しむ。 										
言葉	<p>豊かな情緒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたいことしてほしいことを、仕草や片言で伝えようとする。 ・単語の数が増え、2語文が出るようになる。 ・大人の語りかけや指示をほとんど理解して動かそうとする。 ・興味のある絵本を保育者と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しを楽しんだり、模倣したりして遊ぶ。 ・友達や保育者の名前を覚えて言おうとしたり、生活の中で使う言葉が言えるようになる。 ・身近なおもちゃを使って、保育者を見立てて再現遊びを楽しむ。 										
表現	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紐通し、洗濯ばさみ、型はめなど指先を使った遊びを楽しむ。 ・大きい紙に、ぐるぐる丸くなぐり描きをする。 ・歌を歌ったり、保育者とリズムに合わせて、体を動かして遊ぶ。 ・いろいろな素材を使って、感覚遊びを楽しむ。(フィンガーペイント、小麦粉・片栗粉・米粉粘土、スライム、砂、土など) 										
<p>環境構成・援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で食べようとする気持ちを大切にしながら、スプーン、フォークの正しい持ち方を知らせ援助する。 ・排泄のタイミングを見て誘いながら、無理強いせずオマルやトイレに慣れさせていけるようにする。 ・尿意を知らせたり、トイレで排泄できたときには、共に喜び褒めることなどを繰り返し、意欲がもてるようにする。 ・一人一人の子どもの生活リズムを大切にしながら、安心して午睡や休息が出来るようにする。 ・衣服の着脱がうまく出来たときは、しっかり褒めたり、さりげなく手を添えるなど、自分でできた喜びが感じられるようにする。 ・食事の前やトイレに行った後、手を洗うように促したり、見守ったりして習慣がつくように繰り返し援助する。 ・子どもの自発的な遊びを大切に、室内を広くしたり、目的を持って移動できる空間や時間などに配慮する。 ・くぐったり、登ったり、すべったり、転がしたり、全身を使う遊具や、はさんだり、入れたり、動かしたりする玩具や素材を用意する。 ・自己主張が多くなり、いらいらする姿や依存的な姿も出来る限り受容していく。 ・自己主張のできない子やうまくいかない子にも、生活や遊びの場面を通して、気持ちがだせれるようにしていく。 ・ぶつかり合いや噛みつき合い、ひっかきなど起こるので、子どもの行動や遊びを見守り、お互いの気持ちを受け止めていく。 ・ゆっくりと個々にかかわり、気持ちが落ち着くことができるように、声をかけふれあいをもつ。 ・見立て遊びに必要な身近な生活用具や玩具を用意して、保育者とのやり取りの中で、再現遊びが楽しめるようにする。 ・安全な環境の中で散歩に少人数で出かけて、自然物を見たり、触れたりする機会を多くもてるようにする。 ・安全に配慮しながら遊びの中で可塑性のある素材や物を用意し、身近な物に興味を持って、感触を楽しめるようにする。 ・一語文から二語文への移行期や語尾を真似た片言期なので、子どもの言葉に含まれていない気持ちを汲み取り言葉に置き換えていく。 ・保育者は生活や遊びの中で子どもの好きな手遊びや歌を繰り返し歌い、リズムや言葉、身振りを楽しむことができるようにする。 										
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分でやりたい」ことが、成長の過程であることを伝え、気持ちを受け止め、時には待つ事の大切さを知ってもらふ。 ・友達への関心が芽生えることにより、トラブルが起こりやすいため、トラブルが起きたときには原因や状況を伝えて理解してもらふ。 										

作業部会【おおむね2歳児】

水島 美樹（高野第二保育園 保育士）

丸尾 美智子（院庄保育園 保育士）



宇那木 靖子（田邑保育園 主任）

池上 美左子（しらゆり幼稚園 園長）

定兼 栄子（城西保育園 主任）

おもな発達の特徴 おおむね2歳児

理念	保育内容（5領域）		おもな発達の特徴
健康な心と体	健康	身体・運動機能	<ul style="list-style-type: none"> ○全身を使って、歩く、走る、跳ぶなどの運動をして遊ぶ。 ○指先の機能が発達する。
		基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ○スプーンやはしなどを使って、こぼしながらも自分で食べる。 ○自分でトイレに行き排泄しようとする。 ○衣服の前後が少しずつわかる。 ○ズボンやパンツを着脱する。 <div data-bbox="619 757 954 902" style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">じぶんで・・・</div> <div data-bbox="1090 674 1305 925" style="text-align: center;">  </div>
自信と信頼	人間関係	人とかかわる力 自立心 協同 規範意識など	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達と簡単なごっこ遊びを喜んでする。 ○自己主張が強く、トラブルが起こる。 <div data-bbox="1102 1032 1337 1189" style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">自己主張</div>
		好奇心 探究心 生活に取り入れる力など	<ul style="list-style-type: none"> ○物の大きさや形の違いに気が付く。 ○自分の物を片付ける場所がわかる。 ○虫や草花をじっと見たり触ったりする。
命と自然	言葉		<ul style="list-style-type: none"> ○言葉で自分の思いを伝えようとする。 ○簡単な繰り返しやリズムカルな言葉の絵本を喜ぶ。
		話す力 聞く力 言葉で表現する力 など	<div data-bbox="810 1541 1042 1709" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1034 1518 1345 1697" style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">よんで・・・ よんで・・・</div>
豊かな情操と賢さ	表現	豊かな感性や表現力 想像力 描く 作る リズム など	<ul style="list-style-type: none"> ○指先を使った遊びやはさみ・クレパスを使って遊ぶ。 ○季節の歌をうたったり、リズムカルに体を動かしたりすることを喜ぶ。

おおむね 2 歳児 4 月

発達 こと の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時、保育者と離れることや新しい環境に不安を感じ、泣く姿も見られるが、信頼できる保育者がいると安心して遊ぶことができる。 ・保護者と離れることに不安を感じ、しばらく泣いているが、保育者の見守りの中、少しずつ遊び出すことができる。 ・保育者が側にいることで安心して、砂場で好きな形を選んで型抜きをしたり、ブロックをつなげるなど、ひとり遊びを楽しんでいる。 ・継続児の中には、スポンの上げ下げなど出来ていたことも、甘えたい気持ちから保育者に手助けを求め、やってもらいたがる姿が見られる。 ・こぼしながらも、スプーンやフォークを使って自分で食べたり、緊張して食べられず、保育者に手助けしてもらいながら食事をしている。 ・紙おしめをしているが、便座に座ったり排泄のできる子どももいる。 ・生活の中で、名前を呼ばれたら返事をする。 ・知っている言葉をつなげたり、仕草で思いを伝えることができる。 	
ねらい (教育・ 養育)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に好きな遊びをする。 ・保育者に手伝いをしてもらいながら、少しずつ自分のこと（排泄 食事 着脱）をしようとする。 ・一人一人の気持ちを十分に受け止め、安心感が持てるようにする。 	
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られながら、こぼしながらもスプーンやフォークを使って自分で食べようとする。 ・保育者と一緒にトイレに行き、排泄しようとする。 ・保育者に手助けしてもらいながら、ズボンや服などの着脱の仕方を知り、自分でやってみようとする。 ・保育者と一緒に手を洗ったり、口拭きをする。 ・保育屋に見守られながら、安心して眠る。 ・好きな遊具を使って遊ぶことを喜ぶ。 ・保育者がいることで安心して生活したり、遊んだりする。
	自 信 と 信 頼	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びの中で、保育者が一緒にいてかかわってくれることを喜ぶ。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・靴やカバン、着替えなど、自分の持ち物の場所がわかる。 ・草花や虫を見たり触ったりして、春の自然に親しむ。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で簡単な挨拶をしたり、名前を呼ばれて「はい」と返事をする。 ・自分の思いを仕草や簡単な言葉で伝えようとする。 ・簡単に繰り返しのある絵本を見たり聞いたりする。
	豊 か な 情 操 と 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に手遊びやリズム遊び、ふれあい遊びを喜んでする。 ・保育者や友達と一緒に曲に合わせて体を動かして遊ぶ。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室は明るく清潔に整え、親しみやすく、楽しい雰囲気にする。 ・自分の持ち物の場所がわかるように、ロッカーや靴箱などに同じマークを貼っておく。 ・一人一人の子どもの発達段階、生活リズム、性格を把握し、個々に合った援助や対応をする。 ・生活の仕方は、子どもの発達（ベース）に応じて手助けをし、自分でしようという気持ちが育つようにかかわる。 ・子どもが話そうとするときは、思いを汲み取り、共感したり、応答したりする。 ・言葉で十分伝えることができにくい子どもには、表情や仕草で伝えようとする思いを汲み取るようにする。 ・保育者が側で見守ることにより、安心して遊びが楽しめるようにする。 ・一人一人の好きな遊びを知り、楽しく遊べるよう、遊具や安全な環境を用意する。 	
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境への不安や期待を受け入れ、送迎時や連絡帳を通して園や家庭の様子を伝え合い、保護者との信頼関係を築く。 ・環境の変化により体調を崩しやすくなるので、緊急連絡先を確認しておく。 ・一日の気温差があるので、調節しやすい衣類の用意と記名の確認をお願いする。 ・クラスだより・地域だより・お知らせボードなどで 子どもの生活、クラスの様子を知ってもらおう。 	

おおむね2歳児 5月

<p>発達 この 主な 特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時には、元気に登園する子どもや、まだ不安で保護者と離れられず泣く子どもの姿が見られる。 ・保育者と好きな遊びをしたり、友だちと同じことをして遊ぶ姿もあり、反面友だちと、おもちゃや玩具の取り合いで、思わず手が出たり泣くなど自分の要求を通そうとする姿が見られる。 ・自分で食事をしようとするが、好きなものだけ食べようとし、苦手な食べ物は保育者の手助けを受けながら食べる。 ・一日の流れが少しずつ分かり、保育者に手伝ってもらいながら身の回りのことをしようとし、「自分で」と保育者の手助けを拒否する姿もある。 ・保育者や友だちと手をつないで、園の周辺に散歩に出かけることを喜ぶ。 ・絵本や紙芝居などの簡単な繰り返しの言葉を喜び楽しんでいる。 ・歩く、走るなど基本的な運動を喜ぶが、まだ体のバランスが悪く、転ぶことがある。
<p>(ねらい 教育) ・い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと一緒に散歩に行ったり、戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ。 ・生活の中で一人一人の気持ちを十分に受け止め、安心して過ごせるようにする。
<p>経験 させ たい 内容</p>	<p>健康 な 心 と 体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に手助けしてもらいながら、苦手なものも食べようとする。 ・自分から尿意やおしめが濡れていることを知らせたり、促されてトイレに行き、保育者に見守られながら排泄しようとする。 ・生活の流れが分かり、自分でできることをしようとする。 ・遊んだあとや食事の前には、石けんで手を洗い清潔にする。 ・保育者に見守られながら、安心して眠る。 ・保育者と一緒に走って遊ぶ。 ・保育者と安心して生活したり、遊んだりする。
	<p>人間 関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと一緒に手をつないで散歩する。 ・遊具や玩具を友だちと一緒に使って遊ぶ。 ・保育者や友だちと挨拶を交わしたり、名前を呼んだり、親しみをもったりする。
	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な草花や虫などに触れて遊ぶ。 ・自分の持ち物や場所がわかり、身の回りのことを少しずつしようとする。 ・保育者と一緒に夏野菜の苗を植え、関心をもつ。
	<p>命 と 自然</p> <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを言葉で伝えようとする。 ・簡単に繰り返しのある絵本を見たり、聞いたりする。 ・保育者と言葉のやり取りをしながら、ふれあい遊びをする。
	<p>豊 か な 情 操</p> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に手遊びやリズム遊びを喜んでいます。 ・曲に合わせて体を動かして遊ぶ。
<p>環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で食べようとする気持ちを受け止め、少しずつ苦手なものが食べられるように手助けをし、がんばりを認めたり、励ましたりする。 ・トイレは清潔に保ち、明るい雰囲気の中で安心して排泄できるようにする。 ・トイレトペーパーの使い方をその都度丁寧に知らせていく。 ・一人一人の排泄間隔に合わせてトイレに誘い、排泄できた時は、十分に褒めたり、認めたりする。 ・一人一人の遊びや行動範囲を把握し、安全に遊べるようにする。 ・保育者も遊びに参加し、危険な時はすぐに手が出せるようにし、子どもから目を離さないようにする。 固定遊具の安全を確かめておくと共に、危険につながる行動は、その都度安全な使い方などを具体的に知らせる。 ・子ども達が興味をもって遊べるコーナーづくりをする。(絵本 ままごと ブロックなど) ・散歩の時、保育者は子どもに寄り添いながら、安全に歩けるように気を配る。 ・遊んでいる様子を温かく見守り、トラブルがあった時は、保育者が仲立ちとなったり、言葉を添えたり代弁したりする。 ・子ども達の好きな歌や手遊び、季節の歌など取り入れていく。 ・保育者も子どもと一緒に歌ったり、手遊びをしたりして楽しめるようにする。
<p>家 庭 ・ 地 域 の 連 携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の変化や連休などで疲れが出やすい時期なので、子どもの健康状態や様子について伝え合い、健康に過ごせるようにする。 ・気温の変化や戸外遊びが多くなることを伝え、下着や着替えの補充をしてもらう。 ・保護者に安心してもらえるよう、送迎時に一人一人の様子を知らせたり、クラスだよりなどで具体的に園の様子を伝えていく。

おおむね2歳児 6月

発達 この 主もの 特徴	<ul style="list-style-type: none"> 汗が出たら保育者と一緒に体を拭いたり、シャワーをしてもらったりして気持ちよさを感じている。 好きなものから食べようとするが、保育者の言葉かけにより、嫌いなものでも食べてみようとする。 布パンツに移行したり、トイレで排泄できる子どもが増えてきている。 手洗い、食後の口拭きなど、まだ十分ではないが、保育者に見守られながらしている。 自分のロッカーなど自分の物をしまう場所がわかってきた。 遊びに簡単な約束のあることが少しずつわかりだし、「むっくりくまさん」などの遊びを遊ぶ子どももいる。 一人遊びから友達に興味を示し同じようなまねっこ遊びができ、その中で自己主張をしてトラブルになったりすることもある。 カタツムリやオタマジャクシに関心をもってじっと見たり、触ったりする。 簡単な繰り返しやリズムカルな言葉の絵本を喜び、「よんで」と繰り返し要求する。 	
(ねらい 教育) 養護)	<ul style="list-style-type: none"> 保育者に手伝ってもらったり、見守られながら、簡単な身の回りのことをする。 保育者や友達と一緒に、簡単なごっこ遊びや集団遊びを楽しむ。 体や身の回りを清潔に保ち、梅雨期を健康に過ごせるようにする。 	
経験 させたい 内容	健康 な心と 体	<ul style="list-style-type: none"> 自ら嫌いなものでも少しずつ食べてみようとする。 排泄の仕方を知り、促されたり自らトイレに行き排泄する。 汗をかいたら手伝ってもらいながら、着替えたり清拭をしようとする。 保育者に手伝ってもらいながら、手洗い、うがい、歯磨きをする。 自分の布団に入り眠ろうとする。 歩く 走る 跳ぶなどの運動を喜ぶ。 保育者に甘えや欲求を受け止めてもらい、安定する。
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> 保育者と一緒に、巧技台、マット、フープなど組み合わせた遊具を使って遊ぶ。 保育者や友達と一緒に簡単なごっこ遊び(人形ごっこ、ままごとなど)や集団遊び(しっぽとり、むっくりくまさんなど)をする。 友達と遊ぶ中で、保育者が仲立ちとなり、簡単な約束や順番を知る。
	自信 と信頼	<ul style="list-style-type: none"> 雨の降る様子、梅雨期の草花・小動物を見たり触れたりして遊ぶ。 身の回りのさまざまなものに触れ、好奇心や関心をもつ。 泥の感触を味わいながら遊ぶ。
	命と 自然	<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの中で必要な言葉を知り使う。(こんにちは、ありがとう、かして、いいよなど) 遊びや絵本などを読んでもらうことを喜び、感じたことや思った事を言葉で表現しようとする。
	豊かな 情操と 賢さ	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友達と一緒に季節の歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かす。 身近な素材(シール・両面テープなど)や用具(クレヨン・絵の具・など)を使って簡単なものを描いたり作ったりする。
環境 構成 ・ 援助	<ul style="list-style-type: none"> 室内の温度や湿度に応じて換気や通気調節し、気持ちよく過ごせるようにこまめに対応する。 排泄の失敗時、素早く対応できるよう消毒用バケツ、タオル、着替えなどを準備しておく。 しっかりと体を動かして遊べる空間を作る。 身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切にしながら、見守ったり、一緒にしながら要領を丁寧に知らせていく。 室内遊びが多くなる時期なので、静と動のバランスがとれるよう工夫していく。 一人一人の発達や興味を見極めながら、好きな遊びが十分楽しめるように素材研究をしたり、遊具の数を揃えたりする。 保育者も楽しんで遊びに参加し、仲立ちとなり友達と一緒に遊ぶ楽しさを知らせていく。 トラブルが起きた時には、保育者が子どもの思いや考えを受け止め、代弁して仲立ちをしていく。 梅雨期の小動物を見たり触れたりしやすい環境を整えると共に、遊んだ後の手洗いも必ずするように促す。 子どもの話は優しく受け止め、話したいという気持ちを十分満たすことができるようにする。 保育者や友達と一緒に歌ったり、体を動かしたりして楽しさを共有する。 	
家庭・ 地域の 連携	<ul style="list-style-type: none"> 気温の変化が大きく、体調を崩しやすい時期なので、子どもの健康状態について日々連絡を取り合う。 流行しやすい感染症の症状、予防策など、情報提供する。 調整しやすい衣服、着替えの補充、体を拭くタオルなどを準備してもらう。 	

おおむね 2 歳児 7 月

発達 こと 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・暑くなり、少し食欲が落ちている子どももいるが、よく食べている。 ・着脱の機会が増え、できないところは保育者に手伝ってもらいながら、進んで自分でしようとする子どもがいる。また保育者にしてもらいたい子どももいる。 ・排尿排便のタイミングが合わず失敗する子どももいるが、布パンツで過ごしている。 ・手洗いの時、水遊びをする子どももいるが、保育者の声かけで気持ちを切りかえて、きちんとしようとする姿がみられる。 ・シャワーを頭からかけてもらって大喜びをするが、顔にかかるといやがる子どももいる。 ・砂遊びの準備や片付けなど、保育者の声かけで、進んで一緒にする。 ・ジョウロ、バケツ、ペットボトルなど身近な用具、素材を使って、気の合う友達や保育者と一緒に水遊びを喜んでしている。 ・簡単なストーリーの絵本や紙芝居を読んでもらい、集中してじっと見ている。 	
(ねらい 教育・ 養護)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育者や友達と一緒に、水・砂・泥などの感触を十分味わいながら夏の遊びを楽しむ。 ・涼しく安全な環境の中で、活動と休息のバランスを取り、快適に生活できるようにする。 	
経験 させ たい 内容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で食べようとする気持ちをもち、嫌いなものでも少しずつ食べてみようとする。 ・尿意を言葉やしぐさで知らせたり、誘われてトイレに行ったりする。 ・涼しい環境の中で、保育者に見守られながら気持ちよく眠る。 ・手伝ってもらいながら、汗を拭いたり体を拭いたり、衣服を着替えたりする。 ・保育者や友達と一緒に水遊びやプール遊びをする。 ・保育者に甘えや要求を受け止めてもらい、安心して遊ぶ。
	人間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒にごっこ遊びや簡単な集団遊びをする。 ・保育者が仲立ちとなり、友達と一緒に遊具を使ったり交代したりして遊ぶ。
	自 信 と 信 頼	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に、水・砂・泥などの遊びを楽しむ。(洗濯ごっこ、シャボン玉、色水、泥んこ遊びなど) ・小動物や栽培している夏野菜などに、興味や関心をもつ。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びや見立て遊びを通して、自分の思いを伝えようとする。 ・簡単なストーリーの絵本を読んでもらうことを楽しみにする。
	豊 か な 情 操 と	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に夏の歌(七夕、アイスクリーム、水鉄砲など)を歌ったり楽器を鳴らしたり、体を動かしたりして遊ぶ。 ・筆やタンポや絵の具を使った遊びをする。
環 境 構 成 ・ 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の温度、湿度に応じて換気や通気に気をつけ、涼しい環境を整えるようにする。 ・天候や気温、一人一人の健康状態に応じて、水遊びが楽しめるように、必要な物を準備したり、場の設定をしたりする。 ・食欲の落ちている子には無理をさせず、水分補給を十分取るように配慮する。 ・薄着になり着脱の機会が増えるので、自分でできたところをしっかりと褒め、できないところはさりげなく援助し、「自分でできた」という達成感が味わえるようにする。 ・プール遊びや、水遊びは危険が伴うので、常に目を離さないように職員間で声を掛け合いながら、安全に遊べるようにする。 ・水や汚れを嫌がる子どもには、保育者自身が楽しんでいる様子を見せ、無理なく誘うようにする。 ・水遊びができない子どもが室内で静かに遊べるように、玩具や用具を用意する。 ・子ども同士の会話や要求をしっかりと聞き、保育者が仲立ちとなり、足りないところは補いながら言葉をかわすことを楽しめるように配慮する。 ・好きな絵本や歌をゆったりした雰囲気の中で、楽しめるようにする。 ・子どもが興味をもつことができるような道具や素材を用意し、保育者も一緒に遊び、表現することの楽しさを共有する。 	
家 庭 ・ 地 域 の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康状態について、連絡ノートやカードなどでこまめに伝えあい、安全に楽しく水遊びが経験できるようにする。 ・夏に多い皮膚の炎症(あせも、とびひなど)、感染症(ヘルパンギーナ、プール熱など)の症状や予防法について情報提供し、予防や早期発見、治療に努めてもらう。 ・夕涼み会や夏祭りなどへ、親子で参加し楽しめるよう、地域の行事の情報を提供する。 	

おおむね2歳児 8月

<p>発達この主なものの特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は、スプーン・フォーク・はしを使って食べている子、暑さのせいで食欲が落ちている子どももいる。 ・排泄面では、布パンツで過ごす子どもが増え、失敗もあまりなく過ごしている。 ・遊びの準備や後片付けなど、保育者と一緒に進んでする姿が見られる。 ・「水遊びがしたい」という気持ちから、早く着替えようとする。汗で着脱しにくい時や、服が裏返しになっている時は保育者に手伝ってもらって着脱したり、直そうとする。 ・友達とかかわりながら遊ぶ姿が増えているが、トラブルになることも多い。 ・水遊びを楽しむ中で、友達と同じ事をして遊ぶ姿が見られる。 ・言葉数が増え、食事の時やごっこ遊びの中などで、言葉のやり取りが多くなり、にぎやかになる。 ・夏野菜を保育者と一緒に採りに行き、ミニトマトを見て「これあこうなると」と関心をもって触るなど喜ぶ。
<p>（ねらい） 養育・教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな水遊びをたっぷり楽しむ。 ・自分の思いを言葉で伝えようとする。 ・気温や天候に配慮し、ゆったりとした雰囲気の中で、気持ちよく過ごせるようにする。 ・一人一人の子どもとしっかりかかわり、安心して過ごせるようにする。
<p>経験させたい内容</p>	<p>健康な心と体</p> <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・涼しい場所で、楽しく食事をしたり、おやつを食べる。 ・尿意を言葉や仕草で伝えようしたり、誘われてトイレに行ったりする。 ・涼しい環境の中で、保育者に見守られながら眠る。 ・見守られたり手伝ってもらいながら、衣服を着替えたり、脱いだものを自分でたたみ片付けようとする。 ・見守られたり手伝ってもらいながら、汗を拭いたり、清拭をしてもらい体を清潔にする。 ・体をしっかり動かして、進んで水遊びをする。 ・同年齢、異年齢のかかわりの中で、安心して過ごす。
	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や気の合う友達と一緒に簡単なごっこ遊びや集団遊びをする。 ・自分の物、他の人の物の区別がわかり、持ち物の始末や片づけをしようとする。
	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に水・砂・泥などの遊びをする。 ・保育者や友達と一緒にプール遊びをする。 ・夏の虫・草花や栽培している野菜などを見たり触れたり探したりして、興味や関心をもつ。
	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の見たこと、経験したことを言葉で表そうとする。 ・生活や遊びの中で、保育者や気の合う友達と、言葉のやり取りを楽しむ。 ・絵本を読んでもらうことを楽しんだり、自分の好きな絵本を繰り返し見たりする。
	<p>豊かな情操</p> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に、季節の歌をうたったり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ。
<p>環境構成・援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木陰やテント・ parasol・よしずなどで涼しい環境を整える。 ・冷房をつける時には、外気温との差が大きくなりすぎないように配慮する。 ・少人数の活動を取り入れ、保育者や友達とゆったりとかかわれる時間と空間を確保する。 ・木陰やテントなど涼しい場所で食事をするなど、いつもと違う場所で楽しく食事ができるようにする。 ・暑さや水遊びなどで疲れやすいので、一人一人の健康状態を見極めながら、水分補給・休息・午睡などを十分とり、ゆったりと過ごせるようにする。 ・脱いだ服と一緒にたたみながら、たたみ方を丁寧に伝える。 ・汗が出たらハンカチで拭くように声をかけ、気持ちよくなることに気付かせる。 ・ダイナミックに遊んだり、涼しい場所でゆっくりするなど、動と静のバランスに配慮する。 ・保育者や友達と一緒に簡単な集団遊びをすることで、かかわりや遊びの楽しさが味わえるようにする。 ・トラブルの時には、保育者が双方の思いを汲み取り、言葉にして相手に思いを伝えられるように仲立ちをする。 ・子どもの話は、優しくゆったりと受け止め、話したいという気持ちを十分満たすことができるようにする。 ・保育者も子どもと一緒に体をしっかり動かして遊び、表現することの楽しさを共感する。
<p>家庭・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康状態について、連絡ノートやカードなどでこまめに伝え合い、安全に楽しく水遊びが経験できるようにする。 ・夏に多い皮膚の炎症（あせも、とびひなど）、感染症（ヘルパンギーナ、プール熱など）の症状や予防法について情報提供し、予防や早期発見、治療に努めてもらう。 ・子どもたちが喜んで水遊びをしている様子を、写真掲示やクラス便り、園だよりなどで家庭に知らせ喜びや感動を共有してもらう。

おおむね2歳児 9月

発達 子どもの 主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の疲れから、体調を崩したり、食欲が落ちたり、生活が不規則になっている子どもみられる。 ・自分から尿意や便意を知らせ、トイレに行き、タイミングが合うと排泄できる子どもが増えてくる。 ・パンツの子どもは、膝まで下げて排尿したり、後始末を自分でやろうとする子どももいる。 ・友だちとごっこ遊びを楽しんだり、関わりが増えている反面、自己主張も強くなり、友だちとのぶつかり合いも多くなる。 ・散歩に出かけ、トンボやバッタを見つけ、喜ぶ姿がある。 ・夏経験したことを、簡単な言葉で保育者に伝えようとする。 ・運動会の雰囲気を感じ、大きい組の活動を真似て走ったり、踊ったりすることを楽しむ姿が見られる。 	
(ねらい 教育・ 養護)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと一緒に、楽しんで体を動かして遊ぶ。 ・生活リズムを整え、夏の疲れにより、体調を崩さないよう、健康的に過ごせるようにする。 	
経験させたい内容	健康 健康 な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンやフォークの持ち方や、座る姿勢に気をつけながら食事をする。 ・自分から尿意や便意を知らせ、トイレで排泄しようとする。 ・パンツを膝まで下げて排尿したり、排尿の後始末を自分でしようとする。 ・手伝ってもらいながら、衣服を着替えたり、脱いだ服を自分でたたみ片付けようとする。 ・自分で汗を拭いたり、汚れたところを洗おうとする。 ・落ち着いた雰囲気の中で、たっぷり熟睡する。 ・リズムに合わせて体操をしたり、体を動かしたりすることを楽しむ。 ・保育者に思いを受け止めてもらいながら、安心して生活や遊びをする。
	人間 関係 自信と信頼	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな活動の中で、友だちとかかわりをもって遊ぶ。 ・大きいクラスの練習を見て喜んだり、応援したりする。
	環境 命と自然	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩に行き、虫や草花などを見つけて遊ぶ。
	言葉 豊かな 表現と 言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が経験したことを、簡単な言葉で話したり、保育者や友だちと言葉のやりとりを楽しんだりする。
	表現 豊かな 表現と 言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・曲やリズムによって、体を動かして遊ぶ。 ・トンボやバッタなどの動きを、保育者や友だちと一緒に表現して楽しく遊ぶ。
環境 構成と 援助	<ul style="list-style-type: none"> ・外気温と室温の温度差に気をつけ、冷房や扇風機により快適な環境をつくり、食事や睡眠がとれるようにする。 ・夏の疲れが出やすい時期なので、個々の体調を把握し、十分に休息がとれるように配慮する。 ・活動と休息のバランスに留意し、必要に応じて水分の補給をする。 ・トイレは清潔に保ち、気持ちよく使えるようにし、順番を待つことや使用後は水を流すなど、トイレの使い方やマナーを知らせる。 ・トイレには保育者がついて行き、パンツを膝まで下ろしてできるように、やり方を知らせていく。 ・衣服の着脱など、自分でしようとする気持ちを大切にしながら、うまくできない所は仕方を丁寧に知らせたり、励ましたり、さり気なく介助することで自分でできた満足感を味わえるようにする。 ・秋の自然との触れ合いの中で、保育者が感動したことを伝えたり、子どもの発見や驚きに共感したりする。 ・友だちとトラブルになった時は、一人一人の気持ちに寄り添い受け止めた上で、保育者が仲立ちとなり伝えていく。 ・保育者や友だちと一緒に走ったり、運動遊びをしたりする中で、全身を動かして遊ぶ心地よさが感じられるようにする。 ・外遊びや動きも活発になっているので、固定遊具や体育遊具の安全点検を行ったり、一人一人の動きを把握し、安全面に留意したりする。 	
家庭・ 地域との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の疲れが出やすい時期なので、クラスだよりや保健だよりを通じて、早寝、早起き、食育の大切さを知らせ、生活リズムを整えてもらう。 ・戸外遊びが多くなるので、運動しやすい服、足に合った靴を用意してもらう。 ・一人一人の運動遊び(運動会の練習)の様子を知らせ、子どもの成長を喜び合えるようにする。 ・保護者や卒園児、未就園児、地域の方に運動会の参加を呼びかけ、子どもと一緒に楽しんでもらう。 	

おおむね 2 歳児 10 月

発達 子どもの 主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でやりたい気持ちが強くなり、生活や遊びの中で、怪我やトラブルが多くなる。 ・運動会を経験して、動きが活発になり、引き続き、かけっこや運動遊び、リズム遊びなど全身を動かすことを楽しんでいる。 ・子ども同士のかかわりが増え、一緒に遊びを楽しんだり、少人数で遊んだりする姿もみられる。 ・遊びの中で言葉のやりとりが増え、会話を楽しんだり、思いや感じたことを言葉や動作で伝えようとする姿が見られる。 ・紙パンツから布パンツに移行する子どもが増え、膝まで下げて排尿したり、後始末を自分でしようとする子どももいる。 ・衣服や靴の着脱や片づけをしようしたり、自分でできることが増えてくる。 ・個人差はあるが、はしを使って食べようとする子どももいる。 ・散歩に出かけ歌をうたったり、自然物に目を向けたり、話をしながら楽しんで歩く。 	
養育 (教育) の ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・のびのびと体を動かし元気に過ごす。 ・秋の自然に触れながら、散歩や戸外遊びを楽しむ。 ・身の回りのことに関心をもち、自分でしてみようとする。 ・気温の変化や体調に留意し、衣服の調節をしながら、健康に過ごせるようにする。 	
経験 させたい 内容	健康 な心と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・はしや食器の持ち方を知り、自分で食べようとする。 ・保育者に尿意や便意を知らせて、トイレで排泄しようとする。 ・日中パンツで過ごせるようになる。 ・ボタンやスナップに興味をもち、自分でやってみようとする。 ・袖をまくって手を洗ったり、ガラガラうがいの仕方を知る。 ・自分で布団に入り、一定時間熟睡する。 ・かけっこや運動遊び、リズム遊びなど全身を動かすことを楽しむ。 ・自分でやりたい気持ちを受け止めてもらいながら、気持ちを安定させて友だちと遊ぶ。
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びを通して、友だちとかかわることを楽しむ。 ・保育者に見守られて、自分でできることはやってみようとする。 ・異年齢児とかかわりながら、行事やごっこ遊びを楽しむ。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然物に目を向け、楽しんで散歩する。 ・土に触れ、さつま芋掘りを楽しむ。
	命と 自然	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中で、保育者や友だちと、ことばのやりとりを楽しむ。 ・秋の自然物に関連した本を読んでもらう。
	操 作 と 興 味	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に歌ったり、踊ったり、体を動かして表現を楽しむ。 ・身近な自然物を使ってスタンプ遊びをしたり、クレパスを使って描いて遊ぶ。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の状態に応じて、はしや茶碗の持ち方を保育者がして見せて知らせ、楽しく習慣づけるようにする。 ・男児は立って排尿する方法を言葉かけしたり、後ろからお尻に手を添えたりして知らせる。女児はトイレトペーパーの使い方を側について知らせる。 ・一人一人の排泄間隔を把握してトイレに誘いがけるようにし、成功したときは一緒に喜び、次へとつなげるようにする。 ・自分でやるようとする気持ちを認め、着脱しやすいように衣類を並べておく。 ・うがいコップを用意し、ポスターを貼ったり、保育者がして見せ、やり方をわかりやすく伝える。 ・手洗いをする前には、自分で袖を上げることが知らせる。 ・自分でしようとする気持ちを大切に受け止め、自分でできたことを認め、自信がもてるようにする。 ・トラブルになりそうな時には、お互いの気持ちに寄り添うようにかかわる。 ・玩具によるトラブルがおこらないように、数は十分に用意しておく。 ・安全に留意して散歩に出かけ、秋の自然と触れ合う中で、子どもの発見や驚きに共感し、自然に親しめるようにする。 ・秋の自然と触れ合う中で、子どもの発見や驚きに共感し、会話を膨らませるような、やり取りをする。 ・落ち着いた雰囲気の中で好きな絵本を繰り返し読み、言葉のやり取りや面白さが楽しめるようにする。 ・秋に関する絵本や紙芝居を用意しておき、季節感が味わえるようにする。 ・聞いたこと、感動したことを表現する中で、相づちを打ったり、一緒に考えたりして、話す楽しさに共感していく。 ・季節の歌をピックアップしたり、手づくり楽器を使って、リズムや表現遊びが楽しめるようにする。 	
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕と日中の気温差や、できるだけ薄着で過ごすことの大切さを伝え、動きやすく調節しやすい衣類を用意してもらおう。 ・気温の変化が大きく風邪や感染症が流行しやすい時期なので、健康状態、発症の情報を速やかに伝え合い、予防や対応についての共通理解を図る。 ・はしに興味を持つ時期なので、正しい持ちかたを掲示したり、家庭でも取り組んでもらえるようにする。 ・秋の遠足や園外保育を通して、挨拶をしたり、地域への関心がもてるようにしていく。 ・地域の伝統行事に親しんだり、興味を持てるようにしていく。 ・秋の行事に参加したり、異年齢児と交流する機会も多くなるので、写真の掲示や連絡帳クラスだよりを通して子どもの様子を伝え、楽しい経験や成長を共有してもらおう。 	

おおむね2歳児 11月

<p>発達 こと 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・偏食も少なくなり、よく食べるようになる。スプーンはよく使えるようになり、はしを使う子どもも増えてきた。 ・布パンツで過ごす子どもが増え、自分からトイレに行き排泄できる子どもが増えてきた。気温の変化により排泄回数が増え、失敗も見られる。 ・長袖服になり、着脱に時間がかかるが、自分でしようとする姿が見られている。 ・手洗いの時、服の袖をまくることがうまくできず、濡れることがあるが、時間がかかっても丁寧にする子どももいる。 ・保育者や友達と一緒にしっぽとりや簡単なお店屋さんごっこなどを喜ぶ。 ・一番になりたい、負けるとすねるなどの自己主張する姿が見られるが、保育者の援助により気持ちを建て直し、時間がかかるが気持ちを切り替えることができている。 ・散歩に行き、保育者や友達と一緒に、でこぼこ道や坂道やあぜ道を歩いたり、走ったりすることを楽しんでいる。 ・木の葉や木の実を発見し、喜んで見たり、触ったり、拾って大切に園へ持ち帰ったりしている。 										
<p>（ねらい） （教育・ 養護）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られ、簡単な身の回りの始末を自分からしようとする。 ・秋の自然に触れながら、保育者や友達と一緒に、言葉のやり取りをしたり、体を動かして遊ぶ事を楽しむ。 ・気温の変化に応じた環境を作り、快適に生活できるようにする。 										
<p>経験 させ たい 内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="274 741 331 943"> <p>健康 な 心 と 体</p> </td> <td data-bbox="331 741 1457 943"> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、保育者や友達と一緒に食事をしながらマナーを知る。 ・尿意や便意を知らせ、自らトイレに行こうとする。 ・保育者に見守られながら安心して眠る。 ・袖をまくって手を洗い、自分のハンカチやペーパータオルで拭く。 ・保育者に見守られて、うがい手洗いを丁寧にする。 ・散歩に出かけ、体を十分動かして歩く。 ・保育者に温かく受け止めてもらい、自分の気持ちを安心して表す。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="274 943 331 1043"> <p>人間 関係</p> </td> <td data-bbox="331 943 1457 1043"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や数人の友達と一緒にイメージを共有して遊ぶ。 ・保育者が仲立ちとなり、簡単なルールを理解して友達と遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="274 1043 331 1122"> <p>自信 と 信 頼</p> </td> <td data-bbox="331 1043 1457 1122"> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩に出かけ、田や山など秋の自然の中で遊ぶ。 ・自然物を使って遊ぶ中で、大きさや形の違いに気付く。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="274 1122 331 1267"> <p>命 と 自 然</p> </td> <td data-bbox="331 1122 1457 1267"> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びに必要な言葉を使って、思った事を保育者や友達に話す。 ・保育者と一緒に絵本の気に入った場面をまねて言葉のやり取りをする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="274 1267 331 1402"> <p>豊 か な 情 操 と</p> </td> <td data-bbox="331 1267 1457 1402"> <ul style="list-style-type: none"> ・はさみを使って一回切りや連続切りをしたり、のりや両面テープなどを使って遊ぶ。 ・歌をうたったり、手遊びをしたり、楽器を鳴らして遊ぶ。 ・保育者と一緒に絵本の中の登場人物になって表現して遊ぶ。 </td> </tr> </table>	<p>健康 な 心 と 体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、保育者や友達と一緒に食事をしながらマナーを知る。 ・尿意や便意を知らせ、自らトイレに行こうとする。 ・保育者に見守られながら安心して眠る。 ・袖をまくって手を洗い、自分のハンカチやペーパータオルで拭く。 ・保育者に見守られて、うがい手洗いを丁寧にする。 ・散歩に出かけ、体を十分動かして歩く。 ・保育者に温かく受け止めてもらい、自分の気持ちを安心して表す。 	<p>人間 関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や数人の友達と一緒にイメージを共有して遊ぶ。 ・保育者が仲立ちとなり、簡単なルールを理解して友達と遊ぶ。 	<p>自信 と 信 頼</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩に出かけ、田や山など秋の自然の中で遊ぶ。 ・自然物を使って遊ぶ中で、大きさや形の違いに気付く。 	<p>命 と 自 然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びに必要な言葉を使って、思った事を保育者や友達に話す。 ・保育者と一緒に絵本の気に入った場面をまねて言葉のやり取りをする。 	<p>豊 か な 情 操 と</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみを使って一回切りや連続切りをしたり、のりや両面テープなどを使って遊ぶ。 ・歌をうたったり、手遊びをしたり、楽器を鳴らして遊ぶ。 ・保育者と一緒に絵本の中の登場人物になって表現して遊ぶ。
<p>健康 な 心 と 体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、保育者や友達と一緒に食事をしながらマナーを知る。 ・尿意や便意を知らせ、自らトイレに行こうとする。 ・保育者に見守られながら安心して眠る。 ・袖をまくって手を洗い、自分のハンカチやペーパータオルで拭く。 ・保育者に見守られて、うがい手洗いを丁寧にする。 ・散歩に出かけ、体を十分動かして歩く。 ・保育者に温かく受け止めてもらい、自分の気持ちを安心して表す。 										
<p>人間 関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や数人の友達と一緒にイメージを共有して遊ぶ。 ・保育者が仲立ちとなり、簡単なルールを理解して友達と遊ぶ。 										
<p>自信 と 信 頼</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩に出かけ、田や山など秋の自然の中で遊ぶ。 ・自然物を使って遊ぶ中で、大きさや形の違いに気付く。 										
<p>命 と 自 然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びに必要な言葉を使って、思った事を保育者や友達に話す。 ・保育者と一緒に絵本の気に入った場面をまねて言葉のやり取りをする。 										
<p>豊 か な 情 操 と</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみを使って一回切りや連続切りをしたり、のりや両面テープなどを使って遊ぶ。 ・歌をうたったり、手遊びをしたり、楽器を鳴らして遊ぶ。 ・保育者と一緒に絵本の中の登場人物になって表現して遊ぶ。 										
<p>環境 構成 ・ 援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房器具は安全に気をつけて使用し、室内の温度を調節したり換気をしたりする。 ・一人一人の健康状態を把握し体調の変化に対応する。 ・自分で身の回りの始末がしやすいように、時間にゆとりをもち場を整える。 ・厚手の衣類になるので、排泄の仕方を確認し、要領を知らせたり、できないところは保育者が援助していく。 ・服の前後、靴の左右があることを丁寧に伝えていき、正しく着用できたときには誉め、自信につなげていく。 ・手洗い・うがいの仕方について、一人一人の子どもの個人差に応じて丁寧に援助していく。 ・遊びの中でトラブルになった時には、お互いの気持ちを受容し、仲立ちとなって友達とのかかわりを知らせていく。 ・順番・交代などの約束を知らせながら、遊びの援助をしていく。 ・しっかり体を動かしたり、手指を使った遊びが楽しめるように、素材や遊具・用具・場を整える。 ・じっくりと話を聞いたり、子どもの驚きや発見に共感し、話すことの楽しさや満足感がもてるようにする。 ・保育者自身、言葉をゆっくり・はっきり発音し、よいモデルとなるよう心がける。 ・保育者や友達と一緒に体を動かしたり、歌ったり、楽器遊びをしたりして、心地よさや楽しさを味わうことができるようにする。 										
<p>家 庭 ・ 地 域 と の 連 携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザや感染性胃腸炎（ノロウイルスなど）・RSウイルスなどの症状、予防について情報提供し、家庭でできることに協力してもらうと共に、子どもの健康状態についてこまめに連絡を取り合い早期発見、早期治療に協力してもらう。 ・子どもが自分で頑張っていることや、やさしい行動など、園での姿を伝え家庭でも認めてもらえるように連絡を密にする。 ・気温の変化に応じて、衣服の調節がしやすいようにベストなど用意してもらう。 										

おおむね2歳児 12月

発達 の 主 こ と も の 姿		<ul style="list-style-type: none"> ・茶碗、お皿を持ったり手を添えたりして、こぼしながらも自分で意欲的に食べている。 ・トイレに進んでいく子どもが増えているが、厚着のため、ズボンにかかったり、失敗したりすることがある。 ・手洗いは自主的にしているが、きれいに洗えてなかったり、拭けていない子どももいる。 ・防寒着を片付ける場所がわかり、片付け方を教えてもらって、自分で片付けることができている。 ・長袖になったり、厚着のため、脱ぐのが難しい時は、保育者に手伝ってもらいが、自分で着脱しようとする。 ・保育者に見守られながら、自分の好きな友達を誘って、ごっこ遊びを楽しんでいる。 ・友達とかかわって遊ぶ中で、十分ではないが自分の思いを言葉で伝えようとしている。 ・室内遊びが多くなり、はさみで直線を切ったり、折り紙を折ったり、のりで貼るなど手先を使った遊びを喜んでしている。 ・保育者や友達と一緒に、季節の歌をうたったり、リズムののって体を動かしたりすることを喜んでしている。
養 護 (ね ら い 教 育)		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に歌ったり、表現することを楽しむ。 ・保育者や友達とごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。 ・健康管理に十分留意し、冬を快適に過ごせるようにする。
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・食器を持ったり手を添えたりして食べる。 ・尿意や便意を感じたら、保育者に言葉で知らせトイレで排泄する。 ・保育者に見守られながら気持ちよく眠る。 ・簡単な衣服を自分で着脱し、保育者と一緒に脱いだものをたたむ。 ・鼻水が出たことに気付く自分で取ったりとってもらったりする。保育者に見守られ、うがい手洗いをし丁寧に拭く。 ・天気の良い日は、保育者や友達と戸外で体を十分動かして遊ぶ。 ・保育者に温かく受け止めてもらい、自分の気持ちを安心して表す。
	人 間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な約束を知り、順番を守ったり交代して保育者や友達と一緒に遊ぶ。 ・友だちや保育者とかわりながらごっこ遊びをする。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然を見たり、触れたり、感じたりする。(風の冷たさ、吐く息の白さ、霜、氷など)
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や気の合う友達と遊びの中で言葉のやり取りを楽しむ。 ・保育者と一緒に絵本の登場人物になり言葉の模倣をする。
	豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材を使い変化する面白さを味わう。(折り紙、ひも通しなど) ・切ったり、貼ったり、折ったりして、制作したものを飾ったり使って遊ぶ。 ・歌を歌ったり、いろいろな曲やリズムに合わせて体を動かしたり、簡単な楽器遊びをしたりする。
環 境 構 成 ・ 援 助		<ul style="list-style-type: none"> ・暖房器具付近の安全を確認し、室内の温度調節や換気をし快適に過ごせるようにする。 ・一人一人の健康状態を把握し体調の変化に対応する。 ・子どもが生活しやすいように場を整えたり、必要なものがすぐ出せるようにしておく。 ・食器を持って食べると、食べやすく、上手に食べれることを知らせ、よいマナーについて気付くことができるようにする。 ・厚手の衣服になり排泄の失敗や着脱がしにくいなど、自分でできないときは子どものサインを見逃さず、適切な手助けをする。 ・寒くなり手洗いやうがいなどがおっくうになりがちなので、写真や絵などを利用してなぜするのかを知らせる。 ・また、できている子どもは、しっかり褒め意欲に繋がるようにする。 ・天気の良い日は、時間を見計らいできるだけ戸外で遊べるようにしていく。 ・気の合う友達と遊びが楽しめるような場を設け、保育者も一緒に遊びを楽しんだり、仲立ちをする中で、言葉でのやり取りが楽しめるようにする。 ・遊びが楽しめるように、素材や用具などを十分準備しておく。 ・保育者も子どもの発見や驚きに共感し、一緒に触れたり試したりする。 ・子どもが作ったり、見立てたりする中で、発見を大切に、子どもの思いに共感する。 ・保育者も一緒に歌ったり、体を動かしながら、表現する楽しさを子どもと共有し、満足感や充実感が味わえるようにする。 ・絵本の登場人物になり繰り返し遊びを楽しむことで、イメージを膨らませ、言葉を交わす楽しさを味わうことができるようにする。
家 庭 ・ 地 域 の 連 携		<ul style="list-style-type: none"> ・風邪やインフルエンザ・RSウイルスなど感染症が流行する時期なので、予防について家庭に情報提供すると共に、子どもの健康状態について連絡を取り合い、予防・早期発見・早期治療に協力してもらう。 ・必要以上に厚着にならないように、動きやすい衣服にしてもらう。 ・寒い時期でも子どもは新陳代謝が激しいので、体の清潔面に配慮してもらう。

おおむね2歳児 1月

発達 こと の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・お正月明けで生活リズムが乱れ、登園時に泣いたり、食事の時に眠くなったりする子どもがいる。 ・自分で体験した事を、みんなで楽しく話ができるようになる。 ・お正月遊び（福笑い、凧揚げ、絵カルタなど）を楽しんだり、とんどに参加したりする。 ・ほとんどの子どもが自分でトイレで排泄するようになり、午睡時もパンツで眠る子どもが増える。 ・根気よくボタンやファスナーの始末をしようとするが、できないやっとなって手助けを求める子どももいる。 ・はしを使うことに慣れ、フォークを使うことが少なくなる。 ・鼻水を拭いたり手洗いうがいを自分でしたり、声掛けにより気づいてできたりする。 ・寒くても戸外に出て、鬼ごっこやしっぽ取りを喜んでする。 ・気の合う友だちとイメージを共有して、喜んでごっこ遊びをしている。 	
養 護 （ ね ら い 教 育 ）	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に、お正月遊びやごっこ遊びを楽しむ ・身の回りの事や生活の仕方がわかり、自分でできる喜びを味わう。 ・生活リズムを整えながら、安定して過ごせるようにする。 	
経 験 さ せ た い 内 容	健 康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・はしや茶碗の持ち方に気をつけて食べる。 ・尿意が分かり、自分でトイレに行ける。 ・衣服の着脱を、自分でしようとする。 ・鼻水が出たら知らせたり自分で拭いたりする。 ・一定時間熟睡する。 ・寒くても十分体を動かし、鬼ごっこやしっぽ取りを楽しんでする。 ・休み明けのリズムを整えることにより、保育者と安心して過ごす。
	人 間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと会話を楽しみ、話した事が伝わる喜びを感じる。 ・簡単なルールを理解し友達と遊ぶ。
	自 信 と 信 頼	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然を感じながら、戸外に出て元気に遊ぶ。 ・お正月遊びや、とんどなどに興味をもって参加する。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを、保育者や友だちに進んで話をする。 ・したい事や、やって欲しい事を、言葉で表現し思いを伝える。
	豊 か な 情 報	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や紙芝居など、話のイメージを動きや言葉などで、表現することを楽しむ。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・ズボンをおろして排泄するやり方を、丁寧に伝えていく。 ・無理なくはしが使えるよう援助したり、「ちゃんと茶碗を持ってるね。」など、マナーに気づくことができるように声をかけたりしていく。 ・着脱は側で見守りながら、できた時は褒め、うまくできないところは手伝いながら、最後は自分でできるように促し、自分でできた喜びを感じられるようにする。 ・一人一人の体調や機嫌を把握しながら、不安のないように優しく受け入れ、少しずつ園生活のペースを取り戻し、安心して過ごせるようにする。 ・子どもの話をじっくり聞き、「よかったね。」「楽しかったね。」などと、子どもの思いに共感していく。 ・安全を確認し、見守ったり保育者も一緒に遊び、風の冷たさなどへの気づきや驚きを伝え合い、楽しめるようにする。 ・寒くなり体が動かしにくくなる事で、転んだり思わぬ怪我をすることがあるので、子どもの動きをよく見るよう、保育者同士で声をかけ合う。 ・保育者と一緒に遊びながら、簡単なルールを楽しく知らせていく。 ・子どものやり取りを見守りながら、イメージを共有できるよう言葉を添えたり、環境を工夫し遊びが広がるようにする。 ・冬の歌を一緒にうたったり、簡単なリズム体操やダンスをしたりするなど、体を動かして楽しめるようにする。 	
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ薄着に心がけてもらい、動きやすく調節しやすい衣服を用意してもらおう。 ・風邪やインフルエンザが流行する時期なので、健康について密に連絡を取り合い、予防のため家庭でも手洗いうがいをするようにお願いをする。また、体調に変化が見られた時は、早めの受診と治療をお願いする。 ・自分で、身の回りの事をしようとする姿を伝え、時間がかかっても見守ってもらおうようにする。 ・お正月休み明けの生活リズムを整え、安定して過ごせるように子どもの様子を伝え合う。 	

おおむね2歳児 2月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時、「寒い」「行かない」とぐずる子どもや、寒いと言って外に出るのを嫌がる子どももいるが、氷や雪に触れたりして遊んだりすることを喜び。 ・友達とおしゃべりに夢中になりすぎて食べることが疎かになることもある。 ・身の回りの事（食事の準備、片付け、衣服の片付け、手洗い、うがい）など一人で出来ることが多くなる。衣服の着脱は、友達同士で手伝ったりする姿も見られる。 ・ズボンをおろして便器に座ったり男の子は立ち便器での排泄がスムーズになるが、またズボンのおろし加減がわからない子もいる。 ・トイレットペーパーで拭いたり、水で流すなどの始末は声かけや見守られながらしている。 ・衣服の着脱で前後が少しずつ分かるようになり、自分でたんだり保育者と一緒に片付けたりする。 ・うがいは外から入室する時行ったり習慣づいてくる。しかし、寒い日は指先だけぬらすなど、手洗いやうがいが雑になり嫌がる子もいる。 ・追いかけてっこをしたり、力強く走ったり遊具を使った遊びが楽しめる。 ・友達とのやりとりも楽しくなるが、「押した」「押された」「いやだ」など言葉でのぶつかり合いが多くなり、トラブルも増えてくる。 ・保育者や友達と言葉のやりとりを楽しみながら、ごっこ遊びや劇遊びを喜んでいる。 ・生活に必要な言葉がほぼ分かり、自分の意思や欲求を言葉で伝えることができる。 ・手先が器用になり、はさみやクレヨンを使って室内遊びを楽しむ。 ・劇遊び、歌、踊りなどを通して、また大きいクラスの真似をして、いろいろな方法で表現して遊ぶことが楽しくなる。
<p>ねらい (教育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に簡単なルールある遊び、表現遊びやごっこ遊びを楽しむ。 ・冬の自然に触れながら、元気に戸外遊びを楽しむ。 ・一人一人の成長を受け止め、身の回りの事を自分でできる喜びが、味わえるようにする。
<p>経験 させ たい 内容</p>	<p>健康 な 心 と 体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶碗に手を添えてはしを使って食事をする。 ・「三角食べ」を知り、順番に食べようとする。 ・食事の準備や片づけを自分でする。 ・自分からトイレに行き排泄したり、女児は排泄後の始末をする ・トイレのスリッパを揃えようとする。 ・衣類の前後を知り、自分で着脱しようとする。 ・衣服のたたみ方を知り、自分で片付ける。 ・靴の左右に関心をもち、正しく履こうとする。 ・鼻汁が出たことに気づき、自分で拭く。 ・一定時間、熟睡する。 ・ごっこ遊びや簡単なルールある遊びを通して、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。 ・走ったり運動遊具を使ったり、体を動かして遊ぶ。 ・自分で出来たことを認めてもらうことで、自信をもって生活し安心して遊ぶ。
	<p>関 係 人 自 信 と</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びや簡単なルールのある遊びを通して、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
	<p>環 境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪や氷、霧柱などの冬の自然に触れて、雪遊びやそり遊びをみんなと楽しくする。
	<p>言 葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリー性のある話に興味をもち、喜んで聞いたり、繰り返しの言葉を楽しんだりする。 ・自分のしたいこと、してほしいことを言葉で表現したり、わからないことを尋ねたりする。
	<p>表 現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の歌や好きな歌を友達と一緒にうたう。 ・好きな曲に合わせて全身を動かしたり、踊ったりして楽しむ。 ・曲に合わせて楽器を鳴らし、リズムをとって遊ぶ。 ・クレヨン、はさみ、のりの使い方を知り、描いたり切ったり貼ったりして遊ぶ。
<p>環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食べたいという意欲を大切にしながら、「三角食べ」などを保育者がして見せ、真似をしながらバランスのよい食べ方に気づくことができるように配慮する。 ・各テーブルで保育者も一緒に食べ、お互いに様子が見えるような配置にする。 ・食器の並べ方など、見てわかるように、写真を提示する。 ・排便の始末の方法を知らせ、子どもの様子を見守りながら、必要に応じて手助けをしたり、確認したりする。 ・便所のスリッパを揃えたり、排泄後の手洗いなどおろそかにならないように声をかけたり、見守ったりする。 ・服の前後裏表を知らせ、直し方、たたみ方を丁寧に伝え、自分で出来た喜びが味わえるようにする。 ・服の前後裏表を知らせ、直し方、たたみ方を丁寧に伝え、自分で出来た喜びが味わえるようにする。 ・靴の左右を正しく履くと気持ちが良いことを知らせ、履けた時には「上手に履けたね」と声をかけ、満足感が持てるようにする。 ・鼻汁の始末のあとは「きれいになったね」「きもちいいね」などの言葉をかけながら、拭き残しは保育者がきれいにする。 ・手洗いやガラガラうがいの大切さを知らせ風邪の予防に努める。部屋の喚起をしたり、加湿器を使用したりして、部屋の乾燥を防ぐ。 ・体を十分動かすことのできる遊びや環境を工夫し、危険のないよう場所を確保する。 ・ごっこ遊びや製作遊び、運動遊びを通して、順番やルールを伝えていく。友だち同士でぶつかり合いになった時は保育者が仲介して楽しく遊べるように配慮していく。 ・雪遊びや自然に触れて遊ぶ機会を逃さず、個々の体調に配慮しながら楽しめるようにする。 ・冬の自然現象に触れられるように氷作りをしたり、子ども達の発見や驚きの言葉を大切に受け止めたり、共感しながら他の子にも伝えたりしていく。 ・自分でしようとする気持ちを受け止め、見守ったり必要な援助や言葉かけをする。 ・少人数でゆっくりと製作が楽しめるよう、場所や時間などゆとりをもって計画する。 ・はさみやのりの扱い方を知らせ、安全に使えるよう見守ったり手を添えたりする。
<p>家 庭 ・ 地 域 の 連 携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態について連絡を取り合い、感染症予防のため家庭でも手洗いうがいの励行をお願いする。 ・個人懇談、連絡帳、クラス便りを通して、身の回りの事を自分でしようとしている姿を伝え、時間がかかっても見守ってもらうようお願いをする。

おおむね2歳児 3月

<p>発達 の 主な 特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことを自分で意欲的にする姿がみられるが、甘えてしてほしい時もある。 ・食事の時、はしの持ち方はさまざまであるが、はしを使って食べている。 ・尿意・便意がわかり、自分でトイレに行き排泄している。排便の後始末は、その都度保育者に見てもらい、きれいにできるように練習している。 ・シャツをズボンの中に入れようとし、きれいにしようとする姿がみられる。 ・排泄後、食事前、遊んだ後など手を洗い、十分ではないが、ハンカチやペーパータオルで拭いている。 ・指先を使った粘土やはしの遊び、パズルなどに興味をもって遊んでいる。 ・ブロックを組み立てたり、折り紙を自分なりに折り、いろいろなものに見立てて遊んでいる。 ・言葉が増え、自分の思いや気持ちを友達や保育者に伝えたり、やり取りを楽しんでいる。 ・友達と2～3人でのごっこ遊びを喜んでしている。ごっこ遊びを通して、友達とのかかわりが広がっている。 	
<p>(養護) 教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きくなったことを喜び、進級への期待をもつ。 ・身の回りの自然を見たり触れたりすることで、春の訪れを感じる。 ・生活や遊びの中で、友達とかかわりながら、自分の思いを伝えようとする。 ・一人一人の成長を受け止め、安心して過ごせるようにする。 	
<p>経験 させ たい 内容</p>	<p>健康 な 心 と 体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はしを使ってこぼさないで食べようとする。 ・排泄後トイレトペーパーを使って自分で始末しようとする。 ・一定時間熟睡する。 ・鼻水が出たことに気付き始末しようとする。 ・衣服の前後、裏表に関心をもち、自分で着脱しようとする。 ・友達と一緒に戸外で体を十分動かして遊ぶ。 ・保育者に温かく受け入れてもらい、安定して遊ぶ。
	<p>人間 関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒にごっこ遊びや集団遊びをする。 ・異年齢児とかかわり一緒に遊ぶ。 ・ごっこ遊びや集団遊びを通して、簡単な約束がわかる。
	<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と共同の遊具を使って遊ぶ。 ・戸外遊びや散歩を通し、春の身近な小動物や草花などを見つけたら、触れたりして興味や関心をもち、
	<p>言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して言葉のやり取りを楽しんだり、してほしい事を言葉で伝える。 ・簡単な物語の絵本を見たり聞いたりすることを楽しむ。
	<p>豊かな 情操</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材を使って切ったり、貼ったり、描いたりして遊ぶ。 ・季節の歌をうたったり、友達と一緒にいろいろな曲やリズムに合わせて体を動かしたりする。
<p>環境 構成 ・ 援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒暖差が激しい時期なので、体調を崩さないよう一人一人の健康状態を把握し個々に合わせて対応していく。 ・気温の変化に応じて、室温や換気に気をつけ、安全で健康的な環境に配慮する。 ・ゆったりとした雰囲気の中で、一人一人の成長を受け止め、褒めることで、喜びや満足感がもてるようにしていく。 ・楽しく食べることを大切にしながら、はしの使い方については、手を添えたり、保育者がもって見せたりしながら、正しい使い方を知らせていく。 ・排泄の後始末の仕方を再確認しながら、一人一人に応じて援助していく。 ・鼻水や汚れに気付くことができよう、言葉かけをする。 ・遊びに使ったものは、一緒に片付けながら、無理なく楽しく片付けができるように声をかける。 ・ごっこ遊びのイメージが広がり、言葉のやり取りが楽しめるよう、保育者が仲立ちとなり遊具や場の工夫をしていく。 ・異年齢児とかかわり遊ぶことにより、進級する事に期待がもてるようにしていく。 ・保育者がルールを知らせたり、仲立ちとなって子ども同士がかかわって遊ぶことを楽しめるようにする。 ・玩具や絵本、持ち物など出し入れしやすいようにしておく。 ・自然の中での子どものつぶやきや発見に共感しながら、会話が楽しめるようにする。 ・一人一人の子どもの話をしっかり聞き、思いを受け止めることで、子どもが安心して言葉で気持ちを表すことができるようにする。 ・はさみの使い方を見守ったり、繰り返し知らせたりして、安全に遊びが楽しめるようにする。 	
<p>家庭 ・ 地域 との 連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間を振り返り、成長した姿を喜び合い、また一人一人の生活習慣の様子を話し合い、褒めたり励ましたりしながら丁寧にかかわっていくことを確認しよう。 	

作業部会【おおむね3歳児】

有元 裕美（明星幼稚園 教諭）

岡田 京子（総社保育園 主任）

前原 教恵（津山保育園 主任）

宇那木 美穂（加茂幼稚園 主任）



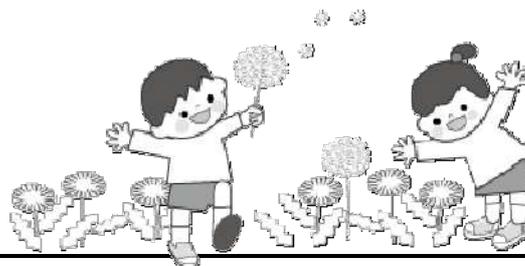
米澤 和恵（KOKKO 保育所園 主任）

有富 裕子（城北保育園 主任）

大岩 玲子（美作大学附属幼稚園 主任）

内田 弘華（河辺幼稚園 主任）

おもな発達の特徴 おおむね3歳児



理念	保育内容（5領域）		おもな発達の特徴
健康な心と体	健康	身体・運動機能	○自分の体をコントロールしながら、走る、跳ぶ、投げる、蹴るなどの運動をして遊ぶ。
		基本的な生活習慣	○食事や排泄は個人差があるが、ほぼ自分でできるようになる。 ○衣服の着脱は、裏返し・ボタン掛け・ファスナーなどの仕方を知り、自分でしようとする。
自信と信頼	人間関係	人とかかわる力 自立心 協同 規範意識など	○自己主張する。 ○簡単なルールのある遊びをすることで、合図や順番、交代などの約束を知る。 
	環境	好奇心 探究心 生活に取り入れる力など	○「おもしろそう。」「やってみたい。」という気持ちを持ち、繰り返し遊ぶ。
命と自然	言葉	話す力 聞く力 言葉で表現する力など	○「なぜ」「どうして」と尋ね、いろいろなことに興味関心をもつ。 ○挨拶を自分からする。 ○絵本などを繰り返し見たり聞いたりする。  
	表現	豊かな感性や表現力 想像力 描く 作る リズム など	○見立て遊びをしたり、意味づけをして遊ぶ。 

3歳児 4月

発達 の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄は、自分でトイレに行く子ども、声をかけるとトイレに行く子どもがいる。食事は、器を持って食べることができる子ども、はしを持って食べようとする子どもがいる。服の着脱については、座ってパンツを履く子ども、立って履くことができる子ども、服のボタンをかけることができる子どももいる。個人差が大きい。 ・新しい環境に戸惑う姿が見られる。困り感を言葉で言えなかったり、思いが伝えられなかったりする。泣いたり、保育者の袖を持ったり手をひいたりして、保育者を振り向かせようとする姿が見られる。 ・砂場での型抜きやままごとでのごちそうづくりなどをして遊んでいるが、自分の世界で一人遊びをする子どももいる。また、近くの友達の様子に目を向ける子どもや友達が自分の遊びに入ってくることを嫌がる子どももいる。側にいる友達と一緒に遊ぼうとする状態ではない。継続児の中には、群れて走って遊んだり、友達と一緒に動きまわったりする姿が見られる。 ・好奇心がいっぱい、目に映ったものに次々と関心を示し、触ったり動きだしたりする子どもがいる。・気持ちが不安定な時には、偶然手があたっていただけでも、ひっかいたり噛みついたりする子どももいる。 ・年上の子どもに世話をしてもらうことを喜ぶ子どもや触られたくない子どももいる。 ・「自分が、自分が」と言い、自分でしたがることが多い。 ・園庭の花びらが風邪で舞うのを保育者と一緒に見たり、ダンゴムシをひたすら探したり、たんぼのわたげを見つけたりして、吹いて遊ぶことを喜ぶ。 										
(教育・養 護) ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に楽しく過ごす。 ・新しい環境に慣れ生活の仕方を知り、自分でしようとする。 ・身近な春の自然物に触れて遊び、春を感じる。 ・一人一人子どもの欲求を受け止め、安心感をもって生活できるようにする。 										
経験させたい内容	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">健康な心 と体</td> <td> 健康 <ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを知る。(椅子に座って食べる。姿勢よく食べる。) ・曲に合わせて動物に変身しながら、手首・足首の力をつける。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">自信と信頼</td> <td> 人間関係 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者にさまざまな欲求を受け止めてもらい、親しみを感じて安心して過ごす。 ・自分のクラスや保育者の名前を知る。 ・保育者と一緒に好きな遊びを見つけて繰り返し遊んだり、安心して過ごしたりする。 ・「自分で、自分が」という気持ちで遊んだり生活したりする。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">命と自然</td> <td> 環境 <ul style="list-style-type: none"> ・自分のマークを覚え、自分の荷物を片付ける場所を知る。 ・春の自然を感じながら、身近な小動物や草花を見たり触ったりして遊ぶ。 ・遊具や用具の使い方、遊び方を知る。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">豊かな情操 と賢さ</td> <td> 言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事など、生活に必要な言葉を使う。 ・自分のしてほしいこと、したいこと、困ったことやわからないことがあった時、言葉や動作で伝える。 ・楽しんで絵本や紙芝居を見る。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> 表現 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に、手遊びをしたり、歌をうたったり、体を動かしたりして遊ぶ。 ・自由画帳やクレパスやマーカーの使い方を知り、好きな絵を描く。 ・こいのぼりなどを描いたり、のりを使って貼ったりして、最後まで楽しんで作る。 </td> </tr> </table>	健康な心 と体	健康 <ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを知る。(椅子に座って食べる。姿勢よく食べる。) ・曲に合わせて動物に変身しながら、手首・足首の力をつける。 	自信と信頼	人間関係 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者にさまざまな欲求を受け止めてもらい、親しみを感じて安心して過ごす。 ・自分のクラスや保育者の名前を知る。 ・保育者と一緒に好きな遊びを見つけて繰り返し遊んだり、安心して過ごしたりする。 ・「自分で、自分が」という気持ちで遊んだり生活したりする。 	命と自然	環境 <ul style="list-style-type: none"> ・自分のマークを覚え、自分の荷物を片付ける場所を知る。 ・春の自然を感じながら、身近な小動物や草花を見たり触ったりして遊ぶ。 ・遊具や用具の使い方、遊び方を知る。 	豊かな情操 と賢さ	言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事など、生活に必要な言葉を使う。 ・自分のしてほしいこと、したいこと、困ったことやわからないことがあった時、言葉や動作で伝える。 ・楽しんで絵本や紙芝居を見る。 		表現 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に、手遊びをしたり、歌をうたったり、体を動かしたりして遊ぶ。 ・自由画帳やクレパスやマーカーの使い方を知り、好きな絵を描く。 ・こいのぼりなどを描いたり、のりを使って貼ったりして、最後まで楽しんで作る。
健康な心 と体	健康 <ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを知る。(椅子に座って食べる。姿勢よく食べる。) ・曲に合わせて動物に変身しながら、手首・足首の力をつける。 										
自信と信頼	人間関係 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者にさまざまな欲求を受け止めてもらい、親しみを感じて安心して過ごす。 ・自分のクラスや保育者の名前を知る。 ・保育者と一緒に好きな遊びを見つけて繰り返し遊んだり、安心して過ごしたりする。 ・「自分で、自分が」という気持ちで遊んだり生活したりする。 										
命と自然	環境 <ul style="list-style-type: none"> ・自分のマークを覚え、自分の荷物を片付ける場所を知る。 ・春の自然を感じながら、身近な小動物や草花を見たり触ったりして遊ぶ。 ・遊具や用具の使い方、遊び方を知る。 										
豊かな情操 と賢さ	言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事など、生活に必要な言葉を使う。 ・自分のしてほしいこと、したいこと、困ったことやわからないことがあった時、言葉や動作で伝える。 ・楽しんで絵本や紙芝居を見る。 										
	表現 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に、手遊びをしたり、歌をうたったり、体を動かしたりして遊ぶ。 ・自由画帳やクレパスやマーカーの使い方を知り、好きな絵を描く。 ・こいのぼりなどを描いたり、のりを使って貼ったりして、最後まで楽しんで作る。 										
環境構成と援助	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の時間は個人差があることを考慮しながら、ごちそうさまをするまで椅子に座って待てるように繰り返し指導する。 ・活動の合間にはトイレに行くことができるように全員に声をかけたり、必要な子どもには個別に声をかけたりする。排泄や手洗いなど、その都度保育者が付き添い仕方を伝えていく。 ・自分の身支度や持ち物の始末は、自分の持ち物を置く場所に個人のマークをつけ、時間にゆとりをもって、一つ一つ丁寧に取組み、自分でしようという気持ちももてるように繰り返し援助する。 ・登園時は笑顔で迎え、優しく話しかけたり、抱き上げたりして、一人一人が安心できるようにする。 ・保育者は子どもの様子を見ながら、その子の思いや興味を探り、思いを受け止めたり、遊びのきっかけをつくったりする。 ・家庭でも使っているような遊具や用具を用意し、親しみやすく安心できる環境づくりをする。 ・自分の好きな遊びを見つけて楽しめるように、遊具の数や種類を豊富に用意する。 ・保育者と一緒に遊具を使ったり片付けたりしながら、遊具の使い方を繰り返し知らせ、安全面に配慮する。自分でしようとする気持ちを大切に、十分励まし、見守っていく。 ・身近な小動物や草花を見たり触れたりできる機会を大切に、子どものつぶやきや気付きなどに共感する。 ・言葉でうまく伝えられない時には、保育者がしっかり耳を傾け子どもの思いを受け止めるように努める。 ・生活の流れや活動に応じて、具体的に教材や絵カードをわかりやすく工夫して使い、安心して過ごすことができるようにする。また、一人一人にあった援助や言葉がけをする。 										
(小学校との連携)	<ul style="list-style-type: none"> ・園での様子や準備物などは、ホワイトボード・園だより・クラスだよりでわかりやすく伝え、信頼関係を築けるようにする。 ・個別に連絡が必要な場合には、降園時に直接保護者に園での様子を伝えたり、手紙を書いたりして、保護者が安心できるようにする。 ・環境の変化などで、疲れやすくなっていることを考慮して、健康管理に気を付け体調の確認をし合う。 ・家庭訪問を行い、子ども一人一人の家庭での様子を知り、保育者と保護者のつながりを作っていく。 ・PTAの集まりや参観日でクラスの様子を知らせ、保護者同士の交流の場になるようにする。 ・地域の人に「こんにちは」「おはようございます」と挨拶や言葉を交わし親しみももてるようにする。 										

3歳児 5月

発達 の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいクラスに慣れてきて、身の回りのことを少しずつ自分でしようとする姿が見られる。 ・自分でトイレに行くようになり、排泄ができるようになる子どもが多い。スリッパを左右反対に履いていたり、ペーパーの使い方が十分でなかったりする姿が見られる。便に関しては、始末がうまくできず援助を求めてくる。 ・ほとんどの子どもが、保育者に親しみをもち始める。一方で、登園をぐずったり、時々母親を思い出し泣いたりする子どももいる。 ・戸外では、滑り台や砂場での遊びを楽しんだり、ダンゴムシやテントウムシ探しに夢中になったりする姿が見られる。 ・周りの友達との遊びにも目が向きはじめる。友達が何を使って、何を遊んでいるかという意識ではなく、友達の持っている物、同じ物をもっておきたいという気持ちから、道具の取り合いになる場面も見られる。 ・物を取り合ったり、自分の思いを通そうとしたりするなどのトラブルが起きる。 	
(教育・養護) ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な身の回りのことを少しずつ自分でしようとする。 ・好きな遊びを保育者と一緒にし、安心して過ごす。 ・身の回りのさまざまなことに興味や関心をもち、かかわろうとする。 ・身近な春の自然に触れて遊ぶ。 ・生活や遊びの中で保育者に親しみをもちて話を聞こうとしたり生活や遊びの中に必要な言葉があることを知ったりする。 ・一人一人の欲求を受け止め、生活のリズムを知って、安心して生活できるようにする。 	
経験させたい内容	健康な心と体	<p style="text-align: center;">健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、最後まで座って保育者や友達と一緒に食事をする。 ・保育者に手伝ってもらいながら、排泄や身の回りの始末を自分でする。 ・遊んだ物を保育者と一緒に片付ける。 ・遊具を安全に気を付けて使い、戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ。
	自信と信頼	<p style="text-align: center;">人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の側で安心して、好きな遊びをする。 ・自分の物とみんなの物があることを知る。 ・友達とのトラブルを経験し、少しずつ我慢することを覚える。
	命と自然	<p style="text-align: center;">環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な動植物(ダンゴムシ、いちょうの葉など)に興味をもち、触れたり遊んだりする。 ・年中・年長児が花の種まきやさつまいもの苗植えをする様子を見たり、生長を楽しみにしたりする。
	豊かな情操	<p style="text-align: center;">言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・したいこと、してほしいことを身振りや自分なりの言葉で伝える。 ・生活や友達のかかわりの中で、挨拶や返事などの生活に必要な言葉を使う。 ・保育者の話を意識して聞こうとする。
	と翼と	<p style="text-align: center;">表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に、手遊びをしたり、歌をうたったり、体を動かしたりして遊ぶ。 ・いろいろな素材に触れたり、用具(のりなど)の使い方を知ったりする。
環境構成と援助	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣は、個々のペースに合わせて細かく声をかけたり、自分でできるように見守ったり、できた時にはしっかり認めるなど、必要に応じて援助をする。 ・食事の量や好みなどを加減しながら、個人差を考慮する。友達と一緒に食べる楽しさが感じられるようにする。 ・戸外ではのびのびと体を動かして遊べるように、遊具の安全確認をしたり、休息のできる陰(テント)を作ったりする。 ・登園時は笑顔で迎え、優しく話しかけたり、抱き上げたりして一人一人が安心できるようにする。 ・物を取り合ったり、自分の思いを通そうとしたりするなどトラブルが起きた時には、人数に応じた道具を準備したり、子どもの思いを受け止めながら、ゆずりあったり順番を守ったりすることを知らせる。 ・好きな遊びが十分に楽しめるように、時間を確保する。 ・遊んでみたいと思うような遊具、玩具を用意し自分で好きな遊びが選べるようにしておく。 ・いろいろな用具を使って遊べるように活動を工夫する。 ・虫や花など春の自然を見つけ、興味・関心がもてるように年長児の花の種まきや苗植えの様子を見たり参加したりする機会をもつようにする。 ・生活の見通しがもてるように作成した絵カードの見直しをし、必要に応じて活用する。絵カードを活用しながら、わかりやすいように声かけをし、意識して聞けるようにする。 ・挨拶や返事、言葉の大切さを伝えながら、保育者も丁寧な言葉かけをしたり、子どもも言えるように促したりする。 ・親しみやすい曲に合わせてリズム遊びをしたり、手遊び、歌など保育者が楽しく歌ったり体を動かしたりしながら楽しさを知らせる。 	
(小学校との連携) 家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問や個人懇談の際、園での様子を伝える。家庭での様子や成育歴を聞き、保護者の子育ての思いを保育の参考にする。 ・連休明けで疲れが出やすい時期なので、子どもの体調の変化を伝え合い、体調に応じて家庭でも休息をとるように伝える。 ・保護者の子育てで不安を受け止め、気軽に話ができるように、連絡を密にし信頼関係を築いていく。 ・家庭でもできるように身の回りの始末や衣服の着脱など、自分なりにしようとしている姿を伝える。子どもの安心や自信につながるように連絡をする。 	

3 歳児 6 月

発達 の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> 園生活の流れや保育室の環境がわかり、かばんや帽子などの持ち物の始末や衣服の着脱など身のまわりのことを自分でしようとする。衣替えにより衣服の着脱がうまくできず、不安に思う子どももいる。 暑さが増し、汗をかいいたり、疲れやすい子どもや体調を崩す子どももいたりする。 はしを持って食事しようとする意識はあるが、はしの正しい持ち方ができず、にぎりばしなどの子どももいる。 行動範囲が広がり、自分の部屋以外でも遊んだり、いろいろな遊びに取り組んだりする。しかし、一つの遊びに対する持続時間は短い。 周りの友達や遊びにも関心が増え、自分から進んでいるいろいろな活動に取り組むが言葉より行動が先立ち、物の取りあいが増える。 戸外に出て遊び、夏野菜の栽培物やダンゴムシ・アオムシ・オタマジャクシ・カタツムリなどの小動物に目を向け、見つけたり、捕まえたり、触れたりして遊ぶ。 クレパスやはさみ、のりなどの使い方はまだ上手ではないが、自分なりに使って遊ぼうとする。 順番や交代、並ぶなどのルールがあることを意識して生活や遊びをする姿が見られる。 	
(教育・養育) ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 はしや食器を正しく持ち、食事の仕方がわかるようになる。 生活や遊びに必要なルールがわかるようになる。 自分から遊びを見つけたり、進んで保育者や気の合った友達と一緒に遊ぼうとする。 はさみやのりなどの用具の使い方を身に付ける。 梅雨期の自然や小動物に興味や関心をもつ。 梅雨期の衛生管理を十分にを行い、一人一人の子どもが健康に生活できるようにする。 	
経験 させ たい 内容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> 自分で簡単な身の回りのことをしたり、保育者と一緒にしたりする。 はしや食器の正しい持ち方を意識して食べる。 歯の大切さを知り、正しい歯の磨き方を意識して自分でする。 天気の良い日には、積極的に戸外遊びを楽しみ、体を動かす。 雨具の使い方や始末の仕方を知り、自分でしようとする。 伝染病について知り、うがいや手洗いを丁寧にする。
	関 人 係 間	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達を見つけたり、保育者に仲立ちをしてもらったりしながら、友達とかがわりあって遊ぶ。 友達と一緒に遊ぶ中で、ルールがあることに気づく。 友達が持っているものやしていることに興味をもって、同じことをしようとする。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜やプランター栽培などの生長に興味をもち、保育者と一緒に世話をする。 雨や水、砂、泥に触れて、驚いたり、工夫したりして、全身を使って遊ぶ。 アジサイやカタツムリ、カエルなど、梅雨の動植物に触れたり、見たりする。 「おもしろそう」「やってみたい」という気持ちをもち、興味をもったことを、繰り返し遊ぶ。 時の記念日を機に、時計や時間に関心をもつ。 小動物や昆虫と触れ合う中で、生命があることに気付く。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> 遊びに必要な言葉を知り、自分で思ったことや感じたことを言葉で伝える。 身近な生活や遊びに関する絵本や紙芝居などの内容がわかり友達と一緒に保育者の読み聞かせを楽しんで聞く。 気の合った友達と遊ぶ中で、生活に必要な言葉があることに気づき、「かして」「いれて」「かわって」「ありがとう」などを覚えて使う。
	豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友達と合わせて、楽しんで歌を歌ったり、リズム遊び、表現遊びをしたりする。 楽しんで身近な素材や材料・用具を使って、自由に切ったり、貼ったり、描いたりする。 身近な小動物、オタマジャクシ、カタツムリ、カエルなどになりきって、体を動かして遊ぶ。 新聞紙を使って、ちぎったり、丸めたり、投げたりして見立てて遊ぶ。 新しい歌を覚え、友達と歌ったり、身体を動かしたりして遊ぶ。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な身のまわりのことが自分でできるように、手順がわかりやすい掲示物を用意する。 暑がったり疲れたりしている子どもには、一人一人の様子をよく見ながら衣服の調節をするなどして、個々に援助する。 一人一人のはしの持ち方を確認し、個々に手を添えて正しい持ち方を教えたり、絵図を見せたりして意識づけていく。 歯磨きに関するポスターを掲示し、歯磨きの習慣を意識づけるようにする。 梅雨期特有の自然現象を知らせたり、オタマジャクシやカタツムリなどの小動物に目が向くように飼育環境を整えたりする。 雨具の安全な使い方や始末の仕方を具体的に繰り返し知らせていく。 生活の中で時間を知らせたり、時計作りを通して、時間や時計に興味をもたせたりする。 友達同士、やりとりして遊べるように、遊具や用具の数を加減する。 身近に夏野菜が出てくる絵本や図鑑などを置き、興味もてるようにする。また、水やりや観察をしたりする中で、子どもの発見や驚きに共感する。 子どもの興味関心に応じて、イメージを豊かにできるような絵本などを選んで、読み聞かせをする。 いろいろな素材に触れる遊びを通して、それぞれの感触を楽しんだり、開放感を味わったりできるようにする。 子どもがイメージしたり、楽しんで繰り返ししたりして遊ぶことができる素材や材料・用具を準備する。保育者も一緒に使って遊びながら、安全なはさみの使い方、のりの適量を知らせる。励ましたり認めたりしてやる気を育むようにする。片付けは元に戻すことも楽しい経験になるよう丁寧に片付けることも合わせて伝える。 	
家 庭 ・ 小 学 地 域 等 の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> 楽しんで遊べるような興味のある音楽を選び、それぞれの表現を受け止める。 園での手洗い、うがいなどの様子を知らせ 家庭でも習慣づけられるように呼びかける。 衣替えについて知らせ、草履などを用意してもらったり、着替えを夏物にしてもらおう。 正しいはしの持ち方の絵図を配布したりして、家庭でも意識して取り組めるようにする。 感染症が流行しやすい時期なので、清潔に気を付けることや体調の変化について伝え合う。 保護者の声に耳を傾け、我が子の心の状態を教えてもらったり、園での様子について知らせたりして、安定した気持ちで過ごせるようにする。 散歩などを通して、地域の人に挨拶をしたり、親しみをもてるようにする。 	

3 歳児 7 月

発達 この 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> 園での生活の仕方にも慣れ、落ち着いて過ごしている。持ち物の始末もそこそこに好きな遊びをしようとする姿も見られるが、保育者の個別のかかり方でやり遂げることができる。 食事や排泄面での個人差が大きい。食事ははしで食べようとするがぼれがちである。排泄は、失敗することもあるが、自分からトイレに行こうとする姿が見られる。 保育者に言われて、ハンカチで汗を拭くことができている。 色水遊び・どろんこ遊び・水遊びなどを繰り返し保育者や友達と感触を楽しんでいる。 多くの子どもがプール遊びを楽しむが、プール遊びに不安を感じ、気持ち不安定な子どももいる。 アニメのキャラクター（ゴカイジャー・プリキュアなど）などになって、同じ持ち物を持ち、まねをして動き、なりきり遊びを楽しんでいる。 同じ遊びに興味をもった子どもが集まり、一緒に動いたり同じ遊具を持ったりすることを喜んでいる。 自分の思い通りにしたり、物の取り合いなどのトラブルが増える。 生活する中で困ったことやわからないことを「これ何?」「どうするん?」と保育者に尋ねることが増える。 気の合う友達の名前を呼び合っている子どももいるが「あの子、この子」と呼ぶ子どももいる。 	
(教 育 ・ 養 育)	<ul style="list-style-type: none"> 夏の生活の仕方を知り、できることは自分でやってみようとする。 夏の自然事象(夕立・雷・じ)に興味関心をもつ。 保育者や友達と一緒に、のびのびとプール遊びや水遊びなどの夏の遊びを楽しむ。 保育者や友達と一緒に夏野菜の収穫などをして、自然に親しむ。 体調の異常に気を付け、一人一人の子どもが健康に生活できるようにする。 	
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> 夏の生活の仕方(食事や水分補給、休息、睡眠)がわかり、自分でできることは自分でしようとする。 汗の始末や衣服、水着の着脱、後始末など保育者に手助けしてもらいながら自分でする。 全身を使ってプール遊び、水遊びなどをし、開放感を味わう。
	人 間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> 友達の真似をするなどして、好きな遊びを一緒にする。 プール遊びの約束を知り、安全に気を付けて遊ぶ。 異年齢児と触れ合い交流して遊ぶ。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> 泥や水を使った遊びをして、感触を楽しむ。 夏の虫(セミ・カブトムシなど)に興味や関心をもち、見つけたり、触れたりする。 夏野菜の生長を観察したり、収穫したり、味わったりする。 粘土・シャボン玉・絵具などのいろいろな遊びを通して、色や形の違いに気づく。 伝承行事(七夕)を知り、喜んで参加する。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの中で、「入れて」・「貸して」・「代って」などの言葉を使って、自分の要求や思いを伝える。 紙芝居や絵本を通して、七夕の由来を知り、伝統行事に興味をもつ。 夏の虫などを見つけて、気づいたことや驚いたことなどを言葉や身振りで伝える。(「これ何?」・「ありがとう」など)
	豊 か な 情 操 と	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材を使って作り、作ったものを使って遊んだり、飾ったりする。 七夕飾りなどを作る中で、はさみで切ったり、のりで貼ったりする。 フィンガーペインティング、小麦粉粘土、スライムなど、さまざまな素材で感触を味わう。 友達と一緒に楽しんで、盆踊りや体操などをする。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> 水分、食事、休息が十分とれるように配慮し、健康に生活が送れるようにする。 室温、湿度、換気、紫外線、気温などに十分留意し、適切な環境で過ごせるようにする。 身支度や後始末には、ゆったりとした時間をとり、手順や場所をわかりやすくし、日々の繰り返しの中で身につけられるようにする。 プールでの約束は、具体的な場面をとらえ、その都度伝え、子ども自身が意識して守れるようにする。 水がかかると嫌がったり、苦手な子どもには個人差に応じて、無理なく水に親しめるようにする。 友達と遊びたい気持ちを受け止め、保育者が仲立ちするなかで、同じ遊びをする楽しさが味わえるようにする。 子どもたちが自分の気持ちを出しやすいように、普段から信頼関係をつくり、子どもたちの中に入って気持ちを丁寧を受け止めて代弁する。 この季節にしか見られない自然事象をとらえ、自然の不思議さなどを感じさせる。 色水、しゃぼん玉、水鉄砲など、子どもが自由に選んで遊べるコーナーを設置する。 夏野菜を収穫したり食べたりする中で、収穫の喜びや野菜への興味をもてるようにする。 水や砂などの素材に触れて、感触を味わったり、試したりできる経験を多くもつようにする。 季節に合った絵本や紙芝居を身近に置き、手にとれるようにする。 子どものイメージを受け止め、出来上がった作品を認めたり、一緒に遊んだりして満足感が味わえるようにする。 用具の使い方を良く観察し、適切に個人指導する。 子どもの好きな曲やリズムに乗りやすい曲を選び、のびのびと表現できるようにする。 	
(家 庭 ・ 学 校 等 の 連 携)	<ul style="list-style-type: none"> プールカードを必ず記入してもらい、健康状態を把握して、プール遊びや水遊びをする。 クラス懇談、個人懇談を行い、子どもの成長や園での様子、家庭での様子について情報交換し、また、育児の不安や悩みなどを話せる関係性を深める。 家庭で十分睡眠を取ったり、朝食を食べるなど、規則正しく過ごし、体調管理に気をつけてもらう。 	

3 歳児 8 月

発達 こ ども の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことをほとんどの子どもは自分でしようとする。しかし、個別の声かけや援助の必要な子どももいる。 ・少しずつ水に慣れ、水遊びを楽しめるようになってきているが抵抗のある子どももいる。 ・保育者と一緒にキュウリやピーマンなどの野菜の生長の様子を見たり、収穫したりする。 ・気の合う友達とのかかわりが広がる中で、気持ちを言葉で十分伝えられなかったりして、トラブルが起きる。 ・水遊びやプール遊びの準備や後始末の手順がわかり、一人で出来た喜びを身近な人に伝えたり、友達の着替えを手伝ったりする。 ・暑い日が続き、水筒からお茶を飲むなど水分補給は自分でしようとするが食欲減退や発熱など体調を崩すことがある。 ・砂場で砂や水を使い、年長児の遊びをまねてダイナミックに遊ぶ。 	
(教育・養護)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の生活の仕方がわかり、身の回りのことは自分でしようとする。 ・自分の気持ちを言葉で伝えながら、気の合う友達と好きな遊びを楽しむ。 ・異年齢児や友達とかかわりながら、夏ならではの遊びを楽しみ、開放感を味わう。 ・時間の流れに余裕をもち、ゆったりとした生活の中で安心して気持ちを表せるようにする。 ・健康や室内外の環境に留意し、夏を快適に過ごせるようにする。 	
経験 させ たい 内容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・涼しい場所で、みんなと楽しく食事をして、苦手なものでも自分から食べてみようとする。 ・夏の生活の仕方がわかり、自分でできることは自分でする。 ・自分の持ち物やみんなの道具などをあった場所に片づけようとする。 ・体を動かしながら、水遊びやプール遊びを楽しむ。 ・喜んで収穫した野菜を使ったクッキングの手伝いをしたり、食べたりする。
	人間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児と一緒に遊んだり、生活したりする。(水遊び、食事、午睡) ・水遊びやプール遊びでの約束や決まりを守って、気の合う友達と一緒に遊ぶ。 ・気の合う友達とかかわりながら、保育者に仲立ちをしてもらうことで少しずつ友達の気持ちに気づく。 ・道具や用具の貸し借りをしながら遊ぶ。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の観察や収穫を通して食材に興味関心をもつ。 ・地域の行事や伝統的な行事に興味や関心をもつ。 ・身近な生き物に興味を持ち、観察ケースの虫を見たり触れたりする。 ・夏の自然現象(雷・夕立・虹・入道雲など)や植物に興味をもつ。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で経験したことや、感じたことを保育者や友達に話したり、友達の話を聞こうとしたりする。 ・絵本や図鑑などの内容を楽しみ、イメージをふくらませる。 ・「なぜ?」「どうして?」など疑問に思ったことを尋ねる。 ・自分のやりたい欲求や思いを言葉や態度で表現する。
	豊 か な 情 操 と 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に歌ったり、リズムに合わせて踊ったりする。 ・フィンガーペインティグや小麦粉粘土、スライム、シャボン玉など、さまざまな表現をする。 ・いろいろな素材を使って、まるめたり、ちぎったり、投げたり、水につけてみたりして見立て遊びをする。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・水分、食事、休息が十分とれるように環境を整えるとともに、室温、湿度、気温、換気、紫外線に留意し、調整しながらゆっくりと快適に過ごせるようにする。また、室内外の衛生面に十分留意する。 ・食欲が落ちた子どもには量を調節し、少しでも食べれたときは一緒に喜ぶようにする。 ・給食会議等で、クッキングや水分補給など必要な対応をしてもらうよう、栄養士と連携をとる。 ・夏野菜の収穫を通して、野菜嫌いな子どもも食べてみようと思えるようにする。 ・自分達で育てた野菜をクッキングして食べることで、食の関心を高められるようにする。衛生的にクッキングを行えるよう十分注意する。 ・生活や遊びの中で、自分でしようとする気持ちを大切にいき、自分で出来た時は認め、自信がもてるようにする。 ・絵カードなどを使って、片付ける場所や片づけ方を明確にし、片付けがしやすいように工夫する。 ・プール後の水着の着脱や、頭や背中など拭きにくいところは保育者も一緒にに行い、出来た満足感が味わえるようにする。 ・プール遊びや水遊びが楽しめるよう、簡単なゲームや遊具などを取り入れる。 ・プールを使用する時間帯、掃除の仕方、消毒などの当番、管理担当などを決め職員間で確認しあう。 ・異年齢児と遊びや生活を一緒にする中で、安心してかかわりがもてるようにする。 ・濡れた水着のままで滑りそうなどでは遊ばないなどの約束や、プールの周りでは走らないなどの決まりの必要性を、その都度知らせ、安全に対する意識をもたせる。 ・子ども同士の遊びを側で見守りつつ、怪我をしそうなトラブルが起きた時はすぐに対応し子どもの思いを受け止めながら、相手の思いにも気づくようにする。 ・保育者も地域の行事や伝承行事に対して関心を高め、積極的に子ども達と嬉しさや楽しさを共有していく。 ・生き物との出会いや、たくさんの野菜の収穫などを楽しみ、触れたり、世話をしたり、味わったりできるようにする。 ・子どもが繰り返し尋ねてくる時は快く応じ、子どもの疑問に丁寧に対応するよう心がける。 ・楽しかった思い出を、話しやすいよう相づちを打ったり、聞いている子ども達にも共通点を見つけ、話を聞こうとする気持ちをもてるようにする。 ・体験したことと、結びついた絵本や図鑑などを通して、夏の事象や生活への関心を広げられるようにする。 ・冷たい、軟らかい、硬いなど触れてわかる感覚が楽しめる教材を工夫して用意し、保育者も一緒に遊びながら感じたことを表現したり子どもの思いに共感したりする。 	
(家庭・学校等との連携)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の生活リズムが崩れやすいため、家庭と連携して一人一人の生活リズムを把握し、栄養、休息、睡眠をしっかりとり、規則正しく過ごしてもらうようにする。 ・家庭に、栄養バランスの摂れた献立の情報を提供する。 ・汗をかいたり、汚れたりすることが多いので、多めに着替えを用意してもらう。 ・水遊びやプール遊びができるかできないかを把握するために、チェック表やたよりに必ず記入してもらう。 ・地域と園との行事の情報共有を図り、子どもの体験場所の広がりを演出する。 ・地域の伝統的な祭りなどに参加し、伝統的な行事に関心を深めてもらう。 	

3歳 9月

<p>発達 子どもの 主な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みが終わり、友達や保育者との再会を喜び、久しぶりの登園を楽しみにしている子ども、保護者と離れられない子ども、久しぶりの園生活に不安な気持ちになっている子どもなどさまざまな姿が見られる。また、園生活や生活習慣の面では、忘れていたこともあるが、生活を共にしながら声掛けをすると思いだし、しようとする姿が見られる。(幼) 生活の流れがわかってきて身の回りのことを自分から進んでしようとし、保育者に声をかけてもらいながらできるようになってきている。大半の子どもは、自分の物と友達のものとの区別はできるが、区別がつきにくい子どももいる。 土や水に触れるなどの夏の遊びを通してたくましくなり、ダイナミックに友達と遊ぶ姿が見られる。プール遊びを楽しみにして水着に準備して着替える姿も見られる。夏の暑さの疲れから生活のリズムが乱れたり、体調を崩したりする子どももいる。 遊びの活動範囲も広がり、友達とかかわりも、物の取り合いや座る場所などのトラブルが見られ、自己主張をする姿がよく見られる。 散歩や集まりなどの時に、子ども同士で二人組になることができる。輪になることやまっすぐ並ぶこと、間隔をあけることができにくい。 運動会に向けて、保育者の真似をしながら、体操や踊りなどを動かす活動を楽しむ子どもや、見ている子ども、同じようにはできないが、年中・年長児のしていることに興味をもち、やってみようとする子どももいる。 保育者と簡単なルールのある遊びを楽しむ。合図・順番・交代などの約束が少しずつ理解できるようになる。興味をもって楽しめる子どもやどうしていいかわからずじっとして保育者の側にいる子どもの姿も見られる。 運動会に使うもの(旗や小道具)を保育者と一緒に作ることで、運動会を楽しみにする姿が見られる。 バッタやトンボを見つけたり、年長児に捕まえてもらったりして、虫かごに入れて、動く様子や大きさ、形、色など興味をもって見たりする。 										
<p>(ねらい) 教育目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園生活のリズムを取り戻し、安心して過ごす。(幼) 生活の流れがわかり、身の回りのことを自分から進んでしようとする。 運動会に期待感をもち、走ったり踊ったりなど全身を使った遊びをしたり、保育者や友達と一緒に体を動かしたりすることを楽しむ。 運動や休息のバランスをとって、安定したリズムで過ごせるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="220 651 300 763">健康な心と体</td> <td data-bbox="300 651 1380 763"> <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> はしの持ち方に気を付け、よい姿勢で食事をする。 排泄後は、自分で始末をしたり手洗いをしたりする。 リズムに合わせて体を動かしたり、かけっこしたりして、体を動かす心地よさを感じて遊ぶ。 活動の合間に水分補給をしたり、汗をかいたら着替えたり、適度な休息や午睡をとる。 活動後はシャワーを浴びたり、自分で手足を洗ったり、汗の始末や汚れた服の始末などをとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 763 300 853">人間関係</td> <td data-bbox="300 763 1380 853"> <ul style="list-style-type: none"> 遊びに必要な簡単なルールを知り、友達や身近な人と一緒に簡単な運動遊びをする。 同じ場で遊んでいる友達に気付き、かかわって遊ぶ。 同年齢の友達と一緒に活動したり、異年齢の友達の運動会の取り組みを見て応援したり、応援されたりして喜ぶ。 祖父母に親しみをもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 853 300 943">自信と信頼</td> <td data-bbox="300 853 1380 943"> <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな運動用具での遊びを楽しむ。(フープ、ボールなど) 朝顔、ひまわりの種取りをして遊ぶ。 お月見会に参加し、すすきや団子を飾り、十五夜や秋の収穫に関心をもつ。 身近な虫を見たり触れたりして遊ぶ。バッタ、コオロギなど </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 943 300 1077">命と自然</td> <td data-bbox="300 943 1380 1077"> <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「かして」「いれて」など、遊びや生活に必要な言葉を知り、使おうとする。 保育者や友達に自分の思いを言葉や態度で伝える。 保育者や友達とのやりとりを楽しみながらごっこ遊びをする。 夏に経験した楽しかったことなどを保育者や友達に言葉で伝える。 保育者に困った事や体調が悪いことなどを、自分から話す。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1077 300 1167">豊かな表現</td> <td data-bbox="300 1077 1380 1167"> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節の歌をうったり、運動会やお月見に関する絵本や紙芝居を読んでもらったりする。 音楽やリズムに合わせて、体操をしたり、踊ったりする 保育者と一緒に運動会に使うもの(旗、小道具)を作る。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> はしの持ち方に気を付け、よい姿勢で食事をする。 排泄後は、自分で始末をしたり手洗いをしたりする。 リズムに合わせて体を動かしたり、かけっこしたりして、体を動かす心地よさを感じて遊ぶ。 活動の合間に水分補給をしたり、汗をかいたら着替えたり、適度な休息や午睡をとる。 活動後はシャワーを浴びたり、自分で手足を洗ったり、汗の始末や汚れた服の始末などをとする。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 遊びに必要な簡単なルールを知り、友達や身近な人と一緒に簡単な運動遊びをする。 同じ場で遊んでいる友達に気付き、かかわって遊ぶ。 同年齢の友達と一緒に活動したり、異年齢の友達の運動会の取り組みを見て応援したり、応援されたりして喜ぶ。 祖父母に親しみをもつ。 	自信と信頼	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな運動用具での遊びを楽しむ。(フープ、ボールなど) 朝顔、ひまわりの種取りをして遊ぶ。 お月見会に参加し、すすきや団子を飾り、十五夜や秋の収穫に関心をもつ。 身近な虫を見たり触れたりして遊ぶ。バッタ、コオロギなど 	命と自然	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「かして」「いれて」など、遊びや生活に必要な言葉を知り、使おうとする。 保育者や友達に自分の思いを言葉や態度で伝える。 保育者や友達とのやりとりを楽しみながらごっこ遊びをする。 夏に経験した楽しかったことなどを保育者や友達に言葉で伝える。 保育者に困った事や体調が悪いことなどを、自分から話す。 	豊かな表現	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節の歌をうったり、運動会やお月見に関する絵本や紙芝居を読んでもらったりする。 音楽やリズムに合わせて、体操をしたり、踊ったりする 保育者と一緒に運動会に使うもの(旗、小道具)を作る。
健康な心と体	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> はしの持ち方に気を付け、よい姿勢で食事をする。 排泄後は、自分で始末をしたり手洗いをしたりする。 リズムに合わせて体を動かしたり、かけっこしたりして、体を動かす心地よさを感じて遊ぶ。 活動の合間に水分補給をしたり、汗をかいたら着替えたり、適度な休息や午睡をとる。 活動後はシャワーを浴びたり、自分で手足を洗ったり、汗の始末や汚れた服の始末などをとする。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 遊びに必要な簡単なルールを知り、友達や身近な人と一緒に簡単な運動遊びをする。 同じ場で遊んでいる友達に気付き、かかわって遊ぶ。 同年齢の友達と一緒に活動したり、異年齢の友達の運動会の取り組みを見て応援したり、応援されたりして喜ぶ。 祖父母に親しみをもつ。 										
自信と信頼	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな運動用具での遊びを楽しむ。(フープ、ボールなど) 朝顔、ひまわりの種取りをして遊ぶ。 お月見会に参加し、すすきや団子を飾り、十五夜や秋の収穫に関心をもつ。 身近な虫を見たり触れたりして遊ぶ。バッタ、コオロギなど 										
命と自然	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「かして」「いれて」など、遊びや生活に必要な言葉を知り、使おうとする。 保育者や友達に自分の思いを言葉や態度で伝える。 保育者や友達とのやりとりを楽しみながらごっこ遊びをする。 夏に経験した楽しかったことなどを保育者や友達に言葉で伝える。 保育者に困った事や体調が悪いことなどを、自分から話す。 										
豊かな表現	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節の歌をうったり、運動会やお月見に関する絵本や紙芝居を読んでもらったりする。 音楽やリズムに合わせて、体操をしたり、踊ったりする 保育者と一緒に運動会に使うもの(旗、小道具)を作る。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 久しぶりの登園なので、うれしい気持ちや不安な気持ちを受け止めながら、安心できるような言葉がけをしたり、スキンシップをとるようにしたりし、一人一人温かく迎える。夏休みをどのように過ごしていたのかを聞いたり、自分から話そうとする幼児にはしっかり耳を傾け、共感しながら気持ちを受け止めるようにする。(幼) 園生活のリズムを取り戻せるように、環境設定は、1学期の終わりと同じようにして、幼児が園生活を思い出し、安心して過ごすことができるようにする。それに加えて、夏休みの経験がいかせるような遊びを取り入れていく。(幼) はしの持ち方、正しい姿勢、適度な声の大きさなどをその都度知らせながら、楽しい雰囲気の中で食事ができるようにする。 排泄後は自分で始末ができるように仕方を知らせたり、自分でする様子を見守ったりして、必要な援助をしていく。 一人一人の頑張りをしっかり認め、自信につながるようにする。また、運動会後も継続して運動会ごっこができるようにする。 自分の物と友達のものとの区別がつきにくい子どもに対しては、個別に意識づけをしていく。 簡単なルールのある遊びをすることで、合図や順番・交代などの約束が少しずつ理解できるように配慮する。 好きな遊びをしっかりと楽しめるように、また、近くにいる友達と同じことがしてみたいという気持ちが満たされるように、遊具を少し多めに用意したり、状況に応じてすぐに出せるようにしたりする。 年中・年長児の運動会に向けての活動を見たり、時には仲間に入れてもらって楽しさを味わい、運動会への期待が高まるようにする。 一日の流れが分かるようにし、生活に見通しができるように絵カードを使ったり声掛けをしたりなど工夫し見届けるようにする。 捕まえてきた小動物などは、子どもたちと相談して、飼育したり、放してやったりする。 日常生活や遊びの中で子どもたちの発見や気付きに共感し、さらに興味関心が深まるようにする。また、一人一人の気付きについて子どもたちに伝える機会をもつ。 残暑が厳しい中で、子どもたちの様子を見ながら、熱中症にならないために、日陰で休息をとったり、こまめに水分補給をするように心がけたりし、健康に十分留意し、運動会へ向けての取り組みを無理なく進めていくようにする。 運動会の踊りや体操などの曲を流して、一緒に踊れるコーナーを作る。不安な気持ちになっている子どもには、保育者や友達と一緒に踊ったりして楽しさや心地よさを共感し合い、楽しめるようにする。 楽しみながら運動会の活動に参加できるよう早めに計画をしたり、保育者間で連携をとったりする。 遊びの中で保育者自身が「かして」「いれて」などの言葉をつかい、生活に必要な言葉に気付き、使うことができるようにする。 一人一人の子どもの興味や意欲を大切に、走ったり跳んだりすることが楽しめるように工夫する。また、リズムカルで親しみやすい曲を取り入れ、自然に体を動かしたくなるような音楽をかけ、喜んでできるようにする。 										
<p>(家庭・地域との連携) 小学校等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活のリズムを取り戻して、スムーズに登園できるよう早寝早起き期ごはんなどの生活習慣についてお願いし、再び始まった園の生活の様子を丁寧に伝え安心してもらうことができるようにする。(幼) 休み明けや残暑、運動会の練習など、疲れが出やすい時期なので、家庭でもしっかり食事、睡眠、休息をとるように伝える。 汗をかいたり、汚れたりすることも多いので、活動や気温差に応じて衣服の調節ができるような服を準備してもらい小さな物にも名前を書いてもらうようにする。 暑い日が続くため水筒の用意、着替えの補充をお願いし、衛生面に配慮する。 運動会のみどころや、頑張ってきたことなどを、おたよりを通して知らせ、家庭でも誉めたり、励ましたりしながら楽しく運動会に参加できるように声かけをしてもらい、子どもたちの様子や成長の姿を保護者に見てもらえるようにする。 運動会の活動を通して、地域の人に親しみ「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたり、挨拶を交わしたりし親しみもてるようにする。 防災の日に触れ、園での避難訓練の様子を伝えたり、家庭でも話をする機会をつくってもらう。 祖父母にはがきを送るなどの方法で、元気に頑張っていることを伝え、つながりを深める。 										

3歳児 10月

発達 こと 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会に向けて、走る、跳ぶなどの動きを喜んで一生懸命取り組む姿が見られる。 ・鬼ごっこなど、群れて遊ぶあそびを、保育者や友達と一緒に楽しむ姿が見られる。鬼になるより、追いかけることを喜ぶ。 ・体もぐんと大きくなり食欲が増えてきているが、はしの持ち方やよい姿勢で食事をする習慣については個人差がある。 ・朝夕が涼しくなり、日中との気温の変化で体調を崩す子どももいる。自分で気付いて、鼻水をティッシュで拭いたり鼻をかむことができる子どももいるが、きれいにすることはできない。 ・身の回りのことを自分でやろうという気持ちがあるが、まだ、保育者の援助が必要な子どももいる。 ・ご飯を食べたら歯ブラシを取りに行き行って磨こうとするが、口の中をきれいにするには十分でない。 ・運動会を通して、保育者や友達と体を動かす楽しさや決まりを守ることを知り、集団行動をしている。また、運動会後も異年齢児にまじって、かけっこや、リズムダンスを楽しむ姿が見られる。 ・順番を抜かすことや物の取り合いをすることからトラブルになる子どもがいる。また、困っている友達に「どうしたの?」と自分なりにかわらうとする姿が見られる。 ・仲良しの友達ができ、好きな遊びと一緒に楽しむようになってくる反面、気に入らないことがあるとその遊びをやめてしまうことがある。 ・異年齢の友達がしていることに興味をもち、見せてもらうことを喜んで自分もやってみようとしたりする。 ・お祭りを体験し、地域でだんじりやおみこしを見たり乗ったりしたことを嬉しそうに話す子どもがいる。年中・年長児のするおまつりごっこに喜んで参加する。 ・ドングリを見つけると嬉しそうにポケットに入れたり、手に握り締めたりする。 ・ヤマコボクを遊びに使い、手でつぶして手が紫色になったり、汁が出たりすることを喜び、色水作りなどの遊びを楽しむ子どもがいる。ドングリや落ち葉、さつまいも掘りなど、秋の自然に触れて遊んだり収穫を喜んで見られる。 ・芋掘りでは、どこを掘って良いのかわからなかったり、途中であきらめたりする子どももいるが、一緒に掘っていく事で、芋が掘れた時の喜びや感動、収穫の喜びを感じることができている。 ・言葉で相手に自分の思ったことを伝えようとするが、うまく伝わらず、たたいたり押ししたりしてトラブルになることがある。 ・友達と一緒に簡単なお手伝いや仕事をする当番活動が始まり、楽しみにする姿が見られる。当番になった子どもは、緊張しながらも喜んで、みんなの前で名前を言ったり、お弁当、給食の時「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をしたりしている。 ・2～3人でかたまつて遊んだり、言葉をやりとりしたりする姿が見られ、友達の存在を意識しはじめる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や保育者や異年齢の友達と一緒に遊びを楽しむ。 ・好きな遊びを通して友達とのかわりを楽しむ。 ・保育者や友達と一緒に、簡単なルールを守って、のびのび体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・自分の気持ちや考えを安心して、言葉や態度で表す。 ・生活に見通しをもち、身の回りのことを自分でしようとする。 ・木の実や木の葉を探したり、集めたりなどいろいろな自然物に触れて遊んだり、散歩したりして、秋の自然に親しむ。 ・朝夕と日中の気温差や活動に応じて衣服の調節をおこない、気持ちよく過ごせるようにする。 	
(教育・養育) 経験させたい内容	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・箸の持ち方に気を付け、よい姿勢で食事をする。 ・食べた後、歯磨きをして口の中をきれいにする。 ・戸外で体を動かして遊び、固定遊具に挑戦する。 ・外遊びから室内に入る時などは、衣服の汚れを気にしたり、手洗い・うがいをしたりする。 ・汗の始末や、着替えを自分から進んでする。 ・保育者と一緒に鼻水は片方ずつかむ。 ・自分のことなどが自分でできたことを喜び、またやってみようとする。 ・保育者や友達と一緒に楽しんで、鬼ごっこなどの遊びをする。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に、簡単なルールのある遊びを楽しんでみる。 ・遊具や玩具の貸し借りをして遊んだり、順番を待つことの大切さを知る。 ・友達と一緒にごっこ遊びを楽しんでみる。 ・好きな遊びを友達と声をかけ合っている。 ・異年齢の友達がしていることに興味をもち、自分もやってみようとする。 ・行事に喜んで参加し、家族や異年齢児や地域の方と触れ合う。
	命と自然	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会で使った道具などを使って遊ぶ。 ・木の葉の色の変化や、空の色、雲の様子を見て、秋の季節を感じる。 ・園外保育に出かけ、落ち葉や木の実を拾って遊ぶ。 ・木の実や葉っぱなど、身近な自然に親しみをもち、楽しんで遊びに取り入れる。 ・さつまいもの収穫を喜び、みんなで食べる。 ・チューリップの球根を植え、水やりなどの世話をする。
	豊かな言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや、思ったことを保育者や友達の前で話をする。 ・ごっこ遊びの中で自分の思いや感じたことを保育者や友達に言葉で伝える。 ・「かして」「いれて」など遊びや生活に必要な言葉を知り、状況に応じて使う。
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材(木の葉、木の実、さつまいも)を使って作ったり描いたりすることを楽しみ、できたものを飾ったり遊んだりする。 ・楽器に触れ、リズム遊びを楽しみ、リズムに合わせて体を動かしたり踊ったりする。
環境構成と援助	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で食事ができるようになりながら、箸の持ち方、正しい姿勢、適度な声の大きさなど、その都度知らせていく。 ・正しい歯磨きの仕方を知らせ、習慣が身に付くようにする。 ・衣服をきちんとたためている子どもにも、手本になってもらうなどして、身の回りのことをきちんとしようとする気持ちが育つようにする。 ・自分では体温調節ができていないので、保育者が声をかけて、衣服の調節ができるようにする。 ・一人でできた時や、自分から進んでしようとした時は十分認めて共に喜び、次の意欲につなげていく。 ・運動会での経験を生かし、運動遊びをしたり、体操、踊りのコーナーなどを作る。 ・いろいろな運動遊びが楽しいと感じられるように励ましたり、援助したり環境を設定したりし、一人一人の頑張りをしっかり認め、自信がもてるようにする。 ・友達へ関心が高まる時期なので、ルールのある遊びを知らせたり、簡単な言葉のやりとりを楽しめる遊びを取り入れたり、保育者も一緒に遊び、友達とかわかって遊ぶことが楽しめるようにする。 ・年上のクラスと一緒に生活したり一緒に遊ぶ機会をつくらせたりする中で、真似をしたりリードされたりしながら興味をもてるようにする。 ・トラブルが起きた時には、それぞれの思いをしっかりと聞き、自分の思いを出し合え、言葉で表現できるように構造化をしていく。 ・散歩に出かけ自然物を集められるよう、事前に散歩コースをしらべておく。 ・クラスの友達全員で同じ遊びを楽しめる機会を作って、物の貸し借りや順番を守るなどを知らせ、一人一人の要求や思いをくみ取りながら、我慢することも知らせる。 ・さつまいも掘りでは、保育者と一緒に掘っていくが、自分でほれたという喜びを感じられるようにする。そして、掘っている時の子どもから出てくる言葉に共感し、重い、大きいなど収穫の喜びが味わえるようにする。また、畑の様子や、虫などに気付かせたり、土の感触を味わったりできるようにする。 ・秋の自然に触れる機会を多くもち、子どもの発見や気づきに共感しさらに興味や関心が深まるようにする。また、ドングリ拾いや葉っぱ拾いを楽しみ、持ち帰った自然物でマラカスやこまを作ったり、好きな遊びに取り入れれたりできるように遊び方を提示したり、材料を用意しておいたりなど環境を整える。 ・楽しかったことなどを自分の言葉で伝えられるようにする。友達の話にも興味をもって聞けるような言葉がけをする。 ・保育者が正しい言葉をつかい、生活や遊びの中で正しい言葉の習得につなげる。 ・自分の作品を見せ合ったり、飾りつけしながら自分で作ることを楽しませる。 ・いろいろな素材を使って製作することを楽しめるように、はさみやのりの使い方を繰り返し知らせる。 	
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・肌寒くなってくるが、日中は暑いので、厚着にならないようお願いします。 ・気温の差が激しくなるので、ロッカー内の着替えを調節しやすい服に入れ替えてもらう。 ・うがいや鼻水の始末を進んでしようとする姿を認めたり、見守ったりしてもらうように伝え、園と家庭の生活がつながるように協力を依頼する。 ・運動会後の一人一人の成長を伝え合い、家庭でもたくさんほめてもらい、より自信がもてるようにする。 ・芋ほりなど園外保育で、地域の方と触れ合う機会が多くなるので、気持ちのよい挨拶や会話が交わされるようにする。 	

3歳児 11月

発達 こ の 主 な 特 徴		<ul style="list-style-type: none"> ・寒くなり、上着を着てくる子どもが増えるが、まだ、自分でボタンやファスナーの開閉ができない子どももいる。 ・身の回りの始末はだいたい自分でできるようになるが友達との遊びやおしゃべりに夢中になり、雑になったり、時間がかかったりする子どももいる。また、衣服の裏返しに気がなかつたり、帰りの仕度をしないで遊んだりする姿が見られる。 ・「ごっこしよう」と、友達を誘って一緒に遊ぼうとしたり、好きな友達と同じことをして遊びたがったりするが一方で、遊びに入れないことや、遊具の貸し借りで友達とトラブルになることもある。 ・これまで一人遊びを楽しんでいた子どもも、友達のしている遊びに関心をもち、一緒に遊ぶ姿が見られる。そして、仲間意識が芽生え、友達のことを心配したり、受け入れたりする姿が見られる。 ・散歩に出かけ、どんぐりやまつぼっくりを拾って楽しんだり、拾ったどんぐりでマラカスを作ったり、転がして遊んだりすることを楽しむ。 ・赤や黄色に色づいた葉っぱを喜んで集めたり、風で舞って落ちる葉っぱを追いかけたりしながら、秋の自然を楽しむ姿が見られる。
(教育・養育) ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達と一緒にいろいろな遊びに取組む楽しさを味わう。 ・体をしっかり動かす遊びや簡単なルールある遊び、ごっこ遊びを通して友達とのかかわりを楽しむ。 ・冬に向けての生活の仕方を知り、自分でしようとする。 ・秋の自然に触れ、興味関心をもち、自然物を使った遊びを楽しむ。 ・寒暖の差が激しくなるので、冬の生活習慣を知らせ、一人一人の体調に留意し、健康に過ごせるようにする。
経験させたい内容	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで楽しく食事をする中で、友達の刺激を受け、さまざまな食べ物を食べる。 ・気温の変化に合わせて、衣類の脱ぎ着をして快適に過ごす。 ・上着の着脱(裏返し・ボタンの掛け違い・ファスナーなど)の仕方を知り、自分でできることは自分でする。 ・うがい・手洗いを丁寧に、風邪の予防に気を付ける。 ・戸外で思いっきり体を動かし遊ぶ。 ・鬼ごっこなど、友達と一緒にルールある遊びをする。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や異年齢児や友達の真似をしたり、かかわったりして一緒に遊ぶ。 ・経験したことをもとに、イメージや思いをもって友達と一緒に遊ぶ。 ・遊びの中に自分からかかわったり、友達を誘ったりして、気の合う友達と一緒に遊ぶ。 ・トラブルを経験しながら、少しずつ友達の気持ちに気付く。
	自信と信頼	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩に出かけ、葉や木の葉の色や形に興味・関心をもち、どんぐりやまつぼっくりなどを拾うなどして秋の自然に触れる。 ・木の葉や木の葉を集めて、マラカス作りや飾りに使ってケーキ作りをするなど、遊びに取り入れる。 ・身近に働いている人たちを知る。 ・秋の自然物(収穫したものなど)に触れたり、感じたり、味わったりする。
	命と自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりする。 ・簡単なルールのある遊び(あぶくたつた しっぽとりなど)の中で言葉のやりとりを楽しんでする。 ・気に入った絵本に親しむことで、保育者と一緒に繰り返しの言葉を言ったり、いろいろな言葉を使ってごっこ遊びを楽しんだりする。 ・絵本やお話を楽しむ中で、イメージを話したり、友達の話も聞こうとしたりする。 ・いろいろな場面で「なぜ」「どうして」などと質問したり、みんなの前でしたこと、見たことを自分なりの言葉で表現する。 ・ごっこ遊びで役になりきったり、ストーリーに沿いながら役になりきって遊んだりする。
	豊かな情操と賢さ	<ul style="list-style-type: none"> ・見立てたり、イメージしたものを作ったり、ごっこ遊びに取り入れたいりして遊ぶ。 ・好きな動物や人物になって身体表現をする。 ・リズムカルな曲に合わせて簡単な楽器を鳴らして遊ぶ。 ・友達と一緒に楽しんで歌をうたう。 ・木の葉や葉っぱを使い構成遊びや色彩遊びなどいろいろなものを作って遊ぶ。 ・身近な素材や廃材を使って作ったり、描いたりしたもので遊んだりする。
環境構成と援助		<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する絵本や紙芝居などを利用し、手洗い・うがいの必要性を知らせる。手を洗う時は、袖をあげ水にぬれないようにすることを伝え、保育者も一緒に手を洗いながら側から見守るなど丁寧に知らせていく。 ・身の回りのことを自分から進んでやっている子どもは認め、意欲的に取り組めるように励ましていく。気がない子どもには、何気ない声をかけたりして、自分から気付くように促すなど、できるだけ自分でできたという満足感や自信を持たせていく。 ・気温や活動に合わせて衣服の調整に、その都度気付かせて、薄着の習慣が身に付けられるようにする。 ・子ども一人一人が自分から遊び始める姿を見守り、自分でしたい意欲や自分の力で「できた」という思いを大事にする。 ・トラブルの際は、それぞれの思いを受け止め、保育者が言葉を添えたり、代弁しながら相手の思いに気付くようにする。 ・子どもの生活体験からの、イメージのふくらみを大切にしながら、保育者もごっこ遊びに参加し、子どもの言葉や動きに合わせて楽しんでいく。 ・落ち葉の上を歩いて感触を味わったり、踏みしめた音を聞いたり、落ち葉を降らせたりして、全身で秋を感じられるようにする。 ・秋の自然物に触れる機会をもち、落ち葉の色の美しさや違いなど、子どもからの発見や驚きに共感していく。また、集めた木の葉や木の葉を飾ったり、触れて遊んだりできるコーナーを設定する。 ・ごっこ遊びの中で、自分から制作を楽しめるような素材や材料を準備する。 ・遊びに必要な素材や廃材を豊富に準備し、お店屋さんごっこに向けて、制作することを楽しませるようにする。 ・友達と歌ったり、楽器に親しんだりできるように、カスタネット・すず・タンバリン・トライアングルなどを用意しておく。
家庭・地域との連携(小学校等)		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変わりめや感染症が流行し始める時期なので、家庭でも手洗い、うがいなどを習慣づけ、健康管理ができるように知らせる。 ・上着は着脱しやすく、自分で始末できるものを用意してもらい、フックにかけられるように襟元にループをつけるようにお願いをする。 ・薄着の習慣が身に着くよう協力をお願いする。 ・自分でできるようになったこと、成長したことを伝え、家庭でも自分でしようとしていることを見守り、話題にしてもらう。

3歳児 12月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことやうがいなど自分でしようとする子どもがいるが、言葉がけが必要であったり、鼻をかむことや衣服の調整などに援助が必要な子どももいる。 ・簡単なルールのある遊び（鬼ごっこやかくれんぼなど）の遊び方がわかり、友達と一緒に楽しんでいる。 ・友達や保育者と一緒に戸外に出て、ボール遊びや追いかけっこなどを動かす遊びを楽しむ子どももいるが、あまり戸外に出たがらず室内で過ごす姿も増えてくる。 ・日頃親しんでいた話が「ごっこ遊び」になったり、ままごと、ブロック、積木などを自由に移動させたりして、遊びの場や内容を広げて楽しむ姿が見られる。 ・気の合う友達の登園を楽しみに待ち、「ちゃん、遊ぼう！」「入れて」と遊びに誘ったり、自分たちで遊びを進めたりして楽しんで遊ぶ姿が見られ、自分のやりたい遊びにじっくりとかかわって遊ぶようになってきている。 ・泣いている友達や困っている友達に気づき、「どうしたん？」「～してあげようか？」などの言葉をかけることができる子どももいる。 										
<p>(教育・養護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず、戸外で保育者や友達と一緒に体を動かして元気に遊ぶ。 ・経験したこと、思ったこと、感じたことなどを表現することを楽しむ。 ・行事や年末年始の生活に関心をもつ。 ・寒さや活動に応じて環境に留意し、健康で安全に過ごせるようにする。 ・一人一人の気持ちや考えを受け止め、意欲的に生活や遊びができるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="244 689 343 880"> <p>健康な心と体</p> </td> <td data-bbox="343 689 1358 880"> <ul style="list-style-type: none"> ・室内外の気温の変化に気づき、衣服の調節をし、薄着で生活しようとする。 ・防寒着の着脱や片づけ方を知り、自分でやろうとする。 ・手洗いやうがいの必要性を知り、進んで行う。 ・鼻水が出たら拭いたりかんだりすることで、心地よさや清潔感を知る。 ・冬の寒さを感じとり、動くことで体が温まることを知る。 ・戸外で、縄遊び、ボール遊び、鬼ごっこ、かけっこなど、体を動かして遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="244 880 343 969"> <p>人間関係</p> </td> <td data-bbox="343 880 1358 969"> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びのきまりや約束を守りながら、友達と一緒に楽しんで遊ぶ。 ・友達と一緒に、まねをして、同じような動きを楽しんで遊ぶ。 ・友達や保育者の手伝いを喜ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="244 969 343 1126"> <p>自信と信頼</p> </td> <td data-bbox="343 969 1358 1126"> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然に触れ、葉の落ちた木々の色、形の様子や吹く風の冷たさ、陽だまりの暖かさに気づくなど自然の変化や身近な事象に目を向ける。 ・身近な動物の冬眠を知る。 ・みんなと一緒にいろいろな行事に楽しんで参加する。 ・冬休みや正月が来ることを知り、年末年始の生活や行事に関心をもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="244 1126 343 1216"> <p>命と自然</p> </td> <td data-bbox="343 1126 1358 1216"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の話を聞いたり、見たりしたことなど体験したことをみんなの前で話す。 ・物語などの内容からイメージを広げ、なりたいものになりきって遊ぶ中で、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="244 1216 343 1317"> <p>豊かな情緒</p> </td> <td data-bbox="343 1216 1358 1317"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達や異年齢児と一緒に歌をうったり、踊ったり、楽器を鳴らしたりする。 ・絵本や話の中の登場人物になって遊び、イメージしたことを自分なりに表現する。 ・いろいろな素材や用具を使って、楽しんで作ったり、描いたり、飾ったりする。 </td> </tr> </table>	<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・室内外の気温の変化に気づき、衣服の調節をし、薄着で生活しようとする。 ・防寒着の着脱や片づけ方を知り、自分でやろうとする。 ・手洗いやうがいの必要性を知り、進んで行う。 ・鼻水が出たら拭いたりかんだりすることで、心地よさや清潔感を知る。 ・冬の寒さを感じとり、動くことで体が温まることを知る。 ・戸外で、縄遊び、ボール遊び、鬼ごっこ、かけっこなど、体を動かして遊ぶ。 	<p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びのきまりや約束を守りながら、友達と一緒に楽しんで遊ぶ。 ・友達と一緒に、まねをして、同じような動きを楽しんで遊ぶ。 ・友達や保育者の手伝いを喜ぶ。 	<p>自信と信頼</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然に触れ、葉の落ちた木々の色、形の様子や吹く風の冷たさ、陽だまりの暖かさに気づくなど自然の変化や身近な事象に目を向ける。 ・身近な動物の冬眠を知る。 ・みんなと一緒にいろいろな行事に楽しんで参加する。 ・冬休みや正月が来ることを知り、年末年始の生活や行事に関心をもつ。 	<p>命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の話を聞いたり、見たりしたことなど体験したことをみんなの前で話す。 ・物語などの内容からイメージを広げ、なりたいものになりきって遊ぶ中で、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ。 	<p>豊かな情緒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や異年齢児と一緒に歌をうったり、踊ったり、楽器を鳴らしたりする。 ・絵本や話の中の登場人物になって遊び、イメージしたことを自分なりに表現する。 ・いろいろな素材や用具を使って、楽しんで作ったり、描いたり、飾ったりする。
<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・室内外の気温の変化に気づき、衣服の調節をし、薄着で生活しようとする。 ・防寒着の着脱や片づけ方を知り、自分でやろうとする。 ・手洗いやうがいの必要性を知り、進んで行う。 ・鼻水が出たら拭いたりかんだりすることで、心地よさや清潔感を知る。 ・冬の寒さを感じとり、動くことで体が温まることを知る。 ・戸外で、縄遊び、ボール遊び、鬼ごっこ、かけっこなど、体を動かして遊ぶ。 										
<p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びのきまりや約束を守りながら、友達と一緒に楽しんで遊ぶ。 ・友達と一緒に、まねをして、同じような動きを楽しんで遊ぶ。 ・友達や保育者の手伝いを喜ぶ。 										
<p>自信と信頼</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然に触れ、葉の落ちた木々の色、形の様子や吹く風の冷たさ、陽だまりの暖かさに気づくなど自然の変化や身近な事象に目を向ける。 ・身近な動物の冬眠を知る。 ・みんなと一緒にいろいろな行事に楽しんで参加する。 ・冬休みや正月が来ることを知り、年末年始の生活や行事に関心をもつ。 										
<p>命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の話を聞いたり、見たりしたことなど体験したことをみんなの前で話す。 ・物語などの内容からイメージを広げ、なりたいものになりきって遊ぶ中で、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ。 										
<p>豊かな情緒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や異年齢児と一緒に歌をうったり、踊ったり、楽器を鳴らしたりする。 ・絵本や話の中の登場人物になって遊び、イメージしたことを自分なりに表現する。 ・いろいろな素材や用具を使って、楽しんで作ったり、描いたり、飾ったりする。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さのため手洗いやうがいがおろそかにならないように、保育者が手本を見せるなどして、大切さを知らせる。 ・保育者も一緒に戸外に出て体を動かし、体が温くなる心地良さが味わえるようにする。 ・子どもの動き、言葉、表情から、それぞれの思いを丁寧に受け止めていき、遊びに満足感がもてるようにする。 ・興味を持った遊びに何度も繰り返して遊んでいる姿を認め、楽しさが感じられるように声をかける。 ・気温の変化に応じて暖房器具を使用し、室温・温度・換気に留意しながら、安全で快適な生活ができるようにする。 ・暖房器具の取り扱いについて、家庭での生活も含めて、火や熱の危険について話し合う。 ・大掃除を通して保育者と一緒に自分のロッカーや玩具などを拭き、きれいにする気持ち良さや年末に向けての雰囲気味わえるようにする。 ・保育者が年末年始の様子や自然の変化などを意識して子ども達に伝え、関心を高めるようにする。 ・自分の発想や感じたこと、体験したことなどを言葉で伝えたり、イメージしたものを作ろうとする子どもの気持ちを大切に受け止め、しっかりと耳を傾ける。 ・友達と歌をうったり、楽器に親しんだりできるよう、カスタネット・すず・タンバリン・トライアングルなどを用意し、親しんでいる曲やリズムがとりやすい曲をかけた。 										
<p>家庭・地域の連携 (小学校等との連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防寒着は、名前をわかりやすくしてもらい、子どもが動きやすく着脱しやすいものを用意してもらおう。 ・寒さに向かって健康管理（衣服の着脱・手洗いやうがい・生活リズムを崩さないなど）の必要性と具体的な方法について伝える。 ・冬休みの過ごし方について手紙を配布し、生活リズムを崩さないことや場面に応じて挨拶をすること、手伝いをすることなどに意識して取り組めるようにする。 ・年末を迎える準備や正月遊びを通して、子どもとの触れ合いの時間を大切にもらおう。 										

3歳児 1月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み明けには元気に登園し、友達や保育者との再会を喜んで、冬休みの出来事を友達や保育者に嬉しそうに話す姿が見られる。しかし、休み明けで生活リズムが不規則になったり、登園時保護者との別れを辛そうにしたりする子どももいる。 ・戸外で元気に遊ぶ姿が見られるが、寒さのため戸外にでることを嫌がる子どももいる。 ・身の回りのことができるようになるが、寒さのために着脱を嫌がったり、冷たい水での手洗いうがいを嫌がる子どももいる。 ・上着のファスナーやボタンを、少しずつ自分でしようとする姿が見られる。その反面、すべて保護者にしてもらおうとする子どももいる。 ・鼻水が出たら自分でかみ、ティッシュの始末をしようとする姿が見られる。 ・以前は遊びを傍観していた子どもも、「ちゃん、遊ぼう」と声をかける姿も見られるようになってくる。 ・簡単なルールのある遊びなど、やりたい遊びを見つけて、自分から保育者や友達を誘って一緒に遊ぶことを楽しんでいる。 ・ままごとではお雑煮作りなどを楽しんだり、カルタやトランプ、絵合わせ、福笑いなどのお正月に遊んだ伝承遊びを友達や保育者と一緒に楽しむ姿が見られる。カルタは文字がわかるのではなく、絵を見て覚えて取ることができる。また、手作りのコマで遊ぶ姿も見られる。 ・氷や霧柱、つららなどができている様子を見て喜んで、溶けていく様子を見て不思議に思ったりする。また、氷を探しているいろいろな場所に行く姿が見られる。しかし、手が冷たくて触るのを嫌がる子どももいる。 ・ごっこ遊びの中で役に興味をもち、なりきってしてみようとするが、見てもらうことが恥ずかしい思いから、声が小さくなる子どもがいる。また、見てもらうことが嬉しくてテンションがあがる子どももいる。 ・語彙が増え、友達同士でしゃべることが多くなり、言葉のやりとりが続くようになる。 										
<p>(教育・養育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず、戸外で遊び、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・冬の生活に必要な習慣を知り、健康に過ごす。 ・伝承遊びをする中で、保育者や異年齢の友達とかかわって遊ぶ楽しさを味わう。 ・氷や霧、雪などの身近な冬の自然現象に気付き、興味をもったり、それを使って遊んだりすることを楽しむ。 ・ごっこ遊びをして、友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る。 ・感染症が流行しやすいので、室温と室外の気温差に留意したり、活動に応じて衣服の調節をしたりして、健康に過ごせるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="226 786 268 949"> <p>健康な心と体</p> </td> <td data-bbox="268 786 1380 949"> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な行事と、食べ物について興味をもつ。 ・楽しい雰囲気の中で冬の食材を使った給食を食べる。 ・冬の生活の仕方が分かり、自分でしようとする。 ・防寒着の着脱の仕方がわかり、自分でしようとする。 ・寒さに負けず、体操をしたりマラソンをしたりして体をあたためる。 ・風邪の予防について知り、手洗いうがいをきちんとする。 ・鬼ごっこ、ボール遊び、おしくらまんじゅうなど、保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="226 949 268 1043"> <p>人間関係</p> </td> <td data-bbox="268 949 1380 1043"> <ul style="list-style-type: none"> ・正月ならではの伝統的な遊びを知り、簡単なルールを守りながら異年齢の友達や保育者と繰り返し楽しんで遊ぶ。(カルタ、すごろく、福笑いなど) ・友達の嫌がることを言ったり、してはいけないことに気付く。 ・保育者や友達の手伝いを喜んでする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="226 1043 268 1137"> <p>環境</p> </td> <td data-bbox="268 1043 1380 1137"> <ul style="list-style-type: none"> ・雪合戦や雪だるま作りをしたり、冬の自然現象(雪、霧、氷、つらら)に触れ取り入れて遊ぶ。 ・風や雪の冷たさを感じる。 ・お正月のお飾り、門松などを見たり、とんどなどの伝統文化について知る。 ・遊びの中で、数を数え、「多い・少ない」などを知る。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="226 1137 268 1232"> <p>命と自然</p> </td> <td data-bbox="268 1137 1380 1232"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ中で、少しずつ相手の話を落ち着いて聞こうとする。 ・カルタ遊びなどを楽しんでいる。 ・絵本の中の繰り返しの言葉を楽しむ。 ・休み中に経験したことや感じたことを話し、友達や保育者と言葉のやりとりをする。 ・「あけましておめでとうございます」という正月のあいさつをする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="226 1232 268 1317"> <p>豊かな情緒</p> </td> <td data-bbox="268 1232 1380 1317"> <ul style="list-style-type: none"> ・歌ったり、踊ったり、楽器を鳴らしたり、みんなの前で表現する。 ・保育者と一緒に書き初めをしたり、季節の行事のもの(たこ、鬼のお面など)の製作をする。 </td> </tr> </table>	<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な行事と、食べ物について興味をもつ。 ・楽しい雰囲気の中で冬の食材を使った給食を食べる。 ・冬の生活の仕方が分かり、自分でしようとする。 ・防寒着の着脱の仕方がわかり、自分でしようとする。 ・寒さに負けず、体操をしたりマラソンをしたりして体をあたためる。 ・風邪の予防について知り、手洗いうがいをきちんとする。 ・鬼ごっこ、ボール遊び、おしくらまんじゅうなど、保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ。 	<p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正月ならではの伝統的な遊びを知り、簡単なルールを守りながら異年齢の友達や保育者と繰り返し楽しんで遊ぶ。(カルタ、すごろく、福笑いなど) ・友達の嫌がることを言ったり、してはいけないことに気付く。 ・保育者や友達の手伝いを喜んでする。 	<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雪合戦や雪だるま作りをしたり、冬の自然現象(雪、霧、氷、つらら)に触れ取り入れて遊ぶ。 ・風や雪の冷たさを感じる。 ・お正月のお飾り、門松などを見たり、とんどなどの伝統文化について知る。 ・遊びの中で、数を数え、「多い・少ない」などを知る。 	<p>命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ中で、少しずつ相手の話を落ち着いて聞こうとする。 ・カルタ遊びなどを楽しんでいる。 ・絵本の中の繰り返しの言葉を楽しむ。 ・休み中に経験したことや感じたことを話し、友達や保育者と言葉のやりとりをする。 ・「あけましておめでとうございます」という正月のあいさつをする。 	<p>豊かな情緒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌ったり、踊ったり、楽器を鳴らしたり、みんなの前で表現する。 ・保育者と一緒に書き初めをしたり、季節の行事のもの(たこ、鬼のお面など)の製作をする。
<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な行事と、食べ物について興味をもつ。 ・楽しい雰囲気の中で冬の食材を使った給食を食べる。 ・冬の生活の仕方が分かり、自分でしようとする。 ・防寒着の着脱の仕方がわかり、自分でしようとする。 ・寒さに負けず、体操をしたりマラソンをしたりして体をあたためる。 ・風邪の予防について知り、手洗いうがいをきちんとする。 ・鬼ごっこ、ボール遊び、おしくらまんじゅうなど、保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ。 										
<p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正月ならではの伝統的な遊びを知り、簡単なルールを守りながら異年齢の友達や保育者と繰り返し楽しんで遊ぶ。(カルタ、すごろく、福笑いなど) ・友達の嫌がることを言ったり、してはいけないことに気付く。 ・保育者や友達の手伝いを喜んでする。 										
<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雪合戦や雪だるま作りをしたり、冬の自然現象(雪、霧、氷、つらら)に触れ取り入れて遊ぶ。 ・風や雪の冷たさを感じる。 ・お正月のお飾り、門松などを見たり、とんどなどの伝統文化について知る。 ・遊びの中で、数を数え、「多い・少ない」などを知る。 										
<p>命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ中で、少しずつ相手の話を落ち着いて聞こうとする。 ・カルタ遊びなどを楽しんでいる。 ・絵本の中の繰り返しの言葉を楽しむ。 ・休み中に経験したことや感じたことを話し、友達や保育者と言葉のやりとりをする。 ・「あけましておめでとうございます」という正月のあいさつをする。 										
<p>豊かな情緒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌ったり、踊ったり、楽器を鳴らしたり、みんなの前で表現する。 ・保育者と一緒に書き初めをしたり、季節の行事のもの(たこ、鬼のお面など)の製作をする。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休み明けで、園生活のリズムを取り戻しにくい子どもには安心してスタートがきれるように、保育者と一緒にゆとりをもって過ごせるようにする。自分でできるようになったことを認め、自信や満足感が味わえるように援助する。 ・マラソンでは子どもたちの様子を見ながら距離を決め、無理なく、楽しみながら走れるようにする。 ・感染症予防のために、手洗いうがいの大切さを知らせ、洗う様子を見せたり、声かけをしたりする。 ・時間を決めて換気をしたり、花瓶、濡れたタオルを置くなどして室内の温度、湿度に留意する。 ・寒さのために着替えを嫌がる子どもには、声をかけて一緒にする。 ・クラスの活動に鬼ごっこやおしくらまんじゅうなどを取り入れ、友達と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるようにする。 ・簡単なルールのある遊びをする中で、ルールを守って遊ぶ楽しさが感じられるように、ルールに気づかせながら遊びを進めるようにする。 ・子どもたちが経験しているいろいろな正月遊びを用意し、一緒に遊びながら、遊び方を知らせる。 ・順番や物の取り合いなどのトラブルが起きた時には、互いの思いをしっかりと聞き受け止めるようにする。相手の思いにも気付いていけるように援助する。 ・氷や霧、雪など冬の自然現象に触れる機会を逃さず、見たり触れたりできるようにする。子どもたちの発見や驚きに共感する。 ・休み中の出来事について、話したい気持ちを受け止め、ゆったりと話を聞く。また、遊びの中で子どもたちの声を保育者が代弁したりしながら、言葉で伝える楽しさや喜びを感じられるようにする。 ・イメージが膨らむよう絵本や紙芝居を繰り返し読んだり、子どもからの声に応えたりする。 										
<p>(小学校等との連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・室温や湿度に留意し、感染症予防に努めると共に流行の兆しが見られたら保護者に知らせ、体調の変化について連絡を取り合いながら、様子がいつもと違うと思った時は早めに受診してもらう。 ・風邪やインフルエンザが流行してくる時期なので、家庭でも手洗いうがいに気を付け、習慣づけてもらうようにする。 ・厚着になると、自分で排泄がしにくかったり、汗をかきやすくなったり、着脱もしにくくなることを伝え、厚着にならないように声をかける。 ・冬休み中に経験したことを聞き、園での生活や遊びに取り入れる。また、園での生活の様子を知らせ、つながりのある生活が送れるようにする。 ・園庭での活動時、道を行き交う人と挨拶を交わす。また、地域の方々や出会ったら「あけましておめでとうございます」の新年の挨拶を保育者と一緒に交わす。 ・お正月遊びや伝承遊びの大切さを知らせ、家庭で一緒に遊べるようにする。 ・雪遊びが十分楽しめるように、防寒具の用意をしてもらうと共に、衣類も多めに用意してもらう。 ・とんど焼きをすることを知らせ、各家庭地域から正月の飾りなどを持ってきてもらい、参加してもらう。 										

3歳児 2月

<p>発達 こと もの 特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご飯やみそ汁などを配る手伝いを喜んでする。また、おかわりも自分でつづことができる。 ・排泄面ではペーパーをちぎって、自分で拭くことができる子どもも増えてくるが、ペーパーをたくさん使いすぎてしまうこともある。 ・寒さに負けず戸外で体を動かして遊んでいる。特に雪が降った日には雪だるまづくり、雪合戦、そり遊びなどを楽しんでいる。反面「寒い。」と言って戸外に出るのを嫌がる子どももいるが、外に出ると保育者と一緒に体を動かして遊ぶことができる。 ・喜んでマラソンをしたり、友達と一緒に走ることを楽しんだり、友達より速く走りたいという気持ちで頑張っている子どももいる。 ・戸外では大縄跳びに興味をもち年長児、年中児の真似をして跳んでみようとする。最初は上手くできないが何回か跳んでいるうちに自分なりのコツをつかみ跳べるようになる子どももいる。また、室内ではカルタやひらがなカードなどを楽しんで遊ぶ子どもがいる。 ・うがい、手洗いは習慣づいているが、簡単にすませてしまう子どももいる。 ・防寒着の始末は自分からしようとしている。できにくい所は手伝ってもらおうとする。 ・遊んだ後の片付けを自分でしようとし、褒められると更に張りきってする反面、遊び方、片付け方が雑になったり、片付けをしないで他の遊びに移ることもある。 ・ルールのある遊びやごっこ遊びなどの遊びを繰り返し楽しみ、継続して遊ぶ様子が見られる。 ・自分のしたい遊びを見つけることができ、落ち着いて遊べるようになってくる。また、友達と一緒に遊ぶ楽しさがわかり、気の合う友達を誘って遊ぶようになるが、物を取り合ったり、順番を取り合ったりして、まだまだトラブルがある。決まりが守れない友達に「いけんよ。」と言って教えてあげる姿も見られる。 ・年長児に親しみをもち、一緒に遊んでもらったり、お弁当や給食を食べる時間を楽しみにしたりしている。お別れ遠足やお別れ会に参加しお別れが近いことを感じる。進級が近いことを知り、もうすぐ 組になるという言葉が子どもたちから聞かれるようになる。 ・生活の場面や、遊び、自然の中で「なぜ?」「どうして?」の質問の言葉がよく聞かれる。 										
<p>() 教育・ 養育 ()</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に戸外で体を動かして遊び、寒さに負けずに健康な体を作る。 ・冬の生活に必要な習慣を知り、身の回りのことが自分でできるようになり、進んでしようとする。 ・保育者や友達と一緒に簡単なきまりを守って生活したり、ルールを守って遊んだりする楽しさを味わう。 ・遊びの中で自分の思いをしっかりと表し、物を分け合ったり順番を守ったりして友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・雪や氷など身近な冬の自然に関心をもち、驚いたり喜んだり遊びに取り入れたりする。 ・生活や遊びに応じた言葉が使えるようになる。 ・季節の変化に応じて保健的で安全な環境を作り、快適に過ごせるようにする。 ・一人一人の成長を認め安心感や満足感をもって生活できるようにする。 										
<p>経験 させ たい 内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="223 728 263 840">健康 な 心 と 体</td> <td data-bbox="263 728 1396 840"> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄、排便の始末を自分でしようとする。 ・戸外から帰ったら手洗い、うがいをして風邪の予防をする。また、自分で鼻水の始末をする。 ・途中で遊びを変える時には、片付けてからする。 ・自分の体調不良や、怪我をしたことを保育者に伝える。 ・マラソン、縄跳びなど体を動かすことを楽しみながら、体を温めたり、いろいろな運動遊びに挑戦したりする。 ・簡単な当番活動を張りきってする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="223 840 263 929">関 係 人</td> <td data-bbox="263 840 1396 929"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達とルールのある遊びを楽しんでする。 ・異年齢のしていることに関心をもち、一緒に活動をする。 ・保育者や友達と一緒にごっこ遊びや楽器遊び、体操をする。 ・年長組とのお別れが近いことを知り一緒にしかわって遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="223 929 263 1030">自 信 と 信 頼</td> <td data-bbox="263 929 1396 1030"> <ul style="list-style-type: none"> ・節分について知り、豆まきに参加する。 ・氷、つらら、霧柱、雪に触れて遊び、いろいろな発見をする。 ・梅の花や木の芽ぶきなどを見て、春の訪れを感じる。 ・生活や遊びの中で、物の色や形、量、数などに興味をもつ。 ・遊具を貸し借りし、順番を待って使う。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="223 1030 263 1120">自 然 と</td> <td data-bbox="263 1030 1396 1120"> <ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中で遊びに必要な言葉を言ったり聞いたりする。 ・自分の思いを言葉で伝えようとしたり、友達の言っていることを聞いたりする。 ・保育者や友達の話に興味をもって聞く。 ・生活の中で、困ったことや手伝ってほしいことを言葉で伝える。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="223 1120 263 1220">豊 か な 情 境</td> <td data-bbox="263 1120 1396 1220"> <ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中でやりたい役になったり、見立てたりして自分なりのイメージをもって遊ぶ。 ・友達と一緒にいろいろな曲に合わせて歌ったり、楽器遊びをしたり、体を動かしたりする。 ・お祝いやお礼の気持ちを込めて、年長児に渡すプレゼントを作る。 ・粘土やお絵かきなど自由に表現し、描いたり作ったりしたものに、意味付けをして遊ぶ。 ・リズム運動では曲に合わせて、手や足をしっかりと動かして遊ぶ。 </td> </tr> </table>	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄、排便の始末を自分でしようとする。 ・戸外から帰ったら手洗い、うがいをして風邪の予防をする。また、自分で鼻水の始末をする。 ・途中で遊びを変える時には、片付けてからする。 ・自分の体調不良や、怪我をしたことを保育者に伝える。 ・マラソン、縄跳びなど体を動かすことを楽しみながら、体を温めたり、いろいろな運動遊びに挑戦したりする。 ・簡単な当番活動を張りきってする。 	関 係 人	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達とルールのある遊びを楽しんでする。 ・異年齢のしていることに関心をもち、一緒に活動をする。 ・保育者や友達と一緒にごっこ遊びや楽器遊び、体操をする。 ・年長組とのお別れが近いことを知り一緒にしかわって遊ぶ。 	自 信 と 信 頼	<ul style="list-style-type: none"> ・節分について知り、豆まきに参加する。 ・氷、つらら、霧柱、雪に触れて遊び、いろいろな発見をする。 ・梅の花や木の芽ぶきなどを見て、春の訪れを感じる。 ・生活や遊びの中で、物の色や形、量、数などに興味をもつ。 ・遊具を貸し借りし、順番を待って使う。 	自 然 と	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中で遊びに必要な言葉を言ったり聞いたりする。 ・自分の思いを言葉で伝えようとしたり、友達の言っていることを聞いたりする。 ・保育者や友達の話に興味をもって聞く。 ・生活の中で、困ったことや手伝ってほしいことを言葉で伝える。 	豊 か な 情 境	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中でやりたい役になったり、見立てたりして自分なりのイメージをもって遊ぶ。 ・友達と一緒にいろいろな曲に合わせて歌ったり、楽器遊びをしたり、体を動かしたりする。 ・お祝いやお礼の気持ちを込めて、年長児に渡すプレゼントを作る。 ・粘土やお絵かきなど自由に表現し、描いたり作ったりしたものに、意味付けをして遊ぶ。 ・リズム運動では曲に合わせて、手や足をしっかりと動かして遊ぶ。
健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄、排便の始末を自分でしようとする。 ・戸外から帰ったら手洗い、うがいをして風邪の予防をする。また、自分で鼻水の始末をする。 ・途中で遊びを変える時には、片付けてからする。 ・自分の体調不良や、怪我をしたことを保育者に伝える。 ・マラソン、縄跳びなど体を動かすことを楽しみながら、体を温めたり、いろいろな運動遊びに挑戦したりする。 ・簡単な当番活動を張りきってする。 										
関 係 人	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達とルールのある遊びを楽しんでする。 ・異年齢のしていることに関心をもち、一緒に活動をする。 ・保育者や友達と一緒にごっこ遊びや楽器遊び、体操をする。 ・年長組とのお別れが近いことを知り一緒にしかわって遊ぶ。 										
自 信 と 信 頼	<ul style="list-style-type: none"> ・節分について知り、豆まきに参加する。 ・氷、つらら、霧柱、雪に触れて遊び、いろいろな発見をする。 ・梅の花や木の芽ぶきなどを見て、春の訪れを感じる。 ・生活や遊びの中で、物の色や形、量、数などに興味をもつ。 ・遊具を貸し借りし、順番を待って使う。 										
自 然 と	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中で遊びに必要な言葉を言ったり聞いたりする。 ・自分の思いを言葉で伝えようとしたり、友達の言っていることを聞いたりする。 ・保育者や友達の話に興味をもって聞く。 ・生活の中で、困ったことや手伝ってほしいことを言葉で伝える。 										
豊 か な 情 境	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中でやりたい役になったり、見立てたりして自分なりのイメージをもって遊ぶ。 ・友達と一緒にいろいろな曲に合わせて歌ったり、楽器遊びをしたり、体を動かしたりする。 ・お祝いやお礼の気持ちを込めて、年長児に渡すプレゼントを作る。 ・粘土やお絵かきなど自由に表現し、描いたり作ったりしたものに、意味付けをして遊ぶ。 ・リズム運動では曲に合わせて、手や足をしっかりと動かして遊ぶ。 										
<p>環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さの中でも体を動かす心地よさが感じられるように、保育者も一緒に楽しんで遊ぶようにする。 ・室温、湿度に留意し、こまめに換気をして調節をする。 ・手洗い、うがい、身の回りの始末など率先して行っている子どもをしっかりと認め、周りの子どもたちも「やってみよう。」「ばくも出来た。」という気持ちもてるようにする。 ・遊びをやめる時には片付けること、また、自分が使っていた物から片付けることを知らせ、一緒にしながら身に付くように援助する。また、手伝いや片付けがしやすいように、わかりやすく表示した収納スペースを工夫する。 ・喜んで当番活動ができるようにしっかりと認め褒める。 ・排泄面では自分でできたことを一緒に喜んで、褒めたりする。まだ自分でできないところは、保育者が手伝うが、自分でやってみようとする気持ちを大切に、必要な援助をする。 ・進級が近いので、改めて生活面の見直しをする。進級を楽しみにしている気持ちを受け止め、そのことがプレッシャーにならないように配慮する。 ・保育者も一緒に遊びながら、ルールを守って遊ぶ楽しさが感じられるようにルールを知らせる。 ・年長、年中児のしていることに関心をもち、いろいろな遊びに挑戦している子どもの姿を認めたり、褒めたり、励ましたりしながら、意欲的に頑張れるようにする。 ・節分などの行事に関心もてるように絵本や視聴覚教材を準備しておく。 ・雪、氷、つらら、霧柱などは見逃さず見たり触れたりできるように配慮し、子どもの驚きや発見を大切に、「なぜ?」「どうして?」という子どもたちの好奇心に応えるようにする。 ・梅の花や木の芽ぶきなど、寒い中にも春を感じさせる自然が見られるので、子どもたちと一緒に探索する中で気付けるようにし、発見した喜びに共感し関心が深まるようにする。 ・ごっこ遊びの中で、保育者も仲間になって遊び、言葉のやりとりを一緒に楽しむようにする。 ・子どもたちだけで遊ぶ様子を見守り、トラブルが起こった時には、保育者が仲立ちとなり、子どもたちの話を聞いたり、伝えたりする。 ・友達とかかわって遊ぶ中で、時には相手の思いを受け入れ我慢することも大切だということを知らせていく。 ・自分でしようとする気持ちを大切に、自分なりに頑張ってきたことをしっかりと認め自信につなげていく。 ・ごっこ遊びを十分楽しめるようにコーナーをつくり、なりきって遊べるように材料や用具を準備する。 ・いろいろな物に見立てて遊ぶことが十分に楽しめるように、段ボールやソフト積み木などを準備する。また、自由に動かして遊べるような広い場所の確保もしていく。 ・イメージをもって描いたり作ったりできるように材料を用意し、子どもの要求に応じて使えるようにしておく。 ・表現する楽しさ喜びが味わえるように素材を用意したり、作品を見せ合ったり、表現を認めたりする。 										
<p>() 家 庭 ・ 地 域 と の 連 携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雪遊びで濡れることもあるので、着替えを多めに用意してもらおうようにお願いする。 ・感染症(インフルエンザ・風邪など)が流行する時期なので、日頃の様子を伝えるときに、手洗い、うがいの励行を呼び掛け、生活リズムを整えることの大切さも知らせていく。 ・防寒具や長靴、手袋など必要に応じて用意してもらおう。また、厚着にならないように調節しやすい衣服を用意してもらおう。 ・感染症の流行を保護者に知らせ、早期発見、早期治療を心がけていただく。 ・進級するにあたって、身の回りのことなど自分でしようとしている姿を伝え、家庭でも見守って自分でする機会を作っていたり、自信や意欲がもてるような言葉を掛けてもらうように伝える。 										

3歳児 3月

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">発達 こ の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りのことはほとんどできるようになるが、衣服の着脱や排便の始末が十分にできない子どももいる。 ・簡単な伝言やテーブル拭きなどの手伝いを喜んでできるようになっている。 ・気の合う友達と、いろいろな登場人物になったり、役割を決めて、ごっこ遊びを楽しんでいる。 ・異年齢の子どもたちの仲間に入れてもらって遊び経験から、真似をして自分たちで遊び始め、繰り返し楽しむ姿が見られる。 ・トラブルもあるが、気の合う友達と一緒にブロックを組み立てたり、絵本を見たり、持続して遊べるようになる。 ・「大きい組になりたい」という期待をもち始めているが、進級するということが理解できていない子どももいる。 ・暖かい日差しを感じたり、草花を見つけたりする。 ・卒業児に感謝の気持ちとお祝いの気持ちをもつようになってくる。 ・自分の思いを伝えながらも、「だって」「じゃあ」と理由が言えたり、折り合いをつける言葉が多く聞けるようになる。 ・友達とつながりを感じながら、歌ったり、絵を描いたり、一緒に表現することを楽しんでる様子が見られる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ねらい (教育・養育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことがほとんど自分でできるようになり、自信をもって取り組む。 ・進級への期待をもって、楽しく園生活を過ごす。 ・大きくなったことを喜び、友達や異年齢とのかかわりを深めながら遊ぶ。 ・戸外遊びや散歩を通して、身近な自然の変化に気づき、春の訪れを感じる。 ・一人一人の成長を温かく受け止め、安定した気持ちで生活できるようにする。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経験 させ たい 内 容</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">健康 な 心 と 体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しいはしの持ち方や姿勢を意識して食事する。 ・生活の流れがわかり、手洗い、うがい、着脱を自分から進んで行う。 ・身の回りのことができることに自信をもつ。 ・もうすぐ年中組になるということがわかり、喜びや期待をもつ。 ・ひな祭りに関心をもつ。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自 信 と 信 頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや思いを伝えたり、友達の気持ちに気づきながら一緒に遊ぶ。 ・気の合う友達を誘って好きな遊びをする。 ・友達が泣いたり、困ったりしていたら、優しくかかわろうとする。 ・様々な行事を通して、異年齢児とかがわる。(ひなまつり会・お別れ会・卒園式)
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">環 境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩や戸外遊びで日差しの暖かさ、木の芽の息吹や花のつぼみを発見し、春の訪れを感じる。 ・楽しんでひなまつり、お別れ遠足やお別れ会などに参加する。 ・自分の持ち物や1年間使った部屋やコーナーなどを片づけ、感謝の気持ちをもつ。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">命 と 自 然</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">言 葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ままごとやいろいろなごっこ遊びの中で、言葉のやりとりを楽しんでする。 ・絵本、紙芝居、素話の内容のおもしろさがわかり、見たり聞いたりする。 ・一年間の思い出を振り返り、どんな出来事があったか、また、進級したらどんなことをしたいかなどを話す。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">豊 か な 情 操 と 表 現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長児が小学校に行くことを知り、感謝の気持ちを込めてプレゼントを作る。 ・身近な素材を使って、おひなさまなど自分なりのイメージで描いたり作ったりする。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進級することを意識し、子どもたち自身が成長を実感して食事や身の回りのことに取り組めるようにする。 ・服のたたみ方などを再認識し、丁寧にすることの大切さを知らせていく。自分でしようとする姿を認め、自信がもてるように言葉がけをしていく。 ・遊具に慣れ、大胆な遊び方をする子どもも出てくるので、子どもたちの発想も大事にしなが危険のないように配慮する。 ・暖かい日差しや草花の成長など、春の訪れに気づいた時の子どもの発見や驚きに共感し、周りの子どもたちにも知らせ関心を広げていく。 ・「友達と遊びたい」「一緒にしたい」という気持ちを受け止め友達とのつながりがより深めていけるようにかかわる。 ・一人一人の思いや考えを受け止め、必要に応じて思いを伝える仲立ちをして、友達関係が広がるようにする。 ・異年齢児クラスの保育者との連携を取りながら、一緒に行事に参加し交流が深められるようにしていく。 ・年長児と遊んでもらった思い出を話し合い、感謝の気持ちでプレゼント作りができるように援助する。 ・自分で考えたり工夫したりしながら、じっくりと好きな遊びに取り組めるような時間と場所を確保する。 ・自然の変化に気づいた子どもの驚きなどを大切に、一緒に図鑑で調べ、「なぜ」という思いを大切に探究心がもてるようにする。 ・一年間慣れ親しんだ部屋や遊具をきれいにすることで進級する喜びを感じられるようにする。 ・一年間をみんなで振り返り、年度始めと比べて、いろいろなことが自分のできるようになったことや心身ともに大きくなったことなどを話し、成長したことなどを喜び合えるようにする。 ・木々の芽吹きや開花、日差しの暖かさなど子どもたちが全身で感じたことを言葉で伝え合い、春の訪れを感じられるようにする。 ・素話は、子どもがイメージしやすいものを選び、楽しめるようにする。 ・春のイメージがもてる曲を準備し、友達と一緒に歌ったり踊ったりして楽しめるようにする。 ・子どもたちが工夫できるような身近な素材や用具を準備する。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">家 庭・ 地 域 と の 連 携 (小 学 校 等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変わり目を迎えて体調を崩しやすい時期なので、衣服を調節して過ごせるよう呼びかける。 ・進級に対する子どもたちの気持ちを受け止め、進級を楽しみに待てるよう協力をお願いする。 ・「おもいで帳」などを綴って持ち帰り、子どもの成長を家庭で見てもらおう。 ・一年間の子どもの成長を保護者と喜び合い、今までの協力に対して感謝の気持ちを伝える。 ・春休み中も楽しく過ごし、健康と安全に注意し、進級にそなえてもらう。(幼)

作業部会【4歳児】

佐倉 咲江（広野保育園 主任）

石田 智子（東幼稚園 副主任）

岡本 美幸（勝北風の子こども園 副主任）

垂井 静江（公郷保育所 主任）



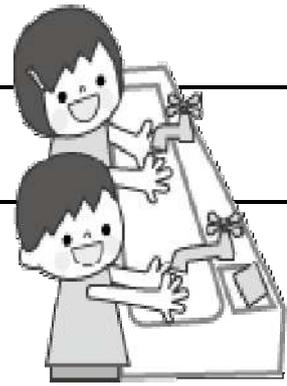
本郷 順子（美作大学附属幼稚園 園長）

塚本 さつき（成名幼稚園 園長）

中西 由美子（しらゆり幼稚園 主任）

植月 瑞恵（林田保育園 保育士）

おもな発達の特徴 4歳児



理念	保育内容（5領域）		おもな発達の特徴
健康な心と体	健康	身体・運動機能 体のバランス 協応動作	○全身のバランスをとって、運動遊びをする。 ○運動遊びや集団遊びなどを簡単なルールを守って、楽しんでいます。 ○手洗い・うがい、衣服の調節など生活に必要な習慣が身につき、自分では自分でする。 ○危険な場所や遊具の安全な使い方を知り、気をつけて遊ぶ。
	基本的な生活習慣		いれて いいよ
自信と信頼	人間関係	人とかかわる力 自立心 協同 規範意識など	○仲間意識が芽生え、友達と誘い合って遊ぶ。 ○ルールの大切さに気付き、交代したり、順番を待ったりする。 我慢できるよ
	環境	好奇心 探究心 生活に取り入れる力 など	○遊具・用具の扱い方を知り、友達と準備をしたり片付けたりする。 ○いろいろな事に興味関心を持ち、やってみよう自分から取り組み、自分の力を発揮する。 ねえ、先生 来て 見よって
命と自然	言葉	話す力 聞く力 言葉で表現する力 など	○自分の思いや考えを言葉で話したり、相手の話を聞き、友達の気持ちに気付いたりする。 ○絵本などのストーリーからイメージを広げる。
豊かな情操と賢さ	表現	豊かな感性や表現力 想像力 描く 作る リズム など	○いろいろな方法で表現し、イメージを膨らませ、なりきって遊ぶことを楽しむ。

4 歳児 4 月

<p>発達 こと の 主 な 特 徴</p>	<p>(進級児) ・保育室や担任が変わり、新しい環境に期待をもって過ごす子ども、さまざまな変化に伴い、不安や戸惑いを感じながら過ごす子どもがいる。 ・これまでの友達とのつながりから一緒に遊び始める。慣れている遊び(ブロック・ソフト積み木など)や身近な素材を使って遊ぶことなどから、安心して過ごす姿が見られる。 ・ロッカーが近かったり、好きな遊びが一緒だったりすることから、新しい友達にかかわっていく姿も見られる。 ・気の合う友だちと一緒に、園庭に出て虫を探したり砂遊びをしたりして、いろいろな物を見つけ、興味関心をもって集中して楽しむことができる。 ・衣服の着脱や持ち物の始末などは、自分の場所を覚えて自分でできる子どもがほとんどであるが、保育者の手助けを求める子どももいる。遊びたい気持ちが優先する子どももいるが、保育者が声をかけるとできる。困ったことがあっても、今までに経験した方法で解決しようとする姿も見られる。 ・遊びの中で友達に思いがうまく伝わらない時は、保育者を頼りにして自分の思いを告げようとする。 (新入園児) ・母親と離れて生活することが辛く、不安定な姿を見せるが、保育者が優しく名前を呼んで触れ合いかわることで少しずつ慣れてくるようになる。 ・保育者と一緒に衣服の着脱をするうちに、次第にできるようになってくる。 ・持ち物を始末する場所がわかってくと、自分でしようとする。 ・園生活の流れが次第にわかってくる。保育者や年長児の遊びや手伝いを真似てしようとする。</p>										
<p>(養育・ ねらい 教育)</p>	<p>・進級を喜び、新しい友だちや保育者に親しみをもつ。 ・入園を喜び園(所)での生活に慣れ、安心して過ごす。 ・保育者や友だちと一緒に好きな遊びを見つけて楽しむ。 ・保育者やクラス友だちと一緒に過ごす楽しさを感じる。 ・生活の仕方がわかり、身の回りのことを自分でしようとする。 ・くつろいだ雰囲気の中で、子どものさまざまな欲求を十分に満たし、情緒の安定を図る。</p>										
<p>経験 させ たい 内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="258 777 295 929">健康 な 心 と 体</td> <td data-bbox="298 777 1369 929"> <p>健康 ・衣服の着脱の仕方を知り、自分でする。 ・自分の持ち物の片付ける場所を知る。 ・気の合う友達と、戸外に出て好きな遊びをする。(ブランコ・滑り台・鉄棒・砂場など) ・遊具や用具を安全に気を付けて、繰り返し楽しんで遊ぶ。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="258 934 295 1086">人間 関 係</td> <td data-bbox="298 934 1369 1086"> <p>人間 関係 ・保育者に親しみをもち、好きな遊びを一緒にしたり、一緒に過ごしたりする。 ・保育者の仲立ちによって、異年齢の友だちとかがわって遊ぶ。 ・気の合う友だちと一緒に、好きな遊びを楽しんで遊ぶ。 ・して欲しいことや困ったことを自分なりの表現で保育者に伝える。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="258 1090 295 1176">環 境</td> <td data-bbox="298 1090 1369 1176"> <p>環 境 ・身近な遊具や用具などの扱い方を知り、楽しく使って遊ぶ。 ・戸外に出て遊ぶ快さを感じる。 ・春の自然に触れ、園庭や園外の虫や草花に興味や関心をもつ。 ・虫を探したり、飼育物を見たり触ったりして遊ぶ。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="258 1180 295 1243">命 と 自 然</td> <td data-bbox="298 1180 1369 1243"> <p>言 葉 ・あいさつや返事などの生活に必要な言葉を使う。 ・保育者の話に、親しみをもって聞いたり話したりする。 ・したいこと、して欲しいことなど困ったことを言葉で伝える。 ・絵本・紙芝居・視聴覚教材などを見たり聞いたりして楽しむ。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="258 1247 295 1310">豊 か な 情 操</td> <td data-bbox="298 1247 1369 1310"> <p>表 現 ・保育者や友だちと一緒に、歌ったり体を動かしたりして楽しむ。 ・身近な素材や用具を使って自分の好きなものを描いたり作ったりする。</p> </td> </tr> </table>	健康 な 心 と 体	<p>健康 ・衣服の着脱の仕方を知り、自分でする。 ・自分の持ち物の片付ける場所を知る。 ・気の合う友達と、戸外に出て好きな遊びをする。(ブランコ・滑り台・鉄棒・砂場など) ・遊具や用具を安全に気を付けて、繰り返し楽しんで遊ぶ。</p>	人間 関 係	<p>人間 関係 ・保育者に親しみをもち、好きな遊びを一緒にしたり、一緒に過ごしたりする。 ・保育者の仲立ちによって、異年齢の友だちとかがわって遊ぶ。 ・気の合う友だちと一緒に、好きな遊びを楽しんで遊ぶ。 ・して欲しいことや困ったことを自分なりの表現で保育者に伝える。</p>	環 境	<p>環 境 ・身近な遊具や用具などの扱い方を知り、楽しく使って遊ぶ。 ・戸外に出て遊ぶ快さを感じる。 ・春の自然に触れ、園庭や園外の虫や草花に興味や関心をもつ。 ・虫を探したり、飼育物を見たり触ったりして遊ぶ。</p>	命 と 自 然	<p>言 葉 ・あいさつや返事などの生活に必要な言葉を使う。 ・保育者の話に、親しみをもって聞いたり話したりする。 ・したいこと、して欲しいことなど困ったことを言葉で伝える。 ・絵本・紙芝居・視聴覚教材などを見たり聞いたりして楽しむ。</p>	豊 か な 情 操	<p>表 現 ・保育者や友だちと一緒に、歌ったり体を動かしたりして楽しむ。 ・身近な素材や用具を使って自分の好きなものを描いたり作ったりする。</p>
健康 な 心 と 体	<p>健康 ・衣服の着脱の仕方を知り、自分でする。 ・自分の持ち物の片付ける場所を知る。 ・気の合う友達と、戸外に出て好きな遊びをする。(ブランコ・滑り台・鉄棒・砂場など) ・遊具や用具を安全に気を付けて、繰り返し楽しんで遊ぶ。</p>										
人間 関 係	<p>人間 関係 ・保育者に親しみをもち、好きな遊びを一緒にしたり、一緒に過ごしたりする。 ・保育者の仲立ちによって、異年齢の友だちとかがわって遊ぶ。 ・気の合う友だちと一緒に、好きな遊びを楽しんで遊ぶ。 ・して欲しいことや困ったことを自分なりの表現で保育者に伝える。</p>										
環 境	<p>環 境 ・身近な遊具や用具などの扱い方を知り、楽しく使って遊ぶ。 ・戸外に出て遊ぶ快さを感じる。 ・春の自然に触れ、園庭や園外の虫や草花に興味や関心をもつ。 ・虫を探したり、飼育物を見たり触ったりして遊ぶ。</p>										
命 と 自 然	<p>言 葉 ・あいさつや返事などの生活に必要な言葉を使う。 ・保育者の話に、親しみをもって聞いたり話したりする。 ・したいこと、して欲しいことなど困ったことを言葉で伝える。 ・絵本・紙芝居・視聴覚教材などを見たり聞いたりして楽しむ。</p>										
豊 か な 情 操	<p>表 現 ・保育者や友だちと一緒に、歌ったり体を動かしたりして楽しむ。 ・身近な素材や用具を使って自分の好きなものを描いたり作ったりする。</p>										
<p>環 境 構 成 と 援 助</p>	<p>・保育室は明るい雰囲気にして、安心感がもてるようにする。 ・持ち物の始末がしやすいように、靴箱やロッカーなどにシールや目印の絵などを貼る。始末の仕方や場所を覚えて自分でできるように、機会を捉え、繰り返し見せたり励ましたりして、できた心地良さを感じさせる。 ・トイレは明るく清潔な雰囲気にし、使い方は保育者が必要に応じて手を添え、気持ちよく出来るようにする。 ・一人一人の子どもの興味関心から好きな遊びができるように、コーナーを設けたり、遊具や用具を用意する。遊びの様子や友達関係を把握する。 ・安全に遊ぶことができるように、園庭の遊び場の環境を整えとともに、園内の危険な場所やしてはいけないことを確認しながら遊んだり生活したりする。 ・不安感や緊張から遊びに入れない子どもには、保育者が優しく言葉をかけたり、一緒に興味のある遊びをしたり、友達遊ぶ様子を紹介したりしながら、安定した気持ちで遊びたいという気持ちももてるようにする。 ・自分の思いが言えない子どもには、保育者が気持ちを汲んで優しく受け止め、言葉の足りないところを補いながら、相手に思いを伝えられるようにかかわる。困った時などは保育者が助けてくれることや頼りになることを伝える。 ・春の草花や虫などに触れたり、飼育動物と遊んだりする場や時間を設ける。子どもたちの感性を大切に受け止め、一緒に見たり触れたりしながら命の大切さに気付かせる。 ・簡単な表現遊びを取り入れ、保育者が楽しくなりきって動き、手本を示したり、その子らしい表現を取り上げたりして、体を動かしたりまねて遊んだりする楽しさが味わえるようにする。 ・自分の思い通りにいかず、「出来ない」という子どもには、優しく声をかけ、困っているところはどこかを知り、取り掛かりのきっかけを作ったり、その子なりの取組みを認めたりして、あきらめずにやり遂げる満足感が味わえるようにする。 ・製作に使う道具の安全な使い方を、遊ぶ中で具体的に教えていく。</p>										
<p>家 庭 ・ 小 学 校 と 等 の 連 携</p>	<p>・子どもたちの緊張と不安を十分に受け止め、安心して登園できるようにしてもらう。 ・家庭訪問や連絡帳を通して子どもの様子を伝え、保護者との信頼関係がもてるようにする。 ・新しい環境での緊張から体調を崩す子どももいるので、健康状態に配慮してもらう。 ・小さなことに不安をもつ保護者には、登降園の時間を活用して様子を聞くようにして対応する。 ・散歩に出かけた時には、地域の方に挨拶をして親しみの気持ちをもつようにする。 ・PTAの集まりや参観日、園生活の様子を具体的に知らせながら、園運営等の考えを伝え、友達と一緒に集団の中で育ち合うことの意味を伝える。</p>										

4 歳児 5 月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連休明けで生活リズムが崩れたり、不安になったりする姿が見られる。 ・園生活の流れがわかり、進んで身の回りのことをしようとする姿が見られる。一方で遊びたい気持ちが優先し、身の回りの始末ができなかったり、次の行動に気持ちを切り替えられない子どももいる。 ・保育者との信頼関係や友達との遊びから、できなかったり、困ったことなどが言えるようになる。 ・好きな遊びを見つけて楽しむようになり、いろいろなことに挑戦しようとする。固定遊具では、今までできなかった事ができるようになり、「みて、できた。」と喜び姿が見られる。 ・友達と遊びたい気持ちがかかわるが、思いがうまく伝えられず、仲間に入れてもらえなかったり、相手に嫌な思いをさせてしまうなどのトラブルがおきる。保育者の仲立ちによって、納得して遊び出す子どもや別の遊びをする子どもがいる。納得できずに嫌な思いを長く引きずる子どももいる。 ・ダンゴムシなどの虫探しに興味をもち、見つけた喜びを保育者や友達に伝えたり、繰り返しいろいろな所を探したり、捕まえたりすることを楽しむ姿が見られる。 ・トマト、キュウリ、ピーマン等の夏野菜を植え、水やりなどの世話をし、変化に気が付いて、保育者や友達に伝える姿が見られる。 										
<p>(教育 ねらい ・ ・ ・)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の仕方がわかり、自分でできることは自分でしようとする。 ・好きな遊びを保育者や友達と一緒に楽しむ。 ・戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・春の自然に触れて遊ぶ楽しさを味わう。 ・くつろいだ雰囲気の中で、子どもの様々な欲求を十分に満たし、情緒の安定を図る。 										
<p>経験 させ たい 内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="247 616 319 750"> <p>健康 な 心 と 体</p> </td> <td data-bbox="319 616 1324 750"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と楽しく食事をする。 ・嫌いなものを少しは食べてみようとする。 ・衣服の着脱、持ち物の始末など、身の回りのことを自分からしようとする。 ・遊具、用具の使い方、危険な場所を知り気をつけて遊ぶ。 ・戸外で体を動かして遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 750 319 884"> <p>人 間 関 係</p> </td> <td data-bbox="319 750 1324 884"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達との安定した関係の中で、いきいきと遊ぶ。 ・友達の存在に目をむけ、同じ場所で遊んだり、友達のすることを真似たりして遊ぶ。 ・異年齢の友達とのかかわりを喜ぶ。 ・簡単なルールのある遊びをする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 884 319 1019"> <p>環 境</p> </td> <td data-bbox="319 884 1324 1019"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の目印を知り、片付けをする。 ・戸外で身近な春の自然に触れて遊び、春の草花で遊んだり、虫を探したり飼ったりする。 ・散歩や遠足などの園外保育で自然に触れ、驚いたり、感動したりする。 ・種まきや苗植えなどを体験し、植物の生長に興味や関心をもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1019 319 1153"> <p>命 と 自 然</p> </td> <td data-bbox="319 1019 1324 1153"> <ul style="list-style-type: none"> ・「いれて。」「かして。」など遊びに必要な言葉を知る。 ・したいこと、してほしいこと、困っていることを保育者や友達に言葉で言う。 ・見たことや聞いたことを話したり、疑問に思ったことを尋ねたりする。 ・保育者や友達の話に興味をもって聞こうとする。 ・絵本、紙芝居、視聴覚教材などを見たり聞いたりする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1153 319 1276"> <p>豊 か な 情 境 と 表 現</p> </td> <td data-bbox="319 1153 1324 1276"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする。 ・タンバリンや鈴、カスタネットなどの扱いを知り、リズムに合わせて楽器遊びをする。 ・身近な素材や用具を使って、自由に描いたり作ったりする。 ・粘土などを使って、自分の思うようにいろいろなものを作りながらイメージを広げる。 </td> </tr> </table>	<p>健康 な 心 と 体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と楽しく食事をする。 ・嫌いなものを少しは食べてみようとする。 ・衣服の着脱、持ち物の始末など、身の回りのことを自分からしようとする。 ・遊具、用具の使い方、危険な場所を知り気をつけて遊ぶ。 ・戸外で体を動かして遊ぶ。 	<p>人 間 関 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達との安定した関係の中で、いきいきと遊ぶ。 ・友達の存在に目をむけ、同じ場所で遊んだり、友達のすることを真似たりして遊ぶ。 ・異年齢の友達とのかかわりを喜ぶ。 ・簡単なルールのある遊びをする。 	<p>環 境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目印を知り、片付けをする。 ・戸外で身近な春の自然に触れて遊び、春の草花で遊んだり、虫を探したり飼ったりする。 ・散歩や遠足などの園外保育で自然に触れ、驚いたり、感動したりする。 ・種まきや苗植えなどを体験し、植物の生長に興味や関心をもつ。 	<p>命 と 自 然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いれて。」「かして。」など遊びに必要な言葉を知る。 ・したいこと、してほしいこと、困っていることを保育者や友達に言葉で言う。 ・見たことや聞いたことを話したり、疑問に思ったことを尋ねたりする。 ・保育者や友達の話に興味をもって聞こうとする。 ・絵本、紙芝居、視聴覚教材などを見たり聞いたりする。 	<p>豊 か な 情 境 と 表 現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする。 ・タンバリンや鈴、カスタネットなどの扱いを知り、リズムに合わせて楽器遊びをする。 ・身近な素材や用具を使って、自由に描いたり作ったりする。 ・粘土などを使って、自分の思うようにいろいろなものを作りながらイメージを広げる。
<p>健康 な 心 と 体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と楽しく食事をする。 ・嫌いなものを少しは食べてみようとする。 ・衣服の着脱、持ち物の始末など、身の回りのことを自分からしようとする。 ・遊具、用具の使い方、危険な場所を知り気をつけて遊ぶ。 ・戸外で体を動かして遊ぶ。 										
<p>人 間 関 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達との安定した関係の中で、いきいきと遊ぶ。 ・友達の存在に目をむけ、同じ場所で遊んだり、友達のすることを真似たりして遊ぶ。 ・異年齢の友達とのかかわりを喜ぶ。 ・簡単なルールのある遊びをする。 										
<p>環 境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目印を知り、片付けをする。 ・戸外で身近な春の自然に触れて遊び、春の草花で遊んだり、虫を探したり飼ったりする。 ・散歩や遠足などの園外保育で自然に触れ、驚いたり、感動したりする。 ・種まきや苗植えなどを体験し、植物の生長に興味や関心をもつ。 										
<p>命 と 自 然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いれて。」「かして。」など遊びに必要な言葉を知る。 ・したいこと、してほしいこと、困っていることを保育者や友達に言葉で言う。 ・見たことや聞いたことを話したり、疑問に思ったことを尋ねたりする。 ・保育者や友達の話に興味をもって聞こうとする。 ・絵本、紙芝居、視聴覚教材などを見たり聞いたりする。 										
<p>豊 か な 情 境 と 表 現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする。 ・タンバリンや鈴、カスタネットなどの扱いを知り、リズムに合わせて楽器遊びをする。 ・身近な素材や用具を使って、自由に描いたり作ったりする。 ・粘土などを使って、自分の思うようにいろいろなものを作りながらイメージを広げる。 										
<p>環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の量や好みなどの個人差を考慮したり、加減したりしながら、友達と一緒に楽しく食べることができるようになると共に、簡単なマナーを知らせていく。 ・新入園児と、友達関係ができていない進級児の経験の違いを考慮して、一人一人に応じたかかわりをする。遊び方の違いやそれぞれの思いの伝え方などを十分に受け止めるようにする。一人一人の子どもが戸惑わないように個人差に応じた配慮をし、安心感がもてるようにする。 ・園庭や室内の遊具や用具の安全点検をおこなう。保育者も一緒に遊びながら安全な使い方を知らせたり、約束を知らせたりする。 ・生活を共にしながら、片付けなどの仕方を教えたり、自分でしようとする気持ちがもてるように工夫して環境を整える。 ・自分で身の回りのことをしようとする姿を見守り、必要に応じて声をかけたり手伝ったりして、自分でできたという満足感がもてるようにする。 ・一人一人の子どもの興味を把握し、好きな遊びに十分に取り組みるように、ゆったりとした遊び場、遊具、用具を準備する。 ・保育者も一緒に遊ぶことで、戸外で体を動かして遊ぶ心地よさを共有し、欲求が満たされ充実感が感じられるようにする。 ・一人一人の子どもと十分触れ合いながら、興味をもっていること、戸惑っていることなどを丁寧にくみ取るように努め、その子どもが求めるかかわりをしていく。 ・園外保育を計画し、ゆったり季節の草花や小動物に触れたり、遊んだりできるような場や時間を設ける。 ・動植物の世話を一緒にに行い、子どもが関心をもって世話をしたり、生長観察ができるように、表示をしたり、かかわり方を知らせたりする。 ・季節の小動物や植物等の図鑑や絵本などを見やすい場所に置く。 ・一緒に世話をしながら、子どもたちが夏野菜の生長の変化に気づいたつづきやきなどを捉え、クラスの子どもたちに知らせ、関心をもてるようにする。 ・思いのままに描いたり、作ったりできる素材や用具を用意し、作りながらイメージをふくらませて遊ぶ楽しさが味わえるようにする。 ・自分から遊びはじめない子どもには、何に興味や関心があるかを把握し、保育者が一緒に過ごしたり、興味関心のあることをきっかけに遊んだりすることで、安心感をもって過ごせるようにする。 ・遊びの中で、トラブルが起きた時は、お互いの気持ちを聞いたり、受け止めたりすることで安心感をもたせる。必要に応じて、言葉を添えるなどの仲立ちをしながら、友達とのかかわり方を知らせていく。 ・自然の中でのさまざまな感動体験を通して、子どもの驚きや発見を見逃さず受け止め、共感していく。 										
<p>(家 庭 ・ 学 校 等 と の 連 携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に慣れてくる反面、疲れが出始め、体調を崩しやすいので、健康には十分に留意してもらおう。 ・運動量も増えてくるので、家庭での生活リズムを整え、休息を取るよう伝える。 ・園での遊びや生活の様子を、便りや連絡帳、掲示板で知らせ、園と家庭が互いに情報交換しながら、安心して子育てができるようにする。 ・友達とのかかわりが増え楽しく遊べるようになった反面、自分の思い通りにならないことが増え、トラブルが発生しやすくなるので、遊びの様子をよく見て、伝えるようにする。トラブルも成長の一つの要素であることを知らせる。 ・戸外遊びの機会が多くなるので、気温に応じて衣服の調節ができるように、衣服の補充をお願いする。 ・親子遠足などを通して、親子と一緒に楽しめる場がもてる工夫をしていく。 ・散歩や遠足で出会う地域の方に挨拶をする。 										

4 歳児 6 月

<p>発達 こころの 特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園生活の流れがわかり、園内の様々な環境(クラスの友達、年長児がしている遊び、年下の友達、生き物、園内の掲示物など)に関心をもちたり、周りが見えてきたりする。 水遊びを楽しみにして、水着の着替え方を知らせると順序よく行うことができる。シャツが自分で脱げずに「手伝って。」と言ったり、初めてすることに不安があり、どうしていいかわからなかったりする子どももいる。早くプールに入りたい気持ちが強く、脱いだ服の始末をおろそかにしがちな姿も見られるが、保育者が声をかけたり、回数を重ねたりするうちに、自分でできるようになる。水遊びを喜んでする子どもが多い。 身近にある廃材(牛乳パック、空き箱、カップなど)を使って自分なりにイメージしたものを作ったり、友達が作っているものを真似たりする。セロテープを使ってつなげていながら、偶然できたもので満足する子どももいる。 砂場で泥団子作りをしたり、穴を掘って水を入れたり、道を作ったりする。少人数のグループで会話しながら遊ぶ。裸足やサンダルになって遊ぶことをいやがったり、汚れることに抵抗のある子どももいる。 自分の好きな遊びを見つけたり、友達の遊び(草花遊び、石けん遊び、家族ごっこなど)に興味をもって一緒に遊んだりするが、物や役の取り合いになる。また、ルールのある遊びをしようとするが、自分の思いだけで遊ぶため、トラブルになることがある。 自分の持ち物とみんなで使うものがわかり、使ったものをもとの場所に片づけをしようとするが、最後まで片付けられない子どももいる。 園庭ではダンゴムシ、カエル、カタツムリ、赤ちゃんバッタなどを探すことを楽しんでいる。図鑑を先生と一緒に見ながら餌や飼いや方を知る。 年長児と一緒に玉ねぎやジャガイモの収穫を楽しんだり、夏野菜の生長を楽しみにしている様子が見られる。栄養士の話聞いて(その時期に収穫するもの、夏野菜など)、興味や関心をもつ。 										
<p>(教育・養育) ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな物や遊びに興味や関心をもち、自分なりにかかわって遊ぶことを楽しむ。 遊びや生活に必要なことを知り、自分でできることは自分でしようとする。 いろいろな物や素材に触れて、開放感や感触を味わったり、試したり工夫したりして遊ぶ。 いろいろな遊びをする中で、友達とかかわる楽しさがわかる。 梅雨期の自然現象や小動物を見たり触れたりして、興味や関心をもつ。 梅雨期の衛生に気を配り、清潔な環境の中で快適に過ごせるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="231 728 279 840">健康な心と体</td> <td data-bbox="279 728 1356 840"> <ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいことを見つけて繰り返し遊ぶ。 手洗い・うがいを進んでしようとしたり、体や身の回りを清潔にしたりする。 食事の後の歯磨きやうがいの大切さを知り、進んでしようとする。 水遊びの支度や始末など、自分でできることはやろうとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 840 279 952">人間関係</td> <td data-bbox="279 840 1356 952"> <ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達と一緒に動いたり、触れ合ったりして遊ぶ。 友達の動きや言葉に目や耳を向け、意識して一緒に遊ぶ。 友達と一緒に遊ぶ中で、遊具や用具など、順番を待ったり交代し合ったりして使うようにする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 952 279 1086">環境</td> <td data-bbox="279 952 1356 1086"> <ul style="list-style-type: none"> 砂・土・泥・水などにかかわって遊ぶ。 虹、雲の動き、雨降りなどの自然現象に興味をもって見る。 飼育物や栽培物に興味をもち、見たり触れたり、友達や保育者と一緒に世話をしたり、生長を喜んだりする。 自分の物や共同の物を大切に扱ったり、片付けたりする。 時計や数字に興味や関心をもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1086 279 1153">命と自然</td> <td data-bbox="279 1086 1356 1153"> <ul style="list-style-type: none"> 見たことや聞いたことなどに興味をもって話したり、疑問に思ったことを尋ねたりする。 友達と言葉のやりとりをしながら遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1153 279 1243">操盤と豊かな表現</td> <td data-bbox="279 1153 1356 1243"> <ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に過ごす中で、自分の思いを自分なりの言葉や動きで表す。 身近な素材や用具(のり、はさみ、マジック、セロテープ、絵の具)を使って、描いたり作ったりする。 カエルやカタツムリなどになりきって歌をうたったり、表現遊びをしたりする。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいことを見つけて繰り返し遊ぶ。 手洗い・うがいを進んでしようとしたり、体や身の回りを清潔にしたりする。 食事の後の歯磨きやうがいの大切さを知り、進んでしようとする。 水遊びの支度や始末など、自分でできることはやろうとする。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達と一緒に動いたり、触れ合ったりして遊ぶ。 友達の動きや言葉に目や耳を向け、意識して一緒に遊ぶ。 友達と一緒に遊ぶ中で、遊具や用具など、順番を待ったり交代し合ったりして使うようにする。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> 砂・土・泥・水などにかかわって遊ぶ。 虹、雲の動き、雨降りなどの自然現象に興味をもって見る。 飼育物や栽培物に興味をもち、見たり触れたり、友達や保育者と一緒に世話をしたり、生長を喜んだりする。 自分の物や共同の物を大切に扱ったり、片付けたりする。 時計や数字に興味や関心をもつ。 	命と自然	<ul style="list-style-type: none"> 見たことや聞いたことなどに興味をもって話したり、疑問に思ったことを尋ねたりする。 友達と言葉のやりとりをしながら遊ぶ。 	操盤と豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に過ごす中で、自分の思いを自分なりの言葉や動きで表す。 身近な素材や用具(のり、はさみ、マジック、セロテープ、絵の具)を使って、描いたり作ったりする。 カエルやカタツムリなどになりきって歌をうたったり、表現遊びをしたりする。
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいことを見つけて繰り返し遊ぶ。 手洗い・うがいを進んでしようとしたり、体や身の回りを清潔にしたりする。 食事の後の歯磨きやうがいの大切さを知り、進んでしようとする。 水遊びの支度や始末など、自分でできることはやろうとする。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達と一緒に動いたり、触れ合ったりして遊ぶ。 友達の動きや言葉に目や耳を向け、意識して一緒に遊ぶ。 友達と一緒に遊ぶ中で、遊具や用具など、順番を待ったり交代し合ったりして使うようにする。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> 砂・土・泥・水などにかかわって遊ぶ。 虹、雲の動き、雨降りなどの自然現象に興味をもって見る。 飼育物や栽培物に興味をもち、見たり触れたり、友達や保育者と一緒に世話をしたり、生長を喜んだりする。 自分の物や共同の物を大切に扱ったり、片付けたりする。 時計や数字に興味や関心をもつ。 										
命と自然	<ul style="list-style-type: none"> 見たことや聞いたことなどに興味をもって話したり、疑問に思ったことを尋ねたりする。 友達と言葉のやりとりをしながら遊ぶ。 										
操盤と豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に過ごす中で、自分の思いを自分なりの言葉や動きで表す。 身近な素材や用具(のり、はさみ、マジック、セロテープ、絵の具)を使って、描いたり作ったりする。 カエルやカタツムリなどになりきって歌をうたったり、表現遊びをしたりする。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 室温や湿度に気をつけ、風通しをよくして、気持ちよく過ごせるようにする。また、必要に応じて水分補給や休息をとるようにする。 自分の興味をもったことややりたいことを楽しんでいる姿に共感し、遊びの楽しさを十分味わえるようにする。 衣服の汚れを気にせず十分遊びが楽しめるよう配慮し、遊んだ後着替えをして、気持ち良さが感じられるようにする。ゆとりをもって身支度や後始末の仕方などを知らせる。汚れたときは、自分で着替えられるように家庭から着替えを多めにしてもらう。 歯の健康の大切さをわかりやすく伝えるために、歯に関する絵本や紙芝居を用意したり、歯磨き指導の機会を設けたりする。手洗い、うがい、歯磨きができた心地良さを感じ取らせ、自分から進んでしようとする気持ちももてるようにする。 クラスの友達と同じ遊びをする中で、友達とつながりがもてるように配慮したり、言葉かけを工夫したりする。また、一人一人の子どもの動きや言葉をしっかり受け止め、何をどのようにしたいのを感じながら一緒に遊ぶことで、友達とかかわりあって遊ぶ楽しさや、自分とは違う思いに気づけるようにする。 遊びや生活の中で必要な言葉や、交代や順番の必要性を場面に応じて知らせたり、確かめたりする。 水や砂、土、泥を使って遊ぶことを十分楽しむことができるよう、必要な遊具や用具を準備しておく。保育者も一緒に遊びながら、水や砂、泥の感触を楽しめるようにする。 時間が生活に必要なことを機会を設けて話し、時計や数字に興味ももてるようにする。 子どもの興味に合った図鑑や絵本を見やすい場所に用意し、子どもの発見や驚きに共感したり見たり、感じた思いを大切に受け止める。 戸外で雨の音を楽しんだり、小動物を見つけ観察できるようにゆったりとした時間を確保する。 子どもと一緒に栽培物の世話を観察しながら興味や関心ももてるようにする。植物の生長の変化に気づかせ、大切にしようとする気持ちももてるようにする。 自分の物やみんなの物の扱い方や片付け方を丁寧に知らせながら、大切にすることを覚えるようにする。 保育者に子どもから話しかけてきた時は、一人一人の話をゆっくり聞き、話の内容に共感しながら、話しやすい雰囲気をつくる。 自分本位な言い方や態度で自己主張する幼児には、状況に応じて友達に思いを伝える時の言葉づかいや伝え方や聞く時の態度などを知らせていく。 いろいろな素材や用具の使い方を知らせ、描いたり作ったりして遊ぶ楽しさが味わえるようにする。 雨天時でも十分に体を動かして気持ちを発散して遊ぶことができるよう、スペースを考慮し安全面に留意する。 										
<p>(小学校等の連携) 家庭・地域の連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 蒸し暑い時期で、食欲が落ちたり体調を崩したりと子どもの健康に影響を及ぼすこともあるので、梅雨期の健康について知らせたり、子どもの日々の健康状態を伝え合ったりする。 保育参観を通して、園での子どもの様子を理解してもらい、子どもの成長を一緒に喜んだり、信頼関係を深めたりしていく。 砂や水、泥遊びを通して、園での子どもの様子を理解してもらい、クラスだよりなどで、保護者に泥遊びの汚れに対して理解を求めたりしていく。 友達とのトラブルに関しては、状況や対応を丁寧に伝えるようにする。 										

4 歳児 7 月

発達 子ども の主な 特徴	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で見通しをもって身の回りのことを自分でできる子どもが多いが、することはわかっていても他の事に気を取られ、時間がかかってしまう子どももいる。声をかけるとやり遂げることができる。 気の合う友達と過ごす中で、仲間意識が芽生え始めている反面、思いの違いからトラブルになることも多い。 泥んこ遊びや水遊び、シャボン玉、色水遊びなど、興味をもった遊びを楽しんでいる。何回も繰り返し遊ぶことを楽しむ子どもがいる。友達のしている遊びに興味をもちやってみようとする子どもがいる。 水遊びやプール遊びでは喜んで参加する子どもがほとんどであるが、中には水に対して抵抗がある子どももいる。 夏野菜の栽培を通して、日々の野菜の変化や成長を楽しんでいる。収穫したり食べたりすることを喜ぶ。 夏の虫（カブトムシ・クワガタなど）を見たり捕まえたりすることを喜ぶ。図鑑などで成虫になる過程を見て喜ぶ姿が見られる。 	
養 護 (ねら い)	<ul style="list-style-type: none"> 夏の生活の仕方（汗の始末・着替えなど）を知り、次に何をしたらよいか見通しをもって、身の回りのことを進んでする。 友達と遊ぶ中で、自分の思いを出しながら、互いの思いを伝えあいながら遊ぶ楽しさを味わう。 友達や保育者と一緒に、水遊びやプール遊びなどの夏ならではの遊びを楽しみ、開放感を味わう。 夏の自然や小動物・野菜の栽培に興味や関心をもつ。 活動と休息のバランスを考え、心身の疲れを取り除き健康に過ごせるようにする。 	
経験 させ たい 内容	健康 な心と 体	<ul style="list-style-type: none"> 汗を拭いたり、汚れた服を着替えたり、水分補給をおこない、健康に過ごす。 水遊びの身支度や後始末など、自分でできることは進んでしようとする。 夏野菜を収穫し、食べ物への関心を深め楽しく食事をする。 水遊びの約束を守って安全に遊ぶ。
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達や、同じ場にいる友達とかかわって遊ぶ。 遊びのルールを知り、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 行事を通して、地域の人々とかかわりを楽しむ。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> 小動物に関心をもち、捕まえたり育てたりする。 生長を楽しみにして、夏野菜の世話をする。 雲や雷、虹など、夏の自然の変化や不思議さに興味や関心をもつ。 一学期が終わることを知り、夏休みに期待をもつ。（幼） 水・砂・土の感触を味わいながら楽しく遊ぶ。
	命と 自然	<ul style="list-style-type: none"> 思ったことや感じたことを、保育者や友達に言葉で伝える。 友達の思いを聞き、少しずつ受け入れながら遊ぶ。
	豊 かな情 操	<ul style="list-style-type: none"> 曲に合わせて歌ったり、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりする。 のりやはさみなどの使い方に慣れ、七夕飾りなどを作る。 いろいろな素材に興味をもち作ったり飾ったり、使って遊んだりする。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> 室温や換気気をつけ、風通しをよくするなどして快適に過ごせるようにしたり、水筒やタオル、着替えはいつでも使えるようにしておき、身の回りのことを自分からしようとする気持ち大切に。 視診や連絡ノート、プールカードなどで子どもの健康状態を十分に把握する。 水の中でいろいろなものになって歩いたり走ったりしながら、水の感触を感じられるようにする。浮かんだり沈んだりする道具を用意し、水に親しめるようにする。プール遊びをする際は、プールサイドを走らないなどの基本的な約束を伝える。 水遊びの後は疲れやすいので、保育室ではゆったりと遊べるようにする。静と動の活動のバランスに配慮する。 収穫した野菜を見たり触ったり匂いをかいだり、給食に取り入れ、皆で味わう機会をもち、食べ物への関心につなげていく。 気の合った友達と遊びながらも、それぞれの思いや楽しみは違うので、その中で自分のやりたいことができるように環境を作ったり、道具・用具を加えたりする。 簡単なルールで友達と楽しく遊べる遊びを提案し、順番や交代しながら楽しめるようにしていく。 安全に遊べるよう園庭やプールの点検、衛生管理を行い、一人一人の水に対する思いを受け入れ、無理なく水に親しめるようにする。 身近な生き物に触れ、自分たちで進んで世話をしているように環境を整えながら生命の大切さを知らせていく。 身近な自然の変化を、機会を捉えて見たり話し合ったりできるようにする。 夏休みに期待がもてるよう、過ごし方について具体的に話をする。健康や安全に気をつけることもわかりやすく伝える。（幼） 友達に自分の思いや気持ちを言葉で表現できるように、話しやすい雰囲気を作ったり、時には代弁したりしながら、伝え方を知らせていく。 互いの思いに気付き受け止め合えるように仲立ちとなったり、思いを出し合うと遊びが広がり、より楽しくなることを知らせていく。 季節の歌や子どもの興味に合わせた曲などを用意し、子どもと一緒に歌ったり、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりしながら表現する楽しさを共有していく。 七夕飾りは、いろいろな形や色の紙やいろいろな素材を用意し、作る楽しさが味わえるようにする。 空き容器やペットボトルなどの素材を種類別に用意し選んで使えるようにする。遊びに必要な物を作る楽しさや、作った物で遊ぶ楽しさが味わえるようにする。 	
家 庭 と 小 学 校 等 の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> 気温の上昇や水遊びなどで、体力を消耗しやすい時期なので、睡眠や食事など夏の健康管理について知らせたり、家庭でもゆったりと過ごすようにしてもらう。 夏の感染症の症状や流行状況について知らせると共に、早期発見と適切な対応ができるように連絡を取り合う。 プール遊びについては、プールカードを活用して家庭と連絡を取り合い、健康状態に十分留意する。 七夕会やお涼み会などを通して、地域の人との触れ合いや、保育園の様子を知ってもらえる機会を作る。 個別懇談をすることで、園生活の様子を具体的に話したり、4月からの成長を振り返る機会となるようにしたり、成長を保護者と一緒に感じ合えるようにしていく。 夏休みを健康で安全に過ごせるように手紙を配布する。（幼） 	

4歳児 8月

発達 の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの始末や、水遊びの始末、水分補給など、自分から進んで行おうとする子どもが多くなっている。遊びや友達の様子などに気をとられたり身の回りのことが雑になっていて援助が必要な子どももいる。 ・水遊びやプール遊びなどを楽しんでいるが、午後には少し疲れが見られ、眠そうな子どもがいたり、午睡の時にいつもよりも早く寝付いている。 ・水遊びを楽しみに登園し、水あそびを大胆に楽しむ子どももいる。顔付けができるようになったことで自信をもち、水遊びがダイナミックになってきている。中にはまだ水しぶきが不意に顔にあたることなどが苦手な子どももいるが、水遊びが始まったときに比べると水に慣れてきていて、それぞれに水遊びを楽しんだり、個別の目標で頑張ったりする姿も見られる。 ・異年齢児のしているシャボン玉や色水遊びなどを見たり、時にはその遊びに挑戦しようとする姿が見られ、異年齢児の友達とのかかわりが広がってきている。 ・室内遊びは夏らしい遊びを好み、スライム遊びをじっくり楽しむことができる。水遊びに使う船などを保育者に手伝ってもらいながら、自分の考えを出したり、友達の真似をしたり、浮かべるなど試したりしながら作って遊ぶことを楽しんでいる。 ・簡単なルールのある遊びは、何度も保育者と一緒に楽しんでいくうちに、保育者がいなくても自分達なりに楽しむことも出来ている。 ・夏に経験したことを気の合う友達や保育者に話したり、聞いてもらったりすることを喜び、「昨日ね・・・」「お休みの時にね・・・。」と自分なりの表現で話す。言いたい気持ちが強く、他の子が話しているときも話を聞いたり待ったりできず、自分の思いを一方向的に言う子どもも多い。 ・春に植えた夏野菜の生長の様子を保育者や友達と一緒に観察したり世話をしたりする中で、色や形の変化に気付いて、驚いたり喜んだりする。また、身近な野菜が食材として給食や弁当に入っているのを見つけ、喜んで食べている。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の生活の仕方がわかり、衣服を着替たり、身の回りの始末などを丁寧にする。 ・友達や異年齢児と一緒に約束を守りながら、夏ならではの遊びを十分楽しむ。 ・栽培や収穫を通して食への関心をもち、食べる楽しさを味わう。 ・涼しく安全な環境の中で、活動と休息のバランスを考え、心身の疲れを取り除き健康に過ごせるようにする。 	
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な場所で、友達や異年齢児と一緒に楽しく食事をしながら、苦手なものも食べようとする。 ・活動後や午睡の時間に休息を十分にとる。 ・夏の生活の仕方（休息や午睡、水分補給、戸外へ出るときは帽子をかぶる、汗をかいたら拭いたり洗ったり着替える、遊びの身支度や後始末など）がわかり、自分で進んでする。 ・気の合う友達と、体を動かして夏の遊びを楽しむ。 ・水遊びなどの約束を守りながら、安全に遊ぶ。
	人 間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児の友達に親しみをもち、一緒に遊ぶ。 ・遊具や用具を大切にし、交代しながら一緒に遊ぶ。 ・喜んで地域の行事に参加し、保育者や友達や地域の人たちと一緒に楽しむ。 ・保育体験をする中学生・高校生・大学生らと一緒に遊んだり食事をして過ごし、親しみをもち。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・「深い」「浅い」「流れる」「浮く」「沈む」「透明」などを遊びを通して体験し、水の特質を知る。 ・夏の自然現象（朝もや、台風、夕立、雷、積乱雲、飛行機雲、エルニーニョ現象など）に興味、関心をもつ。 ・夏野菜（きゅうり、ナス、トマト、ピーマン、とうもろこし、かぼちゃ、枝豆など）の収穫を喜び、みんなで味わう。 ・身近な小動物（クワガタ、カブトムシ、ザリガニ、魚、セミ、カミキリムシ、鈴虫、沢蟹など）に親しんだり、愛情をもって楽しんで世話をしたりする。 ・アサガオやペチュニアなどの季節の草花を使った色水遊びをして、草花の不思議や色の変化を楽しむ。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや思ったことや、興味をもったことなどを話したり、友達の話の聞いたりする。 ・図鑑や絵本を見たり聞いたり調べたりして、興味を広げる。
	豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な素材や用具を使って水遊びにつかうもの（ペットボトルシャワー、船作りなど）を作ったり、作った物で遊ぶ。
	環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・体調や食欲に応じて食事の量を加減して無理なく食べられるようにする。 ・室温や換気に気を付けて、風通しをよくするなどし、快適に過ごせるようにする。 ・テントや日よけなどで涼しい場所を用意し、遊びや休息が出来るようにする。 ・汗拭きタオルや着替えるの服を使いやすい場所に置き、自分でしようとする姿を認め、自信になるようにする。 ・一人一人の子どもの状態を知り、自分でできていることを認めながら、必要に応じて励ましたり教えたりして援助することで、生活習慣が身に付くようにする。 ・水遊びの後は疲れやすいので、保育室ではゆったりと遊べるようにする。静と動の活動のバランスに配慮する。 ・遊びが満足できるよう、遊具や用具を十分に用意しておき、保育者も子どもたちと一緒に体をしっかり動かして遊ぶことを楽しむ。 ・登園児が少ない時には、ゆったりとした雰囲気の中で異年齢児と一緒に楽しめるような遊びやゲームを用意し、子ども同士のかかわりがもてるようにする。トラブルが生じたときには、必要に応じて仲立ちをしたり、相手の気持ちに気付けるように声をかけていく。 ・夏ならではの遊びが十分に楽しめるように、プール（水温や水位など）やその周辺、園庭などの安全と清潔面に十分留意する。子どもたちの動線も考慮して場所の取り方に配慮する。遊具や用具（タオルや足拭きマットなど）を使いやすいように用意する。 ・楽しく安全に遊ぶための約束をみんなで話し合い、子どもたちも安全に気をつけて楽しめるようにする。 ・友達の頑張っている姿や泳いでいる姿を見せ合い、やる気もてるようにする。 ・夏の自然現象の変化を見逃さず子どもたちに伝え、その不思議さに興味もてるようにする。 ・虫とりや野菜の世話などに必要な用具（虫取り網や虫かご、飼育・栽培道具、ジョウロなど）を用意し、親しみやすい環境を整えるとともに、一緒に体験しながら、子どもの発見や驚きに共感していく。 ・一人一人とゆっくり話し時間をもち、子どもの話したい気持ちを大切にしながら、みんなに紹介したり聞いたりできるようにする。 ・季節に合った内容の図鑑や絵本を用意し、自分で見たり、友達と見たり、読み聞かせてもらったりして、興味や関心を広げる。 ・身近な素材や用具を準備し、子どもの発想や工夫を大切にしていける。
家 庭 と 小 地 域 の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さのため体調を崩しやすく、感染症が流行しやすい時期なので、規則正しい生活が送れるように協力をお願いする。 ・夏の感染症の流行状況を知らせたり、子どもたちの健康状態を園に知らせてもらうようにし、連絡を密に取り合う。 ・園と地域との連携について知らせ、地域の行事に積極的に参加して家族や地域の人たちとふれあう機会を大切にしよう。 	

4 歳児 9 月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長い休み明けの登園で、保護者と離れるのが不安だったり、遊びに入れず戸惑ったりする。(幼) ・生活のリズムが取り戻せず、夏の疲れから食欲が落ち、体調がよくない子どもも見られる。(幼) ・夏ならではの経験したことを、楽しく先生に話す姿が見られる。 ・身の回りのことは、その子どもなりにできているが、競争心が出てきて、急ぐあまり雑になっていることもある。 ・戸外で体を動かして遊ぶ楽しさや、友だちとかがわって遊ぶおもしろさがわかりだす。 ・したいと思う遊びに子どもが集まって、遊び始める姿が見られる。 ・年長児や友だちの遊んでいる様子を見て、真似をして跳び箱などの障害物にも挑戦するなど、やってみたいという意欲や競争心が芽生える。 ・運動会を楽しみにして、いろいろな遊びに進んで取り組む子どもが多い。反面、不安を感じる子どももいる。 ・先生や友だちと簡単なルールを作ったりして遊ぶ中で、自分の思いが伝わらず、トラブルになったり、抜け出したりする子どももいる。トラブルが起きると自分達でなんとかしようとする姿も見られるようになる。 ・遊びの中でトラブルが生じたときは、自分の気持ちを言葉で相手に伝えることもできるが、自分の思いをうまく表現できにくい子どももいる。自分の気持ちと違う子どもがいるということに気づく。 ・外に出て、虫探しに熱中したり、草花の種ができていくことに気づいたりして遊んでいる。 										
<p>(教育・養護) ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びをしながら、園生活のリズムを取り戻していく。 ・身の回りのことを自分で進んでしようとする。 ・友だちと一緒に戸外で体を動かして遊ぶことを楽しみながら、決まりの大切さに気づき守ろうとする。 ・いろいろな遊びに参加し、見たこと、感じたことを表現する。 ・友達と一緒に思いっきり体を動かして遊ぶ。 ・自分の思いを伝えながら、気の合う友だちと遊ぶことを楽しむ。 ・季節の変化に気づき、身近な自然に触れて遊ぶ。 ・気温の変化に応じて、健康で、安全な環境をつくり、快適に過ごせるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="268 752 319 887">健康な心と体</td> <td data-bbox="319 752 1327 887"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に身の回りを整える。 ・体と食べ物の関係について興味をもち、楽しい雰囲気の中で友だちと楽しく食事する。 ・生活の仕方が分かり、自分から身の回りを清潔にしたり、休息をとったり、水分を補給したりする。 ・戸外で、体を十分に動かしたり、様々な道具や用具を使った運動遊びを楽しんだりする。 ・運動会に向けて、体を十分に動かして活動的な遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に歩く、走る、スキップするなどの動きを楽しむ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 887 319 999">人間関係</td> <td data-bbox="319 887 1327 999"> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールを守り、友だちと一緒に楽しんで遊ぶ。 ・気の合う友だちと好きな遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に、競争したり、協力し合ったりして遊ぶ。 ・行事に参加して、楽しんで異年齢児や家族、地域の人のとの触れ合いをする。 ・年長児の姿に憧れの気持ちをもち、運動会に向けて友だちと力を合わせて取り組む。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 999 319 1066">環境</td> <td data-bbox="319 999 1327 1066"> <ul style="list-style-type: none"> ・行事を楽しみにし、喜んで参加する。 ・夏から秋への自然の変化に気づく。 ・身近な虫や草花に興味をもち、見たり、触れたりして遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 1066 319 1200">命と自然</td> <td data-bbox="319 1066 1327 1200"> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の体験を自分なりの言葉で伝える。 ・自分のしたこと、見たこと、感じたことを保育者や友達に話す。 ・自分の考えを友だちに伝え、相手の考えを聞くこととする。 ・人の話を聞いたり、知っていることを話したり、わからないことを尋ねたり、教えてもらったりする。 ・保育者や友だちと言葉のやり取りを喜んで楽しんだりする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 1200 319 1290">豊かな表現</td> <td data-bbox="319 1200 1327 1290"> <ul style="list-style-type: none"> ・童話、絵本、視聴覚教材などを見たり聞いたりする。 ・友だちと一緒にリズムに合わせて体を動かしたり、歌ったりする。 ・さまざまな材料や素材を使って、遊びに必要なものや行事に用いるものを作る。 ・友達に自分の思いやイメージを伝えながら遊ぶ。 ・さまざまな素材を使い、遊びに必要なものを工夫して、描いたり作ったりする。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に身の回りを整える。 ・体と食べ物の関係について興味をもち、楽しい雰囲気の中で友だちと楽しく食事する。 ・生活の仕方が分かり、自分から身の回りを清潔にしたり、休息をとったり、水分を補給したりする。 ・戸外で、体を十分に動かしたり、様々な道具や用具を使った運動遊びを楽しんだりする。 ・運動会に向けて、体を十分に動かして活動的な遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に歩く、走る、スキップするなどの動きを楽しむ。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールを守り、友だちと一緒に楽しんで遊ぶ。 ・気の合う友だちと好きな遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に、競争したり、協力し合ったりして遊ぶ。 ・行事に参加して、楽しんで異年齢児や家族、地域の人のとの触れ合いをする。 ・年長児の姿に憧れの気持ちをもち、運動会に向けて友だちと力を合わせて取り組む。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を楽しみにし、喜んで参加する。 ・夏から秋への自然の変化に気づく。 ・身近な虫や草花に興味をもち、見たり、触れたりして遊ぶ。 	命と自然	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の体験を自分なりの言葉で伝える。 ・自分のしたこと、見たこと、感じたことを保育者や友達に話す。 ・自分の考えを友だちに伝え、相手の考えを聞くこととする。 ・人の話を聞いたり、知っていることを話したり、わからないことを尋ねたり、教えてもらったりする。 ・保育者や友だちと言葉のやり取りを喜んで楽しんだりする。 	豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> ・童話、絵本、視聴覚教材などを見たり聞いたりする。 ・友だちと一緒にリズムに合わせて体を動かしたり、歌ったりする。 ・さまざまな材料や素材を使って、遊びに必要なものや行事に用いるものを作る。 ・友達に自分の思いやイメージを伝えながら遊ぶ。 ・さまざまな素材を使い、遊びに必要なものを工夫して、描いたり作ったりする。
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に身の回りを整える。 ・体と食べ物の関係について興味をもち、楽しい雰囲気の中で友だちと楽しく食事する。 ・生活の仕方が分かり、自分から身の回りを清潔にしたり、休息をとったり、水分を補給したりする。 ・戸外で、体を十分に動かしたり、様々な道具や用具を使った運動遊びを楽しんだりする。 ・運動会に向けて、体を十分に動かして活動的な遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に歩く、走る、スキップするなどの動きを楽しむ。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールを守り、友だちと一緒に楽しんで遊ぶ。 ・気の合う友だちと好きな遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に、競争したり、協力し合ったりして遊ぶ。 ・行事に参加して、楽しんで異年齢児や家族、地域の人のとの触れ合いをする。 ・年長児の姿に憧れの気持ちをもち、運動会に向けて友だちと力を合わせて取り組む。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を楽しみにし、喜んで参加する。 ・夏から秋への自然の変化に気づく。 ・身近な虫や草花に興味をもち、見たり、触れたりして遊ぶ。 										
命と自然	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の体験を自分なりの言葉で伝える。 ・自分のしたこと、見たこと、感じたことを保育者や友達に話す。 ・自分の考えを友だちに伝え、相手の考えを聞くこととする。 ・人の話を聞いたり、知っていることを話したり、わからないことを尋ねたり、教えてもらったりする。 ・保育者や友だちと言葉のやり取りを喜んで楽しんだりする。 										
豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> ・童話、絵本、視聴覚教材などを見たり聞いたりする。 ・友だちと一緒にリズムに合わせて体を動かしたり、歌ったりする。 ・さまざまな材料や素材を使って、遊びに必要なものや行事に用いるものを作る。 ・友達に自分の思いやイメージを伝えながら遊ぶ。 ・さまざまな素材を使い、遊びに必要なものを工夫して、描いたり作ったりする。 										
<p>環境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一学期に親しんだ道具や用具を取り入れて、安定して過ごせる環境を整える。(幼) ・室温や換気に気をつけ、風通しをよくし、園庭にはテント、パラソル等用意して涼しい場所で生活ができるよう工夫する。 ・お茶を用意し、水分補給や休息が十分にできるようにする。 ・園庭の整備と道具の点検を行い安全に運動遊びができるようにする。 ・運動遊びに自ら進んで取り組めるように、ボール、フープ等の道具を目につく場所に準備したり、場の確保をする。 ・運動会への期待がもてるような雰囲気を作る。体をしっかり動かした後は、ゆったりとした時間の中で、休息できるようにする。 ・虫を追いかけたり、草花で遊んだり自然のもので遊べるように園庭の草花などの環境を整える。 ・見つけた虫や草花などを観察したり、世話ができるように図鑑、飼育ケース、虫めがね等用意しておく。 ・身の回りの始末や後片づけなどに、一人一人の子どもとゆとりがかわる時間をもつようにする。 ・長い休みのあいだ家庭で過ごした子ども達が、園生活にスムーズに入っていけるよう一人一人と丁寧なかかわりをしながらリズムを取り戻していくようにする。(幼) ・食欲が落ちている子どもには、食事の量を調節して、完食できたという満足感を味わえるようにする。 ・運動会に向けて、一人一人の子どもの取り組んでいる姿を認めながら、楽しく取り組めるように工夫する。 ・走るなどの活動をする中で、友達と競い合い、勝つ喜び、負ける悔しさを感じながら「次もやってみよう」と積極的に取り組めるように保育者が励まして気持ちを盛り上げていく。 ・遊びの中で自分達でルールを考えようとする姿を受け止め、子どものアイディアを生かして遊びが進められるように、保育者も一緒に遊ぶようにする。 ・遊びの中の簡単なルールを守って遊べるようにかかわり、みんなですることや、力を合わせる楽しさを感じられるように配慮する。 ・子どもが自然の変化に気づいた時は共感し、一緒に草花や虫探しなどをして秋の雰囲気を楽しみ味わえるようにする。捕まえた虫を世話したり、逃がしたりしながら、命の大切さに気付けるようにする。 ・イメージを広げながらさまざまな表現できるように材料や用具などを用意しておく。 ・みんなの前で話をする機会をつくるなどして、人の話を聞く機会を大切にする。また保育者は子どもの話に耳を傾けたり、発問をして、子どもの思いを引き出すようにする。 ・遊びのイメージに合わせて必要なものを自分達で作れるように素材を提示したり、作り方のアイディアを知らせたりする。また、保育者がモデルとなって使い方を示し遊びに取り入れられるようにする。 										
<p>(家庭・地域との連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さが厳しかったり、涼しい秋風が吹いたりして気温の変化も大きいので、体調の変化に気を配ってもらうようにする。 ・夏休み中の生活の様子を作品などで知り、子どもの様子を知る手掛かりとする。(幼) ・保護者にとりなどを出し、園行事の意味や考え方を理解してもらうように知らせる。必要に応じて協力をお願いする。 ・行事を通して、地域の人の触れ合いをもち、お年寄りに対する尊敬や優しい気持ちが育つように触れ合いの機会を工夫する ・小学校の運動会を見に行ったり、地域の運動会に参加したりすることで、自分達の運動会にも期待や目標がもてるようにする。 										

4歳児 10月

<p>発達 こと の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの子どもが身の回りの事を進んでできるようになり、簡単な当番活動を喜んでする。 いろいろな運動遊びをする中で自信をもち、新しいことに挑戦しようとする姿がみられる。また、運動会を経験してからは、年長児のまねをして、いろいろな運動に積極的に取り組もうとしたり、他の遊びにも進んでかかわる姿がみられる。 遊びの中でルールを守ることの大切さに気づき、ルールを守ろうと声を掛け合って遊ぶ姿がみられる。 みんなで協力して、おみこし作りなどの目標に向かって取り組む姿がみられる。 気の合う仲間同士でグループになって行動したり、みんなで行う遊びに喜んで参加するようになる。中にはまだ自分の世界に没頭したり、保育者と遊ぶことで安心したりする姿も見られる。 気の合う友達と一緒に遊びたい思いも強くなる中で、イメージしたことや遊びたいことの違いから、遊びが中断することがある。友達同士で折り合いをつけて遊ぼうとする姿がみられる。 身近な秋の自然の変化に興味をもち、落ち葉や木の実などを集めたり、ごっこ遊びやさまざまな表現遊びに取り入れてたりして遊ぶ。
<p>ねらい (教育・ 養護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に体を思いきり動かし、決まりを守って、いろいろな遊びを楽しむ。 気の合う友達とイメージを出し合いながら、遊びを進める。 異年齢の友達などと触れ合って遊ぶことを楽しむ。 秋の自然に興味関心をもち、自然物を遊びに取り入れて遊ぶことを楽しむ。 気温の変化に応じて、健康で安全な環境を作り、快適に生活できるようにする。
<p>経験 させ たい 内 容</p>	<p>健康 な 心 と 体</p> <ul style="list-style-type: none"> 気温や活動に応じて、衣服の調節をする。 食事のマナーに気をつけて食べようとする。 収穫の経験から、食に関する興味や関心をもち、食と健康の関係を知る。 戸外で思いっきり体を動かして活動する。 遊びに必要な準備や片付けなどを保育者と一緒にする。 運動会での他のクラスの競技や演技をまねて遊ぶ。
	<p>人 間 関 係</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に簡単なルールを守って遊ぶ。 気の合う友達と誘い合って遊ぶ。 行事に喜んで参加し、異年齢児の友達や地域の人たちと触れ合う。
	<p>環 境</p> <ul style="list-style-type: none"> さつま芋堀りを通じて、畑の様子や土の感触を味わいながら収穫する。 園外保育に出かけ、秋の自然を感じながら、景色や自然物、生き物を見たり触ったりして興味や関心をもち、木の实や木の葉などのさまざまな自然物を使って遊ぶ。 種を集めたり球根を植えたりして、季節の移り変わりとともに身近な植物の変化に関心をもち、
	<p>命 と 自 然</p> <p>言 葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達同士で互いの思いや考えを言ったり、聞いたりする。 進んで絵本や童話に親しみ、興味をもって聞いたり、想像したりする。
	<p>豊 か な 情 境</p> <p>表 現</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊びに必要なものを作る。 感じたことや自分のイメージを言葉を使ったり、描いたり作ったりして表現する。 生活の中で音や色、形や手触りなどに気づく。 さまざまな自然物や身近な素材を使って作ったり、作ったもので遊んだりする。 友達と一緒にリズムに合わせて体を動かしたり、楽器を使ったりして遊ぶ。
<p>環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 風通しのよい木陰、テント、お茶などを準備し、活動後にゆったりとした気分で休めるような場所を作っておく。 食事をする時の姿勢や、食事中に大きな声で話さない、話に夢中になり過ぎないなど、みんなでおいしく食べるためのマナーを子どもたちと確認する。 収穫した芋や野菜をクッキングして、みんなで食べるようにする。 心地よい気候の中、体を思いっきり動かして遊べるよう、遊びに必要なものを子どもと一緒に準備しながら場を作っていくようにする。 遊具や運動用具の安全点検と整備を十分にし、保育者と一緒に出し入れしやすいようにする。 運動会で親んだ曲や身に付ける道具などを用意しておき、友達と一緒に遊べる雰囲気を作る。 運動会の経験思い出したり、年長児に刺激を受けたりして、体を動かす遊びを楽しめるようにする。保育者も一緒に遊びながら大勢の友達と触れ合う楽しさやスリル感を味わえるようにする。 集団遊びや簡単なルールのあるゲームを取り入れ、異年齢の友達と一緒に遊ぶ経験を積み重ねていく。 気の合う友達と一緒に遊ぶ中で、一人一人の子どもがどのように遊ぼうとしているかを把握し、互いの考えや思いを伝え合って遊びが進むようにする。一人一人の思いが生かされるような素材を環境として用意し、自発的に遊ぶ姿を大切に 子ども同士の遊びの中で、思っていることに取り組めるように様子を見守る。また、保育者から遊びが展開するような声をかけ、遊びが広がっていくようなかかわりをする。 芋を掘りながら、土の感触を味わったり、気づいたことや感じたことを伝えてくる子どもたちに共感する。 園外保育を取り入れ、探索を楽しみながら、秋の自然に触れられるようにする。 園外保育をする時は、自然に触れて遊べる場所や危険な場所の下見をする。 木の葉の色の変化や秋の心地よさを子どもたちに伝え、自然の移り変わりに興味をもちたり、親しみがわくようにする。また、子ども物の発見を受け止め共感する。 子どもたちが見つけた木の葉や木の実などを目につきやすい場所に置き、使って遊べるようにする。 園内外の身近な自然の様子に気づかせ、季節の移り変わりや、木の葉、木の実を使った遊びを紹介したり、秋の自然に関する絵本や図鑑をいつでも見ることができるようしておく。自分の思いを相手に伝える大切さを知らせるとともに、相手の気持ちにも気づけるように配慮する。 ごっこ遊びなどの中で、友達と話したり、言葉のやり取りが楽しめるようにかかわる。また、状況によっては、嫌な気持ち(してほしくないことなど)を相手に伝えられるように伝え方を知らせたり優しく励ましたりする。 子どもが自分の思いをゆっくり話せるように、保育者はゆったりと構え、落ち着いて話せる雰囲気を作る。 子どもたちが自分のイメージで描いたり作ったりできるように、必要な材料や場を用意する。 作ったものを使ったり、飾ったりして遊ぶ活動を計画し、作り方や遊び方、自然物を取り入れる楽しさを伝えながら、表現の幅を広げていく。
<p>(家庭・ 学校等との 連 携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運動会には家族や地域の方も参加できるプログラムを用意し、参加したり応援したりできるようにする。 運動会当日は一緒に楽しんでもらい、単に結果や出来栄でなく、取り組みの過程での子どもの育ちやその子なりの力の発揮を温かく受け止めてもらえるようにする。 保護者が子どもと一緒に活動を楽しむことによって、子どもの成長の様子や子どもの取り組もうとする姿勢を理解してもらおう。 園だよりやクラスだよりなどで、園での食事指導や薄着の習慣について知らせ、家庭との連携を密にする。 さまざまな行事を通して、身近な地域とのつながりを深める。 園外に出かける機会も多くなり、地域の人とのあいさつやふれあいを大切にしたり、その様子を保護者に伝えたりしながら、地域とのつながりがあって過ごしていることを知らせる。 近くの自然環境を利用して豊かな経験ができるよう、情報を集めたり、足を運んだりしながら秋を楽しむ計画を進めていく。

4 歳児 11 月

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">発達 この 子ども の 特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外遊びを喜び、ルールを守ると遊びが楽しくなることに気付き、自分たちでアイデアを出し合って試したり、工夫したりしながら遊びを進めることができるようになる。 ・ 遊びの幅が広がり、友達と楽しむ姿が多くなっている。自分の思いを伝え、互いの話を聞きながら遊んでいるが主張がぶつかり合ってトラブルになることもある。トラブルになった時、自分の思いが伝えられなかったり、保育者に頼る子どももいる。 ・ クラスやグループの仲間意識が高まり、対抗ゲームや一つの目的をもって活動することを喜び、友達の思いや考えを受け入れたり協力したりして遊ぶ。 ・ 身近な秋の自然に興味をもち、散歩や戸外遊びを通して、拾った木の実や葉を使って友達と一緒に色、形、大きさを比べたり遊びに取り入れられたりして遊ぶ。 ・ 友達のしている遊び、年長児の遊び、保育者のしている遊びなどに目が向き、いろいろな遊びに積極的にかかわろうとする。 ・ いろいろな楽器に触れたり、好きな楽器を交替して楽しんだりする。 ・ 一つの遊びの継続時間が長くなり、遊びの人数も5～6人と増え、繰返しを楽しんでいる。 ・ 親しみをもってストーリーのある話を聞き、言葉のやりとりを楽しんだり好きな役になったり、役を交替したりして遊ぶ。 ・ 身の回りの友達のことなどに興味、関心が高まり、気付いたり、知ったりしたことを友達や保育者や家族に伝えようとする。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(教育・養育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心地よい気候の中、戸外に出て、自分なりに繰り返し挑戦して遊んだり、友達とルールを共有して、思い切り体を動かして遊ぶ。 ・ 季節の移り変わりを感じながら、秋の自然に興味をもち、自然物を遊びに取り入れて遊ぶことを楽しむ。 ・ 友達と楽しく遊ぶ中でイメージを共有し、自分の思いや考えを言葉で伝えたり、友達の気持ちに気付き受け止めたりしながら、一緒に遊ぶ。 ・ 体調や気候の変化に合わせて、自ら衣服の調整や手洗いうがいができるように、生活の仕方を知らせ、健康で快適に生活できるようにする。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経験させたい内容</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旬の食べ物に関心をもち、見たり、触れたり、味わったりすると共に、感謝の気持ちをもって何でも食べようとする。 ・ 衣服の調節や手洗い、うがいの大切さを知り、気温差や活動・体調に応じた生活の仕方を身につけ、自分でしようとする。 ・ なわ遊び、ボール遊び、鉄棒などに繰り返し挑戦する。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気の合う友達と一緒に遊ぶ中で、ルールを守って遊ぶようにする。 ・ 友達と繰り返し遊ぶ中で、交代したり、譲り合ったりして遊ぶ。 ・ 年長児の遊びに興味や関心をもち、遊びに取り入れる。 ・ 友達のアイデアを遊びに取り入れて遊びを進める。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋の自然の美しさや不思議さに興味や関心をもち、自然物に触れたり、遊びに取り入れられたりして、季節の移り変わりに気づく。 ・ 木の実や木の葉などの自然物を集めて遊んだり、形、数量などの違いに気づいたりする。 ・ 身近で働く人たちの話を聞き、親しみや感謝の気持ちをもつ。 ・ 用具の正しい使い方が分かり、友達と一緒に準備したり、片づけたりする。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活経験を通し、友達とのやりとりの中で自分の思いや考えを友達に伝えたり、相手の思いや気持ちにも気づき、聞き入れようとする。 ・ お話の登場人物になりきって、友達と言葉のやりとりをする。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">豊かな情操と賢さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びの中でさまざまな自然物を工夫して使い、作ったり、描いたり、遊んだりして、その性質を感じる。 ・ 友達と一緒に歌をうたったり、リズムに合わせて体を動かしたり、楽器遊びをして友達とリズムが合う心地よさを感じたりする。 ・ 絵本、紙芝居、お話を見たりして、ストーリーに興味や関心をもち、自分なりのイメージを膨らませ、登場人物になりきって遊ぶ。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寒くなってくるが、戸外で一緒に遊び、繰り返し体を動かして遊ぶことで、体が温まることを感じさせたり、適度な休息を取ったりする。 ・ 食べ物とからだの関係を話し合ったり、視覚教材を工夫したりして、何でも食べることを大切さを知らせていくと共に、食器に手を添えるなどのマナーを知らせ、正しい姿勢で楽しく食事ができるように見守っていく。 ・ 風邪や感染症の予防には手洗いうがいが大切であることを知らせて、丁寧に行えるように見守る。また、衣服の調節は気温や遊びに応じて、一人一人の体調にきめ細かく配慮していく。 ・ 友達関係の深まりや変化により、いろいろなトラブルが生じるが、育ちにつながるように、状況をしっかり捉え、仲立ちとなり、お互いの気持ちや考えがわかり合えたり、伝え合えたりできるようにする。 ・ 自分たちで群れ遊びが進められるようになるまでは保育者も一員となって遊びに加わる。みんなで遊ぶ楽しさや満足感を大切に、さまざまな遊びを考え出したり、ルールを工夫したりなどして繰り返し挑戦しようとする気持ちを受け止め、必要に応じて援助する。 ・ 家族や身近かで働く人達の仕事の内容や大切さに気付かせたり、感謝の気持ちを言葉や態度で表わせるように配慮したりする。 ・ 自然物は種類別に分けて容器に入れたり、名前を付けたりして、選んで使えるようにする。また、自然物を数えたり、比べたりする子どもの姿を受け止める。 ・ 自然物との触れ合いの中で、子どものつぶやきや感動に共感し、季節の移り変わりや自然の美しさや不思議さへ興味関心を深めていく。 ・ ごっこ遊びに使うものを作るコーナーを作る。次の日も継続して遊べるように子どもたちの思いを受け止めて、遊びの場づくりをする。ごっこ遊びの中で、それぞれの子どもの実現したいことを大切に受け止め、特定の子どもの思いで遊びが進んでいきすぎないようにする。 ・ 発表会に向けて、クラスの友達と一緒に役割分担をしたり、なりきって遊んだりする楽しさが共有し合えるようにする。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(家庭・地域との連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風邪や感染症の予防や対応についておたよりを配布するなどして、手洗いうがいの励行やバランスの良い食事、十分な睡眠をとることの必要性について知らせる。 ・ 散歩や園外保育の際に、地域の方と親しみをもって、挨拶や言葉を交わすようにする。 ・ 発表会に向けての取り組みの中で頑張る姿を伝え、保護者と一緒に成長を喜ぶようにする。 ・ 保護者に身近な自然に目が向けられるように話しかけたり、園での秋の自然を取り入れた子どもの遊びの様子などを伝えたりする。 	

4 歳児 1 2 月

発達 子ども の主な 特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・気候の変化に合わせて、自ら衣服の調節をしようとしている。防寒着を着て登園する子どもがいるが、着脱がスムーズにできない子どももいる。 ・寒くなり室内にこもりがちの子どもがいるが、保育者が誘うと円形ドッジボール、鬼ごっこ、長縄、短縄などを一緒に楽しむことができる。 ・劇遊びでは、自分の好きな登場人物になりきって遊ぶ姿が見られる。遊んでいく中で、その場面や登場人物になりきった言葉が言えるようになる。遊びを繰り返す中で自信につながったり、家の人に見てもらおう期待も膨らんでくる。 ・気の合った友達とイメージを出し合い、考えたり工夫したりして、ごっこ遊びを楽しんでいる中で、譲り合いや我慢する姿も見られる。 ・氷や霜など見たり触れたりして冷たさなど知り、興味をもって友達と遊んでいる。 ・クリスマスやお正月など、自分の楽しみにしていることを保育者に話す。 										
(養護) ねらい (教育)	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず、戸外で積極的に遊ぶ楽しさを味わう。 ・発表会に向けて、友達とのイメージを共有する。 ・秋から冬へ移り変わる自然の変化や身近な自然の生活の変化に気付き、興味関心をもつ。 ・年末の行事や季節の行事に興味をもち、喜んで参加する。 ・冬の生活の仕方を知らせ、健康に過ごせるようにする。 										
経験 させたい 内容	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">健康 な心と 体</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを守って、楽しみながら食事をする。 ・冬を健康に過ごすため、手洗い、うがい、衣服の調節、防寒着の着脱など身の回りのことを進んでしようとする。 ・鼻汁が出たら自分でふき取りきれいにする。 ・戸外で体を十分に動かして活動する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">人間 関係</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールのあるゲームや群れ遊びに参加し、友達とイメージを共有しながら遊ぶ。 ・友達とのかかわりの中で、相手にも思いや考えがあることに気づく。 ・互いの思いや考えを伝えたり、受け入れたりして遊びに取り組む。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">環境</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・風の冷たさや吐く息の白さ、霜など季節の変化に気づき、冬の訪れを感じる。 ・クリスマスや歳末、大晦日、お正月を迎えるなど、季節の行事や風習にふれて興味・関心をもつ。 ・冬休みの過ごし方を知る。 ・新しい年を迎えることを知り、みんなで身の回りの大掃除をする。 ・2学期が終わることを知り、終業式に参加する。(幼) </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">命と 自然</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりしながら遊びを進めていく楽しさを知る。 ・劇遊びの役になりきって台詞を考えたり、言葉のやりとりをする。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">豊かな 情緒</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と考えを出し合って、発表会やクリスマス会などに必要な物を作ったり描いたりする。 ・友達と一緒に歌をうたったり、リズムに合わせて体を動かしたり、楽器遊びをして友達とリズムが合う心地よさを感じたりする。 ・絵本や童話、生活経験などからイメージを広げ、なりたいものになりきって遊び、体全体を使って表現する楽しさや心地よさを感じる。 </td> </tr> </table>	健康 な心と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを守って、楽しみながら食事をする。 ・冬を健康に過ごすため、手洗い、うがい、衣服の調節、防寒着の着脱など身の回りのことを進んでしようとする。 ・鼻汁が出たら自分でふき取りきれいにする。 ・戸外で体を十分に動かして活動する。 	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールのあるゲームや群れ遊びに参加し、友達とイメージを共有しながら遊ぶ。 ・友達とのかかわりの中で、相手にも思いや考えがあることに気づく。 ・互いの思いや考えを伝えたり、受け入れたりして遊びに取り組む。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・風の冷たさや吐く息の白さ、霜など季節の変化に気づき、冬の訪れを感じる。 ・クリスマスや歳末、大晦日、お正月を迎えるなど、季節の行事や風習にふれて興味・関心をもつ。 ・冬休みの過ごし方を知る。 ・新しい年を迎えることを知り、みんなで身の回りの大掃除をする。 ・2学期が終わることを知り、終業式に参加する。(幼) 	命と 自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりしながら遊びを進めていく楽しさを知る。 ・劇遊びの役になりきって台詞を考えたり、言葉のやりとりをする。 	豊かな 情緒	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と考えを出し合って、発表会やクリスマス会などに必要な物を作ったり描いたりする。 ・友達と一緒に歌をうたったり、リズムに合わせて体を動かしたり、楽器遊びをして友達とリズムが合う心地よさを感じたりする。 ・絵本や童話、生活経験などからイメージを広げ、なりたいものになりきって遊び、体全体を使って表現する楽しさや心地よさを感じる。
健康 な心と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを守って、楽しみながら食事をする。 ・冬を健康に過ごすため、手洗い、うがい、衣服の調節、防寒着の着脱など身の回りのことを進んでしようとする。 ・鼻汁が出たら自分でふき取りきれいにする。 ・戸外で体を十分に動かして活動する。 										
人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なルールのあるゲームや群れ遊びに参加し、友達とイメージを共有しながら遊ぶ。 ・友達とのかかわりの中で、相手にも思いや考えがあることに気づく。 ・互いの思いや考えを伝えたり、受け入れたりして遊びに取り組む。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・風の冷たさや吐く息の白さ、霜など季節の変化に気づき、冬の訪れを感じる。 ・クリスマスや歳末、大晦日、お正月を迎えるなど、季節の行事や風習にふれて興味・関心をもつ。 ・冬休みの過ごし方を知る。 ・新しい年を迎えることを知り、みんなで身の回りの大掃除をする。 ・2学期が終わることを知り、終業式に参加する。(幼) 										
命と 自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりしながら遊びを進めていく楽しさを知る。 ・劇遊びの役になりきって台詞を考えたり、言葉のやりとりをする。 										
豊かな 情緒	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と考えを出し合って、発表会やクリスマス会などに必要な物を作ったり描いたりする。 ・友達と一緒に歌をうたったり、リズムに合わせて体を動かしたり、楽器遊びをして友達とリズムが合う心地よさを感じたりする。 ・絵本や童話、生活経験などからイメージを広げ、なりたいものになりきって遊び、体全体を使って表現する楽しさや心地よさを感じる。 										
環境 構成と 援助	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に楽しく食事しながら、食事のマナーを一人一人の子どもに応じて知らせていく。 ・寒くなり風邪が流行するので、手洗いやうがい、衣服の調節などの大切さを知らせる。また、室内の温度、湿度、換気などには十分気をつける。 ・全身を動かし体が温まるような遊びを用意し、保育者も一緒に遊びながら体を動かすことの楽しさを共感していく。 ・友達と共通の目的に向かって活動する中で、相手の気持ちや考えを聞いたり、自分の考えを伝えたり出来るように仲立ちとなり、友達との関係が深まるようにする。 ・冬ならではの自然に触れる機会をもち、子どもの発見や驚きに共感したり、まわりの友達に知らせたりしながら、興味や関心が深まるようにする。 ・クリスマスに対して楽しい夢としての期待を持っているので、子どもの気持ちを大切に、優しい心温まる夢の世界になるような環境を整える。 ・普段と違う街の様子を知らせたり、大晦日やお正月などの行事に関心がもてるようにする。 ・冬休みの過ごし方を話し合い、冬休みに期待を持ち、安全で規則正しい生活が送れるようにする。 ・2学期が終わることや新しい年を迎えることを話し合い、保育室のロッカーや工具箱、遊具などを整理整頓し、きれいになった心地よさを味わうことができるようにする。 ・友達と考えを出し合って工夫し、発表会で使う道具を作ることができるよう、用具や素材を用意しておく。 ・一人一人の表現したい気持ちを受け止め、恥ずかしがらずに自分の力を十分に発揮できるように励ましたり、イメージが膨らむような言葉かけをし、一人一人の頑張りや認めながら達成感を感じることが出来るようにする。 ・発表会を通して友達とイメージを共有しながら一緒に遊ぶ楽しさや、みんなに見てもらおうことの喜びを感じることが出来るようにする。 										
(家庭・ 地域との 連携)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の健康的な生活習慣が身につくように、家庭でも手洗いやうがいの励行、衣服の調節などしてもらおう。 ・発表会に向けての子どもの様子や気持ちの変化などをお便りや送迎の時に伝え、親子で期待をもって当日を迎えられるように配慮し、子ども達の成長や園の様子に関心をもってもらおう。 ・餅つき、門松作り、クリスマス会などの行事に地域の人の協力を頂き、行事を盛り上げてもらったり、子ども達と触れ合ってもらおう。 ・新年を迎える準備や正月遊びと一緒にするなど、家庭での触れ合いを大切にしてもらおう。 ・個人懇談をし、2学期の子どもの成長の様子を知らせるとともに、子育てについて一緒に考える機会をもつ。 ・冬休みの過ごし方について手紙を配布し、家族で年末年始の行事や生活に興味や関心がもてるようにする。 										

4歳児 1月

<p>発達 の 主な 特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み明けは、身仕度、友達とのかわりなど生活のリズムを取り戻すのに時間を要する。 ・冬休みの経験を友だちや保育者に伝える姿がみられる。新しい経験や活動にも進んで取り組み、友達と協力したり工夫したりして遊ぶ姿が見られる。 ・友達とのやりとりの中で、自分も思いを伝え、相手の話を聞こうとしている。 ・寒くても、鬼ごっこやサッカーなど、活発に体を動かして遊ぶことを楽しむ子ども多い。 ・室内では、保育者や友達と一緒にかるたやトランプなど、自分たちでルールを確かめ合ったり、遊び方を考えたりする姿も見られるようになる。また、遊びの中で、数や文字への関心が芽生えてくる。 ・かるたやすごろく、こま回し、羽根つきなどの正月遊びに興味をもち、気の合う友だちと一緒に楽しんでいる。 ・正月遊びのルールを守り友だちと一緒に遊ぶ中で、自分たちでルールを確かめ合ったり、遊び方を考えたりする姿も見られるようになる。 ・気の合う友だちと離れて、自分がしたいと思う遊びに参加し、他の友だちと遊ぶことができる。 ・気の合う友だちとのかわりが深くなり、じくく遊ぶようになる。「ごっこ遊び」の内容によっては人数をふやそうとほかの友だちを誘っているようになる。 ・気の合う友だちと遊ぶ中でいろいろなイメージを膨らませたり、相手に自分の考えを伝えたりして自分たちで遊びが進められるようになる。 ・寒くても、鬼ごっこやサッカーなど、活発に体を動かして遊ぶことを楽しむ子ども多い。 ・ルールのある遊びを楽しむようになっているが、勝ちたくて自己主張したり自分本位のルールを作ったりする子どももありトラブルになることもある。 ・うがいや手洗いをすすんでする子もいるが、寒さのためいかにがんにすませてしまう子もいる。 ・防寒着の着脱や始末などを自分でできる。 ・吐息の白さや雪や霰、氷などに興味を示し、触ったりして遊ぶ子どもの姿がある。 										
<p>(教育・養育) ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に過ごすために必要な冬の生活習慣を知り、自分からしようとする。 ・友達と意見を出し合いながら、友達と一緒に遊びを考えたり、ルールや約束を守ったりしながら楽しく遊ぶ。 ・友達とイメージを伝え合い、共感しながら遊ぶことを楽しむ。 ・戸外で全身を十分に動かし、暖をとる遊びを友だちと一緒にする楽しさを味わう。 ・冬の自然現象に興味をもち、興味や関心をもつ。 ・お正月遊びやルールのある遊びに興味をもち、ルールを守って遊ぶ。 ・一人一人の健康状態を把握し、風邪や感染症の予防と対策に努める。 ・気温の変化や活動に応じて、健康的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 										
<p>経験 させ たい 内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="231 705 295 907">健康な心と体</td> <td data-bbox="295 705 1356 907"> <ul style="list-style-type: none"> ・献立や冬の食材に興味をもち、楽しく食事をする。 ・行事を通して伝統的な日本の食生活や習慣を知る。 ・冬の健康的な生活の仕方がわかり、自分から進んでやる。 ・体に異常のある時は自分から知らせようとする。 ・生活リズムを取り戻し健康に過ごす。 ・暖房器具などに気を付け、室内で安全に気をつけて遊ぶ。 ・寒さに負けず、戸外で体をしっかり動かして遊ぶ。(暖をとる遊び) ・手洗いうがいの大切さを知る。(インフルエンザ・風邪の予防) ・衣服の調節が必要であることがわかり、自分でしようとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 907 295 1008">人間関係</td> <td data-bbox="295 907 1356 1008"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒にトランプやかるたなどの準備や片づけを最後までする。 ・友達や保育者と遊び方やルールを守りながら遊ぶ。 ・自分のイメージしたことを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら遊ぶ。 ・友達と誘い合って、戸外でルールのある遊びを楽しむ。 ・こまなどのお正月遊びなどを教え合ったり友だちや異年齢児と一緒にする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1008 295 1131">環境</td> <td data-bbox="295 1008 1356 1131"> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭にできた氷や霜柱などの冬の現象に気づき不思議に思ったり触れてみたいりする。 ・霜柱や雪に興味をもち触れたり、それを使って遊んだりして楽しむ。 ・水栽培の植物の生長に気づき関心をもつ。 ・遊びの中で、数えたり比べたり、分けたり集めたりして遊ぶ楽しさを味わう。 ・伝統的な行事や伝承遊びを楽しむ。 ・かるた、トランプ、郵便ごっこなどの遊びをしながら文字や数字に興味や関心をもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1131 295 1220">言葉</td> <td data-bbox="295 1131 1356 1220"> <ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを友達や保育者に話したり、疑問に思った事を尋ねたりする。 ・絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ遊びを楽しむ。 ・遊びを進めていく中で、自分の思いや伝えたいことを言葉で表現する。 ・友達の思いや考えを聞き、受け入れて遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1220 295 1276">豊かな表現</td> <td data-bbox="295 1220 1356 1276"> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして楽しむ。 ・友だちと一緒に様々な素材を使って作り、作ったもので遊ぶ。 ・年長児の遊んでいる姿を見て、真似して作ったり描いたりする。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・献立や冬の食材に興味をもち、楽しく食事をする。 ・行事を通して伝統的な日本の食生活や習慣を知る。 ・冬の健康的な生活の仕方がわかり、自分から進んでやる。 ・体に異常のある時は自分から知らせようとする。 ・生活リズムを取り戻し健康に過ごす。 ・暖房器具などに気を付け、室内で安全に気をつけて遊ぶ。 ・寒さに負けず、戸外で体をしっかり動かして遊ぶ。(暖をとる遊び) ・手洗いうがいの大切さを知る。(インフルエンザ・風邪の予防) ・衣服の調節が必要であることがわかり、自分でしようとする。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒にトランプやかるたなどの準備や片づけを最後までする。 ・友達や保育者と遊び方やルールを守りながら遊ぶ。 ・自分のイメージしたことを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら遊ぶ。 ・友達と誘い合って、戸外でルールのある遊びを楽しむ。 ・こまなどのお正月遊びなどを教え合ったり友だちや異年齢児と一緒にする。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭にできた氷や霜柱などの冬の現象に気づき不思議に思ったり触れてみたいりする。 ・霜柱や雪に興味をもち触れたり、それを使って遊んだりして楽しむ。 ・水栽培の植物の生長に気づき関心をもつ。 ・遊びの中で、数えたり比べたり、分けたり集めたりして遊ぶ楽しさを味わう。 ・伝統的な行事や伝承遊びを楽しむ。 ・かるた、トランプ、郵便ごっこなどの遊びをしながら文字や数字に興味や関心をもつ。 	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを友達や保育者に話したり、疑問に思った事を尋ねたりする。 ・絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ遊びを楽しむ。 ・遊びを進めていく中で、自分の思いや伝えたいことを言葉で表現する。 ・友達の思いや考えを聞き、受け入れて遊ぶ。 	豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして楽しむ。 ・友だちと一緒に様々な素材を使って作り、作ったもので遊ぶ。 ・年長児の遊んでいる姿を見て、真似して作ったり描いたりする。
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・献立や冬の食材に興味をもち、楽しく食事をする。 ・行事を通して伝統的な日本の食生活や習慣を知る。 ・冬の健康的な生活の仕方がわかり、自分から進んでやる。 ・体に異常のある時は自分から知らせようとする。 ・生活リズムを取り戻し健康に過ごす。 ・暖房器具などに気を付け、室内で安全に気をつけて遊ぶ。 ・寒さに負けず、戸外で体をしっかり動かして遊ぶ。(暖をとる遊び) ・手洗いうがいの大切さを知る。(インフルエンザ・風邪の予防) ・衣服の調節が必要であることがわかり、自分でしようとする。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒にトランプやかるたなどの準備や片づけを最後までする。 ・友達や保育者と遊び方やルールを守りながら遊ぶ。 ・自分のイメージしたことを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら遊ぶ。 ・友達と誘い合って、戸外でルールのある遊びを楽しむ。 ・こまなどのお正月遊びなどを教え合ったり友だちや異年齢児と一緒にする。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭にできた氷や霜柱などの冬の現象に気づき不思議に思ったり触れてみたいりする。 ・霜柱や雪に興味をもち触れたり、それを使って遊んだりして楽しむ。 ・水栽培の植物の生長に気づき関心をもつ。 ・遊びの中で、数えたり比べたり、分けたり集めたりして遊ぶ楽しさを味わう。 ・伝統的な行事や伝承遊びを楽しむ。 ・かるた、トランプ、郵便ごっこなどの遊びをしながら文字や数字に興味や関心をもつ。 										
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを友達や保育者に話したり、疑問に思った事を尋ねたりする。 ・絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ遊びを楽しむ。 ・遊びを進めていく中で、自分の思いや伝えたいことを言葉で表現する。 ・友達の思いや考えを聞き、受け入れて遊ぶ。 										
豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして楽しむ。 ・友だちと一緒に様々な素材を使って作り、作ったもので遊ぶ。 ・年長児の遊んでいる姿を見て、真似して作ったり描いたりする。 										
<p>環境 構成 と 援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房器具は安全が保てるように整備して、室温や換気につけて使用する。 ・暖房器具のある部屋での過ごし方や防火について話し合い、危険防止への関心を深め、安全に過ごせるようにする。 ・饅頭や餅つくり七草を用意したりして正月の伝統的な食べ物由来を知らせ、食文化や習慣に興味をもてるようにする。 ・衣服の調節や防寒具の始末がしやすいように収納場所を用意する。 ・寒さのため生活習慣が乱れがちになるので一人一人の状態を見守り、うがいや手洗いなどの必要性についてわかりやすく話し、自分からしようとする気持ちをもてるようにする。 ・冬休み中の生活から園生活のリズムに戻していきけるよう話かけたり、見守ったりしながら自分でしようとする姿を認めていくようにする。 ・園庭や固定遊具の凍っている所や霜のある場所を点検し、危険のないようにする。 ・冬の自然現象は機会を逃さず、保育に取り入れていく。 ・子どもの発見や疑問に思ったことを大切に受け止め共感し、友達と一緒に考えたり試したりするきっかけとなるようにする。 ・保育者も一緒に戸外に出て遊び、集団遊びや自然に触れる遊びへの興味や意欲が増すようにする。 ・寒くても思いっきり戸外遊びができるように誘いかけ、暖をとる遊びを意図的に計画する。(鬼ごっこ、サッカー、縄とびなど) ・正月らしい雰囲気づくりをする。(新カレンダー、年賀状、饅頭、お餅、干支のおきものなど) ・ゆったりと落ち着いて室内遊びが楽しめるように、敷物を敷いたり、遊具や用具を十分に用意する。 ・年長児の遊びに刺激され、自分たちもやってみようとする気持ちを大切に、見守ったり手助けしたりしながら、遊びが広がり、友達関係も深まっていくようにする。 ・ルールや約束のある遊びでは、子ども同士で遊びの進め方について話しあったり確かめ合ったりできるように、保育者が必要に応じて仲立ちとなる。 ・ルールの把握ができない子どもやチーム意識がもたない子どももいるので、遊びを通して具体的に教えていく。 ・水栽培などを観察しやすい場所に置き、図鑑や絵本などで見たり調べたりできるように環境を整える。 ・描いたり作ったりできるように素材や用具を使いやすいように準備しておく。自分で考えたり試したり工夫したりして遊べるように、必要なものを選んで使えるようにする。 ・正月遊びをしながら、遊びのルールを共有していく。 ・水が冷たく手洗いうがいなどがあそび場にあるそかになりがちだが、紙芝居や絵本などを使い予防の大切さや、健康への関心をもてるようにしていく。 ・友達や年長児と正月遊びを楽しむ中で、刺激を受けたり、ルールを教え合ったりする姿を認め、友達関係が広がるようにする。 ・霜柱が土が盛り上がった、雪や氷が日の光でキラキラ光る様子など、不思議で美しい自然に目を向け保育者もおもしろさを感じていく。 ・遊びの中で自分の思っていることや考えを言葉で表せるようにし、トラブルになった時は、保育者が仲介しながら、互いの思いが伝わるよう言葉を添えたり、思いを引き出したりして援助する。 ・自分なりに考えたり工夫したりしたところを認め、周りの子どもに知らせることで、友だちのよさに気づけるようにする。 										
<p>家庭・地域 との 連携 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休み明けで乱れがちな生活リズムを取り戻すよう協力をお願いする。 ・休み中の家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりしながら、生活リズムを整え安定して過ごせるように連携を図っていく。 ・家庭でも正月遊びを楽しく広げていくような機会をもってもらう。 ・風邪やインフルエンザが流行しやすい時期なので、健康状態についてこまめに知らせ合う。また、手洗いうがい、衣服の調節の必要性を家庭にも伝えていく。 ・子どもの成長の姿を具体的に保護者に知らせ、子どもと共に成長を喜ぶ。 ・伝統的な行事に、地域のお年寄りの方々に参加していただき、おもちのつき方や丸め方を教えてもらったり、一緒に食事をしたりして交流がもてるようにする。 										

4 歳児 2 月

発達 の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に応じて衣服の調節や手洗いうがいなど、ほとんどの子どもが自分から行うことができているが、寒さのために身の回りのことがいい加減になってしまう子どももいる。 ・気の合う友達ができ、早く遊びたい気持ちから身支度を手際よくする子どももいる。 ・寒くても戸外で、友達同士誘い合って鬼ごっこやかくれんぼ、サッカーやドッチボールなどを楽しむ姿が見られる。また、気の合う友達とルールを作って遊ぶ姿も見られる。しかし、思いの行き違いからトラブルになることもある。 ・室内では、ごっこ遊びやさまざまな素材を使って描いたり作ったりして遊ぶ子どももいる。 ・こま回しや縄跳びなど、繰り返し遊び、意欲的に取り組む姿が見られる。 ・冬の自然現象に興味、関心をもち、氷や霜柱を見つけてよく観察したり、触れて遊んだり、不思議さを感じたりしている。 ・雪が降ると、雪遊びを楽しむ姿が見られる。 ・友達の作っているものに興味をもち、自分もしてみたいと思い、作り方を教えてもらったり、自分なりに工夫して作ったりして一緒に遊ぶことを楽しむ姿が見られる。 ・ごっこ遊び（お店屋さんごっこ・おうちごっこ・基地ごっこなど）に必要なものを作ったり、言葉のやり取りをしたりしてなりきって遊ぶことを楽しんでいる。 ・ほかの遊びのグループとのつながりができるようになり、イメージが膨らんで遊びが広がっていく。 										
（教育 ねらい ・目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の健康的な生活の仕方が身につく、元気に活動する。 ・自分なりに遊びのイメージや目標をもち、繰り返し挑戦する。 ・興味のあることにじっくりと取り組み、自分なりの力を発揮しながら遊びを楽しむ。 ・友達と一緒に、イメージを膨らませながら遊ぶ楽しさを味わう。 ・戸外遊びや季節の行事を楽しみながら、冬の自然現象に興味や関心をもち、冬から春への自然の変化に気づく。 ・気温の変化や活動に応じて、健康的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 										
経験 させ たい 内 容	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">健康 な 心 と 体</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康に関心をもち、楽しい雰囲気の中で友達と一緒に食事をして、何でも食べる。 ・手洗いうがい、防寒着の始末などを自分から進んでやる。 ・体に異常のある時は自分から知らせる。 ・寒さに負けず、戸外で体を動かして元気に遊ぶ。 ・こま回しや縄跳びなど、自分なりに目的をもって取り組み、自分の力を発揮する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">人 間 関 係</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・集団遊びなどをして遊ぶ中で、簡単なルールを作り遊びを進める。 ・友達と考えを出し合ったり、イメージを共有しながら遊びを進めたりする。 ・保育者や友達と一緒に遊びや生活の準備をしたり片づけたりする。 ・異年齢の友達とともに行事に参加してかわりを深める。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">環 境</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然に親しみ、霜柱、氷、雪などに触れて遊ぶ。 ・春を待つ植物の様子に気づいたり、見つけたりして、関心をもち、 ・節分などの季節の行事に参加して、行事にまつわる昔話などに興味をもち、 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">命 と 自 然</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思っていることを保育者や友達に分かるように話したり、友達の話を親しみをもって聞いたりする。 ・遊びの中で、自分の気持ちや考えを伝える。 ・絵本や動画、視聴覚教材を使って、自分のイメージを動きや言葉で表現して遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">豊 か な 情 操</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・経験したことをごっこ遊びに取り入れて遊ぶ。 ・イメージを広げながら、さまざまな素材を使って描いたり作ったり、作ったものを使って遊ぶ。 </td> </tr> </table>	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康に関心をもち、楽しい雰囲気の中で友達と一緒に食事をして、何でも食べる。 ・手洗いうがい、防寒着の始末などを自分から進んでやる。 ・体に異常のある時は自分から知らせる。 ・寒さに負けず、戸外で体を動かして元気に遊ぶ。 ・こま回しや縄跳びなど、自分なりに目的をもって取り組み、自分の力を発揮する。 	人 間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・集団遊びなどをして遊ぶ中で、簡単なルールを作り遊びを進める。 ・友達と考えを出し合ったり、イメージを共有しながら遊びを進めたりする。 ・保育者や友達と一緒に遊びや生活の準備をしたり片づけたりする。 ・異年齢の友達とともに行事に参加してかわりを深める。 	環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然に親しみ、霜柱、氷、雪などに触れて遊ぶ。 ・春を待つ植物の様子に気づいたり、見つけたりして、関心をもち、 ・節分などの季節の行事に参加して、行事にまつわる昔話などに興味をもち、 	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思っていることを保育者や友達に分かるように話したり、友達の話を親しみをもって聞いたりする。 ・遊びの中で、自分の気持ちや考えを伝える。 ・絵本や動画、視聴覚教材を使って、自分のイメージを動きや言葉で表現して遊ぶ。 	豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことをごっこ遊びに取り入れて遊ぶ。 ・イメージを広げながら、さまざまな素材を使って描いたり作ったり、作ったものを使って遊ぶ。
健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康に関心をもち、楽しい雰囲気の中で友達と一緒に食事をして、何でも食べる。 ・手洗いうがい、防寒着の始末などを自分から進んでやる。 ・体に異常のある時は自分から知らせる。 ・寒さに負けず、戸外で体を動かして元気に遊ぶ。 ・こま回しや縄跳びなど、自分なりに目的をもって取り組み、自分の力を発揮する。 										
人 間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・集団遊びなどをして遊ぶ中で、簡単なルールを作り遊びを進める。 ・友達と考えを出し合ったり、イメージを共有しながら遊びを進めたりする。 ・保育者や友達と一緒に遊びや生活の準備をしたり片づけたりする。 ・異年齢の友達とともに行事に参加してかわりを深める。 										
環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然に親しみ、霜柱、氷、雪などに触れて遊ぶ。 ・春を待つ植物の様子に気づいたり、見つけたりして、関心をもち、 ・節分などの季節の行事に参加して、行事にまつわる昔話などに興味をもち、 										
命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思っていることを保育者や友達に分かるように話したり、友達の話を親しみをもって聞いたりする。 ・遊びの中で、自分の気持ちや考えを伝える。 ・絵本や動画、視聴覚教材を使って、自分のイメージを動きや言葉で表現して遊ぶ。 										
豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことをごっこ遊びに取り入れて遊ぶ。 ・イメージを広げながら、さまざまな素材を使って描いたり作ったり、作ったものを使って遊ぶ。 										
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・風邪の予防や清潔への関心がもてるような絵やポスターを掲示する。 ・冬の健康的な生活習慣が身につけてきた様子を見守りながら、自分から進んでできるようになったことを誉めたり、クラスの友達に知らせたりして、自信がもてるようにする。 ・園庭や固定遊具の凍っている所などを点検し安全が保てるようにする。 ・友達と一緒に、遊具や用具の準備や片づけがしやすいように、収納スペースを設けておく。 ・保育者も進んで外で遊び、子どもを誘うようにする。また、さまざまな集団遊びやゲームなどを積極的に取り入れるようにして、友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさや、運動すると体が暖まることを知らせる。 ・一人一人の子どもの動きやつづがゆきから、それぞれの子どものイメージをしていることを受け止め、遊びの中で実現できるように保育者が仲立ちとなる。 ・それぞれの遊んでいる場が、交流し合えるよう環境づくりに配慮する。 ・年長児との交流ができる場の設定を考え、いろいろな遊びや生活、仕事などの引継ぎがスムーズに行われる機会がもてるようにする。 ・遊びや生活の中で、頑張っていることやできるようになったことを認め、クラスの友達に知らせることで自信につなげられるようにしたり、周りの子どもへの刺激になるようにしたりする。 ・お店やごっこでは、クラスや異年齢の友達とのやり取りが十分に楽しめるようにするとともに、必要に応じて、年下の子どもへの優しいかわりができるようにする。 ・節分の行事に向けて、鬼に関する絵本を用意しておく。 ・豆まきの由来をわかりやすく伝えるときに、「心の中にどんな鬼がいるかな？」と問いかけ、子どもが自分の内面をみつめる機会をつくる。 ・子どもの興味に応じて、冬から春への動物や植物の様子などの絵本や図鑑などを用意しておく。 ・子どもたちの冬の自然現象に気づいたことや驚きや発見をしっかり受け止めたり、友達に伝え合えたりできるようにする。 ・友達と同じ目的に向かって活動する中で、自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりして、互いのイメージが共有できるように仲立ちをする。 ・一人一人の子どもの話に耳を傾け、うまく言葉が出てこない子どもに対しては、言葉を引き出せるように言葉を添えたり、必要に応じて、思いを汲むように代弁したりする。 ・作ったり描いたりできるように場を設け、素材や用具を用意して、子どもの欲求に応じていつでも使えるようにしておく。 										
家 庭 と （小 地 域 学 校 等） の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣が身につけてきたことや成長したことを連絡し合う。 ・防寒具が多くなる季節なので、子どもが自分でジャンパーのファスナーの上げ下げや手袋の始末などができるように、保護者に扱いやすいように工夫してもらおうなどの協力をしてもらおうようにする。 ・戸外遊びが無理なく進められるように、個々の健康状態を知らせてもらう。 ・風邪やインフルエンザなどの発生状況や予防対策（手洗い、うがい、薄着の励行など）について、適宜、家庭にも周知する。 										

作業部会【5歳児】

柳 純恵（明星幼稚園 教頭）

金澤 真由美（西幼稚園 副主任）

政安 薫（倭文保育所 保育士）

小村 孝子（高倉ひかり保育園 主任）



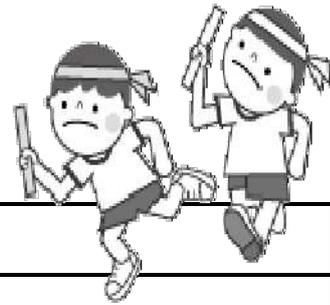
角野 夏代子（城東保育園 保育士）

福島 和美（しらゆり幼稚園 教諭）

内田 寿栄子（国分寺保育園 副主任）

廣野 雅子（大崎幼稚園 主任）

おもな発達の特徴 5 歳児



理念	保育内容（5領域）		おもな発達の特徴
健康な心と体	健康	身体・運動機能	<ul style="list-style-type: none"> ○巧みに体を動かして遊ぶ気持ちよさを感じる。 ○目的に向かって繰り返し挑戦したり、競い合ったり、負けを受け入れたりして、最後までやり遂げる。 <p style="text-align: center;">あきらめない 失敗は成功のもと</p>
		基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ○園生活に見通しをもって行動する。 ○自信をもち、自分たちで、状況判断をしながら、遊びや生活を進めていく。 ○自分の身の回りの事を自分から、進んで行く。
自信と信頼	人間関係	人とかかわる力 自立心 協同 規範意識など	<ul style="list-style-type: none"> ○友達のよいところや自分とは違う思いや考えを受け入れる。 ○よいことや悪いことを判断しながら、考えて行動する。 ○共通の目的に向かって、自分の役割を果たそうとしたり、友達と協力して進めようとする。 <p style="text-align: center;">よいこと悪いことの判断</p>
	命と自然	環境 好奇心 探究心 生活に取り入れる力など	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な動植物に興味関心をもち、命を大切に、友達と一緒に世話をしたり、いろいろな変化に気付いたりする。 ○好奇心や探究心をもち、自然物などにかかわり、性質・数・量の違いなどに気付き、興味関心を深める。 ○遊びや生活の中で文字や数字や時間に関心をもち、 <p style="text-align: center;">おもしろそう やってみよう</p>
豊かな情操と賢さ	言葉	話す力 聞く力 言葉で表現する力 など	<ul style="list-style-type: none"> ○人の話を注意して聞き、自分の考えや思いを相手にわかるように話す。 ○絵本などから想像することや言葉の面白さを知る。 ○身近にある文字や数字に関心をもち、読んだり書いたり使ったりする。 <p style="text-align: center;">最後まで、聞こう</p>
	表現	豊かな感性や表現力 想像力 描く 作る リズム など	<ul style="list-style-type: none"> ○経験したこと、感じたこと、考えたことを創意工夫して、いろいろな方法で表現する。

5歳児 4月

発達 この 主なもの 特徴		<ul style="list-style-type: none"> ・年長組になったことに期待や喜びを感じ、進んで新しい環境や担任とかかわったり、張り切って生活したりする子どもがいる。その反面、年長児としての気負いや緊張感が見られ、新しい生活に戸惑いを見せたり、不安そうな表情で生活したりする姿や、気持ちの高まりから落ち着いて生活しにくい姿を見せる子どももいる。また、不安な気持ちから保育者とのつながりを求めて、保育者と手をつないだり一緒に遊んだりすることで安心した表情を見せる子どもの姿も見られる。 ・戸外で活動することを好み、今まで園生活で経験している遊びを保育者や友達と一緒に楽しんだり、年長児として園庭や遊具を自由に使えることを喜んだり、思い切り遊べることを楽しんだりする姿が見られる。また、保育者が遊びに誘うなどして遊びのきっかけを作ると、今まであまり遊んだことのない場や友達とも遊び始める姿が見られる。 ・持ち物の始末や衣服の着脱など、身の回りのことは自分でできる子どもがほとんどであるが、遊びへの興味や身支度などのペースは、一人一人に違いが見られる。また、早く遊びたい気持ちから雑になってしまい、援助が必要な場面も見られる。 ・ほとんどの子どもは食事の仕方がわかり友達と楽しく食事をしているが、会話に夢中になり食事が進まなかったり、食事の仕方やマナーなどが身に付いていない子どももいる。 ・自分より年下の子どもが泣いていたら、頭をなでたり声をかけたりしてやさしくかかわろうとしたり、困っていたら手助けしたり進んで世話をしたりする姿が見られる。また、新入園児を迎える準備として、園庭の石や落ち葉拾いをしたり、「砂場の砂をフワフワにしてあげよう。」と相談したりして、年下の子どもが遊びやすくなるように、環境を整えてあげようという気持ちをもち、取り組む姿も見られる。その反面、どうやってかかわったら良いのか接し方がわからず、戸惑う姿や不安な様子を見せる子どももいる。 ・自分の興味のある遊びを見つけて取りかかる子どもや、自分の好きな遊びを楽しむ子どもが多い。また、友達がしている遊びに興味をわき、取り組んでみるが長続きしない子どもも見られる。また、遊びの中で思いがうまく伝わらず、トラブルになることもある。 ・園内外の草花を見たり摘んだり、花壇や畑でダンゴムシやミミズなどを見つれたり集めたりして楽しむ姿や、保育者や友達に見せたり一緒に観察したりして、気付いたことを教える姿などが見られる。
(教育・養育)		<ul style="list-style-type: none"> ・年長組になった喜びや自信をもって園生活を楽しむ。 ・新しい環境に慣れ、年長としての生活リズムを知り、身の回りの始末を進んでしようとする。 ・保育者や友達と気持ちのつながりを感じながら、自分の好きな遊びを楽しむ。 ・春の自然や身近な動植物に触れて遊び、興味や関心をもつ。 ・進んで戸外に出て、体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。 ・一人一人の思いを受け止め、楽しい雰囲気の中で安心して過ごせるようにする。
経験 させたい 内容	健康 な心と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の仕方がわかり、保育者や友達と一緒に楽しく食べようとする。 ・保育室や担任など新しい環境、生活の仕方がわかり慣れる。 ・自分から進んで、身支度や持ち物の始末など身の回りのことをする。 ・戸外でしっかり体を動かして、固定遊具・自転車(乗り物)ドッチボール・鬼ごっこなど年中(年少)組の時に親しんでいた遊びをして遊ぶ。 ・遊具や用具の正しい使い方を再確認し、安全に気を付けて遊ぶ。
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達に親しみをもちかかわる。 ・新入園児や異年齢児にやさしく声をかけたり世話をしようとしたりする。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な小動物(ダンゴムシ・チョウチョ・ミミズなど)や春の草花(タンポポ・チューリップ・パンジーなど)に触れて遊ぶ。 ・身近な遊具や用具に自分からかかわろうとする。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達にあいさつをし、親しみをもち。 ・保育者に自分の思っていることを伝えようとする。
	豊かな 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで親しんできた歌や春の歌を保育者や友達と一緒に歌う。 ・友達や異年齢児と触れ合いながら、知っている曲や簡単なリズムに合わせて体で表現する。
環境 構成と 援助		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者も一緒に食事をし、楽しく食事ができるような雰囲気づくりをする。また、一人一人の子どもの食事量や好き嫌いなどの個人差や食物アレルギーの状況をしっかり把握し、様子を見ながら対応していく。 ・年長組になって園庭や遊具を自由に使ったり、のびのびと遊んだりできることを喜びんでいる姿を受け止め、保育者も遊びの仲間に入り、戸外で一緒に体を動かして遊び、担任との親しみを深める。 ・新しい生活の場や遊具の使い方、生活の仕方などを子どもと共に確認し、年長児として決まりや約束を守って安全に行動できるように、場面をとらえて言葉をかけていく。また、遊具や用具の置き場所の表示や、片付けやすいように仕分けの表示をする。遊んだ場所を最後まで片付けられるように励ましたり、片付け忘れがないか確認したりして、片付けを意識させる。 ・自分の身の回りのことや身支度を自分でできるように時間を十分にとり、進んでしようとしている子どもの姿を認めていく。また、一人一人の子どもの生活する様子を見守り、慣れてきたことで雑になりがちな子どもには、必要に応じて言葉をかけたり手助けをし、自分でできたことをしっかり認め、自信につながるようにする。 ・保育者は一人一人の子どもの気持ちに寄り添うように心がけ、遊んでいる姿やそれぞれの子どもが感じている思いを温かく受け止めるようにする。特に、不安や緊張感を持っている子どもには、必要に応じてスキンシップをとりながら、安心感をもたせたり信頼関係を築けるようにしたりする。 ・新入園児や異年齢児にかかわったり世話をしたりする機会を設け、自分からかかわろうとする姿を認めていく。また保育者も一緒に触れ合いながら、簡単なリズム遊びや今まで親しんできた音楽に合わせて、新入園児や異年齢児と触れ合って遊べるようにする。 ・子ども一人一人が伸び伸びと安定した気持ちで遊べたり、保育者や友達と好きな遊びを十分に楽しんだりできるように、年中(年少)組の時に経験していた遊びを引き続き楽しめる遊びの場やゆとりのある時間を設定したり、必要な用具を準備したりする。 ・子ども同士がかかわって遊ぶ中で、思いがうまく伝わらずぶつかり合いになった場合は、保育者がそれぞれの子どもの思いを聞いたり汲み取ったりしながら仲立ちとなり、互いの気持ちのすれをつなぐかわりをする。 ・園内外の春の草花や小動物を見つれたり、遊びに取り入れられたり触れて遊んだりする機会を作り、子どものつづきやきや気付き、発見などに耳を傾け、受け止めたり共感したりしていく。また、捕まえた虫や小動物などを入れたり観察したりできるように、飼育ケースや容器などを準備しておき、子どもの興味や関心が高まるようにする。 ・前年度の年長児から引き継いだ動植物の世話を保育者も一緒に取り組みながら、自分たちが中心になってしていこうという気持ちをもって進められるようにする。 ・4月ならではの歌や今まで親しんできた歌を、保育者や友達と一緒に繰り返し歌いながら、楽しさを共有できるようにする。
(家庭・地域 との連携)	家庭・ 地域	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡ノート、掲示板などを利用し、一人一人の子どもが年長組になって張り切っている姿を具体的に丁寧に伝えたり、進級後の生活に不安を感じている保護者の気持ちを受け止めたりし、保護者との信頼関係を築いていく。 ・クラス便りや参観日、家庭訪問などで、年長児の1年間の見通しや就学に向けて身に付けておきたいことなどを伝え、保護者の理解と協力が得られるように努めていく。 ・小学校の先生と今年度の交流や連携について計画を確認する機会を作る。

5 歳児 5 月

発達 の 主 な 特 徴 こ ど も の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・連休明けは疲れが見られたり、落ち着きにくくなったりするが、少しずつ園生活のリズムを取り戻していき様子が見られる。また、年長組の生活に慣れてきたことで、緊張感や不安感が少なくなってきて、活発に遊ぶ姿が見られる。 ・友達と戸外遊びを楽しみ、簡単なルールのある遊び(ケイドロ、氷鬼、陣取り、だるまさんが転んだ)など、積極的に体を動かして遊んだり、繰り返し楽しんだりする姿が見られる。また、いろいろな遊びへ興味や関心をもち始め、自ら取り組もうとする姿やグループで考えを出し合い遊びを進めていこうとする姿も見られる。 ・クラスの雰囲気にも慣れ、気の合う友達が広がり、友達関係が徐々に深まったりしていく様子が見られる。また、きっかけがあると、今まではかかわりの少なかった子どもとも一緒に遊ぶようになる姿も見られる。その反面、遊びの中で自分のしたいこと、なりたいたい役などを譲れず自己主張したり、思いや考えのくい違いがあったり、遊具の取り合いをしたりしてトラブルになることもある。 ・アサガオやフウセンカズラなどの種まきをしたり、ミニトマトやピーマンなどの夏野菜を植えたりして、発芽や生長を楽しみに水やりなどの世話や当番活動を楽しめる様子が見られる。その中で、自分たちが今までの生活で経験したことには、自信をもって自ら取り組もうとする気持ちや、年下の子どもに教えてあげたいという気持ちで接する様子が見られる。 ・園外に散歩に出かけ、レンゲ畑の中で走り回ったり寝転んだりして、体全体で自然を感じながら過ごす体験や、レンゲの花を摘んだり、首飾りなどの飾りを作ったり、スズメノテッポウの草笛を作って鳴らしたりする体験を保育者や友達と楽しみ、春の自然の中で開放感を味わったり、心を動かされたりしている様子が見られる。 ・友達同士のかかわりの中で、嫌な気持ちになった経験や辛かった気持ちなど、子ども同士の力関係や友達への配慮などから、今までは保育者に伝えられなかったことが少しずつ言えるようになってくる子どもがいる。 	
	(ねらい) 教育 ・ ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・戸外で思いきり体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・友達と誘い合って生活したり遊びを進める中で、自分の思いや考えを伝え合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ・春から初夏への身近な自然の変化や、飼育栽培物の生長に気付き、興味や関心をもつ。 ・一人一人の思いや欲求を受け止め、安定した生活ができるようにする。 	
経験 させ たい 内容 健康 な 心 と 体 人間 関係 環境 命 と 自然 豊 か な 情 操 と 表 現	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と楽しく食事をする中で、食事の仕方がわかりマナーを守ろうとする。 ・戸外で友達と一緒に体を十分に動かして遊ぶ。 ・遊んだあとの片付けや、手洗い・うがい、汗の始末、衣服の着脱など、必要なことを自分で気付いている。 ・生活の流れや仕方がわかり、自分から進んでしようとする。 ・安全に気を付けて遊具や用具を使って遊ぶ。
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に生活や遊びを楽しむ中で、決まりやルールの大切さに気付き守ろうとする。 ・異年齢児の子どもと積極的にかかわり、世話をしたり一緒に遊んだりする。 ・自分の思いを保育者に伝えたり、保育者を仲立ちにして相手に伝えようとしたりする。 ・仲間と一緒に当番活動をやり遂げる。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・フープや一輪車などの遊具や用具に興味や関心をもち、扱い方を知って挑戦する。 ・砂や土、水などの感触を楽しみ、試したり工夫したりして遊ぶ。 ・種まきや苗植えなどを通して植物や夏野菜に興味をもち、生長の変化に気付く。 ・園外保育に出かけ、新緑の中でびのび体を動かして遊ぶ。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で自分の思いを言葉で伝えようとする。 ・経験したことを保育者や友達に伝えたり、友達の話の聞いたりする。 ・生活や遊びの中で、場面に応じて丁寧な言葉を使おうとする。 ・絵本や童話に親しみ、イメージを膨らませて楽しむ。
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に遊ぶ中で、同じようなイメージで遊んだり、イメージをふくらませたりして遊ぶ。 ・友達と一緒に歌をうたったり、リズムに合わせて体を動かす。 ・身近なさまざまな素材や廃材、用具を使って、友達と一緒に描いたり作ったりする。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日は、戸外遊びが充実するように、一日の流れを工夫する。また、いろいろな遊びに興味をもち、自分たちで選んで遊べるように、用具や遊具の場所を取り出しやすく設定しておく。 ・保育者も一緒に体を動かし、思い切り体を動かす楽しさを子どもと共感したり、いろいろな遊具に取り組もうとしている姿を励ましたり認めたりしながら、繰り返し挑戦できるようにする。 ・みんなで遊ぶ楽しさを味わえるように、ルールのある遊びを取り入れていく。また、遊びのルールが共通なルールとなるように、クラスや園全体で取り上げる機会を作り、ルールを守って遊ぶことが楽しいことに気付かせていく。 ・遊びの中で子ども同士の思いが伝わらずトラブルになった場合、保育者は一人一人の思いや考えを聞くようにし、しっかり受け止める。伝わらなかった思いは、保育者が仲立ちとなり伝える手助けをする。また、保育者や友達と言葉のやりとりをする上で、自分なりに気持ちを伝えようとする姿を認めていく。 ・ごっこ遊びに必要な物を自分たちで作れるように、身近な廃材や紙などを用意しておく。また、イメージしたものが作れるように子どもと一緒に材料などを考えるようにする。 ・年長児として行う当番活動など、手順や方法などを知らせたり確認したりしながら保育者も一緒に行い、少しずつ子ども連で進められるようにする。 ・苗植えや種まきに必要な土、スコップ、ジョウロ、ネームプレートなどの用具を準備しておく。毎日の水やりを通して、気付いた変化を知らせ合い、生長の喜びを感じられるようにする。また、生長や特徴に気付けるように、絵本や図鑑などを目に見える場所に出しておく。 ・園外保育を計画し、新緑の中で自然と触れ合って遊べる時間をもつ。 	
(家庭・ 小学校等との 連携)	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外での遊びが活発になるため、調節しやすい衣服や着替えを多めに準備してもらおう。 ・クラスだよりや掲示板などで、野菜の苗植えの様子や子どもの気付きなどを伝え、家庭でも話題にしようとお願ひする。 ・園外保育に出かけ、出会う地域の方へあいさつを促す。 ・可能な限り小学校の施設を利用させてもらい、小学生と交流をもつきっかけを作る。 	

5 歳児 6 月

発達 の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事は自分で出来るが、自分の持ち物の整理が出来にくかったり、トイレのスリッパが乱雑になるなど、遊びたい気持ちが強く、生活面において雑な行動が見られる。 ・砂、土、水などの自然物やいろいろな素材を使って、自分の満足いくまで試したり工夫したりしながら遊びのめりこんでいく。「ここに水ためよう。」「水汲んできて。」など遊びながら友達とイメージが繋がったり膨らんだりしていく。そして、「壊さないで。」「明日まで残しときたい。」など次の日に遊びを継続していこうとする満足感が感じられてくる。 ・鬼ごっこやリレーなどルールのある遊びの楽しさがわかり、「次は最後までつかまらないぞ!」「今度は勝ちたい!」など友達と一緒に繰り返し体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。 ・ウサギやカメの世話、栽培物への水やり、給食の配ぜん、台拭き、おやつなどの当番活動をグループの友達と進んでできるようになる。当番の仕方がわかり、自分たちでできるという意識が高まり自覚も出てくる。「次の当番は」と楽しみに待ち、子どもたちでできる仕事を果たそうとする。 ・気の合う友達と言葉を交わし、自分たちで遊びを進めようとするが、「ぼくは～したいのに、全然言うこと聞いてくれない。」「勝手に自分ばかりする。」など、遊びに対する考えが違ったり、自分の思いは伝えられるが相手の思いに気付かなかったりして、トラブルになることがある。自分の気持ちを伝えにくい子どももいる。 ・ザリガニ、カメ、ミミズ、ダンゴ虫など家庭から見つけたものを持ってきたり、園内で見つけたりして、小動物を見たり触れたりする機会が多くなる。子どもによって興味や関心に差がある様子も見られるが、園で飼育することにより、今まで触ったことがなかったり、触れなかったりした子どもが、触れた経験をして喜びを感じたり、飼育の仕方や餌は何を食べるか調べ、生態や科学的な発見をしたりする姿が見られる。また、大切に飼育しようとするが、触りすぎたり世話が十分行き届いていなかったりして、死に出会う経験をすることもある。 ・夏野菜の世話をしながら、トマトに花が咲いたり青い小さな実がついたりするなど、日々の小さな変化に関心をもって見たり、カボチャの花の下に実がつくなど、新たな発見を保育者や友達と伝え合ったりして、生長を喜び収穫を楽しみにして待つ姿が見られる。 ・いろいろな素材を使って、自分なりにイメージしたものを作ろうとするが、うまく作れず壊れたり直したりを繰り返しながら、出来たものに満足して遊ぶ姿が見られる。 	
	(ねらい) 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士、思いや考えを出し合いながら、友達と一緒に繰り返し遊び楽しさを味わう。 ・梅雨期の自然や動植物に興味や関心をもち、世話をしたり観察したりして感性を豊かにする。(命の大切さ) ・梅雨期を健康や安全に留意し、快適に過ごせるようにする。
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・食物への関心をもち、体と食事の関係について知る。 ・食事の仕方を知り、友達と一緒に楽しんで食事をする。 ・排泄後の始末(トイレトペーパーの使い方、衣服の身支度、手洗い、スリッパを揃える)を最後まで丁寧にする。 ・虫歯予防デーに関心をもち、歯磨きの仕方を知り、自分の歯を大切にしようとする。 ・体や身の回りを清潔にすることの大切さがわかり、進んでしようとする。 ・砂、土、水遊びの楽しさを感じながら、ダイナミックに体を動かして遊ぶ。
	人 間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・当番の仲間と誘い合ったり助け合ったり教え合ったりして、当番の仕事をやり遂げる満足感を味わう。 ・友達と一緒に遊ぶ中で、イメージを膨らませたり相談したりしながら、遊びを進めていく。 ・鬼ごっこやリレーなどの遊びを友達と一緒に繰り返し、ルールを守って遊ぶ。
	自 信 と 信 頼	<ul style="list-style-type: none"> ・オタマジャクシやザリガニなど小動物に触れ、命を大切にすることを覚える。 ・夏野菜の生長や変化に気付き、収穫に期待しながら進んで世話をする。 ・身近な素材や材料を使って、いろいろと試したり工夫したりして遊ぶ。 ・時の記念日にちなみ、時計のしくみや時刻、時間に興味や関心をもち、シャボン玉や色水遊びを通して、美しさや不思議さに興味をもつ。 ・梅雨期の自然現象に触れ、発見を楽しみ、遊びに取り入れる。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな遊びを通して、友達に自分の思いが伝わる嬉しさや、自分とは違う友達の気持ちに気付く。 ・自分の思いを話したり、友達の思いを聞いたりする中で、言葉で伝え合う。 ・生活や遊びの中で、時間に興味をもち、意識して行動しようとする。 ・当番活動を通して、みんなの前で発表したり友達の意見を聞いたりする。 ・お話の世界に親しみ、想像する楽しさを味わう。
	豊 か な 情 操 と 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりのイメージをもち、なりきって遊んだり、そのものらしく作り、使って遊んだりする。 ・曲に合わせて歌ったり、踊ったり、楽器を鳴らしたりなどの表現を楽しむ。 ・いろいろな素材を使い、描いたり作ったりする楽しさを味わう。 ・お父さんに感謝の気持ちを伝えるため、手紙や絵で気持ちを表現する。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨期の室内での遊びの環境を見直し、保育室を広くし、子どもの興味関心を考慮し、落ち着いて遊べる場や体を動かして遊べる場を工夫して用意する。 ・子どもと一緒に生活習慣の見直しをし、その必要性について子どもたちと話し合う機会を作り、自分から進んで行えるようにする。そして、できた時にはしっかり誉める。 ・ルールのある遊びやごっこ遊びなどに誘ったり保育者も遊びに加わったりして、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わわせていく。 ・遊びの中でトラブルが起きた時には、子ども一人一人の思いをしっかり受け止めながら、必要に応じて保育者が仲立ちとなり、伝え方や言い方を知らせたり、自分の思い通りにならないことやいろいろな考えがあることに気付けるよう、葛藤している姿を見守り気持ちの安定を図れるように励まし、必要に応じて仲立ちとし、子ども同士で解決していけるようにする。 ・遊びに必要な材料や用具を用意したり、子どもたちのイメージに合った材料と一緒に探したりして、自分たちのやりたい遊びが実現できるようにする。また、子どもたちが作ったもので継続して遊べるような場の設定をしていく。 ・飼育物の観察や世話がしやすいようによく見える場所にコーナーを作り、図鑑や虫眼鏡を用意し、自分たちで調べたり、気づいたりできるようにする。 ・夏野菜の水やり、草抜きをグループごとに行い、全員が楽しく生育過程を観察し、栽培物への愛情を育めるようにする。そのために、子どもの小さな発見にも耳を傾け、共感していく。 ・そのための発想や表現を認め、友達と一緒にイメージを膨らませていく楽しさを味わえるようにする。 	
(家庭・地域との連携) 小学校等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士の歯磨き指導を受けたり、歯磨きカレンダーなどを活用したりして、家庭へも働きかけ歯磨きが習慣付くようにする。 ・プール遊びの用意や感染症や病気の治療などについて早めに家庭に知らせ、健康管理に留意してもらおう。 ・梅雨期の天候を考慮し、登降園時の交通面に注意を呼び掛ける。 ・梅雨期を安全に快適に過ごせるように、安全な食生活、衛生な生活の管理など、具体的に園での取り組みや配慮点を保護者に伝えながら、家庭でも意識をもって子どもと共に梅雨期の生活の仕方について考えてもらうようにする。 ・友達との遊びの中で、子どもたちが学んでいること、葛藤体験の必要性などを、懇談会や園だより、降園時の連絡などで伝えていくとともに、必要なことは気軽に園に相談できるような雰囲気を作っていく。 ・飼育や栽培について家庭でも関心をもってもらえるように、園での取り組みを具体的に知らせる。 ・園周辺の田んぼの様子を見せてもらい、稲の生長や小動物探しなど、地域の方や自然と触れ合い機会をもつ。 	

5 歳児 7 月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水着に着替えたり、汗をかいて着替えたりする機会が多くなるが、遊びたい気持ちが先になり、乱雑になる子どももいる。 ・「キュウリがいっぱいなってる。」「ナスが長くなった。」など夏野菜の生長や変化に気付き、保育者や友達に伝えようとしたり、たくさん収穫できたことを喜んだりするようになる。また収穫した野菜をどうやって食べるか相談したり、みんなで会食したりすることで、「自分の育てた野菜はおいしい。」と何度もおかわりしたり、野菜が苦手な子どもも友達が食べる様子を見て自分も食べようとし、食べれたことで自信をつけたりするようになる。 ・知的好奇心が旺盛になり、いろいろと試しながら意欲的に継続して遊ぶ。「スピードの出る船は、ゴムをしっかりとまいたらいよいよ」「大きなシャボン玉はこうやったらうまくできるよ」など友達と教え合ったり助け合ったりしながら、自分の興味をもったことを深く追求して遊ぶようになる。また、自分のしたいことに打ち込みながらも、友達のしていることにも関心をもち、自分の遊びに取り入れたいりする。今までの友達関係より少し広がりを見せる。 ・「今日プールできる?」と水遊びやプール遊びなどを楽しみにしている子どもがほとんどである。水を使ってダイナミックに遊び、気分が開放的になり、行動も活発になる。友達の泳ぐ姿に刺激を受け、「先生、手を引っぱってほしい。」「数を数えて。」「やってみるから、見よってよ。」と自分なりに目的をもって挑戦したり、「トンネルくぐれた」「顔つけができた」とできたことに喜びや自信を持つようになる。水に抵抗のある子どもも回数を重ねることに少しずつ慣れ、挑戦してみようとする姿が見られるようになる。 ・「誰とお風呂に入る?」「誰と寝る?」とお泊まり保育の話題が子ども同士の間で話題になってくる。また、「お化け屋敷がしたいなあ。」「怖いからやりたくないなあ。」などと、お泊まり保育であることをみんなで相談して計画しようとする。中には、泊まることに不安を感じている子どもも見られる。 ・夏の遊びが盛んで、色水やシャボン玉、水鉄砲など水を使った遊びが多くなる。水鉄砲では、「シャボン玉が撃てた」と動くものを撃つことを楽しんだり、「水がたくさん入っていたら倒れん」「スポンジは濡れたら重くなるなあ」など水量や水鉄砲を撃つ強さを調節しながら倒れるようにしたり工夫したりしながら遊びを展開させている。 ・七夕のお話を聞いたり、笹飾りを作ったりしながら、「流れ星みたいなあ」と夜空や星に関心をもちたり、短冊に願い事を含め、情緒的な雰囲気味わったりして、古くから伝わる伝統行事を経験する。 ・「なんでそっちはっかりするん、こっちは大変だから手伝ってや。」などと互いに思いが上手く伝わらず、トラブルになる時もあるが、「あっそうか。わかった!」と友達の思いに自分の気持ちを向けようとし始めたり気付いたりするようになり、自分たちの力で遊びを進めていこうとする姿が見られる。 										
<p>ねらい (教育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏ならではの遊びや行事に意欲的に取り組み、友達と一緒に遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・夏の自然現象や動植物の変化などに興味や関心をもち、遊びや生活に取り入れる。 ・夏の生活の仕方に留意し、快適に過ごせるようにする。 										
<p>経験 させ たい 内 容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="272 857 312 981">健康な心と体</td> <td data-bbox="312 857 1375 981"> <ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜の収穫を喜び、食べることの喜びや楽しさに気づく。 ・水遊びを通して開放感を味わい、思いっきり体を動かして遊ぶ。 ・安全に気をつけ、約束を守って水遊びを楽しむ。 ・進んで水分補給をしたり、十分な休息をとり、暑い季節を快適に過ごす。 ・汗の始末や衣類の調節など、身の回りのことに自分で気付き、清潔にする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 981 312 1137">人間関係</td> <td data-bbox="312 981 1375 1137"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のしていることに興味をもち、自分なりに試したり挑戦しようとしたりする。 ・友達と教え合ったり助け合ったりしながら、一緒に遊びを進めていく。 ・自分なりに目標を持ってプール遊びを楽しみ、繰り返し挑戦する気持ちをもつ。 ・お泊まり保育を通して、友達や保育者との触れ合いを楽しみ、仲間関係をを深める。 ・夏祭りや夕涼み会などの行事を通して、いろいろな人々とかかわる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1137 312 1261">環境</td> <td data-bbox="312 1137 1375 1261"> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材の特質に気付いたり発見したりする。 ・星や宇宙、梅雨明けや雪などの気象の変化に関心をもち、自然や科学への興味を広げる。 ・夏祭りや七夕などの伝統的な行事に関心をもちたり、触れたりする。 ・生活や遊びの中で、数量や形に関心をもち。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1261 312 1384">命と自然</td> <td data-bbox="312 1261 1375 1384"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気付いたことや疑問に思ったことを友達と伝え合い、相手の思いを受け入れようとする。 ・夏ならではの経験を保育者や友達に話して、会話を楽しむ。 ・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞いたり想像したりする楽しさを味わう。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1384 312 1453">豊かな表現</td> <td data-bbox="312 1384 1375 1453"> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材や材料や用具を使い、試したり工夫して作ったり、作ったもので遊んだりする。 ・遊びの中で自分のイメージを表現したり、友達のイメージを受け止めたりしながら遊ぶ。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜の収穫を喜び、食べることの喜びや楽しさに気づく。 ・水遊びを通して開放感を味わい、思いっきり体を動かして遊ぶ。 ・安全に気をつけ、約束を守って水遊びを楽しむ。 ・進んで水分補給をしたり、十分な休息をとり、暑い季節を快適に過ごす。 ・汗の始末や衣類の調節など、身の回りのことに自分で気付き、清潔にする。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のしていることに興味をもち、自分なりに試したり挑戦しようとしたりする。 ・友達と教え合ったり助け合ったりしながら、一緒に遊びを進めていく。 ・自分なりに目標を持ってプール遊びを楽しみ、繰り返し挑戦する気持ちをもつ。 ・お泊まり保育を通して、友達や保育者との触れ合いを楽しみ、仲間関係をを深める。 ・夏祭りや夕涼み会などの行事を通して、いろいろな人々とかかわる。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材の特質に気付いたり発見したりする。 ・星や宇宙、梅雨明けや雪などの気象の変化に関心をもち、自然や科学への興味を広げる。 ・夏祭りや七夕などの伝統的な行事に関心をもちたり、触れたりする。 ・生活や遊びの中で、数量や形に関心をもち。 	命と自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気付いたことや疑問に思ったことを友達と伝え合い、相手の思いを受け入れようとする。 ・夏ならではの経験を保育者や友達に話して、会話を楽しむ。 ・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞いたり想像したりする楽しさを味わう。 	豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材や材料や用具を使い、試したり工夫して作ったり、作ったもので遊んだりする。 ・遊びの中で自分のイメージを表現したり、友達のイメージを受け止めたりしながら遊ぶ。
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜の収穫を喜び、食べることの喜びや楽しさに気づく。 ・水遊びを通して開放感を味わい、思いっきり体を動かして遊ぶ。 ・安全に気をつけ、約束を守って水遊びを楽しむ。 ・進んで水分補給をしたり、十分な休息をとり、暑い季節を快適に過ごす。 ・汗の始末や衣類の調節など、身の回りのことに自分で気付き、清潔にする。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のしていることに興味をもち、自分なりに試したり挑戦しようとしたりする。 ・友達と教え合ったり助け合ったりしながら、一緒に遊びを進めていく。 ・自分なりに目標を持ってプール遊びを楽しみ、繰り返し挑戦する気持ちをもつ。 ・お泊まり保育を通して、友達や保育者との触れ合いを楽しみ、仲間関係をを深める。 ・夏祭りや夕涼み会などの行事を通して、いろいろな人々とかかわる。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材の特質に気付いたり発見したりする。 ・星や宇宙、梅雨明けや雪などの気象の変化に関心をもち、自然や科学への興味を広げる。 ・夏祭りや七夕などの伝統的な行事に関心をもちたり、触れたりする。 ・生活や遊びの中で、数量や形に関心をもち。 										
命と自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気付いたことや疑問に思ったことを友達と伝え合い、相手の思いを受け入れようとする。 ・夏ならではの経験を保育者や友達に話して、会話を楽しむ。 ・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞いたり想像したりする楽しさを味わう。 										
豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材や材料や用具を使い、試したり工夫して作ったり、作ったもので遊んだりする。 ・遊びの中で自分のイメージを表現したり、友達のイメージを受け止めたりしながら遊ぶ。 										
<p>環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが育てた野菜を話題にし、親しみを持ってかわったりみんなで味わう楽しさが感じられたりできるようにする。 ・汗をかいたときはタオルで拭いたり着替えをしたりすることを繰り返し知らせ、援助をしながら習慣となるようにする。 ・夏の戸外遊びでは、時間や場所に留意し、木陰の利用や水分補給、休息がとれるように配慮するなど、夏の健康な過ごし方や安全に遊ぶための約束を子どもと一緒に話し合い、気付かせ、自分から進んでできるようにする。 ・友達が試したり工夫したりして遊んでいることを紹介し、刺激となって意欲的に挑戦してみようとしたり、遊びや友達関係が広がったりするように働きかける。 ・プールの遊びは、水に慣れることから段階的に自分の目標が明確になるようにし、プール遊びに意欲的に取り組めるようにすると共に、ルールを守ることの大切さに気付かせるようにする。 ・お泊まり保育の流れや場所を、写真やパンフレット、絵や表を使い、兄弟や昨年の年長児の様子を知らせることで、安心して参加できるようにする。 ・いろいろな遊びをする中で、数量や図形などに関心をもち試して遊べるように、教材を用意する。 ・宇宙に関する本や写真を用意し、星や宇宙などに興味広がったり、好奇心が膨らんだりできるようにする。 ・七夕の由来や笹飾りの意味を知らせ、昔ながらの伝統行事に関心がもてるようにする。 ・生活や遊びの中で、自分の思いや考えを受け入れてもらえる嬉しさに共感したり、友達のよさを認め合うかわり認めたりする。 										
<p>家 庭 (小・地 域 等) の 連 携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・汗をかきやすい時期なので、着替えを多めに準備してもらおう。 ・暑さで体調を崩しがちなので、睡眠と栄養をしっかり取るなど健康面でのアドバイスを保護者に知らせていく。 ・便りなどで、夏に多い感染症について知らせ、予防や早めの治療を促す。 ・安全にプール遊びができるように、健康状態をカードなどで連絡を密にする。また、家庭でもプールの支度を自分でできるように伝え、自分でしようとする意欲を育てていく大切さを知らせる。 ・お泊まり保育前後は、保護者と子どもの様子を詳しく伝え合い、安心感を与えたり、子どもたちの成長を共に喜んだりする。 ・地域で行われている夏祭りや夕涼み会などの行事やイベントの情報を知らせ、夏ならではの体験を地域の方と楽しめるようにする。 										

5 歳児 8 月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 暑さで体調を崩し、食欲が落ちている子どももいる。 プール遊びが活発になり、水しぶきを上げながら、ほとんどの子どもが顔付けや泳げるようになり自信をつける。日焼けをしながら、夏ならではの遊びを楽しみ、泳げる子どもが増えてくる。 異年齢児と一緒に生活する中で、「わたしが～してあげる。」「トントンして寝かせてあげたい。」と食事の配膳や着替え、布団ひきなどの手伝いを進んだり、遊びを教えてあげたりしてかわる機会が増える。 夏季休業中の預かり保育では、これまであまりかわりのなかった友達と遊ぶ姿が見られる。 プール遊びが中心となるが、日中は暑いので、ごっこ遊びや廃材を使った遊びをしたり絵本を見たり聞いたりしながら、ゆったりとした時間を過ごす。 スイカ、カボチャ、マクワウリなどの新たな野菜の収穫を喜ぶが、キュウリやトマトは収穫が終わりになり、子どもと一緒に苗やつるを片付けるようになる。また、オクラなどはスタンプ遊びなどに取り入れて遊ぶ姿が見られる。 アサガオやホウセンカなどの花に水やりをしながら、「種がでしよう。」「茶色くなってきた。」と種ができる様子を気付いてくる。 バッタやコオロギ、セミなどを網で捕まえて遊ぶようになる。「朝1番に行ったらあの木にクワガタがある。」と虫を捕まえることを楽しみにしたり、セミの抜け殻や穴を見つけることを楽しんだりする姿が見られる。 急に空が暗くなり雷が鳴ったり夕立が見られたりする変化に怖がりたり驚いたりする。また、朝夕が少しずつ涼しくなり「朝寒かったなあ」と季節の変化や秋の訪れを感じてくる。 「お涼み会に行ったんで。」「水族館に行ってきたよ。」など休み中に出かけたり地域の行事に参加したりしたことを保育者や友達に伝えたり、かき水屋さんごっこをしたり魚の絵を描いたり作ったりして、経験したことを遊びに取り入れられる姿が見られる。 夏季休業中の子どももあり、園開放を利用して水遊びなどをしに来る子どもも見られる。 										
<p>(ねらい 教育・ 養護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に夏の遊びを存分に楽しみ、工夫したり試したりする楽しさを味わう。 夏野菜の収穫を喜び、みんなで食べる楽しさを味わう。 ゆったりとした環境を整え、見通しをもって暑い夏を健康に過ごせるようにする。 										
<p>経験 させ たい 内 容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="255 757 319 880"> <p>健康 な 心 と 体</p> </td> <td data-bbox="319 757 1332 880"> <ul style="list-style-type: none"> 夏野菜の収穫を通して、食事の大切さを知る。 自分から進んで水分を取ったり、汗の始末をしたりする。 活発に遊んだ後は十分に休息や午睡をとる。 涼しい場所を見つけて友達と遊ぶ。 プール遊びや水遊びを全身で十分に楽しむ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 880 319 1003"> <p>人 間 関 係</p> </td> <td data-bbox="319 880 1332 1003"> <ul style="list-style-type: none"> 異年齢の友達とかかわり、優しさやいたわりの気持ちをもつ。 友達に刺激を受け、自分なりに目標をもち挑戦する。 自分の目標に向かって挑戦し、達成した時の喜びを味わう。 友達といろいろな考えや思いを伝え合い、遊びを進めていく。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1003 319 1126"> <p>環 境</p> </td> <td data-bbox="319 1003 1332 1126"> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材を使い、試したり工夫したりする。 夏野菜の色や形、数量に気付き、興味や関心を深める。 小動物や昆虫などの世話を通して親しみをもち、生長や変化を喜んで命の大切さを知ったりする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1126 319 1249"> <p>命 と 自 然</p> </td> <td data-bbox="319 1126 1332 1249"> <ul style="list-style-type: none"> 夏ならではの経験したことなどを保育者や友達に言葉で伝える。 夏の自然現象に興味をもち、気付いたことや不思議に思ったことを言葉で伝える。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1249 319 1361"> <p>豊 か な 情 操 と</p> </td> <td data-bbox="319 1249 1332 1361"> <ul style="list-style-type: none"> 夏祭りなど自分の経験したことを思い出しながら、友達と一緒にアイデアを出し合い再現して遊ぶ。 遊びに必要な物を友達と一緒に考え、工夫したり協力したりして作る。 歌やリズムに合わせて、体操をしたり踊ったりする。 </td> </tr> </table>	<p>健康 な 心 と 体</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜の収穫を通して、食事の大切さを知る。 自分から進んで水分を取ったり、汗の始末をしたりする。 活発に遊んだ後は十分に休息や午睡をとる。 涼しい場所を見つけて友達と遊ぶ。 プール遊びや水遊びを全身で十分に楽しむ。 	<p>人 間 関 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢の友達とかかわり、優しさやいたわりの気持ちをもつ。 友達に刺激を受け、自分なりに目標をもち挑戦する。 自分の目標に向かって挑戦し、達成した時の喜びを味わう。 友達といろいろな考えや思いを伝え合い、遊びを進めていく。 	<p>環 境</p>	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材を使い、試したり工夫したりする。 夏野菜の色や形、数量に気付き、興味や関心を深める。 小動物や昆虫などの世話を通して親しみをもち、生長や変化を喜んで命の大切さを知ったりする。 	<p>命 と 自 然</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏ならではの経験したことなどを保育者や友達に言葉で伝える。 夏の自然現象に興味をもち、気付いたことや不思議に思ったことを言葉で伝える。 	<p>豊 か な 情 操 と</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏祭りなど自分の経験したことを思い出しながら、友達と一緒にアイデアを出し合い再現して遊ぶ。 遊びに必要な物を友達と一緒に考え、工夫したり協力したりして作る。 歌やリズムに合わせて、体操をしたり踊ったりする。
<p>健康 な 心 と 体</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜の収穫を通して、食事の大切さを知る。 自分から進んで水分を取ったり、汗の始末をしたりする。 活発に遊んだ後は十分に休息や午睡をとる。 涼しい場所を見つけて友達と遊ぶ。 プール遊びや水遊びを全身で十分に楽しむ。 										
<p>人 間 関 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢の友達とかかわり、優しさやいたわりの気持ちをもつ。 友達に刺激を受け、自分なりに目標をもち挑戦する。 自分の目標に向かって挑戦し、達成した時の喜びを味わう。 友達といろいろな考えや思いを伝え合い、遊びを進めていく。 										
<p>環 境</p>	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材を使い、試したり工夫したりする。 夏野菜の色や形、数量に気付き、興味や関心を深める。 小動物や昆虫などの世話を通して親しみをもち、生長や変化を喜んで命の大切さを知ったりする。 										
<p>命 と 自 然</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏ならではの経験したことなどを保育者や友達に言葉で伝える。 夏の自然現象に興味をもち、気付いたことや不思議に思ったことを言葉で伝える。 										
<p>豊 か な 情 操 と</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏祭りなど自分の経験したことを思い出しながら、友達と一緒にアイデアを出し合い再現して遊ぶ。 遊びに必要な物を友達と一緒に考え、工夫したり協力したりして作る。 歌やリズムに合わせて、体操をしたり踊ったりする。 										
<p>環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで世話をした夏野菜の収穫をし、食べる経験をする中で、食の大切さを考える機会を作っていく。 テントやよしずなどで日陰を作り、涼しい環境で楽しく遊べるようにする。 汗をかいたらハンカチで拭いたり、着替えたりして、さっぱりとした気持ちを味わわせる。 遊んだ後は体調を確認し、十分に休息を取り、生活リズムを整えていく。 水遊びやプールで安全に遊べるように、水温、水質、水位などの管理をする。 異年齢児の世話を一緒に遊ばせている姿を認め、年長児としての自信につなげていく。 登園児が少ない日には、保育者同士で連絡を取り合い、これまでかかわりの少なかったクラスの友達や異年齢児と好きな遊びを楽しみながら、友達のよさに気付いたりかわったりできるようにする。 自分なりの目標に向かって頑張っている姿やできるようになった時などに、機会をとらえて褒めたり、友達にも知らせと一緒に喜んでいながら、達成感を味わわせて自信につなげていく。 飼育している小動物や昆虫などが育つ場所や生長の変化や命があることに気付くよう、保育者も一緒に世話をし、丁寧にかかわっていく。 虫とりが得意な子どもに居場所や採取方法を教えてもらい、友達や保育者も加わり、友達と一緒に虫取りを楽しませるようにする。 雲や夕立、にじなど夏の自然現象は機会を逃さず捉え、子どもの驚きや疑問に共感し一緒に調べながら、自然の不思議さに興味や関心をもち、育てるようにしていく。 友達と試したり考えたりして、話し合っている過程を大切にじっくりと見守り、イメージしたことが実現できたり、工夫したり試したりして楽しめたりできるような素材や用具を準備する。 家庭や地域で経験したことをじっくり聞き、共感したりまわりの子どもに伝えたりする。 										
<p>(小 学 校 等 と の 連 携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 暑さで体調を崩しがちなので、睡眠と栄養をしっかりと、規則正しい生活を送ることの大切さを保護者に伝える。 また、健康カードなどを利用して、一人一人の健康状態を把握できるようにする。 地域の子どもへの施設開放、ボランティアの受け入れなどをして、地域の人との交流を広げていく。 地域で行われている行事の情報を知らせ、夏ならではの体験を親子で楽しめるようにする。 水の事故や火災の扱いなど家庭でも話し合い、十分気をつけるように促す。 夏季休業中に園開放日を計画することで、子どもの遊び場の提供や親子の触れ合いの機会となるようにする。 										

<p>発達 こども の 主な 特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏の疲れから体調を崩す子どもや食欲が減退する子どもがいる。 夏休みが終わり、久しぶりに友達と会ったり遊んだりできることを喜び姿が見られるが、久しぶりの園生活で、持ち物の始末や生活のリズムを取り戻すのに時間がかかる子どもがいる。(幼) 汗をかくと自分から汗を拭いたり着替えをしたりして始末をしようとする姿や、水分補給も自分からしようとする姿が見られる。反面、声をかけなければ水分をとろうとしない子どももいる。 水遊びやプール遊びなど、夏の開放的な遊びを経験したことで自信がつき、自分で繰り返し楽しんだり友達を誘ったりして積極的に遊ぶ子どもが多い。何をして遊ぶか自分で見つけられなかったり、遊びが長続きしなかったりする子どもも見られる。 今までの経験から「運動会」を意識し、「リレーがしたい」という気持ちで仲間を集めたり、必要な道具や用具を準備しようとする姿が見られる。その中で、挑戦意欲が芽生え、友達と競うことを楽しんだり、グループやチームで作戦会議をしたり力を合わせたりして、同じ目標に向けて取り組む姿が見られるようになってくる。互いに競い合うことを楽しむ姿が見られる。また、鉄棒や跳び箱などの運動的な遊びにも興味をもち、苦手なことにも繰り返し挑戦しようとする子どもの姿も見られる。運動会が近づいてくることが嬉しくて、興奮したり調子に乗りやすくなる子どももいる。 運動会に向けての取り組みの中で、使った道具や用具などの片付けをしよう自分から倉庫や保育室などに持って行こうとする姿や、友達と一緒に運ぼうとする姿などが見られるようになる。 園庭にいる昆虫に興味が高まり、友達と一緒にバツヤカマキリなどの虫を探したり捕まえたりし、見たり触れたり遊んだりすることを楽しんでいる姿が見られる。また、飼育ケースに入れて様子を観察したり世話をしたり、図鑑や絵本などで昆虫の名前を調べたりする子どももいる。 夏に経験した出来事や楽しかったことなどを保育者や友達に話そうとする姿が見られる。また、語彙が豊かになり、相手に伝わりやすいように話そうとする子どももいる。 友達と一緒に運動会や季節の歌を元気づけたり、リズムや曲に合わせて楽しんで表現したり、喜んで楽器を演奏したりしている。 運動会に身に付ける物や遊びに必要な物を自分なりに工夫しながら作り、それらを使ったり身に付けたりして喜んで遊ぶ姿が見られる。 										
<p>(ねらい 教育) ・</p>	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな運動遊びに繰り返し挑戦し、満足感や充実感を味わう。 共通の目標に向かってそれぞれの考えを出し合い、友達と協力しながら意欲的に活動に取り組み、仲間意識を深める。 身近な昆虫に関心をもち、捕まえたり観察したり飼育したりしながら命の大切さに気付く。 気温の変化に応じて環境を整え、一人一人の子どもが進んで健康で安全な生活が送れるようにする。 										
<p>経験 させ たい 内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="263 728 319 884">健康な心と体</td> <td data-bbox="319 728 1428 884"> <ul style="list-style-type: none"> 食べ物と健康な体の関係に興味をもち、 いろいろな運動に興味を持ち、さまざまな体の動きを楽しむ。 友達と一緒にルールを守って、カー杯体を動かしたり競い合ったりする。 自分なりのめあてをもち、繰り返し取り組む。 友達と共通の目的をもち、相談しながら遊ぶ。 健康に過ごすために、日陰で遊ぶことや水分をこまめにとることの大切さに気付き自分で行う。 さまざまな運動用具や遊具を安全に使う。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 884 319 1030">人間関係</td> <td data-bbox="319 884 1428 1030"> <ul style="list-style-type: none"> 友達と頑張っている姿を認め合ったり、励まし合ったり、喜び合ったりする。 友達と気持ちを合わせて運動遊びに取り組み、一緒に力を出したり応援したりする。 遊びの中で、勝ったり負けたりする経験や友達と協力してやり遂げる気持ちをもつ。 遊びの楽しさがわかり、保育者や友達と一緒にルールを作ったり遊んだり遊ぶ。 友達と一緒に達成した喜びを言葉や動きで伝え合い、気持ちを分かち合う。 異年齢児とかかわり、思いやりの気持ちをもちながら世話をしたり一緒に遊んだりする。 祖父母への親しみや感謝の気持ちをもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 1030 319 1131">環境</td> <td data-bbox="319 1030 1428 1131"> <ul style="list-style-type: none"> 朝の涼しさや雲の形、身近な田や畑の変化などに気付き、まわりの自然に興味や関心をもち、 マリーゴールドやサルビアなどの自然物を遊びに取り入れる。 アサガオ、フウセンカズラ、ルコウソウなどの種取りをし、集めたり比べたり観察したりする。 身近な昆虫に興味をもち、見たり触れたり図鑑で調べたり、命の大切さを考えたりする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 1131 319 1209">命と自然</td> <td data-bbox="319 1131 1428 1209"> <ul style="list-style-type: none"> 運動会の取り組みの中で、友達や異年齢児の姿を認め、言葉で伝え合う。 保育者や友達の話に注意して聞いたり、相手に分かるように話したりする。 絵本や童話などの物語に興味をもち、想像しながら楽しむ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 1209 319 1310">豊かな情緒と表現</td> <td data-bbox="319 1209 1428 1310"> <ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に声をそろえようとしていたり、楽しく歌ったりする。 友達と一緒にいろいろな楽器を使い、曲の感じやリズムの変化を楽しむ。 いろいろな曲やリズムに合わせて体で表現することを楽しみ、声や動きが合うことの心地よさを感じる。 いろいろな素材を使い友達と一緒に工夫しながら作ったり描いたりする。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物と健康な体の関係に興味をもち、 いろいろな運動に興味を持ち、さまざまな体の動きを楽しむ。 友達と一緒にルールを守って、カー杯体を動かしたり競い合ったりする。 自分なりのめあてをもち、繰り返し取り組む。 友達と共通の目的をもち、相談しながら遊ぶ。 健康に過ごすために、日陰で遊ぶことや水分をこまめにとることの大切さに気付き自分で行う。 さまざまな運動用具や遊具を安全に使う。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 友達と頑張っている姿を認め合ったり、励まし合ったり、喜び合ったりする。 友達と気持ちを合わせて運動遊びに取り組み、一緒に力を出したり応援したりする。 遊びの中で、勝ったり負けたりする経験や友達と協力してやり遂げる気持ちをもつ。 遊びの楽しさがわかり、保育者や友達と一緒にルールを作ったり遊んだり遊ぶ。 友達と一緒に達成した喜びを言葉や動きで伝え合い、気持ちを分かち合う。 異年齢児とかかわり、思いやりの気持ちをもちながら世話をしたり一緒に遊んだりする。 祖父母への親しみや感謝の気持ちをもつ。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> 朝の涼しさや雲の形、身近な田や畑の変化などに気付き、まわりの自然に興味や関心をもち、 マリーゴールドやサルビアなどの自然物を遊びに取り入れる。 アサガオ、フウセンカズラ、ルコウソウなどの種取りをし、集めたり比べたり観察したりする。 身近な昆虫に興味をもち、見たり触れたり図鑑で調べたり、命の大切さを考えたりする。 	命と自然	<ul style="list-style-type: none"> 運動会の取り組みの中で、友達や異年齢児の姿を認め、言葉で伝え合う。 保育者や友達の話に注意して聞いたり、相手に分かるように話したりする。 絵本や童話などの物語に興味をもち、想像しながら楽しむ。 	豊かな情緒と表現	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に声をそろえようとしていたり、楽しく歌ったりする。 友達と一緒にいろいろな楽器を使い、曲の感じやリズムの変化を楽しむ。 いろいろな曲やリズムに合わせて体で表現することを楽しみ、声や動きが合うことの心地よさを感じる。 いろいろな素材を使い友達と一緒に工夫しながら作ったり描いたりする。
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物と健康な体の関係に興味をもち、 いろいろな運動に興味を持ち、さまざまな体の動きを楽しむ。 友達と一緒にルールを守って、カー杯体を動かしたり競い合ったりする。 自分なりのめあてをもち、繰り返し取り組む。 友達と共通の目的をもち、相談しながら遊ぶ。 健康に過ごすために、日陰で遊ぶことや水分をこまめにとることの大切さに気付き自分で行う。 さまざまな運動用具や遊具を安全に使う。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 友達と頑張っている姿を認め合ったり、励まし合ったり、喜び合ったりする。 友達と気持ちを合わせて運動遊びに取り組み、一緒に力を出したり応援したりする。 遊びの中で、勝ったり負けたりする経験や友達と協力してやり遂げる気持ちをもつ。 遊びの楽しさがわかり、保育者や友達と一緒にルールを作ったり遊んだり遊ぶ。 友達と一緒に達成した喜びを言葉や動きで伝え合い、気持ちを分かち合う。 異年齢児とかかわり、思いやりの気持ちをもちながら世話をしたり一緒に遊んだりする。 祖父母への親しみや感謝の気持ちをもつ。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> 朝の涼しさや雲の形、身近な田や畑の変化などに気付き、まわりの自然に興味や関心をもち、 マリーゴールドやサルビアなどの自然物を遊びに取り入れる。 アサガオ、フウセンカズラ、ルコウソウなどの種取りをし、集めたり比べたり観察したりする。 身近な昆虫に興味をもち、見たり触れたり図鑑で調べたり、命の大切さを考えたりする。 										
命と自然	<ul style="list-style-type: none"> 運動会の取り組みの中で、友達や異年齢児の姿を認め、言葉で伝え合う。 保育者や友達の話に注意して聞いたり、相手に分かるように話したりする。 絵本や童話などの物語に興味をもち、想像しながら楽しむ。 										
豊かな情緒と表現	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に声をそろえようとしていたり、楽しく歌ったりする。 友達と一緒にいろいろな楽器を使い、曲の感じやリズムの変化を楽しむ。 いろいろな曲やリズムに合わせて体で表現することを楽しみ、声や動きが合うことの心地よさを感じる。 いろいろな素材を使い友達と一緒に工夫しながら作ったり描いたりする。 										
<p>環境 構成 と 援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の活動量や健康状態を把握し、水分補給をしたり休息をとったり、衣服の着脱や汗の始末をしりすることを自分で気付いてできるように繰り返し知らせる。また、生活習慣について話し合う場を作り、自分から進んでしようとする姿を十分に褒めたり認めたりし、気付かずにいる子どもには、励ましたり必要に応じて言葉かけをしたりしながら習慣づけていくようにする。 暑さや疲れから食欲が減退する子どもがいるが、一人一人の子ども体調に応じて量を減らし、無理なく食事が進められるようにする。 今までの運動会の経験を思い出し、次第に運動会への期待が高まるようになっていく。経験させたいことを子どもたちの興味関心と照らし合わせながら相談する。 競い合ったり、チーム意識を高めたりするような経験を繰り返しできるように工夫すると共に、みんなが楽しく遊ぶためには、約束やルールを守って遊ぶことが大切であることを、機会をとらえて気付かせていく。また、悔しい気持ちに共感し、繰り返し挑戦してみようという意欲を引き出す声かけをしたり、優しく応援して支えたりする。 いろいろな運動遊びを通して、子どもの中から出てきた困ったことや疑問などを取り上げ、クラスのみんなで考える機会にしたり、共通のルールになるようにしたりしていく。 一人一人の子どもが、いろいろな運動遊びに繰り返し挑戦している姿や力を発揮している姿を十分に認め、達成感や満足感を味わえるように励ましたり応援したりする。また、その中でついた自信が、他の活動の意欲へとつながっていくようにする。 友達の良さを頑張りやに気付いたり認め合ったりできるような機会を設け、互いに認め合っている姿を大切に受け止める。 用具や遊具は子ども達が出し入れしやすい場所に整理をして置いておく。また、安全な使い方について話し合う場を作り、約束を守って使うように意識をもたせる。危険な遊び方をしている子どもには、その場を捉えて指導する。 アサガオやフウセンカズラなど園内の身近な植物が変化していく様子を見たり種取りをしたりする機会を設け、夏から秋への季節の変化に気付けるようにしていく。また、色や形、大きさなどの違いに気付き、容器や入れ物を分類できるように準備する。また、子ども達の発見や驚き、感動に共感していく。 見つけたり捕まえたりしたバツヤやコオロギなど秋の昆虫について、自分たちで調べられるように図鑑や絵本を見やすい場所に置いておいたり、飼育ケースを取り出しやすく、みんなの目に触れる場所に置いておいたりする。また、空の不思議さや雲の変化などについても、子どもの気付きを受け止めたり、クラスの話に取り上げる機会を作ったりしていく。 夏休みの間に経験したことや頑張ってきたようになったことなどを丁寧に受け止め、夏休みの経験を友達の前で話す機会を作ったり、遊びの中で再現したいという子どもの要求に応えたりする。(幼) 自分の思いや考えを伝えたり友達の話に聞いたりする場面では、相手にうまく伝わっていない時は、言い方を知らせたり、言葉を補ったりして、互いの思いに気付くよう仲立ちをしていく。 子どもたちの表現や発想を大切に受け止め、友達と一緒に音楽に合わせて表現する楽しさを味わえる機会を設ける。 友達と協力して運動会で使う道具や遊びに必要な物を作っていく中で、アイデアを出し合ったり工夫して作る楽しさやみんな協力して作る達成感を味わえるようにする。 										
<p>(家庭・ 地域との 連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの生活から早く園生活のリズムを取り戻せるように、睡眠や朝食の大切さを再確認しながら家庭にも協力を求め、健康管理に配慮してもらおうようにする。また、夏の疲れが出やすく、活動量が増える時期でもあるため、職員同士や家庭と子どもの健康状態を伝え合うように心がける。(幼) 運動会に向けての取り組みを進めていく中で、隣接している小学校と連絡を取り合ったり情報交換をしたりしながら、協力し合えるようにする。また、運動会に保護者や地域の人、小学生や未就園児などが参加できる競技を取り入れ、見たり応援したりして交流を図る機会を作り、家庭や地域とのつながりを深めていく。 クラスだよりや園だより、掲示版などで、年長児として意欲的に取り組んでいる姿や成長している姿など運動会への取り組みの様子を伝え、家庭でも褒めたり励ましたりしてもらい、子どもの自信につなげていくことができるようにする。 										

5歳児 10月

<p>発達 こと の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運動会が近づいてくるにつれて、運動会に参加することを楽しんで待ったり、家族に見てもらおうと楽しみにしたりして、自分の力を出して張り切って活動に取り組む姿が見られる。 運動会で経験したりレール、鉄棒、スケーターなどの道具を使う運動遊びを、友達と一緒に繰り返し挑戦して遊ぶ。 運動会を終え、年長児としてリードして取り組んだり、友達と力を合わせて活動したことを家族や保育者、周りの人たちから認められ、自信や意欲になっている。遊びの中で「こうしたい。」「できるようにしたい。」など目的をもって遊ぼうとする姿が見られるようになる。 リレーやドッチボール、サッカーなどの勝敗のある遊びでは、負けて悔しい気持ちを味わいながらも、「今度は頑張って勝つぞ。」「最後まであきらめずに頑張ってみる。」など前向きに取り組もうとする姿勢が見られるようになってくる。 色つき鬼、氷鬼、ケイドロなどの遊びを友達と一緒に楽しんでいるが、思いの違いやルールについての意見の違いなどから、遊びが中断することもある。 今まで自分の思いを積極的に表現していなかった子どもが、遊びや生活の中で自分の気持ちを素直に表そうとする場面が多くなる。子ども同士の意見や考えが違い、お互いに譲れないことでトラブルになることもある。友達が自分とは違う考えをもっていることに気づき、少しずつではあるが自分から我慢したり譲り合ったりして、折り合いをつけようとする姿が見られるようになってくる。 園外に出かけ、友達と会話を楽しんだり歌を口ずさんだりしながら歩き、大小さまざまなドングリやクリ、イチヨウやサクラ、カキなどの木の葉などを見付けては、保育者や友達に見せたり比べたりする。色や形、大きさなどの違いなど気付いたり、感じたことを伝え合っている様子や何かに見立てたりして遊ぶ姿も見られる。また、カキやサツマイモなど、秋の味覚を収穫することや、みんなと一緒に食べることを喜び、経験したことを絵に描いて表現したり、友達と見せ合って喜んで遊ぶ姿も見られる。 生活の経験が広がり、自分の経験したことを保育者や友達に積極的に話そうとする子どもの姿が見られる。また、ごっこ遊びの中の言葉の表現や、言葉のやりとりが豊かになり、友達同士の会話も盛んになってくる。 木の葉や木の葉など、秋の自然物を遊びの中に取り入れ、自分なりに試したり工夫したりしながら遊ぶ姿や、友達と一緒に考えたりしながら遊ぶ姿も見られる。 										
<p>(養育) ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達とのつながりを深め、一緒に体を動かして遊ぶ中で、自分の力を発揮する心地よさを味わう。 共通の目的に向かって、友達と考えを出し合い、工夫しながら遊びを進める楽しさを味わう。 園外保育や遠足などの行事を通して、標識の意味や公共のマナーを知り守ろうとする。 秋の自然に興味や関心をもち、触れたり収穫したり遊びに取り入れられたりして楽しむ。 一人一人の思いを受け止め、意欲的に活動できるようにする。 										
<p>経験 させ たい 内 容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="247 739 319 851">健康な心と体</td> <td data-bbox="319 739 1310 851"> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体と収穫した食べ物に関心をもち、何でも食べようとする。 気温や衣服の調節や休息を自分からしようとする。 さまざまな遊具や運動用具を安全に使う。 自分なりのめあてをもって思い切り体を動かして遊ぶ。 友達と一緒に力を合わせたり競い合ったりして遊ぶおもしろさを感じる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 851 319 963">人間関係</td> <td data-bbox="319 851 1310 963"> <ul style="list-style-type: none"> 友達と力を合わせる大切さや楽しさに気づき、励ましたり応援したり、応援されたりしながら仲間意識を高める。 身近な人や異年齢児との触れ合いを通して、相手を思う気持ちやいたわりの気持ちをもつ。 自分の考えと相手の考えの違いに気づき、受け入れようとしたり、折り合いをつけようとしたりする。 今までかかわりが少なかった友達の良さに気づき、一緒に遊んだり活動したりする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 963 319 1075">環境</td> <td data-bbox="319 963 1310 1075"> <ul style="list-style-type: none"> バッタやカマキリなどの身近な小動物を探して遊び、命を大切にすることを意識をもつ。 カキ、クリ、サツマイモなどを喜んで収穫したりドングリやいろいろな種類の木の葉などを楽しんで拾ったり集めたりする。 交通や公共の場でのルールや行動の仕方を知り、気持ちよく過ごせるように、守って行動する。 自然物を使った遊びを通して、数量や形、色や大きさの違いなどに気づき、関心を深める。 時計の針や時間に関心をもち、意識して生活しようとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1075 319 1187">命と自然</td> <td data-bbox="319 1075 1310 1187"> <ul style="list-style-type: none"> 人の話を注意して聞き、自分の考えや思いを相手にわかるように話す。 日常生活の中で、発見や驚きを伝え合ったり、疑問に思ったことを言葉にしたりする。 電話や話の続きに興味をもち、想像しながら楽しんで聞く。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1187 319 1299">豊かな情操と表現</td> <td data-bbox="319 1187 1310 1299"> <ul style="list-style-type: none"> 音楽に合わせてリズムカルに体をしっかり動かして遊ぶ。 音色やリズムを楽しみながら、歌ったり楽器を鳴らしたりする。 経験したこと、感じたこと、考えたことなどをさまざまな方法で自分なりに表現する。 いろいろな材料を考えて使い、工夫して作ったり飾ったりすることを楽しむ。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体と収穫した食べ物に関心をもち、何でも食べようとする。 気温や衣服の調節や休息を自分からしようとする。 さまざまな遊具や運動用具を安全に使う。 自分なりのめあてをもって思い切り体を動かして遊ぶ。 友達と一緒に力を合わせたり競い合ったりして遊ぶおもしろさを感じる。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 友達と力を合わせる大切さや楽しさに気づき、励ましたり応援したり、応援されたりしながら仲間意識を高める。 身近な人や異年齢児との触れ合いを通して、相手を思う気持ちやいたわりの気持ちをもつ。 自分の考えと相手の考えの違いに気づき、受け入れようとしたり、折り合いをつけようとしたりする。 今までかかわりが少なかった友達の良さに気づき、一緒に遊んだり活動したりする。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> バッタやカマキリなどの身近な小動物を探して遊び、命を大切にすることを意識をもつ。 カキ、クリ、サツマイモなどを喜んで収穫したりドングリやいろいろな種類の木の葉などを楽しんで拾ったり集めたりする。 交通や公共の場でのルールや行動の仕方を知り、気持ちよく過ごせるように、守って行動する。 自然物を使った遊びを通して、数量や形、色や大きさの違いなどに気づき、関心を深める。 時計の針や時間に関心をもち、意識して生活しようとする。 	命と自然	<ul style="list-style-type: none"> 人の話を注意して聞き、自分の考えや思いを相手にわかるように話す。 日常生活の中で、発見や驚きを伝え合ったり、疑問に思ったことを言葉にしたりする。 電話や話の続きに興味をもち、想像しながら楽しんで聞く。 	豊かな情操と表現	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に合わせてリズムカルに体をしっかり動かして遊ぶ。 音色やリズムを楽しみながら、歌ったり楽器を鳴らしたりする。 経験したこと、感じたこと、考えたことなどをさまざまな方法で自分なりに表現する。 いろいろな材料を考えて使い、工夫して作ったり飾ったりすることを楽しむ。
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体と収穫した食べ物に関心をもち、何でも食べようとする。 気温や衣服の調節や休息を自分からしようとする。 さまざまな遊具や運動用具を安全に使う。 自分なりのめあてをもって思い切り体を動かして遊ぶ。 友達と一緒に力を合わせたり競い合ったりして遊ぶおもしろさを感じる。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 友達と力を合わせる大切さや楽しさに気づき、励ましたり応援したり、応援されたりしながら仲間意識を高める。 身近な人や異年齢児との触れ合いを通して、相手を思う気持ちやいたわりの気持ちをもつ。 自分の考えと相手の考えの違いに気づき、受け入れようとしたり、折り合いをつけようとしたりする。 今までかかわりが少なかった友達の良さに気づき、一緒に遊んだり活動したりする。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> バッタやカマキリなどの身近な小動物を探して遊び、命を大切にすることを意識をもつ。 カキ、クリ、サツマイモなどを喜んで収穫したりドングリやいろいろな種類の木の葉などを楽しんで拾ったり集めたりする。 交通や公共の場でのルールや行動の仕方を知り、気持ちよく過ごせるように、守って行動する。 自然物を使った遊びを通して、数量や形、色や大きさの違いなどに気づき、関心を深める。 時計の針や時間に関心をもち、意識して生活しようとする。 										
命と自然	<ul style="list-style-type: none"> 人の話を注意して聞き、自分の考えや思いを相手にわかるように話す。 日常生活の中で、発見や驚きを伝え合ったり、疑問に思ったことを言葉にしたりする。 電話や話の続きに興味をもち、想像しながら楽しんで聞く。 										
豊かな情操と表現	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に合わせてリズムカルに体をしっかり動かして遊ぶ。 音色やリズムを楽しみながら、歌ったり楽器を鳴らしたりする。 経験したこと、感じたこと、考えたことなどをさまざまな方法で自分なりに表現する。 いろいろな材料を考えて使い、工夫して作ったり飾ったりすることを楽しむ。 										
<p>環境 構成 と 援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運動会に向けて一人一人の子どもが頑張ろうという気持ちで取り組んでいる姿を認める。負けたり、できなかったりした悔しさを感じている姿を大切に受け止め、次への意欲につながるよう気持ちを支えていくと共に、勝ち負けだけにこだわらず一杯取り組むことの大切さを伝えていくようにする。 リレーや玉入れなどに必要な用具を自分たちで準備して遊び始められるように整理し扱いやすい場所に置き、進んでいる運動遊びを友達と一緒に楽しめるような時間を確保する。また、運動遊びや集団遊びを子どもの遊びの状態に合わせて、子どもたちのアイデアを生かして、少しずつ変化させていき、目的をもって意欲的に取り組めるようにする。 運動会の経験から自信をもって自分の力を発揮している姿を認めながら、力を発揮し友達と協力して遊べるように、運動会ごっこやドッチボールなど競い合う遊びやさまざまな運動遊びを意図的に計画に取り入れていく。 苦手な遊びに挑戦しようとする姿を認め、友達と励まし合ったり応援し合ったりしながら友達とのかかわりが深まっていくようにする。 遊びの目的やイメージが共通のものになるように、子ども達と相談しながら必要な材料などを探したり選んだりできるようにする。 サツマイモ、クリ、カキなど、収穫したものを自分たちで調理したり、みんなで食べたりすることにより、収穫の喜びや感謝の気持ちももてるようにする。食べ物を扱う時には、安全面や衛生面に十分留意する。 ドングリ拾いやイモ掘りなどの園外保育に出かけ、さまざまな種類の自然物を楽しんで見つけられるような機会をもつ。色や大きさ、形の違いなどの子ども達の気づきに共感し大切に受け止める。 園外保育を通して、交通のマナーや公共の場でのルールや行動の仕方を知らせ、保育者は一人一人の子どもに目を向けながら、子どもたちが意識して安全に気を付け、行動できるように状況に応じた配慮をしていく。 遊びや生活の中で、今まで積極的に自分の思いを言葉で表現しようとしなかった子どもが、自分の考えを友達に伝えようとしている姿をしっかりと認め、友達に受け入れられる実感が味わえるようにする。 子ども同士の思いの違いからトラブルが生じた時には、それぞれの遊びたい気持ちを話し合う時間を設け、折り合いをつけてながら、遊びが深まるように一緒に考えるようにする。 友達とのかかわりが深まるにつれて、トラブルが多くなるが、必要に応じて保護者にトラブルから育つ意味を知らせ、見守ってもらうようにする。 自分たちで収穫した自然物を自分なりに試したり工夫したりしながら表現して遊ぶように遊びの中に取り入れられたり、自分が経験したことを絵に表したりする機会を作り、一人一人の子どもイメージしていることを大切に認める。 										
<p>(家庭・地域との連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 衣替えについて連絡をする。気温の変化に伴い朝晩や日中の温度差が著しくなるので、調節しやすい衣服の着用と着替えの準備をお願いする。 運動会に向けて一人一人の子どもが頑張っており取り組んでいる様子や、さまざまな活動の様子などを家庭に伝え、園と家庭が同じ気持ちで子どもの成長を見守ったり応援したりできるようにする。 地域に出かけ、地域の方と挨拶や会話を交わす機会を作るようにする。また、家庭や地域の人から、ドングリやクリ、その他の木の葉などの自然物を収集できる場所などの情報を集め、園外保育に活用できるようにする。 										

5歳児 11月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 寒くなり、厚着になる子どもや風邪気味の子どもが増えてくる。 ひょうたん鬼やドッジボール、サッカーなどの集団遊びを好むようになり、遊びが始まると「私も入れて」「ばくも！」とみんなが集まってくる姿が見られる。また「もっとこっちも道作って!」「逃げるところを増やして。」と自分たちで遊び方やルールを考えて遊ぶようになる。 遊びや生活を通して、「ちゃん、頑張って~できだしたなあ。」「するのがうまいなあ。」など、少しずつ友達のよさや頑張りに関付き、今まででかかわりの少なかった友達とのつながりが広がっていく。 ごっこ遊びの中で異年齢児とのかかわりが広がり、できないところを教えたり仲間に入れてあげたりしながら、遊ぶ姿が多く見られてくる。 「ちゃんばっかりキーパーする。」「パスしてくれん。」など友達同士でトラブルになり遊びが中断してしまうことがあるが、自分たちで遊びを続けていくためにはどうしたらいいか、話し合っ解決していこうとする姿が少しずつ見られる。 縄跳びや竹馬などに自分なりの目的をもって取り組むようになり、目標に向かって根気よく継続して取り組めるようになる。一人でできるようになると、他の子どもも刺激を受けて練習し始め、いろいろな跳び方に挑戦したり乗れるようになったりすることで自信をつけていく。 集めていたドングリ、マツボックリやジュズダマなど身近な自然物を取り入れながら、ドングリゴマ、ネックレス、指輪、ドングリ人形などイメージを広げて作ったり、友達と協力して作ることに刺激を受け、自分なりに工夫したりして遊ぶ姿が見られる。また、園外保育に出かけ、ドングリや木の実を拾ったり、木の葉の色の変化や落ち葉、小枝、木の実などの自然の様子に目を向け、季節の変化を感じる。 収穫したサツマイモを使って焼き芋をしたりとん汁にしたりしながら、「おいしい、おいしい」とみんなで味わう姿が見られる。 就学時健康診断が始まり、1年生になることへの期待が高まり、友達同士で小学校の話題が増え始める。 お話を楽しみ、自分のなりたい役になりきってストーリーを進めていくことを友達と繰り返し楽しむようになる。「そこはもっとこうして」「がいのなあ」など、友達同士で考えを出し合い、共通の目的を実現させようとする姿が見られる。 										
<p>養 育 の ね ら い</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達と考えや思いを出し合い協力したり、分担したりしてつながりを深めながら、共通の目的に向かって遊びを進める楽しさを味わう。 秋から冬への季節の移り変わりや自然の美しさを感じ、試したり取り入れたりして遊ぶことを楽しむ。 気温の変化に応じて健康的で安全な環境を作り、快適に生活できるようにする。 										
<p>経 験 さ せ たい 内 容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="247 728 295 795">健康と体</td> <td data-bbox="295 728 1364 795"> <ul style="list-style-type: none"> 気温の変化や活動に応じて、自分から衣服の調節を行い、薄着で過ごす。 手洗い、うがいを丁寧にすることで風邪の予防をする。 戸外で集団遊び、縄跳び、マラソンなどをして、しっかりと体を動かして遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 795 295 929">人間関係</td> <td data-bbox="295 795 1364 929"> <ul style="list-style-type: none"> 集団で行うゲームや遊びを通して、たくさんの友達とかかわる力や仲間意識を高める。 友達の行動や考えや頑張っているところなどに気付き、よさを認めていく。 友達と協力したり役割分担したりしながら、共通の目的に向かってひとつのものを作り上げていく楽しさを味わう。 生活や遊びの中で、年下の友達にわかるように教えたり、できないところを手伝ったりする。 家族や身近な地域の人々の働く様子を知ったり、仕事についての話を聞いたりして関心をもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 929 295 1041">環境</td> <td data-bbox="295 929 1364 1041"> <ul style="list-style-type: none"> 抵抗のあることにも取組み、最後まで頑張る。 木の実や落ち葉などの自然物の色や形、大きさ、数などに関心をもち、遊びに取り入れる。 秋の空の美しさや風の冷たさ、紅葉や落ち葉など、自然の変化や美しさに関心を持ち、感動したりする。 水栽培について図鑑や本で調べ不思議さに気付く。 秋の旬の食べ物を観察したり、簡単な調理をして味わい、収穫の喜びを感じたりする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1041 295 1153">言葉</td> <td data-bbox="295 1041 1364 1153"> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを相手にわかるように言葉で話す。 絵本や物語に親しみ、内容を想像したり、言葉の面白さ、美しさを楽しむ。 劇遊びを通して、今までに使ったことのない言葉やその意味を知り、言葉の表現の面白さを味わう。 勤労感謝の日には、お世話になっている人に感謝の気持ちを言葉で伝える。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1153 295 1276">豊かな情操と表現</td> <td data-bbox="295 1153 1364 1276"> <ul style="list-style-type: none"> 絵本や話を聞き、イメージを広げて表現する。 イメージを豊かにもち、描いたり作ったりする。 自分のイメージするものに合った素材や方法を考えたり工夫したりして表現しようとする。 木の実や木の実などの自然物を使って、造形を楽しむ。 作ったものを展示したり、友達の作品を見たりする。 音楽に親しみ、友達と一緒に聴いたり、歌ったり、踊ったり、演奏したりして、音色やリズムの楽しさを味わう。 </td> </tr> </table>	健康と体	<ul style="list-style-type: none"> 気温の変化や活動に応じて、自分から衣服の調節を行い、薄着で過ごす。 手洗い、うがいを丁寧にすることで風邪の予防をする。 戸外で集団遊び、縄跳び、マラソンなどをして、しっかりと体を動かして遊ぶ。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 集団で行うゲームや遊びを通して、たくさんの友達とかかわる力や仲間意識を高める。 友達の行動や考えや頑張っているところなどに気付き、よさを認めていく。 友達と協力したり役割分担したりしながら、共通の目的に向かってひとつのものを作り上げていく楽しさを味わう。 生活や遊びの中で、年下の友達にわかるように教えたり、できないところを手伝ったりする。 家族や身近な地域の人々の働く様子を知ったり、仕事についての話を聞いたりして関心をもつ。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> 抵抗のあることにも取組み、最後まで頑張る。 木の実や落ち葉などの自然物の色や形、大きさ、数などに関心をもち、遊びに取り入れる。 秋の空の美しさや風の冷たさ、紅葉や落ち葉など、自然の変化や美しさに関心を持ち、感動したりする。 水栽培について図鑑や本で調べ不思議さに気付く。 秋の旬の食べ物を観察したり、簡単な調理をして味わい、収穫の喜びを感じたりする。 	言葉	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを相手にわかるように言葉で話す。 絵本や物語に親しみ、内容を想像したり、言葉の面白さ、美しさを楽しむ。 劇遊びを通して、今までに使ったことのない言葉やその意味を知り、言葉の表現の面白さを味わう。 勤労感謝の日には、お世話になっている人に感謝の気持ちを言葉で伝える。 	豊かな情操と表現	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や話を聞き、イメージを広げて表現する。 イメージを豊かにもち、描いたり作ったりする。 自分のイメージするものに合った素材や方法を考えたり工夫したりして表現しようとする。 木の実や木の実などの自然物を使って、造形を楽しむ。 作ったものを展示したり、友達の作品を見たりする。 音楽に親しみ、友達と一緒に聴いたり、歌ったり、踊ったり、演奏したりして、音色やリズムの楽しさを味わう。
健康と体	<ul style="list-style-type: none"> 気温の変化や活動に応じて、自分から衣服の調節を行い、薄着で過ごす。 手洗い、うがいを丁寧にすることで風邪の予防をする。 戸外で集団遊び、縄跳び、マラソンなどをして、しっかりと体を動かして遊ぶ。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 集団で行うゲームや遊びを通して、たくさんの友達とかかわる力や仲間意識を高める。 友達の行動や考えや頑張っているところなどに気付き、よさを認めていく。 友達と協力したり役割分担したりしながら、共通の目的に向かってひとつのものを作り上げていく楽しさを味わう。 生活や遊びの中で、年下の友達にわかるように教えたり、できないところを手伝ったりする。 家族や身近な地域の人々の働く様子を知ったり、仕事についての話を聞いたりして関心をもつ。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> 抵抗のあることにも取組み、最後まで頑張る。 木の実や落ち葉などの自然物の色や形、大きさ、数などに関心をもち、遊びに取り入れる。 秋の空の美しさや風の冷たさ、紅葉や落ち葉など、自然の変化や美しさに関心を持ち、感動したりする。 水栽培について図鑑や本で調べ不思議さに気付く。 秋の旬の食べ物を観察したり、簡単な調理をして味わい、収穫の喜びを感じたりする。 										
言葉	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを相手にわかるように言葉で話す。 絵本や物語に親しみ、内容を想像したり、言葉の面白さ、美しさを楽しむ。 劇遊びを通して、今までに使ったことのない言葉やその意味を知り、言葉の表現の面白さを味わう。 勤労感謝の日には、お世話になっている人に感謝の気持ちを言葉で伝える。 										
豊かな情操と表現	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や話を聞き、イメージを広げて表現する。 イメージを豊かにもち、描いたり作ったりする。 自分のイメージするものに合った素材や方法を考えたり工夫したりして表現しようとする。 木の実や木の実などの自然物を使って、造形を楽しむ。 作ったものを展示したり、友達の作品を見たりする。 音楽に親しみ、友達と一緒に聴いたり、歌ったり、踊ったり、演奏したりして、音色やリズムの楽しさを味わう。 										
<p>環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 病気を予防するために必要な習慣を丁寧に伝え、自分から進んで行う姿を認め、身につくように励ましていく。 七五三の由来を知らせ、健康で過ごせることに感謝の気持ちをもてるようにする。 マラソンやドッジボール、縄跳びなど、戸外で十分に体を動かして遊ぶ活動を計画的に取り入れ、寒さに負けないようにする。 子ども一人一人の頑張りやアイデアを認め、みんなにわかるように伝えていくことで、友達のよさに気付いたり、認め合ったりできるようにしていく。 自分たちで遊びを進めていこうとする気持ちを大切に見守りながら、一人一人の意見に引っぱられていないかなど、それぞれの取り組み方を把握し、助言をしたり相談に乗ったりして、一人一人の子どもが自分の考えを出し、ルールを決めたり遊びを進めたりできるように援助していく。 意見が合わずに遊びが続かなくなった時には、一人一人の思いや葛藤体験を大切に受け止め、自分の考えを相手にわかるように伝え、折り合いをつける方法を一緒に考える。共通の目的をもって遊びを進めることができるようにする。 クラスの中で互いの遊びが見えるように場の設定を工夫したり、遊びの様子を知らせ合う機会をもつようにする。 身近に働く人々の存在に関心を持ち、様子を見たり話したりしながら、自分と大切なかかわりがあることに気付くようにしたり感謝の気持ちをもてるようにしたりする。 ドングリ、マツボックリ、落ち葉など、種類の違いや大きさに分類できるように箱や表示を子どもと一緒に準備する。また、疑問に思ったことなどを調べられるように、図鑑を用意する。必要に応じて選んで使えるようにコーナーを設置する。 日常生活や園外保育を通して、木の葉の変化や風邪の冷たさなどから季節の移り変わりを肌で感じたり、不思議に思ったりしたことを話し合ったり伝えたりする。 クロッカスやヒヤシンスなど水栽培を行い、根の生長などの発見に共感していく。 収穫したサツマイモを使って焼き芋やスイートポテト、大学芋などを作って食べたり、スタンプ遊びの材料にしたりして、生活や遊びに取り入れるようにする。 一人一人の育ちの状況を振り返りながら、挨拶の仕方、話の聞き方などの力を確認する。就学時健康診断などを通して、小学校への期待をもてるようにする。 絵本を読む声の大きさ、速さ、発音に気をつけ、言葉の豊かさや美しさが感じられるようにする。 子どもがイメージを広げ、自分たちの考えを遊びの中で生かせるように、段ボールや各種の紙、箱、自然物などのさまざまな素材や用具を用意し、遊びに取り入れるようにする。必要に応じて作り方を一緒に考えたり、アイデアを提示したりする。 人形劇鑑賞を行い、いろいろな表現方法がある事や表現する楽しさが味わえるようにする。 										
<p>(家庭・地域との連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 風邪の流行し始める時期なので、インフルエンザの予防接種や手洗いうがいの励行をお願いする。 就学時健康診断について園からも知らせ、子どもの成長や実態について具体的に話をしたり、保護者の気持ちも受け止めたりして、安心して参加できるようにする。また、生活習慣の見直しを家庭にも呼びかける。 就学時健康診断で、配慮が必要な子どもなどについて、事前に小学校と連携を取る。 参観日や保育参加日を通して、同年齢の子どもの育ちの様子を見たり具体的に話し合ったりして、相互に子どもの理解を深める。 友達とかかわりの深まりから、トラブルが多くなるので、必要に応じて、保護者にトラブルの意味を知らせ、見守っていただけるように話す。 地域の公民館、郵便局、お店などに依頼して、働く様子を見学したり、仕事内容について話してもらったりする機会を計画する。 お世話になった地域の人にプレゼントを渡し、感謝の気持ちを伝える。 絵画展で子どもの絵や写真を展示し、日頃の生活の様子を地域の人に知らせていく。 										

5歳児 12月

<p>発達 子どもの 主な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冬の生活習慣の仕方がわかり、うがい、手洗い、衣類の調節など自分からしているが、水が冷たくなったことで、手洗いが雑になつて子どもも見られる。風邪気味の子どもが増えてくる。 寒くても縄跳びやマラソンなど、戸外で活発に遊ぶ子どもがいる。寒さのため室内遊びを好む子どもも見られる。 「～を作りたい」と取り掛かった子どもの遊びにクラスのほとんどの子どもが心を寄せて遊び始めることがある。段ボールで作ろうとしたり、画用紙に絵を描いたりなど、一人一人の子どもが自分の役割を考えて遊びに参加したり、「そんなのどうやって作ったん？いいねえ。」と友達のアイディアを取り入れたり認めたりしながら、イメージを共有して遊びを進めることができる。 生活発表会など共通の目的に向かってクラスで取り組み、仲間意識が強くなっていく。「うまく言えるかなあ」「ドキドキする」など自分の任された役割に不安を感じる子どもも見られるが、繰り返しすることで自信をつけ、自分の任された役割を堂々と果たそうとする姿が見られる。たくさんの人に見られることを意識し緊張するが、同時に自信や楽しさも感じている。 縄跳びでは、自分なりに目的をもって取り組むようになり、根気よく継続して遊ぶ子どもがいる。自分から取り組もうとしない子どももいる。また、うまく跳べないことを悔しがり、頑張ろうとする子どももいる。 「寒くなったなあ。」「息が白い。」など風の冷たさや吐く息の白さ、木々の変化に気付き、話題にしている。 「サンタさんに何をプレゼントしてもらおう？」「ぼくは～がほしいなあ。」「～ちゃんは？」「サンタさんってほんとうにいるのかな。」などお互いに言い合いながら、クリスマスを楽しみに待っている様子が見られる。 街の様子を見たり行事に参加したりすることで、年の暮れや新年を迎えることに興味や関心をもつようになり、自分なりに遊びや生活に取り入れようとする。 お店やさんごっこや年賀状作りなどの遊びを通して、個人差はあるが文字や数などへの関心が高まっている。 										
<p>（ねらい） （教育）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達と相談したり工夫したり協力したりして、共通の目的に向かって遊びを進めていき、達成感を味わう。 冬の自然や年末の様子に関心をもち、季節の移り変わりを感じながら生活する。 風邪の予防に関心をもち、冬の衛生面に気をつけながら健康に過ごせるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="255 705 335 828"> <p>健康な心と体</p> </td> <td data-bbox="335 705 1372 828"> <ul style="list-style-type: none"> 冬野菜を収穫し調理して食べることで、体との関係に関心をもち、嫌いなものを食べてみようとしたり、時間の見直しをもって食べようとする。 冬の健康な生活の仕方を知り、うがい、手洗い、衣類の調節などを進んで行う。 自分たちなりのルールを作って協力したり、きまりを守ったりしながら、寒さに負けず戸外遊びをする。 大掃除をして身の回りの整理整頓をすることで心地よさを味わう。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 828 335 940"> <p>人間関係</p> </td> <td data-bbox="335 828 1372 940"> <ul style="list-style-type: none"> 自分や友達の役割がわかり、分担したり協力したりして遊びを進める。 みんなで共通の目的に向かって取り組む中で仲間意識をもつ。 友達と一緒に自分の思いを伝えたり、認め合ったりしながら、遊びを発展させていく。 おきめないで頑張っていることをお互いに認め合う。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 940 335 1064"> <p>環境</p> </td> <td data-bbox="335 940 1372 1064"> <ul style="list-style-type: none"> 自分なりに課題をもって取り組む。 風邪の冷たさ、木々の変化の様子など秋から冬への自然の変化に気付き、その美しさや不思議さに感動し、遊びや生活に取り入れる。 冬の訪れを感じ、小動物の冬籠りなどに関心をもつ。 大掃除やお餅つきなどのお正月に向けての準備を通して、伝統行事に親しむ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1064 335 1142"> <p>言葉</p> </td> <td data-bbox="335 1064 1372 1142"> <ul style="list-style-type: none"> 友達にわかるように自分の思いを言葉で伝え、相手の考えも受け入れて遊びを進める。 劇遊びを通して、セリフを覚えたり友達とのやり取りを楽しんだりする。 郵便ごっこなどの活動を通して、文字や数字に関心をもち、遊びや生活に取り入れる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1142 335 1232"> <p>豊かな表現</p> </td> <td data-bbox="335 1142 1372 1232"> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな材料や用具を使い、友達とイメージを共有しながら、描いたり作ったり飾ったりして遊ぶ。 友達と声を合わせて歌ったり、きれいな音や音を合わせる（合奏）を楽しんだり、体を使った表現を工夫して楽しんだりする。 友達と互いに見せ合い、友達のよさ（表現豊かなこと）に気づき、真似をして一緒に遊ぶ。 </td> </tr> </table>	<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冬野菜を収穫し調理して食べることで、体との関係に関心をもち、嫌いなものを食べてみようとしたり、時間の見直しをもって食べようとする。 冬の健康な生活の仕方を知り、うがい、手洗い、衣類の調節などを進んで行う。 自分たちなりのルールを作って協力したり、きまりを守ったりしながら、寒さに負けず戸外遊びをする。 大掃除をして身の回りの整理整頓をすることで心地よさを味わう。 	<p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達の役割がわかり、分担したり協力したりして遊びを進める。 みんなで共通の目的に向かって取り組む中で仲間意識をもつ。 友達と一緒に自分の思いを伝えたり、認め合ったりしながら、遊びを発展させていく。 おきめないで頑張っていることをお互いに認め合う。 	<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりに課題をもって取り組む。 風邪の冷たさ、木々の変化の様子など秋から冬への自然の変化に気付き、その美しさや不思議さに感動し、遊びや生活に取り入れる。 冬の訪れを感じ、小動物の冬籠りなどに関心をもつ。 大掃除やお餅つきなどのお正月に向けての準備を通して、伝統行事に親しむ。 	<p>言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達にわかるように自分の思いを言葉で伝え、相手の考えも受け入れて遊びを進める。 劇遊びを通して、セリフを覚えたり友達とのやり取りを楽しんだりする。 郵便ごっこなどの活動を通して、文字や数字に関心をもち、遊びや生活に取り入れる。 	<p>豊かな表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな材料や用具を使い、友達とイメージを共有しながら、描いたり作ったり飾ったりして遊ぶ。 友達と声を合わせて歌ったり、きれいな音や音を合わせる（合奏）を楽しんだり、体を使った表現を工夫して楽しんだりする。 友達と互いに見せ合い、友達のよさ（表現豊かなこと）に気づき、真似をして一緒に遊ぶ。
<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冬野菜を収穫し調理して食べることで、体との関係に関心をもち、嫌いなものを食べてみようとしたり、時間の見直しをもって食べようとする。 冬の健康な生活の仕方を知り、うがい、手洗い、衣類の調節などを進んで行う。 自分たちなりのルールを作って協力したり、きまりを守ったりしながら、寒さに負けず戸外遊びをする。 大掃除をして身の回りの整理整頓をすることで心地よさを味わう。 										
<p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達の役割がわかり、分担したり協力したりして遊びを進める。 みんなで共通の目的に向かって取り組む中で仲間意識をもつ。 友達と一緒に自分の思いを伝えたり、認め合ったりしながら、遊びを発展させていく。 おきめないで頑張っていることをお互いに認め合う。 										
<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりに課題をもって取り組む。 風邪の冷たさ、木々の変化の様子など秋から冬への自然の変化に気付き、その美しさや不思議さに感動し、遊びや生活に取り入れる。 冬の訪れを感じ、小動物の冬籠りなどに関心をもつ。 大掃除やお餅つきなどのお正月に向けての準備を通して、伝統行事に親しむ。 										
<p>言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達にわかるように自分の思いを言葉で伝え、相手の考えも受け入れて遊びを進める。 劇遊びを通して、セリフを覚えたり友達とのやり取りを楽しんだりする。 郵便ごっこなどの活動を通して、文字や数字に関心をもち、遊びや生活に取り入れる。 										
<p>豊かな表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな材料や用具を使い、友達とイメージを共有しながら、描いたり作ったり飾ったりして遊ぶ。 友達と声を合わせて歌ったり、きれいな音や音を合わせる（合奏）を楽しんだり、体を使った表現を工夫して楽しんだりする。 友達と互いに見せ合い、友達のよさ（表現豊かなこと）に気づき、真似をして一緒に遊ぶ。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 戸外と保育室の温度差に気を付け、暖房の調節や衣服の調節に配慮する。 部屋の換気やうがい、手洗いなどの予防を呼びかけ、鼻水のかみ方や咳の仕方についても知らせ、みんなで風邪の予防を心がけるようにする。 寒さで室内にこもりがちなお子さんには、意識して保育者が誘い、一緒に戸外に出て遊び、体を動かすと温かくなることの大切さを伝える。 一人一人の子どもが自分の持ち味を出せるよう、その子のよいところや頑張っているところを一緒に喜んだり、機会を逃さず話題にしてみんなに伝えたりして認め、子ども同士のつながりがさらに深まるようにしていく。 仲間と一緒に共通の目的に向かって遊びを進める活動の中で話し合う時間を設け、意見の食い違いやトラブルに対して、自分の考えや思いを伝え合い、互いのイメージを共有できるよう、友達にわかってもらえる言葉や伝え方をアドバイスしていく。 子どもの要求に応じ、遊びに必要な物を用意したり、場所や時間を確保したりする。また、必要に応じて保育者も加わり、イメージを確認したりヒントを出したりして、さらに遊びが楽しく発展できるように援助していく。 少し困難なことや新しいことにも挑戦する場や機会を設け、結果より意欲を大切に、頑張っている姿を認め励まして達成感を味わえるようにする。 風の冷たさ、日向と日陰の温度差、小動物の冬籠りなど、子どもが気付いたことを友達と伝え合う姿を見守る。また、調べたり話し合ったりできるように図鑑や資料を用意し、好奇心や探究心が広がるようにしていく。 ツリーを飾りつけたり、子どものイメージを大切にしながら、サンタが来るドキドキ感やワクワク感が味わえるように演出や雰囲気作りを工夫したりする。 大掃除、干支など新年を迎えるための昔ながらの習慣について話したり絵本を読んだりして、年の節目を感じられるようにする。また、みんなで協力して保育室の大掃除をすることで、新しい年を気持ちよく迎え入れるようにする。 曲の雰囲気や歌詞の意味を知らせながら、いろいろな曲に親しみ、友達と一緒に声を合わせて歌う楽しさが味わえるようにする。 										
<p>（家庭・地域との連携） （小学校等との連携）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の予防や対策について園便りやクラス便りなどで知らせ、家庭でも手洗い、うがいの大切さを話し合ってもらおうなど、冬の生活を健康に過ごせるように家庭での健康管理をお願いする。 インフルエンザや流行性嘔吐下痢症など、病気の発生状況について家庭との連絡を密にしていこう。また、必要に応じて園医の指示を受ける。 行事のねらいや取り組みについて知らせ、家庭で理解してもらおうと共に子どもの成長を伝えていく。 発表会に向けて子どもの頑張っている姿を知らせ、家庭でも励ましたり認めたりすることで、自信がもてるようなかかわりを心がけてもらう。 発表会の案内を地域や地域の小学校にだし、子どもの様子を見てもらい交流を深める。 お餅つきは、保護者や地域の方に協力を依頼し、地域の方との交流を楽しめるようにする。 この時期ならではのさまざまな体験（普段経験できない挨拶の仕方、マナーを知る、家庭での正月遊び、初詣など）が家庭で楽しめるよう、年末年始の過ごし方を伝える。また、不規則な生活になりやすいので、規則正しい生活を保つことの大切さについて伝え、実践してもらおう。 地域の行事を知らせ、地域とのかかわりを深めていけるように声かけをする。 										

発表会に関しては、1月2月に実施する園もある。

5歳児 1月

発達 の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザや溶連菌感染症などの病気が流行し、感染する子どもが出てくる。 手洗いやうがいをしなければいけないことはわかっているが、水が冷たいためにしたくなくったり面倒くさがったりする子どももいる。また、厚着をしている子どもがいる反面、戸外でも「暑い。」と言って薄着で過ごす子どももいる。 寒くても戸外で遊ぶことを喜び、友達を誘い合って縄跳びや氷鬼、色鬼などの鬼ごっこ、サッカー、マラソンなどをして、体が温まるような遊びを好むようになる。 こままわしやあやとりなど、自分なりにめあてをもって繰り返し取り組んだり、友達と教え合ったり競い合ったりして楽しんでいる子どもが多い。すぐにできなくてもあきらめずにコツコツと粘り強く取り組む姿も見られるようになる。まわりの刺激を受けて挑戦し始める子どももいる。「私は毎日がんばって練習しよったから回ったんでー。」と自信をもって発言する姿も見られる。また、友達がめあてに向かって頑張っている姿を応援したり、できたことを一緒に喜んでくれる姿が見られる。 自分たちで遊びを進めていく中でお互いの意見が合わずトラブルも多く見られるが、友達の存在を認め思いを受け止めようとしたり、自分の意見や考えも出したりして、調整して自分たちで解決しようとする。 室内ではカルタやすごろく、トランプなどの正月遊びを楽しんでいる様子が見られ、数字や文字に触れる機会が多くなることで関心が高まる子どもが増えてくる。中には、今までの経験からカルタの読み札が読めるようになった子どももいる。読んだり書いたりすることに関心が高まるが、個人差がある。 自分の名前や干支などの文字を書くことができる。自分で文字を書くことに不安を感じている子どもは、保育者に手伝ってもらいながら書くことができる。書初めなどをとんどの火で焼き、健康を願い、伝統行事を楽しむことができる。 冬の自然現象に興味をもち、氷がはっていることを発見したり、雪が降ったり積もったりすることを喜んだりする。また、友達や保育者に気付いたことや感じたことを伝えたり、友達や保育者と一緒に雪合戦をしたり雪だるまを作ったりして遊ぶことを楽しんだりする姿が見られる。 生活発表会に向けて、クラスのみみんなで協力して取り組んでいく中で、子ども同士がお互いの良さや頑張りなどに気付き褒め合い、仲間意識が強くなっていく。そして、それぞれの役割を果たそうと自分の力を発揮して努力する姿や、友達と協力して進めていこうとする姿が見られる。 冬休みや正月休みを終えた子どもたちは、久しぶりに友達と会話をしたり遊んだりすることを楽しみにして登園してくる様子が見られる。そして、冬休みの出来事や正月の経験などの楽しかったことを保育者や友達に早く聞いてもらいたい様子で、次々に話しかけてきたり、会話を楽しんだりする姿が見られる。 凧や鬼の面などの製作では、自分なりのイメージを膨らませながら描き、友達と見せ合ったり会話を楽しんだりしながら、丁寧に作り上げようとする。他の子どもが作っている様子を見て、「こんなに面白いことができるんじゃないか。」と刺激される姿も見られる。 								
ねらい (教育目標)	<ul style="list-style-type: none"> 共通の目的に向かって、友達と協力して最後までやり遂げる充実感を味わう。 自分なりのめあてに向かって根気強く取り組み、できた満足感を味わう。 冬の自然現象を、友達と一緒に見たり試したり調べたりして、興味や関心を高める。 友達と意見のやりとりをしながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさを味わう。 冬の衛生的な環境に留意し、健康に過ごせるようにする。 								
経験 させ たい 内容	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">健康な心と体</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 健康 <ul style="list-style-type: none"> 正月の伝統的な食べ物に興味をもつ。 寒さに負けず十分に体を動かし、友達と縄跳びやマラソン、鬼ごっこなどいろいろな運動遊びに取り組む。 インフルエンザや風邪の予防について知り、手洗いやうがいの大切さがわかり進んで行く。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">人間関係</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自信と信頼 <ul style="list-style-type: none"> 友達の良いところや頑張る姿を認めたり、励ましたり教え合ったりして、遊びを進めていく。 クラスの仲間と力を合わせて作り上げていく達成感を味わう。 トランプやすごろくなどの正月遊びの遊び方やルールを教え合いながら遊ぶ。 とんどや餅つきなどの行事を通して、地域の人や未就園児との交流をする。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">環境</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 命と自然 <ul style="list-style-type: none"> カルタやすごろく、トランプなどの遊びを通して、文字、数量、図形などへの関心を高め、遊びの中に取り入れて楽しむ。 氷や霧、雪など冬の自然現象に興味をもち、触れたり、観察したり、考えたり試したりして遊ぶ。 自分たちの生活の場を使いやすく整えたり飾ったりする。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">豊かな表現</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 言葉 <ul style="list-style-type: none"> 新年のあいさつをしたり、正月に経験したことを友達や保育者に話したりして、言葉で伝え合う楽しさを味わう。 日常生活の中で、場に応じた言葉を自分で考えて使えるようになる。 しりとりやことわざカルタなどの遊びを通して、言葉のリズムに興味をもちたり、言葉の面白さに気付いたりして、言葉遊びをする。 表現 <ul style="list-style-type: none"> 音楽に親しみ、友達と一緒に声を合わせてうたったり、気持ちに合わせて合奏したりすることを楽しむ。 友達と一緒にイメージを膨らませながら、丁寧に描いたり作ったりする。 いろいろな素材を使い、工夫して作ったり友達と見せ合ったりする。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 健康 <ul style="list-style-type: none"> 正月の伝統的な食べ物に興味をもつ。 寒さに負けず十分に体を動かし、友達と縄跳びやマラソン、鬼ごっこなどいろいろな運動遊びに取り組む。 インフルエンザや風邪の予防について知り、手洗いやうがいの大切さがわかり進んで行く。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 自信と信頼 <ul style="list-style-type: none"> 友達の良いところや頑張る姿を認めたり、励ましたり教え合ったりして、遊びを進めていく。 クラスの仲間と力を合わせて作り上げていく達成感を味わう。 トランプやすごろくなどの正月遊びの遊び方やルールを教え合いながら遊ぶ。 とんどや餅つきなどの行事を通して、地域の人や未就園児との交流をする。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> 命と自然 <ul style="list-style-type: none"> カルタやすごろく、トランプなどの遊びを通して、文字、数量、図形などへの関心を高め、遊びの中に取り入れて楽しむ。 氷や霧、雪など冬の自然現象に興味をもち、触れたり、観察したり、考えたり試したりして遊ぶ。 自分たちの生活の場を使いやすく整えたり飾ったりする。 	豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> 言葉 <ul style="list-style-type: none"> 新年のあいさつをしたり、正月に経験したことを友達や保育者に話したりして、言葉で伝え合う楽しさを味わう。 日常生活の中で、場に応じた言葉を自分で考えて使えるようになる。 しりとりやことわざカルタなどの遊びを通して、言葉のリズムに興味をもちたり、言葉の面白さに気付いたりして、言葉遊びをする。 表現 <ul style="list-style-type: none"> 音楽に親しみ、友達と一緒に声を合わせてうたったり、気持ちに合わせて合奏したりすることを楽しむ。 友達と一緒にイメージを膨らませながら、丁寧に描いたり作ったりする。 いろいろな素材を使い、工夫して作ったり友達と見せ合ったりする。
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 健康 <ul style="list-style-type: none"> 正月の伝統的な食べ物に興味をもつ。 寒さに負けず十分に体を動かし、友達と縄跳びやマラソン、鬼ごっこなどいろいろな運動遊びに取り組む。 インフルエンザや風邪の予防について知り、手洗いやうがいの大切さがわかり進んで行く。 								
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 自信と信頼 <ul style="list-style-type: none"> 友達の良いところや頑張る姿を認めたり、励ましたり教え合ったりして、遊びを進めていく。 クラスの仲間と力を合わせて作り上げていく達成感を味わう。 トランプやすごろくなどの正月遊びの遊び方やルールを教え合いながら遊ぶ。 とんどや餅つきなどの行事を通して、地域の人や未就園児との交流をする。 								
環境	<ul style="list-style-type: none"> 命と自然 <ul style="list-style-type: none"> カルタやすごろく、トランプなどの遊びを通して、文字、数量、図形などへの関心を高め、遊びの中に取り入れて楽しむ。 氷や霧、雪など冬の自然現象に興味をもち、触れたり、観察したり、考えたり試したりして遊ぶ。 自分たちの生活の場を使いやすく整えたり飾ったりする。 								
豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> 言葉 <ul style="list-style-type: none"> 新年のあいさつをしたり、正月に経験したことを友達や保育者に話したりして、言葉で伝え合う楽しさを味わう。 日常生活の中で、場に応じた言葉を自分で考えて使えるようになる。 しりとりやことわざカルタなどの遊びを通して、言葉のリズムに興味をもちたり、言葉の面白さに気付いたりして、言葉遊びをする。 表現 <ul style="list-style-type: none"> 音楽に親しみ、友達と一緒に声を合わせてうたったり、気持ちに合わせて合奏したりすることを楽しむ。 友達と一緒にイメージを膨らませながら、丁寧に描いたり作ったりする。 いろいろな素材を使い、工夫して作ったり友達と見せ合ったりする。 								
環境 構成 と 援助	<ul style="list-style-type: none"> 寒くても体を思いきり動かすと体が温かくなることに気付かせ、友達や保育者と一緒に戸外遊びを楽しむことができるようにする。 健康に過ごすために必要な生活習慣についてわかりやすく知らせる。また、自分から進んでうがいや手洗いなどをしている子どもを認める。 子どもが自分から体の変化や異常を保育者に伝えることができるように、子どもの言葉に耳を傾けたり話しやすい雰囲気を作ったりしていく。 自分なりのめあてに向かって、繰り返し挑戦している姿を励ましたり、できた喜びに共感したりして自信へとつなげていく。また、縄跳びやこままわしなどに根気強く取り組めるようになった子どもをしっかり認め、やり遂げた満足感をもてるようにする。 新年の雰囲気を感じたり、伝統的な遊びを楽しめるように、正月遊びの遊具を種類別に用意し、選んで取り組めるようにする。 保育者も遊びに参加し、正月遊びや運動遊びのルールを確かめ合いながら、仲間同士で遊びを進めている子どもたちを認める。 友達やクラス全体で、共通のイメージや目的をもって協同する楽しさや充実感を味わえるような活動を計画したり機会を設けたりする。 共通の目的に向かって話し合いを進めていく時には、子ども同士が意見を出し合い、自分たちで考えようとする姿を大切に受け止める。必要に応じてヒントやアイデアを出して、保育者も一緒に考えるようにする。 友達の頑張りや得意なことなど友達のよさに気付いて生活や遊びができる子どもを認める。 遊びの中で意見の食い違いによるトラブルは、自分たちの思いを出し合って折り合いをつけるように見守り、必要に応じて手助けをする。 霧柱や氷、吐く息の白さなど、冬の自然現象と触れ合えるチャンスを大切に、子ども達の気付きや発見、驚きに共感したり、探究心につなげたりする。また、周りの子ども達に知らせたり、気付いたことを話したりしながら、自然への興味や関心が高まるようにする。 友達や保育者の話を最後まで聞いている子どもを認め、最後まで話を聞く姿勢を育てる。 絵本や物語などに親しみ、子どもたちのイメージを実現する楽しさが味わえるように、イメージを言語化したり身体表現をしたりして遊ぶ活動を計画し、クラス全員で取り組む。演じたり表現したりする楽しさを知ると共に、充実感や達成感が味わえるようにする。 友達とアイデアを出し合いながら遊びに必要なものを自分たちで工夫して作れるように、必要な材料や用具を準備しておく。 								
家庭・地域 との 連携 (小学校等)	<ul style="list-style-type: none"> 風邪やインフルエンザなどが流行しやすい時期なので、園だよりやクラスだよりなどで、うがいや手洗い、十分な睡眠、栄養バランスの大切さなどを知らせ、家庭でも規則正しい生活を送れるよう協力を依頼する。 園内での感染症の状況を知らせ、感染症の早期発見や治療への協力が得られるようにする。 保幼小の連絡会などで話題になった就学に向けての話を保護者に伝えたり、保護者の悩みや子どもの様子を小学校に相談したりする機会を設け、保護者にとっての就学に向けての不安を軽減できるようにする。 								

5 歳児 2 月

発達 の 主 な 特 徴 こ の こ の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・寒い中でも戸外での遊びを活発にする子どもが多く、鬼ごっこやサッカーや縄跳びなど、自分たちで遊びのルールを伝え合ったり相談したり、遊び方を考えたり工夫したりして、遊びを発展させて楽しんでいる。 ・こままわしに繰り返し挑戦している子どもがいる。友達同士で競い合う姿が見られたり、机や台の上などのいろいろな場所で回せるようになりたいという気持ちで、あきらめずに繰り返し挑戦する姿が見られている。 ・今まであまりかかわっていなかった友達にも関心を持ち、一緒に遊ぶようになる。遊びの中で友達のよさを認め合う姿がみられる。 ・同じ小学校へ進学する友達がわかり、仲間意識が深まっていく。また、仲良しの友達と異なる小学校へ進学することを寂しさを感じたり、小学校に対する不安を抱いたりする子どもがいる。 ・生活や活動に見通しをもち、次の動きを考えて自分から積極的に行動する姿が見られる。年長児らしく自信をもって生活する姿が見られる。役割をもって行動できるようになり、協力して遊ぶ楽しさがわかってくる。 ・カルタやトランプ遊びを通して、文字や数字を書くことに関心をもって遊ぶ姿が見られ、保育者や友達に手紙を書いてあそび子どももいる。 ・氷や霜柱、雪などを見付け、感じたことや不思議に思ったことなどを友達と伝え合ったり、遊びに取り入れたりしている。また、寒さの中にも春らしい日差しを感じた時には、「背中があつたかいね。」「もうすぐ春が来るのかな。」「もうすぐ3月だもん。」などと春を待っている声も聞かれるようになる。 ・小学校の一日体験入学を経験し、小学校を見学したり小学校の先生の話や話を聞いたりして、子ども同士で小学校の話をしたり、ランドセルや文房具などの話をしたりして、就学への期待が膨らむようになる。 ・今までの園生活を振り返るような歌や、卒園（卒業）式にうたう歌などを歌い、昨年度の年長児が卒園（卒業）した時の様子を思い出したり、今度は自分たちの番だと張り切ったりする姿が見られる。 	
	(教育・養育) <ul style="list-style-type: none"> ・年長児としての自覚をもち、見通しや目標をもって自分たちで活動を進め、充実感を味わう。 ・冬の自然現象の変化に気付いたり考えたり、春の訪れを感じたりして関心を深める。 ・小学校進学への関心や期待をもてるようにする。 ・一人一人の就学への期待や不安を受け止めながら、安定した生活が送れるようにする。 	
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と積極的に戸外で体を動かし、ルールを守って運動遊びを十分に楽しむ。 ・食事のマナーを守り、食事時間内で食べ終わるように見通しをもって食事をし、進んでなんでも食べる。 ・時間を意識したり、一日の流れの見通しをもったりして生活を進める。
	人 間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の得意なことや頑張っている姿を認め、刺激を受けながら意欲的に活動に取り組む。 ・異年齢児の友達と積極的にかかわり、思いやりの気持ちやいたわりの気持ちをもって、進んで世話をしたり一緒に遊んだりする。 ・友達と目的をもちつながりを実感して遊び、最後まで遊びに取り組む。
	自 信 と 信 頼	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の体験入学に楽しんで参加したり、小学校について話したり聞いたり交流したりする中で、就学への関心を高める。 ・冬の身近な事象に関心を持ち、変化や春が近づいてくることに気付いたり、取り入れて遊んだりする。 ・文字や数字、図形、量などに関心を深め、生活や遊びの中で使おうとする。 ・節分やひな祭りなどの行事を通して、由来を知ったり関心を深めたりする。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との会話を楽しみ、気持ちが伝わっていく心地よさを味わう。 ・身の回りの出来事などを話題にし、保育者や友達と会話を楽しむ。 ・相手にわかるように話したり、相手の話の内容を理解し注意して聞いたりする。
	豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼の面やひな人形など、自分の作りたいもののイメージを膨らませて表現する。 ・自分の思いや感じたこと、心に残っていることなどを文章や絵で表現する。 ・歌詞の意味を知り、さまざまな歌の雰囲気を感じながら気持ちを込めてうたう。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーについて話し合う機会をもち、意識して食事ができるように見守る。また、苦手な食材にも挑戦できるように励ましたり、頑張り方を認めたりして自信につなげていく。 ・天気の良い日には、戸外で今まで遊んできた鬼ごっこやドッチボールなどを思いきり楽しめるよう、遊びの場や時間をできるだけ確保し、仲間やクラスで体を思いきり動かして遊ぶ充実感を味わえるようにする。 ・見通しをもって自分たちで活動を進めたいように、カレンダーや時計などの視覚物を用意する。 ・活発な子どもや発言力の強い子どもの思いだけが優先されないよう、一人一人の思いや考えが仲間の中で互いに理解されるように配慮する。 ・就学に向けての期待や不安を受け止めながら、卒園（卒業）までの時間を大切に、一人一人の子どもが力を発揮して遊んでいること（頑張っていることなど）を伝え合い、遊びを深めたり、園生活を振り返りながら、仲間意識をもって生活したり遊んだりする活動を計画する。 ・節分やひな祭りなどの伝承行事について、絵本や紙芝居などを使ってわかりやすく由来を伝える。 ・雪や氷など冬の自然現象やウメやフキノトウの開花など春の訪れを感じる事象などに保育者が目を向け、気付いたことを子ども同士が伝え合っていけるような機会をもつ。 ・考えたことや感じたことを言葉でわかりやすく伝えようとしている姿を認めたり、友達の話をじっくり聞いたり、友達の話を聞いてから話すことを待たせたりしている姿を認めたりする。 ・鬼の面やひな人形作りをする中で、それぞれの子どもがイメージを膨らませて楽しんで作ることができるように必要な材料や素材を準備し、工夫して作っている姿や豊かな発想を認めたり共感したりしていく。思うように作業が進みにくい子どもには、発想が膨らむような声かけをしたり、思いを汲み取ったりしながら、取り組めるように援助する。 ・園生活の中で楽しんでできたことや心に残っていることなどを表現する活動を計画する。園生活の楽しかった思い出のイメージを具体化できるように声を掛け、絵に描くきっかけを作る。 	
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携 (小 学 校 等 と の 連 携)	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザなどの感染症の流行状況をボードなどで知らせ、家庭でも手洗いやうがいの励行をしてもらい、健康に過ごせるよう協力をお願いします。 ・小学校の体験入学に参加し、入学への期待を膨らませる機会にする。また、初めての入学を不安に感じている保護者には、具体的な学校の様子や準備について知らせる機会を設けると共に、就学を控えて不安定になっている子どもの姿を受け止め、過剰な期待などによる不安をもたせないようにする。 ・小学校就学に向けて、子どもたちが身の回りのことを自分でする習慣が身に付くよう、一人一人の生活の様子を家庭と伝え合ったり見直しをしてもらったりし、共通理解をしながら協力を求める。 	

5 歳児 3 月

<p>発達 こ ども の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボールをしたり一輪車乗り挑戦したり仲間と一緒に自分の親しんだ遊びなどを繰り返し楽しむ姿が見られる。また、今までの好きな遊び（ひょうたん鬼、リレーなど）を異年齢児も交えながら、みんなで思いっきり楽しんでいる。 ・「ぼくたちがいなくなってもウサギやカメの当番を頼むよ。」などと言いながら、当番の仕事や年中児と一緒に取り組み、教える姿が見られる。 ・「もうちょっとで幼稚園とお別れじゃな。」と保育者や友達との別れをさみしく思ったり、残りわずかの日々を惜しんだりするようになる。「1年生になるの楽しみ。」と入学を楽しみにしている様子が見られる。反面、新しい生活に不安を感じている子どももいる。 ・卒園（卒業）式の準備が始まるにつれ、自信をもって行動したり、卒園式に向けて堂々とした表情で練習に取り組んだりする。 ・「チューリップの芽が出てきた。」「1年生になるころ咲くかなあ。」と草花の芽が出てきているのを見つけ、友達や保育者に伝えながら春の訪れを感じている。 ・お別れ会の準備にクラスで取り組み、「したとき～したことがあったなあ。」「プールでみんな顔付けができたなあ。」「とんどの時に灰が高く上がったなあ。」など、楽しかったことや心に残ったことをみんなで伝え合いながら1年間を振り返り、絵や言葉で表現しようとする。 										
<p>（教育・ 養護） ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力を十分に発揮し友達と協力しながら、いろいろな活動を積極的に進め、園生活を思う存分楽しむ。 ・就学への期待をもち、自信をもって生活する。 ・春の訪れを感じながら、自分たちが成長した喜びを味わう。 ・健康で安全な生活環境の中で、一人一人の成長を認め、心身ともに安定した園生活を送れるようにする。 										
<p>経験 させ たい 内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="229 622 277 763">健康な心と体</td> <td data-bbox="277 622 1323 763"> <ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、自信をもって生活する。 ・友達と誘い合って、今まで楽しんできた遊びを思う存分する。 ・自分たちの成長を保育者や友達と共に喜ぶ。 ・園生活に見通しを持ち、自分たちで遊びや生活を進めていく。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="229 763 277 931">人間関係</td> <td data-bbox="277 763 1323 931"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に過ごす日を大切にしながら、友達との関係を深め、互いに認め合いながら活動し、充実感を味わう。 ・当番活動を年中児と一緒にしながら、当番の仕事や教え引き継ぎをする。 ・異年齢児に親しみや思いやりの気持ちをもって、かかわりを深める。 ・大きくなった喜びを感じ、身近な人々に感謝の気持ちをもつ。 ・自分でよいこと悪いことを判断し、行動しようとする。 ・卒園式（卒業式）に参加し、成長した喜びやお世話になった人に感謝の気持ちをもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="229 931 277 1048">環境</td> <td data-bbox="277 931 1323 1048"> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の生活に関心をもち、就学を楽しみに待つ。 ・日差しの暖かさや草木の芽吹きなど、季節の変化に気付き春の訪れを感じる。 ・感謝の気持ちをもち、自分たちが生活してきた保育室や遊具、自分の持ち物をきれいに片付ける。 ・ひな祭りの行事に参加し、伝統行事を楽しむ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="229 1048 277 1167">命と自然</td> <td data-bbox="277 1048 1323 1167"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えたことや感じたことを相手にわかるようにはっきりと話す。 ・相手の話の内容がわかり、話を最後まで聞く。 ・身近な人たちへ自分の言葉で、感謝の気持ちを伝える。 ・卒業、卒園を前に、楽しかったことや就学への期待などをみんなに伝え合う。 ・身近にある文字や数字、時間に関心を持ち、読んだり書いたり使ったりする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="229 1167 277 1301">豊かな情操と表現</td> <td data-bbox="277 1167 1323 1301"> <ul style="list-style-type: none"> ・卒園（卒業）製作やお別れ会に必要なものを、考えを出し合いながら、友達と協力して作り上げる。 ・友達と気持ちを合わせてお別れの言葉を言ったり、きれいな声で歌ったりする。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、自信をもって生活する。 ・友達と誘い合って、今まで楽しんできた遊びを思う存分する。 ・自分たちの成長を保育者や友達と共に喜ぶ。 ・園生活に見通しを持ち、自分たちで遊びや生活を進めていく。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に過ごす日を大切にしながら、友達との関係を深め、互いに認め合いながら活動し、充実感を味わう。 ・当番活動を年中児と一緒にしながら、当番の仕事や教え引き継ぎをする。 ・異年齢児に親しみや思いやりの気持ちをもって、かかわりを深める。 ・大きくなった喜びを感じ、身近な人々に感謝の気持ちをもつ。 ・自分でよいこと悪いことを判断し、行動しようとする。 ・卒園式（卒業式）に参加し、成長した喜びやお世話になった人に感謝の気持ちをもつ。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の生活に関心をもち、就学を楽しみに待つ。 ・日差しの暖かさや草木の芽吹きなど、季節の変化に気付き春の訪れを感じる。 ・感謝の気持ちをもち、自分たちが生活してきた保育室や遊具、自分の持ち物をきれいに片付ける。 ・ひな祭りの行事に参加し、伝統行事を楽しむ。 	命と自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えたことや感じたことを相手にわかるようにはっきりと話す。 ・相手の話の内容がわかり、話を最後まで聞く。 ・身近な人たちへ自分の言葉で、感謝の気持ちを伝える。 ・卒業、卒園を前に、楽しかったことや就学への期待などをみんなに伝え合う。 ・身近にある文字や数字、時間に関心を持ち、読んだり書いたり使ったりする。 	豊かな情操と表現	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園（卒業）製作やお別れ会に必要なものを、考えを出し合いながら、友達と協力して作り上げる。 ・友達と気持ちを合わせてお別れの言葉を言ったり、きれいな声で歌ったりする。
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、自信をもって生活する。 ・友達と誘い合って、今まで楽しんできた遊びを思う存分する。 ・自分たちの成長を保育者や友達と共に喜ぶ。 ・園生活に見通しを持ち、自分たちで遊びや生活を進めていく。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に過ごす日を大切にしながら、友達との関係を深め、互いに認め合いながら活動し、充実感を味わう。 ・当番活動を年中児と一緒にしながら、当番の仕事や教え引き継ぎをする。 ・異年齢児に親しみや思いやりの気持ちをもって、かかわりを深める。 ・大きくなった喜びを感じ、身近な人々に感謝の気持ちをもつ。 ・自分でよいこと悪いことを判断し、行動しようとする。 ・卒園式（卒業式）に参加し、成長した喜びやお世話になった人に感謝の気持ちをもつ。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の生活に関心をもち、就学を楽しみに待つ。 ・日差しの暖かさや草木の芽吹きなど、季節の変化に気付き春の訪れを感じる。 ・感謝の気持ちをもち、自分たちが生活してきた保育室や遊具、自分の持ち物をきれいに片付ける。 ・ひな祭りの行事に参加し、伝統行事を楽しむ。 										
命と自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えたことや感じたことを相手にわかるようにはっきりと話す。 ・相手の話の内容がわかり、話を最後まで聞く。 ・身近な人たちへ自分の言葉で、感謝の気持ちを伝える。 ・卒業、卒園を前に、楽しかったことや就学への期待などをみんなに伝え合う。 ・身近にある文字や数字、時間に関心を持ち、読んだり書いたり使ったりする。 										
豊かな情操と表現	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園（卒業）製作やお別れ会に必要なものを、考えを出し合いながら、友達と協力して作り上げる。 ・友達と気持ちを合わせてお別れの言葉を言ったり、きれいな声で歌ったりする。 										
<p>環境 構成 と 援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがい、排泄の始末、衣服の調節など身につけているかどうか一人一人確認し、必要に応じて適切なアドバイスをしながら、主体的に生活を進められるようにする。 ・今まで楽しんできた遊びを友達と存分にできるように、遊びに必要な用具や遊具などを子どもと一緒に用意する。保育者は遊びに加わり楽しい時間を共有する。また、友達とのつながりを深める。 ・園生活を振り返り、思い出の話をすることで、一人一人の思いに共感し、成長を喜び合ったりお世話になった人への感謝の気持ちをもったりできるようにする。 ・小学校入学への期待が膨らんでいる子どもの話を聞き、うれしい気持ちを受け止める。不安に思っている子どもへは、気持ちを受け止めながら、不安感が薄らぐように援助する。 ・お別れ会、散歩、会食など、異年齢児と一緒に楽しいひとときが過ごせるように計画する。思い出になるように内容を子どもと一緒に計画する。子どもから生まれた発想や遊びを大切に、友達と協力して楽しくできるような内容にする。年下の友達を思いやる姿や楽しくかかわる姿を認め、年長児としての自信が高まるようにする。 ・お別れ会などの行事を通して、自分たちが世話になった身近な人々に対して感謝の気持ちがもてるようにする。 ・カレンダーや時計を見ながら、見通しをもち、時間を意識した生活に心がける。一人一人が自主的に行動する姿を認める。 ・日差しの暖かさや動き始めた虫などから春の訪れを感じられるよう、散歩に出かけるなど、戸外で遊ぶ機会を作っていく。 ・桜の芽吹きや花壇のチューリップと一緒に見ながら、子ども一人一人の発見や感動を受け止め、共感していく。 ・卒園（卒業）製作をしたり保育室の清掃や整理をしたりして、卒園に向けて気持ちを高めていく。 ・雛人形や桃の花を飾り、伝統行事に触れられるような環境を作り、興味や関心がもてるようにする。 ・お別れ会や卒業に向けて、友達と心をひとつにして歌ったり、思い出の言葉などを一緒に考えたりする。また、一人一人が自覚をもって取り組み、参加して達成感を味わい、自信につながるようにしていく。 										
<p>（家庭・ 地域との 連携） 小学校 等との 連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣が身につけているか、家庭と共に確かめ合い、就学を迎えられるようにする。 ・保護者には、就学前に子どもと一緒に通学路を歩きながら、危険な場所、横断歩道の有無や渡り方などに気をつけて学校まで安全に歩けるように準備してもらおう。 ・参観日や行事、便りを通して、園生活を振り返りながら、子どもの成長の姿を具体的に知らせ、保護者と共に子どもたちの成長を喜び合い、親子共々安心して就学を迎えられるようにしていく。 ・小学校、学童クラブ、児童館などと連絡を取り、見学したり、体験や交流ができる機会を持ち、入学を楽しみに待てるようにする。 ・保護者や地域の方に卒園（卒業）式に参加してもらい、子どもの育ちを共に喜び合ったり園生活への理解や協力に対し感謝の気持ちを伝えたりする。 ・各小学校へ入学予定児に必要な引き継ぎをし、子どものなめらかな移行につながるようにする。 										

4. 発達の特徴と育ちの連続性

理念	保育内容 (5領域)	おおむね6ヶ月未満	おおむね6ヶ月～1歳3ヶ月未満	おおむね1歳3ヶ月～2歳未満	おおむね2歳児	おおむね3歳児	4歳児	5歳児
健康な心と体	健康	<ul style="list-style-type: none"> ○首がすわる。 ○寝返り、腹ばいになる。 ○上下左右に動くものを追視する。 ○目の前の物をつかもうとする。 ○手に触れたものを握る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○座る、はう、つかまり立ち、伝い歩きなど全身を動かす。 ○両手に物を持ったり、引っばったり、つまんだりする。 ○口の中に玩具を入れ、なめたり、噛んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歩けるようになり、探索活動が活発になる。 ○体のバランスのとおり方が上手になる。(しゃがむ、ぶら下がる、跳ぶなど) ○積み、つまむ、転がす、はがすなど手や指を使って遊ぶ。 <p style="text-align: center;">探索活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全身を使って、歩く、走る、跳ぶなどの運動をして遊ぶ。 ○指先の機能が発達する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の体をコントロールしながら、走る、跳ぶ、投げる、蹴るなどの運動をして遊ぶ。 <p style="text-align: center;">体のバランス 協応動作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全身のバランスをとって、運動遊びをする。 ○運動遊びや集団遊びなどを簡単なルールを守って、楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○巧みに体を動かして遊ぶ気持ちよさを感じる。 ○目的に向かって繰り返し挑戦したり、競い合ったり、負けを受け入れたりして、最後までやり遂げる。 <p style="text-align: center;">あきらめない 失敗は成功のもと</p>
	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ○空腹になると、泣いてミルクをほしがらる。 ○おしめが汚れていると、泣いて知らせる。 ○4ヶ月頃から昼と夜の睡眠パターンができる。 <p style="text-align: center;">愛着関係</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳食を食べる。 ○いろいろな味に慣れる。 ○自分でつまんで食べようとする。 <p style="text-align: center;">もぐもぐごっくん おいしいね</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳食が完了し、幼児食を食べる。 ○スプーンやフォークを使って食べる。 ○食べ物の好き嫌いが出てくる。 ○身振りや簡単な言葉で排泄を知らせる。 ○スポンジや紙パンツを自分で脱ぐ。 ○手洗い、鼻かみなどを自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スプーンやはしなどを使って、こぼしながらも自分で食べる。 ○自分でトイレに行き排泄しようとする。 ○衣服の前後が少しずつわかる。 ○スポンジやパンツを着脱する。 <p style="text-align: center;">じぶんで・・・</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○食事や排泄は個人差があるが、ほぼ自分でできるようになる。 ○衣服の着脱、裏返し・ボタン掛け・ファスナーなどの仕方を知り、自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○手洗い・うがい、衣服の調節など生活に必要な習慣が身につく、自分でできることは自分でする。 ○危険な場所や遊具の安全な使い方を知り、気をつけて遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○園生活に見通しをもって行動する。 ○自信をもち、自分たちで、状況判断をしながら、遊びや生活を進めていく。 ○自分の身の回りの事を自分から、進んで行う。
自信と信頼	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ○特定の大人にあやしてもらおうと、顔をじっと見たり、声を出して笑ったりする。 ○特定の大人とのスキンシップを喜ぶ。 <p style="text-align: center;">だっこだいすき</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定の大人とのかかわりができる。 ○後追いをし泣く。 ○人見知りをする。 <p style="text-align: center;">人見知り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達とのすることに関心をもち、真似をする。 ○大人の反応を感じながら、よいこと悪いことに気づく。 ○一人遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達と簡単なごっこ遊びを喜ぶ。 ○自己主張が強くなり、トラブルが起こる。 <p style="text-align: center;">自己主張</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自己主張する。 ○簡単なルールのある遊びをすることで、合図や順番、交代などの約束を知る。 <p style="text-align: center;">じぶんでするよ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間意識が芽生え、友達と誘い合って遊ぶ。 ○ルールの大切さに気づき、交代したり、順番を待ったりする。 <p style="text-align: center;">いれて いれて</p> <p style="text-align: center;">がまん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○友達のよいところや自分とは違う思いや考えを受け入れる。 ○よいことや悪いことを判断しながら、考えて行動する。 ○共通の目的に向かって、自分の役割を果たそうとしたり、友達と協力して進めようとする。 <p style="text-align: center;">よいこと悪いことの判断</p>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ○好奇心・探究心・生活に取り入れる力など <p>○身の回りの物を見たり、音を聞いたり、触れたりする。</p> <p style="text-align: center;">まんま プー</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○好きな玩具で一人遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○水、土、砂などの感触を楽しむ。 ○自分の物と友達の物との区別がつきにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○物の大きさや形の違いに気が付く。 ○自分の物を片付ける場所がわかる。 ○虫や草花をじっと見たり触ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「おもしろそう。」「やってみよう。」「やってみよう。」という気持ちをもち、繰り返し遊ぶ。 <p style="text-align: center;">おもしろそう やってみよう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊具・用具の扱い方を知り、友達と準備をしたり片付けたりする。 ○いろいろな事に興味関心をもち、やってみよう自分から取り組み、自分の力を発揮する。 <p style="text-align: center;">ねえ、先生、来て 見よって</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な動植物に興味関心をもち、命を大切に、友達と一緒に世話をしたり、いろいろな変化に気付いたりする。 ○好奇心や探究心をもって、自然物などにかかわり、性質・数・量の違いなどに気付き興味関心を深める。 ○遊びや生活の中で文字や数字や時間に関心をもち、 <p style="text-align: center;">最後まで聞こう</p>
豊かな情操と賢さ	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ○機嫌の良い時に、人や物に反応して、「アーアー」「ウーウー」など喃語を発する。 <p style="text-align: center;">アーアー ウーウー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の意味がわかるようになる。 ○喃語が盛んになる。 ○指差し、身振りなどで気持ちや欲求を表す。 ○好きな絵本を読んでもらい、真似して言葉を発する。 <p style="text-align: center;">バイバイ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○指差し、身振り、片言、二語文で思いを伝える。 ○興味のある絵本を読んでもらい、言葉を繰り返し言う。 <p style="text-align: center;">一語文から二語文へ 語尾を真似た片言</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉で自分の思いを伝えようとする。 ○簡単な繰り返しやリズムカルな言葉の絵本を書く。 <p style="text-align: center;">よんで・・・ よんで・・・</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「なぜ」「どうして」と尋ね、いろいろなことに興味関心をもち、 ○挨拶を自分からする。 ○絵本などを繰り返し見たり聞いたりする。 <p style="text-align: center;">おはよう ありがとう</p> <p style="text-align: center;">なぜ どうして</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いや考えを言葉で話したり、相手の話を聞き、友達の気持ちに気付いたりする。 ○絵本などのストーリーからイメージを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人の話を注意して聞き、自分の考えや思いを相手にわかるように話す。 ○絵本などから想像することや言葉の面白さを知る。 ○身近にある文字や数字に関心をもち、読んだり書いたり使ったりする。
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ○快・不快を笑ったり泣いたりして、表情の変化や体の動きで表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○興味をもった身近な素材に触れて、感触を楽しむ。 ○歌や手遊びに合わせて、喜んで手や体を動かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな材料で感覚遊びをする。 ○腕を左右、上下、丸く動かしてなぐり描きをする。 ○リズムに合わせて、体を動かして遊ぶ。 <p style="text-align: center;">ぐるぐるかくのおもしろい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○指先を使った遊びやはさみ・クレパスを使って遊ぶ。 ○季節の歌をうたったり、リズムカルに体を動かしたりすることを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見立て遊びをしたり、意味づけをして遊ぶ。 <p style="text-align: center;">模倣遊び ごっこ遊び</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな方法で表現し、イメージを膨らませ、なりきって遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○経験したこと、感じたこと、考えたことを創意工夫して、いろいろな方法で表現する。
育ちに向けて/養護	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の生活リズムに応じて、食欲、排泄、睡眠などの生理的欲求を満たし、健康で安全に過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の子どもに積極的にかわかり、安定した生活リズムの中で、気持ちよく生活が送れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分で」という気持ちに、丁寧に伝えていながら、身の回りの事を自分なりにしようとする気持ちが満たされるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○気温の変化や体調に留意し、一人一人の気持ちに共感したり、見守ったりし、安心して健康に過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自我の芽生えと共に情緒の安定を図り、季節の変化に応じて、健康的で安全な環境を作り、健康に過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○季節の変化に応じて、健康で安全な環境を作り、進んで自分の事を自分でしながら快適に過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の成長を認め、年長児としての自信や自覚をもって、健康安全に過ごせるようにする。 	